令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

＝ 定　例　会 ＝

自　令和６年12月３日（火）　開　会

至　令和６年12月17日（火）　閉　会

宮　古　島　市　議　会

目　　次

◎　第８回定例会
ｏ招集告示 …… １
ｏ上程案件処理結果 …… ２
ｏ応招議員名簿 …… ７
○１２月３日（議事日程第１号） …… ９
ｏ会期及び日程 …… １１
会議録署名議員の指名について …… １５
会期を定めることについて …… １５
議案審議 …… １６
○１２月４日（議事日程第２号） …… １９
議案審議 …… ２５
○１２月１０日（議事日程第３号） …… ４３
一般質問 …… ７２
我如古　三　雄　君 …… ７２
下　地　信　男　君 …… ８３
砂　川　和　也　君 …… ９４
仲　間　誉　人　君 …… １０７
○１２月１１日（議事日程第４号） …… １１９
一般質問 …… １２１
下　地　　茜　君 …… １２１
平　良　和　彦　君 …… １３２
下　地　信　広　君 …… １４４
久　貝　美奈子　君 …… １５５
○１２月１２日（議事日程第５号） …… １６７
一般質問 …… １６９
上　地　廣　敏　君 …… １６９
長　崎　富　夫　君 …… １７９
上　地　堅　司　君 …… １８９
狩　俣　勝　成　君 …… １９８
○１２月１３日（議事日程第６号） …… ２１３
一般質問 …… ２１５
上　里　　樹　君 …… ２１５
友　利　光　徳　君 …… ２２６
池　城　　健　君 …… ２３９

富　浜　靖　雄　君 …… ２４８
○１２月１６日（議事日程第７号） …… ２６３
一般質問 …… ２６６
山　下　　誠　君 …… ２６６
狩　俣　政　作　君 …… ２７９
粟　国　恒　広　君 …… ２９２
山　里　雅　彦　君 …… ３０３
○１２月１７日（議事日程第８号） …… ３１５
議案審議 …… ３３０
第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問 …… ３４９
公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件についての緊急質問 …… ３５３

宮古島市告示第１８５号

令和６年第８回宮古島市議会（定例会）を次のとおり招集する。

令和６年１１月２６日

宮古島市長　座喜味　一　幸

１　期　　日　　令和６年１２月３日（火）

２　場　　所　　宮古島市議会議事堂

上　程　案　件　処　理　結　果

議案番号	件　　名	提　案　者	提出月日	処理月日	結　　果
議案 第７４号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算(第７号)	市　　長	令和６年 12月３日	令和６年 12月17日	原案可決
議案 第７５号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	〃	〃	〃	〃
議案 第７６号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）	〃	〃	〃	〃
議案 第７７号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）	〃	〃	〃	〃
議案 第７８号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	〃	〃	〃	〃
議案 第７９号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）	〃	〃	〃	〃
議案 第８０号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）	〃	〃	〃	〃
議案 第８１号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	〃	〃
議案 第８２号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	〃	〃	〃	〃
議案 第８３号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８４号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８５号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８６号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８７号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８８号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	〃
議案 第８９号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について	〃	〃	〃	〃

議案番号	件　　名	提　案　者	提出月日	処理月日	結　　果
議案 第９０号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について	市　　長	令和６年 12月３日	令和６年 12月17日	原案可決
議案 第９１号	公共施設等運営権の設定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９２号	字の区域の変更について	〃	〃	〃	〃
議案 第９３号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９４号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９５号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９６号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９７号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９８号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第９９号	保良泉プール指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第100号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第101号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第102号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第103号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第104号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	〃	〃	〃	〃
議案 第105号	議決内容の一部変更について	〃	〃	〃	〃
議案 第106号	議決内容の一部変更について	〃	〃	〃	〃

議案番号	件　　名	提　案　者	提出月日	処理月日	結　　果
同意案 第２３号	農業委員会委員の罷免について	市　　長	令和６年 12月３日	令和６年 12月17日	同　　意
同意案 第２４号	農業委員会委員の任命について	〃	〃	〃	〃
報告 第１５号	専決処分の報告について	〃	〃		
請願書 第　３　号	「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書	請　願　者	〃	令和６年 12月17日	継続審査
陳情書 第　７　号	下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情	陳　情　者	〃	〃	採　　択
陳情書 第　８　号	次世代型コロナワクチン(レプリコンワクチン)の危険性に関する周知等を求める陳情書	〃	〃	〃	不 採 択

議案番号	件　　名	提　案　者	提出月日	処理月日	結　　果
陳情書 第　9　号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情	陳　情　者	令和６年 12月３日	令和６年 12月17日	採　　択
陳情書 第１０号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情	〃	〃	〃	〃
陳情書 第１１号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情	〃	〃	〃	〃

議案番号	件　　名	提　案　者	提出月日	処理月日	結　　果
陳情書 第１２号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	陳　情　者	令和６年 12月３日	令和６年 12月17日	不 採 択
発議 第　１　号	宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	議会運営委員会	令和６年 12月17日	〃	原案可決
意見書案 第１０号	沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書	〃	〃	〃	〃
意見書案 第１１号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書	文教社会委員会	〃	〃	〃
意見書案 第１２号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書	〃	〃	〃	〃
意見書案 第１３号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書	〃	〃	〃	〃
意見書案 第１４号	宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書	議　　員	〃	〃	〃
決議案 第　５　号	宮古島市総合交流ターミナル(通称てぃだの郷)の早期売却に取り組むよう求める要請決議	〃	〃	〃	〃
派遣 第　４　号	議員の派遣について		〃	〃	派　　遣
	第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問を許可されたいとの動議	議　　員	〃	〃	可　　決
	公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件についての緊急質問を許可されたいとの動議	〃	〃	〃	〃

開会日（令和６年１２月３日）に応招した議員

久貝美奈子	君	平良和彦	君
下地茜	〃	下地信広	〃
砂川和也	〃	我如古三雄	〃
狩俣勝成	〃	西里芳明	〃
富浜靖雄	〃	長崎富夫	〃
下地信男	〃	友利光徳	〃
狩俣政作	〃	上里樹	〃
山下誠	〃	粟国恒広	〃
池城健	〃	上地廣敏	〃
上地堅司	〃	平良敏夫	〃
仲間誉人	〃	山里雅彦	〃

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月３日（火）　　初　日

（議案上程、説明、聴取）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第１号

令和６年１２月３日（火）午前１０時開会

日程第 １		会議録署名議員の指名について	
〃 第 ２		会期を定めることについて	
〃 第 ３	議案第 ７４ 号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）	（市長提出）
〃 第 ４	〃 第 ７５ 号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第 ５	〃 第 ７６ 号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第 ６	〃 第 ７７ 号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）	（ 〃 ）
〃 第 ７	〃 第 ７８ 号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	（ 〃 ）
〃 第 ８	〃 第 ７９ 号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）	（ 〃 ）
〃 第 ９	〃 第 ８０ 号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第１０	〃 第 ８１ 号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について	（ 〃 ）
〃 第１１	〃 第 ８２ 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	（ 〃 ）
〃 第１２	〃 第 ８３ 号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１３	〃 第 ８４ 号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１４	〃 第 ８５ 号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１５	〃 第 ８６ 号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１６	〃 第 ８７ 号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１７	〃 第 ８８ 号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１８	〃 第 ８９ 号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について	（ 〃 ）
〃 第１９	〃 第 ９０ 号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について	（ 〃 ）
〃 第２０	〃 第 ９１ 号	公共施設等運営権の設定について	（ 〃 ）
〃 第２１	〃 第 ９２ 号	字の区域の変更について	（ 〃 ）
〃 第２２	〃 第 ９３ 号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について	（ 〃 ）

日程第２３	議案第　９４　号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	（市長提出）
〃　第２４	〃　第　９５　号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２５	〃　第　９６　号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２６	〃　第　９７　号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２７	〃　第　９８　号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２８	〃　第　９９　号	保良泉プール指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２９	〃　第１００号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３０	〃　第１０１号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３１	〃　第１０２号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３２	〃　第１０３号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３３	〃　第１０４号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３４	〃　第１０５号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３５	〃　第１０６号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３６	報告第　１５　号	専決処分の報告について	（　〃　）
〃　第３７	同意案第　２３　号	農業委員会委員の罷免について	（　〃　）
〃　第３８	〃　第　２４　号	農業委員会委員の任命について	（　〃　）

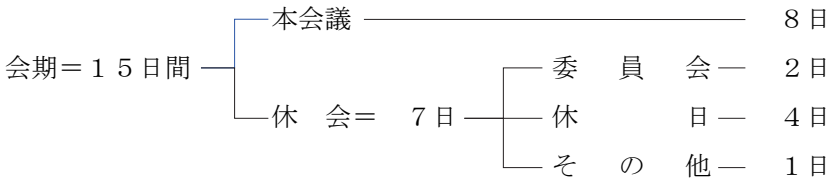
◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会期日程計画表

令和６年１２月３日（火）午前１０時開会

月　　日	曜日	種　別	日　　程	摘　　要
１２月　３日	火	本会議	会議録署名議員の指名 会期の決定 議案上程、説明、聴取	開　　会
１２月　４日	水	〃	議案に対する質疑（付託）	
１２月　５日	木	休　会	委員会	通 告 締 切
１２月　６日	金	〃	〃	
１２月　７日	土	〃		
１２月　８日	日	〃		
１２月　９日	月	〃		報告書作成
１２月１０日	火	本会議	一般質問	
１２月１１日	水	〃	〃	
１２月１２日	木	〃	〃	
１２月１３日	金	〃	〃	
１２月１４日	土	休　会		
１２月１５日	日	〃		
１２月１６日	月	本会議	一般質問	
１２月１７日	火	〃	委員長報告、質疑、討論、表決	閉　　会



令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月３日（火）

（開会＝午前10時00分）

◎出席議員（２２名）　　（散会＝午前10時19分）

議長（２３番）	平良敏夫君	議員（１１番）	上地堅司君
副議長（１８〃）	長崎富夫〃	〃（１２〃）	仲間誉人〃
議員（１〃）	久貝美奈子〃	〃（１３〃）	平良和彦〃
〃（２〃）	下地茜〃	〃（１４〃）	下地信広〃
〃（３〃）	砂川和也〃	〃（１５〃）	我如古三雄〃
〃（４〃）	狩俣勝成〃	〃（１６〃）	欠員
〃（５〃）	富浜靖雄〃	〃（１７〃）	西里芳明〃
〃（６〃）	下地信男〃	〃（１９〃）	友利光徳〃
〃（７〃）	欠員	〃（２０〃）	上里樹〃
〃（８〃）	狩俣政作〃	〃（２１〃）	粟国恒広〃
〃（９〃）	山下誠〃	〃（２２〃）	上地廣敏〃
〃（１０〃）	池城健〃	〃（２４〃）	山里雅彦〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸君	環境衛生局長	下地睦子君
企画政策部長	久貝順一〃	会計管理者	下地美明〃
総務部長	與那覇勝重〃	水道部長	下地貴之〃
福祉部長	守武大〃	消防長	上地一史〃
市民生活部長	狩俣博幸〃	企画調整課長	前原敦〃
農林水産部長	石川博幸〃	総務課長	豊見山徹〃
建設部長	川平陽一〃	財政課長	国仲英樹〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗〃	教育長	大城裕子〃
産業振興局長	下里盛雄〃	教育部長	砂川勤〃
こども家庭局長	幸地幹夫〃	生涯学習部長	天久珠江〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦君	次長補佐	与那嶺彰成君
次長	仲間清人〃	議事係長	国吉たかよ〃

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）諸般の報告書

令和６年１２月３日（火）

	９月定例会の閉会後、請願書１件、陳情書７件を受理し、請願・陳情文書表のとおり付託したので、各所管委員会での審査をお願いする。
１１月２５日～２７日	２６日、「令和６年度先島市町村議会議長会行政視察」を茨城県つくば市及び東京都豊島区において実施した。 つくば市では、特定非営利活動法人日本核シェルター協会において、モデルルーム、ソリューションルームを見学し、概要等の説明を受けた。 豊島区では、としまみどりの防災公園（ＩＫＥ・ＳＵＮＰＡＲＫ）を訪問し、災害時の機能等について説明を受けた。
１１月２６日	前里光健君から議員辞職願が提出されたので、地方自治法第１２６条ただし書きの規定により、同日付で閉会中の議員の辞職を許可した。 また、公職選挙法第１１１条第１項第３号の規定により、宮古島市選挙管理委員会に宮古島市議会議員の欠員について通知した。
	座喜味一幸市長から令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）の招集告示をした旨の通知とともに、今定例会に付議すべき議案の送付があった。
１１月２８日	議会運営委員会が開催され、議会運営委員会委員長の議員辞職に伴い、委員長の互選が行われ、指名推選により狩俣政作委員（副委員長）が選任された。副委員長が委員長に選任されたことにより、副委員長の互選が行われ、指名推選により、砂川和也委員が選任された。 同委員会において諮問した①会期については、本日１２月３日から１２月１７日までの１５日間とするのが適当であること、②同意案第２３号及び同意案第２４号の２件については、委員会付託を省略し、最終本会議において処理すること、③令和７年２月２０日に那覇市で開催される沖縄県離島振興市町村議会議員・事務局職員研修会への「議員の派遣について」は最終本会議において処理すること、④「宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について」は、最終本会議において、議会運営委員会から提案することと決した。 同委員会では、市長から要望のあった「一般質問の締切りについて（要望）」、次の一般選挙から施行する議員定数についても諮問され、「一般質問の締切りについて」は、要望を了とし令和７年３月定例会から行うこと、「議員定数について」は、今後も議会運営委員会で協議することを確認した。 議会運営委員会終了後、全員協議会が開催され、当局による令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）提出議案事前説明がされたほか、議会運営委員会の報告を行った。

１１月２９日	マティダ市民劇場で開催された創立６０周年記念第５８回宮古地区老人クラブ大会に長崎富夫副議長が出席し、祝辞を述べるとともに、市内ホテルで開催された同祝賀会においても乾杯の挨拶を行った。
１１月３０日	宮古島市伝統工芸品センターで開催された「稲石祭」に長崎富夫副議長が出席し、祝辞を述べた。 以上

◎**議長（平良敏夫君）**

ただいまから令和６年第８回宮古島市議会定例会を開会します。

（開会＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第１号のとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

この際、諸般の報告をします。

事務局長から報告させます。

◎**事務局長（友利毅彦君）**

議長の命により、諸般の報告をいたします。

９月定例会の閉会後、請願書１件、陳情書７件を受理し、請願・陳情文書表のとおり付託したので、所管委員会での審査をお願いいたします。

11月26日、前里光健議員から議員辞職願が提出されたので、地方自治法第126条ただし書の規定により、同日付で閉会中の議員の辞職を許可しました。また、公職選挙法第111条第１項第３号の規定により、宮古島市選挙管理委員会に宮古島市議会議員の欠員について通知しました。

同じく26日、座喜味一幸市長から令和６年第８回宮古島市議会定例会の招集告示をした旨の通知とともに、今定例会に付議すべき議案の送付がありました。

11月28日、議会運営委員会が開催され、議会運営委員会委員長の議員辞職に伴い、委員長の互選が行われ、指名推選により狩俣政作委員が選任されました。副委員長が委員長に選任されたことにより、副委員長の互選が行われ、指名推選により砂川和也議員が選任されました。

同委員会において諮問した、１、会期については、本日12月３日から12月17日までの15日間とするのが適当であること、２、同意案第23号及び同意案第24号の２件については委員会付託を省略し、最終本会議において処理すること、３、令和７年２月20日に那覇市で開催される沖縄県離島振興市町村議会議員事務局職員研修会への議員の派遣については、最終本会議において処理すること、４、宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正については、最終本会議において、議会運営委員会から提案することと決しました。

そのほかにつきましては、報告書によりご了承願います。

諸般の報告は以上です。

◎**議長（平良敏夫君）**

これより日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、議長において友利光徳君及び下地信広君を指名します。

次に、日程第２、会期を定めることについてを議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、本日12月３日から12月17日までの15日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎**議長（平良敏夫君）**

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日12月３日から12月17日までの15日間と決しました。

なお、議事の都合により、12月５日、６日及び９日の計３日間は休会にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎**議長（平良敏夫君）**

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

なお、会議予定につきましては会期日程計画表のとおりでありますので、ご了承願います。

次に、日程第３、議案第74号から日程第38、同意案第24号までの計36件を一括議題とし、提案者からの提案理由の説明を求めます。

◎**市長（座喜味一幸君）**

令和６年第８回宮古島市議会定例会に提出しました議案についてご説明を申し上げます。

今回提出しました議案は、予算議案７件、条例議案８件、議決議案18件、報告１件、同意案２件の合計36件でございます。

それでは、予算議案からご説明申し上げます。議案第74号、令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）。今回の補正は、９億4,625万4,000円の増で、歳入歳出予算の補正のほか、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行い、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ468億5,815万1,000円と定めてあります。

議案第75号、令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）。今回の補正は、9,016万1,000円の増で、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ73億8,149万6,000円と定めてあります。

議案第76号、令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）。今回の補正は、895万6,000円の増で、歳入歳出予算の補正のほか、繰越明許費の設定及び債務負担行為の補正を行い、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ６億3,429万円と定めてあります。

議案第77号、令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）。今回の補正は、6,286万4,000円の増で、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ60億4,596万3,000円と定めてあります。

議案第78号、令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）。今回の補正は、23万2,000円の増のほか、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ9,030万1,000円と定めてあります。

議案第79号、令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）。今回の補正は、収益的収入及び支出で196万7,000円の増のほか、債務負担行為の補正を行っております。

議案第80号、令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）。今回の補正は、収益的収入及び支出で843万1,000円の増のほか、債務負担行為の補正を行っております。

次に、条例議案についてご説明を申し上げます。議案第81号、宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について。宮古島市地産地消用保冷施設を新たに設置するには条例を制定する必要があるため、本案を提出いたします。

議案第82号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について。刑法等の一部を改正する法律が施行されることに伴い、刑の種類である懲役及び禁錮が廃止され、これらに代えて拘禁刑が創設されることから、適用されている条例について改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第83号、宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について。一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴い、条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第84号、宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について。宮古島市役所平良庁舎を地方自治法第４条第１項の規定による地方公共団体の事務所としての用途廃止に伴い、庁舎の位置に関する規定を改めるには条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第85号、宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について。過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令が令和６年４月１日に施行されたことに伴い、条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第86号、宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について。行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令が公布され、健康保険被保険者証等が廃止されることに伴い、条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第87号、宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について。環境省より廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）の財産処分（転用）承認が下りたことによる文言の修正及び廃棄物処理施設伊良部し尿処理施設の廃止に伴う削除並びに新し尿等処理施設の設置により、条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

議案第88号、宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について。新たに使用料を設定するとともに、減免規定を設けるには条例を改正する必要があるため、本案を提出します。

次に、議決議案についてご説明申し上げます。議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について。辺地に係る公共的施設の総合的な整備のための財政上の計画（宮古島市辺地総合整備計画）の内容を変更するには議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

議案第90号、宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について。宮古島市過疎地域持続的発展計画を変更するには議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

議案第91号、公共施設等運営権の設定について。公共施設等運営権の設定については、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第19条第４項の規定により議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

議案第92号、字の区域の変更について。団体営農業基盤整備促進事業、火山地区の工事に伴い、字の区域を変更するには地方自治法第260条の第１項の規定により議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

続きまして、議案第93号から議案第104号の指定管理者の指定については、公の施設について指定管理者の指定をするには地方自治法第244条の２第６項の規定により議会の議決を必要とするため、本案を提出し

ます。

続きまして、議決内容の一部変更についてご説明いたします。議案第105号、議決内容の一部変更について。宮古島市し尿等処理施設整備工事の設計変更に伴い、契約金額を変更するには宮古島市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第２条の規定により議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

議案第106号、議決内容の一部変更について。宮古島市し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の設計変更に伴い、契約金額を変更するには宮古島市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第２条の規定により議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

次に、報告についてご説明いたします。報告第15号、専決処分の報告について。地方自治法第180条第１項の規定により専決処分したので、同条第２項の規定によりこれを報告します。

最後に、同意案についてご説明をいたします。同意案第23号、農業委員会委員の罷免について。当該委員について、心身の故障のため職務の遂行ができず、また意思の疎通ができないことから本人からの辞任の申出が不可能のため、農業委員会等に関する法律第11条第１項の規定により本案を提出します。

同意案第24号、農業委員会委員の任命について。農業委員会委員の罷免に伴い、新たにその後任を任命する必要があるので、農業委員会等に関する法律第８条第１項の規定により本案を提出します。

以上、ご説明申し上げました。慎重なる審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いいたします。

◎議長（平良敏夫君）

これで提案理由の説明は終わりました。

これで本日の日程は全部終了しました。

よって、本日の会議はこれにて散会します。

（散会＝午前10時19分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月４日（水）　　２日目

(議案に対する質疑（付託))

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第２号

令和６年１２月４日（水）午前１０時開議

日程第 １	議案第 ７４ 号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）	（市長提出）
〃 第 ２	〃 第 ７５ 号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第 ３	〃 第 ７６ 号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第 ４	〃 第 ７７ 号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）	（ 〃 ）
〃 第 ５	〃 第 ７８ 号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	（ 〃 ）
〃 第 ６	〃 第 ７９ 号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）	（ 〃 ）
〃 第 ７	〃 第 ８０ 号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）	（ 〃 ）
〃 第 ８	〃 第 ８１ 号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について	（ 〃 ）
〃 第 ９	〃 第 ８２ 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	（ 〃 ）
〃 第１０	〃 第 ８３ 号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１１	〃 第 ８４ 号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１２	〃 第 ８５ 号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１３	〃 第 ８６ 号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１４	〃 第 ８７ 号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１５	〃 第 ８８ 号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	（ 〃 ）
〃 第１６	〃 第 ８９ 号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について	（ 〃 ）
〃 第１７	〃 第 ９０ 号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について	（ 〃 ）
〃 第１８	〃 第 ９１ 号	公共施設等運営権の設定について	（ 〃 ）
〃 第１９	〃 第 ９２ 号	字の区域の変更について	（ 〃 ）
〃 第２０	〃 第 ９３ 号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について	（ 〃 ）
〃 第２１	〃 第 ９４ 号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	（ 〃 ）

日程第２２	議案第　９５　号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（市長提出）
〃　第２３	〃　第　９６　号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２４	〃　第　９７　号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２５	〃　第　９８　号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２６	〃　第　９９　号	保良泉プール指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２７	〃　第１００号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２８	〃　第１０１号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２９	〃　第１０２号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３０	〃　第１０３号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３１	〃　第１０４号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３２	〃　第１０５号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３３	〃　第１０６号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３４	報告第　１５　号	専決処分の報告について	（　〃　）
〃　第３５	同意案第　２３　号	農業委員会委員の罷免について	（　〃　）
〃　第３６	〃　第　２４　号	農業委員会委員の任命について	（　〃　）

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

議　案　付　託　表

令和６年１２月４日（水）第８回定例会

委員会名	議案番号	件名
総務財政委員会	議案第７４号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）
	議案第８１号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について
	議案第８２号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について
	議案第８３号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
	議案第８４号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について
	議案第８５号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について
	議案第８８号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
	議案第８９号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について
	議案第９０号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について
	議案第９１号	公共施設等運営権の設定について
	議案第９３号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について
	議案第９４号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について
	議案第９９号	保良泉プール指定管理者の指定について
	議案第100号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について
	議案第101号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について
	議案第102号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について
	議案第103号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について
	議案第104号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について
文教社会委員会	議案第７５号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）
	議案第７７号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）
	議案第８０号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）
	議案第８６号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について
	議案第８７号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について
	議案第９５号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について
	議案第９６号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について
	議案第９７号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について
	議案第９８号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について

委員会名	議案番号	件名
	議案第105号	議決内容の一部変更について
	議案第106号	議決内容の一部変更について
経済工務委員会	議案第７６号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）
	議案第７８号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）
	議案第７９号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）
	議案第９２号	字の区域の変更について

議案第７４号　令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）

歳出款項別審査委員会表

令和６年１２月４日（水）第８回定例会

委員会名	款	項	頁
文教社会委員会	２．総務費	３．戸籍住民基本台帳費	４７
	３．民生費	１．社会福祉費	48～49
		２．児童福祉費	50～51
	４．衛生費	１．保健衛生費	５２
		２．清掃費	５３
	１０．教育費	１．教育総務費	６２
		２．小学校費	６３
		３．中学校費	６４
		４．幼稚園費	６５
		５．社会教育費	６６
		６．保健体育費	６７
経済工務委員会	６．農林水産業費	１．農業費	５４
	８．土木費	１．土木管理費	５６
		２．道路橋りょう費	５７
		３．都市計画費	５８
		４．住宅費	５９
		５．港湾空港費	６０

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月４日（水）

（開議＝午前10時00分）

（散会＝午前11時44分）

◎出席議員（２２名）

議長（２３番）	平良敏夫君	議員（１１番）	上地堅司君
副議長（１８〃）	長崎富夫〃	〃（１２〃）	仲間誉人〃
議員（１〃）	久貝美奈子〃	〃（１３〃）	平良和彦〃
〃（２〃）	下地茜〃	〃（１４〃）	下地信広〃
〃（３〃）	砂川和也〃	〃（１５〃）	我如古三雄〃
〃（４〃）	狩俣勝成〃	〃（１６〃）	欠員
〃（５〃）	富浜靖雄〃	〃（１７〃）	西里芳明〃
〃（６〃）	下地信男〃	〃（１９〃）	友利光徳〃
〃（７〃）	欠員	〃（２０〃）	上里樹〃
〃（８〃）	狩俣政作〃	〃（２１〃）	粟国恒広〃
〃（９〃）	山下誠〃	〃（２２〃）	上地廣敏〃
〃（１０〃）	池城健〃	〃（２４〃）	山里雅彦〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸君	会計管理者	下地美明君
企画政策部長	久貝順一〃	水道部長	下地貴之〃
総務部長	與那覇勝重〃	消防長	上地一史〃
福祉部長	守武大〃	企画調整課長	前原敦〃
市民生活部長	狩俣博幸〃	総務課長	豊見山徹〃
農林水産部長	石川博幸〃	財政課長	国仲英樹〃
建設部長	川平陽一〃	教育長	大城裕子〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗〃	教育部長	砂川勤〃
産業振興局長	下里盛雄〃	生涯学習部長	天久珠江〃
こども家庭局長	幸地幹夫〃	農業委員会会長	長濱国博〃
環境衛生局長	下地睦子〃	農業委員会事務局長	上地明弘〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦君	次長補佐	与那嶺彰成君
次長	仲間清人〃	議事係長	国吉たかよ〃

◎**議長（平良敏夫君）**

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第２号のとおりであります。

この際、日程第１、議案第74号から日程第36、同意案第24号までの計36件を一括議題とし、質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

◎**我如古三雄君**

４件ばかり質疑をしたいと思います。

まず、議案第74号、令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）であります。ページの55ページ、７款商工費、２目の商工振興費の18節負担金、補助及び交付金の中で宮古島大学駅伝補助金100万円の計上がされております。詳細な説明、大会日時、参加チーム、全部で何チーム、総勢どのぐらいの人数で開催するのか、できればコースについても説明をしてください。

それから、ページの59ページ、８款土木費、４項１目住宅管理費、12節の委託料の2,908万8,000円の説明をください。

３点目に、67ページ、10款教育費、６項２目の体育施設管理費、17節の備品購入費の機械器具費225万6,000円が計上されておりますが、説明をください。

最後に、４点目でございますが、今回の宮古島市エコアイランドＰＲ館をはじめとして12件、つまり12施設の指定管理者の指定についての提案があります。来年３月末、つまり今年度で指定期間が終了するもので、今定例会に提案されていない施設があるのかどうかも含めて説明をください。

◎**観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）**

議案第74号の令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）でございます。55ページ、宮古島大学駅伝補助事業についてでございます。この補助金は、この大会へ出場する大学が大会の前後において初めて宮古島で合宿をする大学ということで、この大学駅伝と併せて合宿をするチームに対しての補助金となっております。来年の２月９日に第３回目となる大会を開催いたします。出場大学ですが、予定ではございますが、14大学、13チームが現在予定をしているということになっています。大学としましては、参加校が全国的に有名な大学が多く、箱根駅伝のシード常連校、また駅伝及び陸上競技の強化を図っている大学などが参加するということになっております。

また、もう一点、指定管理の部分ですが、今年度で指定管理が切れる施設で、今定例会に上がっていない施設は１施設ございます。これは、伊良部地区にある民宿キャンプ村でございます。

◎**建設部長（川平陽一君）**

一般会計補正予算の59ページをお願いします。８款４項１目住宅管理費の中で12節委託料2,908万8,000円の補正です。この委託料は、市営住宅の管理業務委託の変更に伴う補正となります。現在市営住宅維持管理については、年間を通して約１億5,000万円で管理を行っておりますが、市営住宅の老朽化に伴い、前年度に比べ修繕費が増加しております。また、11月から実施しています市営住宅の常時募集に伴い、空

き部屋の修繕に約1,600万円が必要となりますので、現在の予算残額では不足しておるため、その他修繕費、維持管理料を含め、合わせて2,908万8,000円の補正となります。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

一般会計補正予算67ページ、10款教育費、６項２目体育施設管理費の機械器具費225万6,000円についてご説明いたします。これは、乗用芝刈り機を購入する費用でございます。城辺陸上競技場は、年一、二回除草作業を行っておりますが、利用時期によっては芝が伸び、利用に支障を来すこともある状態となっております。芝刈り機を購入することで職員や競技場を使用する団体での定期的な除草作業が可能になり、また利用しやすい環境を整えることで利用者数の増や健康増進につながるものと考えております。

◎議長（平良敏夫君）

指定管理は。

◎我如古三雄君

市の指定管理されている全施設が100近くあったと思うんですが、その中で今定例会に12件の、12施設の指定管理の提案があります。それ以外に今年度で切れる施設があるのかどうか。あるけれども、今定例会に提案されていないというふうなものがあるのかどうか、これは関連質疑です。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

今年度で切れる指定管理施設ということでございまして、先ほどもお答えしたんですが、１か所ございまして、伊良部地区にあります民宿キャンプ村があります。民宿キャンプ村に関しましては、同じ日程で公募を行って、審査会までいったんですが、審査の段階で応募してきた事業者１者ございました。その事業者がなかなか現在の条例に係る使用料では運営が厳しいというお話がございまして、使用料の改定を求める声がございました。使用料の改定には条例改正が必要になりますので、議会の議決を要するということで、使用料の改定をしますのでやってくださいというような市からお願いはできませんので、使用料改定をまず先に進めるということで、今回はその使用料改定の条例案を３月定例会のほうで提案したいというふうに考えております。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎下地　茜君

よろしくお願いします。歳入の41ページ、少し歳出で見当たらなかったので、一般会計補正予算の41ページ、23款１項３目土木費で与那覇地区排水路設置事業債というのがありますので、内容を教えていただきたいと思います。

それから、48ページに４目障害者福祉費の説明のほうに重度心身障害者……ごめんなさい、49ページですね、49ページの同じ３款１項４目障害者福祉費、児童発達支援事業所給食費等助成事業が333万9,000円減になっているので、ここの説明をお願いします。

少し多くてすみませんが、56ページ、８款１項１目土木総務費、宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業というのがありまして、これ60万円ついているんですけれども、これもどういう内容かをお聞きしたいと思います。

◎福祉部長（守武　大君）

一般会計補正予算、第３款民生費、第１項社会福祉費、第４目障害者福祉費の減についてでございます。障害児通所施設の給食費及びおやつ代の助成ということで、当初70人がフルに利用して250円を月二十日、12か月、420万円の予算を計上していたところでございますが、月に約35万円使うという見込みで要求しておりましたが、半年たちまして、実質今、月に７万2,000円ほどの利用しかないということで、この333万9,000円（　　部分は27頁に発言訂正あり）を実績に合わせて減額しているところです。理由といたしましては、全ての通所児童が給食やおやつを利用しているわけではないという部分と、20日間全てで利用しているわけではないという部分と、あと夏休みとか土曜日とか時期的な問題もありますので、現実に合わせた予算に合わせて減額しているという内容になっております。

すみません。数字を間違えたので、減額のほうは333万9,000円になります。

◎建設部長（川平陽一君）

一般会計の補正予算の41ページです。与那覇地区排水路設置起債、これ57ページに関連しますので、57ページで説明したいと思います。57ページの８款２項２目道路維持費の中で14節工事請負費の中で工事請負費2,174万7,000円の補正です。この中で、与那覇地区の排水路、与那覇地区で本年５月に大雨で道路が冠水をいたしまして、隣接する住宅に被害が生じております。対策費としまして排水路の設置、側溝の改修工事を実施いたします。

それと、56ページです。８款１項１目土木総務費の中で、18節負担金、補助及び交付金の中で、宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業です。この中で、60万円の補正となります。この事業は、民間賃貸住宅の家賃高騰により住宅の確保ができない住宅確保要配慮者への入宅を拒まない民間賃貸住宅の供給を促進し、住居の安定を図るため、県が４分の３、市町村が４分の１を補助する事業となっております。

◎下地　茜君

57ページの説明ありがとうございます。歳出のほうで説明いただきました。今年大雨もあって、たくさん修繕箇所も必要だった中でしっかり対応していただけているのかなと思っていまして、被害に遭った方も安心されるのではないかなと思います。スケジュールだけ少し、今後の、お聞かせいただきたいと思います。

それから、宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業なんですけれども、60万円という数字が恐らくすぐに事業を始めるのではなくて、何か事前準備のようなものなのかなと思っているんですけれども、協議会立ち上げるとか、内容のほうを知りたいなと思っています。

48ページの３款１項４目障害者福祉費の中の児童発達支援事業所給食費等助成事業ですけれども、見込みより少なかったということでした。もし周知をしっかりすれば使っていただける伸び代があるという認識あるかどうか、来年度もし予算をつけるとすれば、フルで活用した720万円にするのか、それとも実績というところになっていくのか、お考えをお聞かせください。

◎福祉部長（守武　大君）

来年度の予算につきましては、実績ベースで要求はする予定となっております。

周知のほうですが、もちろん全事業所全て理解した上で、利用者は全員請求しているという認識ですけども、事業所によっては請求をしていないところもある可能性もありますので、そこら辺は確認して、ち

ゃんとこういう補助メニューがあるんだよというのは周知していきたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

与那覇地区の排水路の設置のスケジュールでございます。今定例会で承認が得られ次第、工事発注に取りかかります。

それと、56ページの宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化の事業です。この事業は、市で要綱は作成しておりますので、今定例会補正後、これ取り組んでいきたいと考えております。

◎下地　茜君

最後に、１つだけ、児童発達支援事業所の給食費等助成事業ですけれども、実績ベースで請求をしているということでした。もし周知が少し浸透していって、使いたいという事業所が増えた場合には次年度の予算を超えていくと思うんですが、そういった場合は補正等で対応していくということなのか確認をさせてください。

◎福祉部長（守武　大君）

答弁が不足して申し訳ございません。必要な扶助費となっておりますので、足りない場合は流用や補正で対応してまいりたいと思います。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎上地廣敏君

四、五点質疑をしたいと思います。

まず、50ページの３款２項４目保育所費の中の22節償還金、利子及び割引料で3,627万8,000円の説明。それと、同じ50ページですけれども、前後しますけれども、３款２項１目児童福祉総務費、同じく22節の償還金、利子及び割引料の1,347万7,000円。

それから次､54ページの６款１目２目農業総務費の中の農業振興地域整備促進事業で27万5,000円の委託料が計上されておりますけれども、この説明と、同じく54ページの６款１項５目農地費、農地事務費の工事請負費1,629万7,000円、それから農業基盤整備促進事業費の2,192万4,000円、この２点の説明。

次に､57ページ、８款２項２目道路維持費の中の委託料716万1,000円の説明をお願いしたいと思います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

まず、補正予算書50ページ、３款民生費、２項児童福祉費、１目児童福祉総務費、22節償還金、利子及び割引料の1,347万7,000円の説明でございます。本予算は、児童福祉事務費の各種事業に係る国、県支出金等返還金の予算です｡令和５年度の事業実績精算により不用額が生じたための返還金となっております。８事業の合計で1,347万7,000円となっております。

それと、もう一点、同じく補正予算書50ページ、３款民生費、２項児童福祉費、４目保育所費、22節償還金、利子及び割引料の3,627万8,000円のご説明でございます。本予算は、教育・保育施設を対象とした財政支援で給付する費用を求める公定価格が増額されたことにより、運営給付費の総額を前年度実績比で１億6,314万1,000円増額して国及び県に交付申請を行っておりましたが、施設事業所の各種加算の適用が伸びなかったことから、交付申請額よりも実績額が下回ることとなりました。交付決定受領済みの金額と実績との差額を返還する必要があることから、今回の補正予算計上となっております。

◎農林水産部長（石川博幸君）

私からは、３点お答えいたします。

まず、54ページ、６款農林水産業費、２目農業総務費の12節委託料の農業振興地域整備促進事業の委託料27万5,000円の内容についてでございます。農業振興地域整備計画総合見直しに係る業務を委託するため、令和６年度当初予算において、令和６年度から令和９年度までの債務負担行為を設定しております。当初令和６年度においては契約行為のみを行い、業務開始は令和７年４月１日からとしておりましたので、本年度の予算はゼロ円となっておりました。前回の総合見直しの際には委託業務期間を２年９か月で契約しましたが、農地をめぐる社会状況が変動し、農振除外の申請が増加したこともあり、見直しに５年近く要しております。今回も現在の問合せ状況などから農振除外の申請が前回よりも増加するものと予想され、全ての見直し作業を令和10年３月末までに終了するために前倒しで着手したほうがよいと判断し、今回その前倒しする基礎調査、現行土地の利用状況とか改良計画、都市計画、道路整備などの将来見通しの基礎調査を実施するための経費を計上しているところでございます。

続きまして、６款１項５目農地費の工事請負費でございます。農地事務費の中の工事請負費1,629万7,000円の内容についてでございます。これは、平良西仲宗根の保里２区に位置しております農道の未舗装部分250メートルの舗装工事の予算を計上しております。本農道ですけども、近隣の宅地化に伴いまして通行車両が増加しております。路盤の状況が悪くなっており、９月に保里２区自治会から、地域の住環境整備のための整備要請を踏まえたものとなっております。

続きまして、農業基盤整備促進事業の中の工事請負費2,192万4,000円の内容でございます。この工事費ですけども、農業基盤整備促進事業として後前竹地区、大牧南地区、竹原地区など７地区が対象となっております。当初予算において５億7,225万7,000円を予算化されましたが、県のほうに事業効果促進のために予算増額を要望したところ、県補助金が増額されることになったため、今回予算を計上しております。関連しまして、歳入予算の36ページに、17款の県支出金に２項４目農林水産業費県補助金として2,049万1,000円を計上しているところでございます。

◎建設部長（川平陽一君）

一般会計補正予算の57ページです。８款２項２目道路維持費の中の12節委託料716万1,000円の補正です。この業務は、道路管理システム構築業務と道路反射鏡管理データ作成業務の合計額の補正となります。道路管理システム構築業務は、サーバーで管理を行います。また、道路反射鏡管理データ作成業務は、宮古島市全域の既存の反射鏡、カーブミラーになります、の調査を行い、より詳しい情報、写真、どの市道にあるのか、また修理の履歴等を道路管理システムで管理を行います。現在道路台帳作成業務を令和３年度から令和６年まで実施しておりますので、当業務は関連する業務となっております。

◎上地廣敏君

再質疑をいたしますけれども、54ページの27万5,000円の委託料ですが、農林水産部長の説明では令和６年度から令和９年度、いわゆる３年間ですか、かけて総合整備、いわゆる農業振興地域整備促進事業の総合見直しに係る部分について、実際は令和７年度から予定をしておりましたけれどもということで令和６年度の予算が計上されていなかったということで、今回補正で令和６年度から入っていくというふうな説明だったと思いますけれども、前回２年９か月かかってその農業振興地域整備計画の見直しがされた。今

回は、令和10年３月の農業振興地域整備計画の見直し完了を目指して、今のうちから申請を受付を開始をしていきたい、あるいは農地の状況等を調査して、それに備えていきたいというふうなことだと思うんですが、委託先をどこを予定をしているのか、その辺をひとつお答え願いたいと思います。

それから、８款２項２目道路維持費のほうはカーブミラーとか、道路管理システムなどを活用して、従来にも増して道路管理を徹底していこうというふうなことだと思うんですけれども、現在の市道、特に観光地へ通じる幹線道路など、ほとんどがもう管理作業が全くされていないところが大変たくさん見受けられます。特に下地地区においても、前浜へ通じる道路、あるいは東急リゾートへ通じる道路、クルーズ船が入港するたびに観光バスがもう何十台というふうな形でこういった道路を通るわけでありますけれども、歩道が設置されておりますが、人が歩ける状態の歩道の管理ではないですから、昨年まではいろいろ道路管理も徹底してされていたと思っていますけれども、特に今年度、令和６年度に入ってから道路の管理作業が全くされていないというふうに言っても過言ではないと私は思っております。システムでいろいろカーブミラーだとか、あるいは交通安全施設などの管理をやっていくと思うんですけれども、ぜひ歩道の管理についても適正に管理されて、市民が歩道を安全に歩行できるような状況になっているのか、その辺の管理もしっかりとやっていただきたいと要望しておきます。

１点だけ、委託先について、どこを検討されているのかお答え願いたいと思います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

業務の委託先でございます。10月に指名競争入札を行いまして、10月25日に契約を締結しております。受託者は、沖縄本島にあります日本工営都市空間株式会社沖縄支店でございます。ちなみに、委託業務期間、前回２年９か月で契約したんですけども、見直しに５年近くかかったということがありますので、今回は前倒しで着手して、７月までに申請の受付を開始していきたいというふうに考えております。

◎上地廣敏君

今の農林水産部長答弁を確認したいんですが、申請の受付はこれから始めて、この受付は令和９年度まで続きます。その辺のところをはっきり答弁していただければと思っておりますが。

◎農林水産部長（石川博幸君）

スケジュールを申し上げます。基礎調査を今定例会で予算可決後から着手しまして、土地の現況図作成を来年の４月までに終えたいと考えております。その後住民説明会を実施しまして、７月から８月末まで申請受付を実施してまいる予定でございます。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎狩俣勝成君

私からも１点ほど質疑をさせていただきます。

議案書の75ページ、議案第106号、議決内容の一部変更についてでございます。し尿等処理施設整備工事（プラント電気）変更に基づく議案ですけども、先日行われました臨時会において予算は可決されました。その中で、後で内訳書を確認したところ、現設計では機器費３億2,430万円、あと直接工事費7,438万円余の設計でありました。設計変更後の内訳書の中にいろいろ書いてあったんですけども、恐らくこの赤で示された水処理用水設備補助継電器機能増設、そしてし尿処理ＬＣＤ監視制御装置追加とありますけども、

これの種別の欄に機器類というのが表示されていなくて、直接工事費はあるんですけども、これは機器費に当たるのかどうか、もし当たるのであれば、もしよろしかったら機器費の合計と直接工事費の合計をお伺いしたいと思います。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時40分）

再開します。

（再開＝午前10時41分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の機器費ということです。当初設計額が３億2,430万円、変更設計額が３億4,989万円、直接工事費、当初設計額が7,438万4,172円、変更設計額が7,778万794円となっております。

◎狩俣勝成君

環境衛生局長、本来なら臨時会で質疑することだったと思っていますけども、では直接工事費の中の内訳といいますか、このレベルの項目について説明を求めますけども、例えばこれには輸送費等は入っていないのかお伺いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時42分）

再開します。

（再開＝午前10時44分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

輸送費は含まれております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時44分）

再開します。

（再開＝午前10時44分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

設計変更の際に見積りを徴取した中に、輸送費は増額でなくて、これまでの金額で大丈夫だということでの見積りだったというふうに聞いております。

◎狩俣勝成君

なぜ私がこれを聞いたかというと、当初この工事に関して、私は表決の際に反対に回りましたけども、そのときの内訳書に不備があるんではないかということで、そのときの機器費の中の内訳が入札書に明記されていなかったということでありましたけども、今回もこの内訳書に、当局が作ったと思うんですけど

も、ここに機器費という種別の欄にないものですから、これは確認しました。それを込めて、今でもその当時の内訳書は無効ではなかったかというのは、当局の皆さん、今ではどう考えているのかお伺いします。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時46分）

再開します。

（再開＝午前10時46分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

適正に積算されているものと考えております。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎下地信男君

議案第74号の令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）のページ数は64ページ、10款教育費ですけども、３項中学校費の１目学校管理費の中の光熱水費が1,818万5,000円、これ補正されています。電気料の値上がりなら、小学校も補正があっていいかなと思うんですけど、小学校にはないんです。電気料の補正がありませんので、これは中学校の何か特殊事情があったのかなということで、なぜ補正が光熱水費が1,800万円余も不足になったのかということをお答えください。

67ページ、これも10款教育費です。６項２目体育施設管理費の中の機械器具費というのが225万6,000円あります。これはどこに備え付ける機器なのか。

それから、６項３目給食センター運営費、賄材料費498万7,000円、これは多分食材の補正だと思いますけども、年間を通した、この中でやはりどうしても足りないという部分で、これ毎年補正されていますけども、地域食材の活用なども併せてどうなっているのかということを、増額の要因と、その辺お答えください。

これ補正予算にないんですけど、気になったのが職員の給与、これ沖縄県人事委員会の勧告、私の情報不足だったらすみませんけど、いつもだったら８月に人事院の勧告があって、11月頃に条例改正して、ボーナスの前に条例改正などがあるんですけど、この動きがなかなか今回見えないので、職員の給与の改定については、多分国家公務員は増額になっていると思うんです。これ連動すると思いますので、市はなぜやらないのかということをお答えください。

もう一つは、議案第91号、公共施設等運営権の設定について、これ議会の議決というのは、多分今回がＰＦＩ法では最後だと思うんです。運営権の事業者の実施契約というのは、多分事業者と市が締結するんですけども、そのときにはもう公表のみで終えているんです。ＰＦＩ法ではそうなっています。今回この平良庁舎のリニューアルを、これ相当大きな事業だと思います。目玉事業、市民が注目している中で、事業の概要をぺら１枚で、これで審査してくれと。私たちは、議員は審査するというんですが、この事業内容を知るすべがあのＡ４の紙ぺら１枚、Ａ３でしたっけ、何かどこかでしっかり具体的な説明があってしかるべきだと思いますけども、これは法律上やむなしですか。できたら詳しい説明を、概要ではなくて。

実施契約というのですか、多分改修が終わって、事業が始まる前に市と締結する、少なくともそういう内容は事前に想定できる部分を入れて議会に提案すべきだと私は思いますけど、その辺の見解をお聞かせください。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時51分）

再開します。

（再開＝午前10時52分）

◎総務部長（與那覇勝重君）

２点ほどご質疑がございました。

まず最初に、給与の改定の件でございます。従来ならば、11月に人事院勧告を受けまして、11月に閣議決定がされます。それを受けまして、11月末で従来は臨時会等を開いて予算計上して、人事院勧告に対応しているところではございますが、ご存じのとおり衆議院が解散しまして、そこの部分が大幅に遅れたということでございます。これも先月ですか、閣議決定がされたということで、当局としましては12月、今定例会に間に合わないので、１月上旬頃臨時会を予定しているところでございますので、そのときに人事院勧告で上がった分といいますか、そこにつきましては１月の臨時会で対応したいというふうに考えております。

あと、公共施設等の運営費の設定についてでございます。昨年事業者を公募しまして、事業者の企画提案を審査しまして、選定事業者として選定済みでございます。本事業は、改修工事、事業運営を選定事業者の費用負担で実施していくことから、改修工事や事業計画について議決を要するものではなく、選定事業者に平良庁舎の運営権を設定し、平良庁舎を活用して事業運営を行っていく内容の議案となっていることから、議員の皆様には事業計画提出書類をまとめた概要を示したところでございます。下地信男議員ご指摘の丁寧に説明すべきではないかということがございますので、概要以外の資料を提示することも可能でございますので、平良庁舎のＰＦＩ基本計画、あとは事業計画書、収支計画書、あとは事業の工程表、下地信男議員からございました公共施設等運営権実施契約書案につきましても提供できますので、全議員に提供したいというふうに考えております。

◎教育部長（砂川　勤君）

私のほうからは、補正予算書、まず１点目、64ページ、10款教育費、３項中学校費の１目学校管理費の光熱水費1,818万5,000円でございます。光熱水費積算根拠といたしましては、上半期、伸び率が前年度と比べて1.2倍になっているものですから、前年度の見込みをそのまま下半期に当てはめた場合に1,800万円の不足が生じると。小学校費に関しては、1.1倍程度の伸びなんですけども、当初予算でその辺りは見込んでおりまして、予算範囲内に収まるという見込みでございます。

続きまして、67ページ、10款６項３目給食センター運営費の賄材料費498万7,000円、当初予算で３億2,600万円ほど予算計上しておりました。この498万7,000円というのが修繕費を６月に流用いたしました。それに戻したいという修繕費用、平良学校給食共同調理場の場合は照明器具取替えとか冷凍ユニット取替え工事、あとは上野学校給食共同調理場のステンレスフード取替え工事、どうしても夏休み期間中に設備

の修繕を行いたいということで緊急に６月に流用しまして、７月、８月をもって修繕を行ったというところでございます。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

一般会計補正予算、67ページ、10款６項２目体育施設管理費の機械器具費225万6,000円は、乗用芝刈り機購入費用です。どこに設置する予定かということですが、城辺陸上競技場に設置予定でございます。

◎下地信男君

今の10款６項２目体育施設管理費の芝刈り機、城辺陸上競技場にだけ。下地陸上競技場にはやらないんですか。下地陸上競技場には置かないんですかということ。

賄材料費は、修繕をこの賄材料費から流用したという話ですよね。あと不足になる、穴の空いた部分を今回補正すると、こういうやり方ってやはり使いますよね。後で面倒くさいですよね。何か方法がないかなとか考えたほうがいいような気がしました。

公共施設等の運営管理権の件ですけども、今回も指定管理費については、もう契約書いっぱい出して、中身は見通せるようになっているので、やはり今後この資料をしっかり議会には提案していただきたいなと思いますので、総務部長、よろしくお願いします。質疑を終わります。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎久貝美奈子君

お願いします。議案第74号の令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）、56ページ、８款土木費の１項１目18節負担金、補助及び交付金、先ほど下地茜議員からもありました、宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業について質疑します。この補正について、前９月定例会で一般質問でも質問しまして、確かに答弁のほうで12月定例会で補正をして進めていくというふうに答弁いただいたんですけれども、この60万円の計上について、大体何世帯ぐらいを見込んでいるのか、あと１世帯当たり大体何万円ぐらいの補助になるのか、もう少し具体的なことを教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

56ページです。宮古島市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業のです。この事業は、県が４分の３、市町村が４分の１負担をします。その中で１戸当たり上限が２万円を予定しております。今回の補正は、２万円の10戸を予定しております。

◎久貝美奈子君

専用住宅というところ、県のほうに、たしか９月定例会の答弁で登録をする必要があるというふうに答弁いただいたと思うんですが、実際に補助を受けられる専用住宅について、少しどういった住宅なのか教えていただけますか。例えば民間のアパートなのか、空き家なのか、そういった、市民の方が実際にこの補助を受けるときにどういった住宅が専用住宅として県のほうで登録されるのか少し教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

すみません。先ほどの答弁ですけど、上限２万円の10戸の３か月分を、今回の補正は60万円を計上しております。

この事業の概要としましては、低所得の高齢者、または子育て世代、障害者等が入居する専用住宅に対

する家賃の一部を補助する事業でございます。この家賃の補助は、例えばアパートを経営している大家と市が契約を結びまして、補助を行います。民間のアパートへの補助です。

◎久貝美奈子君

３回目です。この補正が計上されていますが、今後のスケジュールについて少し教えてください。この事業のスケジュールについて教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

今定例会で補正を行いまして、承認を得た段階で、これ市はもう要綱は設置しておりますので、この後事業に取り組んでいきます。次年度も、今年度の状況をまた見まして、継続するかは検討してまいります。

（「具体的に募集とかのスケジュールって決まっていますか」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時04分）

再開します。

（再開＝午前11時05分）

◎建設部長（川平陽一君）

今後のスケジュールとしましては、補正を承認していただいた後に、これは民間のアパートの大家といろいろ調整しまして、あとは不動産を改築しまして、その辺はスケジュールについては募集は行って、募集といいますか、申請が上がってこなければ対応できませんので、その辺を説明していきたいと思います。

◎狩俣政作君

３点ばかりお願いいたします。

まず、49ページの先ほどの３款民生費、１項４目障害者福祉費の説明欄で児童発達支援事業所給食費等の助成事業、これたしか令和５年10月に始まったものだと認識をしております。たしか対象年齢が零歳から３歳だったと思うんですが、そのときの１年ぐらいかけて質疑してきて、たしか35人ぐらい該当するって言っていたんですけど、先ほどの下地茜議員への答弁に対して70人を予定していた、それが14人ぐらい、これ全ての事業者が利用していないという話もしていたんですけど、その理由を教えてください。

その次に、52ページの４款衛生費、１項１目の保健衛生総務費の説明欄、骨髄バンクドナー助成事業140万円、これもたしか令和５年６月に一般質問をして、今年の当初予算で140万円入っていて、それが１人大体１日２万円の７日分で14万円で10人分という話を聞いていたんですけども、これが補正に出ているということは、同額が、人数が増えているのかという確認を教えてください。

あと１点、54ページ、６款農林水産業費の１項５目農地費、説明欄で農地事務費1,800万円余りなんですけど、これ保里２区自治会で要請を行った農地と思いますけども、この工期が分かれば教えてください。

◎福祉部長（守武　大君）

児童発達支援の事業所の給食費助成ですけども、当初始めた頃は35人ということでスタートしましたが、年々利用者が増えていって、このままでは最大で70人になるだろうということで、その方たち全員が毎日利用したということで計上していたところです。実際に合わせて今回減額しておるんですけども、事業所

によっては提供をしていない事業所もありますし、提供しても、毎日提供しているわけではなく、時期的に多かったり、少なかったりもするという状況です。一応実際提供はしているけども、請求していないという事業所がどれぐらいあるかというのを確認する必要があるのかなと思っているところです。ぜひ利用していただきたいなとは思っております。

◎農林水産部長（石川博幸君）

54ページ、６款農林水産業費、１項５目農地費の14節工事請負費1,629万7,000円でございます。これは保里２区自治会からの要請に基づく農道の舗装工事となります。工期ですけども、補正予算成立後すぐに工事発注を予定しているところなんですけども､舗装工事は年度末にかけて島内での発注が集中すること、あと天候等の影響を考慮しまして、今回補正予算と同時に９ページの第２表のほうに繰越明許費として同額を設定しております。工事は、遅くとも来年の４月までに完了したいというふうに考えております。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

52ページ、４款衛生費の１項１目保健衛生総務費、18節負担金、補助及び交付金、これの骨髄バンクドナーの事業なんですけれども、狩俣政作議員は10名分当初予算でという話をしたんですけど、当初から１人分で14万円計上していました。これが申請があって、もう予算執行されたため、今後のために１人分また計上するということで14万円の補正計上となっております。

◎狩俣政作君

福祉部長、先ほどの児童発達支援事業所の給食なんですけど、これを提供していない事業者もあるという話でしたけども、その提供していない理由、例えば同じ障害を持っていても、この事業所に行けば提供している、ここに行ったら提供していないという、何か差があったらいけないのかなと思う部分が気になります。それと、例えば自己負担で請求してもいいよ、自分たちはやってあげるみたいな事業所があると思うんです。そういう部分ではしっかりと把握していただいて、請求額を払っていただけるのがいいのかなと思うので、その提供していない事業者の理由を聞かせてください。

市民生活部長、分かりました。ありがとうございます。

農林水産部長、年度末に集中するんですけども、明許繰越であるけど、４月までには完成できると自信を持って私言っていいですか、自治会に。その辺の確認をお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

年度末の工事の舗装の混み具合に、アスファルトの提供の混み具合にもよりますけども、できれば年度内に完成させたいというふうには思っております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時13分）

再開します。

（再開＝午前11時13分）

◎福祉部長（守武　大君）

実際に給食とかおやつとかを提供していて、この制度を利用していないという事業所がどこなのかというのが今私のほうで把握できていない部分もあるんですけども、事業所によっては、通われるお子さんた

ちが午前中だけとか、そういうこともありますし、事業所によっては調理員を置いていない事業所等もありますので、どちらにしても市としては、お菓子だけでももし提供しているのであれば、この制度を利用していただきたいなと思っておりますので、実態を把握してからちゃんと請求できるような仕組みづくりを考えていきたいなと思っております。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎友利光徳君

議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更についての41ページの農林漁業経営近代化施設と保育所・児童館の事業の説明をお願いします。

次は、45ページの、一緒なんですけど、農林漁業経営近代化施設と観光またはレクリエーション施設で、ついでですので、辺地度点数というのがありますよね。これのつけ方を少し勉強のために教えてください。

それと、議案第91号、公共施設等運営権の設定についての公共施設の運営権の存続期間ですけども、20年というのはどこから出てきた20年なのか説明をお願いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時16分）

再開します。

（再開＝午前11時18分）

◎総務部長（與那覇勝重君）

２点質疑があったと思っておりますので、お答えしたいと思います。答弁漏れがありましたら、ご指摘いただきたいと思います。

まず、平良庁舎の運営権の設定の20年でございますけど、特に法律的な縛りはございませんが、平良庁舎の耐用年数等を加味しまして、20年というふうに設定をさせていただいております。

あと、辺地の件でございます。辺地は全部で15地域ございます。今回は、下里辺地、西城辺地、砂川辺地、城辺辺地、伊良部北辺地、伊良部南辺地の６辺地で実施する事業費の変更によるものとなっております。

◎農林水産部長（石川博幸君）

議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更についての41ページ、伊良部北辺地と45ページの伊良部南辺地に係る農林漁業経営近代化施設の内容についてでございます。これは、県営事業の負担金に充てる辺地債の増となっております。

すみません。説明が不明瞭でした。県営土地改良事業の負担金に充てるものとなっております。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

議案書41ページの辺地債の部分で、保育所児童館についてでございます。該当するのは、伊良部児童館の建設工事に充当いたしたいと思っております。

◎議長（平良敏夫君）

答弁漏れあります。休憩。

（「総務部長、僕が聞いているのはね……」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時21分）

再開します。

（再開＝午前11時22分）

◎総務部長（與那覇勝重君）

失礼しました。議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更についての辺地に係る部分で、算定方法はということでございます。基本的には、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の施行規則のほうに算定方法がございます。例えば離島であるということの点数であるとか、あとは船着場から本土までの月間平均の定期運行の回数等により点数が加算されるということがございます。その加算された点数が100点以上の地域が辺地というふうに該当するということになっております。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

伊良部児童館の事業の手続といいますか、スケジュールについてお答えさせていただきます。

今後工事の執行の手続を進め、仮契約、その後議会議決の承認を得て、令和８年１月末に完成予定となっております。そして、令和８年２月に供用開始を予定しております。

◎友利光徳君

それでは、こども家庭局長のほうにお尋ねをしますけども、皆さんと、事業者は民間のほうですよね。これ双方の意見の相違というのはありますか。それとも、スムーズに流れていますか。その辺を少し。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時24分）

再開します。

（再開＝午前11時24分）

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

受託事業者との調整内容といいますか、業務内容がスムーズにいっているかというお話ではございますが、受託事業者のほうからは土地利用に関してのお話はございます。ただ、まだどうするという結論は出ておりませんので、今協議をしている段階でございます。

◎友利光徳君

やはり子供の減少というのは地域の活性化につながるので、事業所の、事業者の意見もよく聞いて、工期内に、期限内に完成するように強く要望して終わります。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

◎粟国恒広君

私からも２点ぐらい質疑をしていきたいと思います。

まず、一般会計補正予算総括表の中で、港湾事業特別会計、平良港ターミナルビルの運営費332万2,000円、その辺の説明をお願いします。これ運営というと清掃委託業務とか、いろんな警備が含まれると思うんですけど、その辺の内容の説明をお願いしたいと思います。

それと、議案第79号、令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）です。その中で、今回債務負担行為の中で水質検査委託業務が含まれています。令和７年度から令和９年度、5,100万円。その中で、水質調査というと、今いろんな形でネオニコチノイド系の検査も含まれるのか、もちろん法定検査が主体となるんですけど、そういった検査項目が入っているのか、その辺をお聞かせください。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時27分）

再開します。

（再開＝午前11時27分）

◎水道部長（下地貴之君）

議案第79号、令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）についてお答えします。

債務負担で設定されております水質検査委託業務、これまでと同様の検査であります。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時28分）

再開します。

（再開＝午前11時28分）

◎水道部長（下地貴之君）

これまでどおりでありますので、それも含まれております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時28分）

再開します。

（再開＝午前11時29分）

◎建設部長（川平陽一君）

総括表の中の港湾事業特別会計の件です。この総括表の金額は光熱水費です。光熱水費は……

（議員の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時30分）

再開します。

（再開＝午前11時31分）

◎建設部長（川平陽一君）

平良港ターミナルビルの運営費の修繕費332万2,000円です。この修繕費は、平良港ターミナルビル給水加圧ポンプの取替えの修繕費となっております。

◎粟国恒広君

私これ運営費と書かれているから、わざとこの質問をしたと。これ修繕費ですか、では。ポンプの修繕費。

（「はい」の声あり）

◎粟国恒広君

ということは、維持管理費の修繕費という感じで本来なら計上するのかなと思っております。ポンプの修繕費、でもこれちゃんと運営費と書かれているんですよね、項目に。その辺を分かりやすくやはり説明してほしかったなということを指摘しておきます。

それと、水道部長、今回、今法定検査でネオニコチノイド系の検査が含まれているという答弁がありました。この検査というのは宮古島全体で何か所ぐらいやっているのか。これずっと水質検査委託業務に関しては、これまで債務負担行為で行ってきたと思うんですけど、やはり今宮古島市地下水審議会でも大きく取り上げて、つい最近もその発表会、いろんな研究会があったんですけど、そこにはやはりこのネオニコチノイド系の、農薬系統ですね、それが大きくうたわれているので、そういう水質検査については何か所ぐらいを予定して、例えば年に何回ぐらいやって公表していくのか、その辺を説明をお願いしたいと思います。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時33分）

再開します。

（再開＝午前11時34分）

◎水道部長（下地貴之君）

検査水源地につきましては13か所､検査結果につきましては水道部のホームページで公表しております。年４回行っております。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時34分）

再開します。

（再開＝午前11時34分）

ほかに質疑はありませんか。

◎上里　樹君

議案第91号、公共施設等運営権の設定について伺います。

宮古島市が初めて導入するＰＦＩなんですが、この間私一般質問等でもこの問題については公共性、そ

れとの関係から、民間に任せてやっていく事業の運営というのはそぐわないのではないかということを指摘してまいりました。そこで、運営権の設定になっていますけども、この運営権の設定という場合に、地方自治法で定めるいわゆる公共性を守る観点から、平等や機会の均等の観点からの地方自治法との関係で、要するに施設利用に当たっては利用料の設定を自治体が所有する施設については条例で定めたりしますけども、運営権を設定するということになると、全てそれが事業者の権利になってしまうということになりますか。その点をお伺いします。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時36分）

再開します。

（再開＝午前11時37分）

◎総務部長（與那覇勝重君）

ご指摘の点ですけども、公共施設の運営権を民間事業者に設定するわけとなりますので、基本的には民間事業者のほうで賃料等の設定はしていくというふうになります。

◎上里　樹君

やはり公共施設ですから、住民の利益にかなう、そういう運営がされるべきだと考えます。ですから、その場合に民間が事業を営むという場合には、どうしても利益を出さなければ運営できないわけですよね。けれども、その所有は市の施設のままですから、それとの整合性で、やはり住民が利用に当たってメリットがある、そういう公共性というんですか、その観点からのサービスの低下、それがあってはならないと考えます。ですから、そういう場合に全て事業者が権利を持つわけですから、そうなった場合に住民の側が不平や不満を述べてきた場合に自治体がコントロールしていく、そういったことは可能なんでしょうか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、全体のコンセプトとしまして、宮古島市の住民と観光客が交流する場を提供するということがございます。上里樹議員ご指摘の件に関しましても、事業者としっかり意見交換はできると思っておりますので、そこら辺は事業者と意見交換しながら、よりよい施設になっていくように調整していきたいというふうに考えております。

◎上里　樹君

事業者といろいろ協議していくということなんですが、やはり利益を追求する民間というのは、利益がどうしても発生しなければならないです。ですから、そういった観点から考えると、公共性の役割というのは、継続的な住民サービスを保障する、その観点がどうしても重要です。ですから、それとの関係で、長期間の20年ですから、それを運営していく民間が時の経済的な変化や、新型コロナウイルスが発生したり、いろいろその時々の環境が経済状況に影響を与えるような事態も想定されます。例えば災害等もそれに関わるかと思います。そうなった場合に事業者が引き上げてしまう、そういうことも想定されます。それから、自治体が事業者との相談で新たな負担を、持ち出しをせざるを得ないような状況というのも想定されるかと考えますけども、そこら辺についてどのように考えますか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

災害等あったときであるとか、当然業績不振というご心配があるというのは承知しているところでございます。まず本事業におきましては、事業年度ごとに、運営・維持管理業務の履行状況につきまして、財務書類等を含めた業務報告書を市に提出するよう義務づけているところでございます。市は、その業務報告書により業務の実施状況、施設の管理状況、収支状況等の確認をしまして、運営権者が適切かつ確実に履行しているかモニタリングをしてまいる予定でございます。また、資金融資をしております金融機関も同様にモニタリングしていくと思いますので、市と金融機関で注視しながら、運営権者が経営悪化等に陥らないように努めていきたいというふうに考えております。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております36件のうち、日程第１、議案第74号から日程第33、議案第106号までの計33件については、議案付託表のとおり各所管委員会に付託します。

なお、議案第74号の歳出については、歳出款項別審査委員会表により、所管委員会のご審査をお願いします。

お諮りします。日程第35、同意案第23号及び日程第36、同意案第24号の２件については、会議規則第37条第３項の規定により委員会付託を省略し、最終本会議において処理したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これで本日の日程は全部終了しました。

よって、本日の会議はこれにて散会します。

（散会＝午前11時44分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月10日（火）　　３日目

（一　般　質　問）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第３号

令和６年１２月１０日（火）午前１０時開議

日程第 １　　一般質問

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１０日（火）

（開議＝午前10時00分）

（延会＝午後３時28分）

◎出席議員（２２名）

議長（２３番）	平良敏夫君	議員（１１番）	上地堅司君
副議長（１８〃）	長崎富夫〃	〃（１２〃）	仲間誉人〃
議員（１〃）	久貝美奈子〃	〃（１３〃）	平良和彦〃
〃（２〃）	下地茜〃	〃（１４〃）	下地信広〃
〃（３〃）	砂川和也〃	〃（１５〃）	我如古三雄〃
〃（４〃）	狩俣勝成〃	〃（１６〃）	欠員
〃（５〃）	富浜靖雄〃	〃（１７〃）	西里芳明〃
〃（６〃）	下地信男〃	〃（１９〃）	友利光徳〃
〃（７〃）	欠員	〃（２０〃）	上里樹〃
〃（８〃）	狩俣政作〃	〃（２１〃）	粟国恒広〃
〃（９〃）	山下誠〃	〃（２２〃）	上地廣敏〃
〃（１０〃）	池城健〃	〃（２４〃）	山里雅彦〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸君	環境衛生局長	下地睦子君
企画政策部長	久貝順一〃	会計管理者	下地美明〃
総務部長	與那覇勝重〃	水道部長	下地貴之〃
福祉部長	守武大〃	消防長	上地一史〃
市民生活部長	狩俣博幸〃	企画調整課長	前原敦〃
農林水産部長	石川博幸〃	総務課長	豊見山徹〃
建設部長	川平陽一〃	財政課長	国仲英樹〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗〃	教育長	大城裕子〃
産業振興局長	下里盛雄〃	教育部長	砂川勤〃
こども家庭局長	幸地幹夫〃	生涯学習部長	天久珠江〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦君	次長補佐	与那嶺彰成君
次長	仲間清人〃	議事係長	国吉たかよ〃

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）諸般の報告書

令和６年１２月１０日（火）

１２月　５日	総務財政委員会が開催され、総務財政委員会副委員長の議員辞職に伴い、副委員長の互選が行われ、指名推選により砂川和也委員が選任された。 以上

一　般　質　問　通　告　書

発言順位	1	議員番号	15	氏　　名	我如古　三　雄
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．旧上野庁舎植物工場整備について ①旧上野庁舎に離島の食料葉野菜の安定供給と地域内経済循環に資する目的で整備される植物工場の概要について伺う。 ②入居する事業者と施設の供用開始時期について伺う。 ③旧上野庁舎地産地消振興センターへの民間事業者の入居状況について伺う。 ④雑草等で荒れ放題と化した上野庁舎周辺の環境整備について伺う。 ２．コロナ収束後の経済効果について ①コロナ収束による入域観光客等の増加と、クルーズ船寄港に伴う観光消費額と本市に与える経済効果について伺う。 ②令和７年クルーズ船の寄港予定に伴う二次交通の課題対策について伺う。 ③クルーズ船の寄港増加に伴う係船料について伺う。 ３．市長の公約実現について ①来年１月をもって任期満了を迎えようとしている。振り返って市民に示された公約を中心にどのような成果をもたらしたのか伺う。 ４．陸上自衛隊の税収について ①陸上自衛隊駐屯地の隊員、家族のもたらす税収が本市に与える効果について伺う。
２．公共施設の適正な処理について	１．宮古島市肉用牛センター施設の使用について ①畜舎、倉庫の耐用年数について伺う。 ②畜産農家が畜舎として使用しているが今年度末までの使用期限となっている。市の個別施設計画に基づき売却に向けた適正な手続が必要と考える。当局の見解と今後の取組について伺う。 ２．宮古島市総合交流ターミナル施設の売却について ①市の個別施設計画に基づき売却に向けた適正な手続で解決に向け早急に処理すべきと考えるが、市の見解とこれからの取組状況について伺う。 ３．宮古島市指定管理施設について

	①指定管理施設の指定の現状について伺う。 ②施設の指定管理者募集の方法について伺う。
3．福祉行政について	1．子供の貧困緊急対策について ①生活困窮世帯、就学援助対象世帯の子供に対する居場所の提供、食事の提供や共同での調理、生活指導、学習支援、就学継続のための支援状況について伺う。
4．農業振興について	1．今期のサトウキビ生産見込みについて ①今期のサトウキビ作型別による生産見込量について伺う。 ②ハーベスター収穫申込状況について伺う。 2．収入保険について ①農業共済事業運営負担金、収入保険加入推進事業の農家負担金共済掛金の助成について伺う。 ②家畜伝染性疾病の発生予防対策について伺う。
5．公園整備について	1．大嶽城址公園展望台整備について ①大嶽城址公園展望台整備工事の進捗状況と供用開始時期について伺う。 ②野球場、テニスコート等の外周の倒壊したフェンスの整備について伺う。
6．環境衛生について	1．不法投棄ごみ対策について ①不法投棄・散乱ごみ監視事業で設置した監視カメラの稼働状況と抑止効果、今後の設置計画について伺う。 ②ドローンの活用、宮古島市公式ＬＩＮＥを活用した市民からの通報制度等による監視強化処理対策の推進、官民連携の対策委員会を設置して取組を強化する必要があると考えます。見解を伺う。
7．水道水農薬複合汚染対策について	1．水道水農薬複合汚染対策について ①地下水、水道水農薬複合汚染対策を求める請願について市の見解を伺う。 ②袖山浄水場、加治道浄水場への高機能活性炭浄水処理設備等高度淡水処理施設の整備について伺う。

発言順位	2	議員番号	6	氏　　名	下　地　信　男
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
1．市長の政治姿勢について	1．地域賑わい創出事業について 市では昨年度基本構想を策定しているが、以下について伺う。 ①事業の目的について伺う。 ②地域の課題をどのように捉えたか伺う。

	③にぎわいを創出するための基本的な考え方について伺う。
２．観光目的税（宿泊税）について	１．沖縄県で検討されている宿泊税について ①県の検討委員会でされている宿泊税の内容について伺う。 ②観光客のみならず県民へも課税することについて市長の見解を伺う。
３．市財政について	１．令和５年度一般会計歳入歳出決算審査意見書において、経常収支比率が対前年度比で、2.1ポイント上回り、経常経費の抑制に努めることが求められているが、講じる方策について伺う。
４．農林水産業振興について	１．土地改良事業について ①下地地区竹アラ地区の圃場整備について、県への工事完了の手続を終えたとの部長答弁がありましたが、受益者によると今後も冠水対策の工事を実施するとのこと。このことに対する説明を求める。 ②工事が遅れたことによる損害について受益農家から損害賠償請求訴訟の提訴がなされたことに対する市長の見解を伺う。 ③市は、工事が遅れたことにより農家に損害を与えたと市の責任を認め、営農による支援を実施するとしていたが、農家への説明などは実地したか伺う。 ④下地地区の竹アラ第２地区の事業採択に向けた進捗状況について伺う。 ⑤竹アラ第２地区は工期が大幅に遅れた竹アラ地区の土質、排水環境が似ている地域である。竹アラ地区での施工遅れの反省を踏まえてその対策を伺う。 ２．畜産業の振興について 子牛の販売価格が低迷する中で、畜産農家の自助努力だけでは経営は厳しい状況にある。市では宮古島市和牛子牛価格安定緊急対策事業補助金を創設し、農家を支援することとしている。そこで以下について伺う。 ①事業の内容について伺う。 ②子牛の価格の変動が予測できない中で１年間のみ事業実施とした理由は何か伺う。 ③農家経営安定のためには、補助金のみならず抜本的な対策を講じる必要があると考えるが市の見解を伺う。 ３．農水産物コールドチェーン体制構築の進捗状況について ①本市のコールドチェーン体制構築への取組状況と本格運用の見通しについて伺う。

	４．久松地区で実施した有機質肥料の実証事業について ①製糖工場の余剰バカスや糖蜜を使った有機質肥料づくりを実施したが、その成果について伺う。 ②その成果を踏まえ今後の展開について伺う。
５．福祉行政について	１．下地地区放課後児童クラブの進捗状況について ①令和７年４月の供用開始を目指して取り組んでいるとのことであるが、現在の進捗状況について伺う。
６．道路行政について	１．市道の白線整備について ①市道延長972キロのうち309キロ（32%）の中央線や側線を補修するとしている。その進捗状況を伺う。 ②市では交通量の多い道路や通学路等を考慮して優先順位をつけて補修する考えを示しているが、全体的に実施しないのはなぜか伺う。
７．防犯行政について	１．自治会防犯灯について ①自治会防犯灯について、ＬＥＤ電球切替え後の電力会社への料金切替え手続を市において実施するとの見解を示していましたが、その後の進捗状況について伺う。 ②市が実施した下地地区地域懇談会でも各自治会長から市による防犯灯の増設要望が多く出された。市長の見解を伺う。

発言順位	３	議員番号	３	氏　　名	砂　川　和　也
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．道路行政について	１．まもる君の配置場所について ①まもる君の周りで違法駐車が増加しており、交通の妨げや事故の誘発の可能性があると市民から相談が寄せられています。当局はどのように認識しておりますか。
２．農村整備行政について	１．竹アラ地区の圃場整備について ①工期が延びている根本的な原因を伺う。 ②今後同様の事案が起こらないような対策を伺う。
３．産業廃棄物行政について	１．宮古島内の産業廃棄物の扱いについて ①令和６年６月定例会で島内処理できない産業廃棄物が二十数種類あると答弁いただきました。排出業者が責任持って処理しないといけないのですが、回収業者・運搬業者・島外の処理業者全部と契約を結びマニフェストを追うのも一苦労です（あきらめて不法投棄になるのも多いと思います）ので、宮古島市が一旦クリーンセンター等で料金を徴収し産業廃棄物を集めるような運用は可能

	か伺う。
４．公営住宅行政について	１．公営住宅について ①宮古島市の公営住宅の適正戸数は何戸数ですか。 ②現在の戸数状況は何％ですか。 ③公営住宅に入る条件等を伺う。 ④公営住宅ＰＦＩ・ＰＰＰの事業内容を伺う。 ⑤賃貸住宅で住民票なしの賃貸契約を結んでいる割合の把握調査を行っているか伺う。
５．公園行政について	１．盛加越公園の遊具について ①遊具がさびており保護者から不安の声が寄せられているが改修予定はあるか伺う。
６．宮古島市省エネ家電製品買換促進補助金制度について	１．補助金の検証効果を伺う。
７．宮古島市奨学金返還支援事業について	１．支援事業の実績を伺う。
８．災害行政について	１．宮古地方防災講演会が開かれ、平良地区で複数の自主防災会を設立することが大事との提言が新聞等で報道されていました。当局の取組を伺う。
９．観光行政について	１．11月23日、24日に前浜ビーチで行われたジェットスキーの大会でトイレが非常に汚れていて不快であったとの声が寄せられています。前日・当日にクルーズ船の乗客が多数利用した後であったのが要因と考えられます。今後同様なケースが起きないよう対策を伺う。
10．水道行政について	１．宮古島地下水研究会から陳情の上がっている高機能活性炭浄水処理設備等高度浄水処理施設について ①導入する場合の予算規模を伺う。 ②導入するとなるとどこの施設が対象となるか伺う。

発言順位	4	議員番号	12	氏　　名	仲　間　誉　人
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．漁業行政について	１．漁業の現状について ①原油価格の高騰に伴い漁具等についても負担増の現状にある。市としての支援策を伺う。 ②次年度へ向けた新たな取組・支援について伺います。 ③クロマグロ漁獲枠の現状について当局の見解を伺います。 ④尖閣諸島周辺海域における安心安全な操業が確保できない現状について当局の見解を伺います。

２．道路行政について	１．道路整備について ①市内各地でカーブミラー、ガードレール、除草、白線の整備など多くの要望があると思いますが、寄せられた件数を伺います。 ②次年度へ向けた取組・対応について伺います。 ２．伊良部横嶽市営住宅駐車場へ出入りの際、隣接する県道204号線街路樹が視界の妨げとなり危険な状態にあります。市営住宅入居者から街路樹の伐採を求める声が寄せられております。対応を伺います。
３．スポーツ行政について	１．伊良部屋外運動施設について ①利用状況を伺います。 ②外構整備について伺います。 ２．伊良部カントリーパークについて ①サッカー利用の状況について伺います。 ②今後の整備について伺います。
４．公園行政について	１．牧山公園活用基本構想について ①11月12日開催された地域住民との意見交換の目的を伺います。
５．都市計画行政について	１．根間公園予定地に隣接するタクシー乗り場について ①公園建設に伴い新たな乗り場の整備について伺います。 ２．佐良浜地区で行われた狭隘道路等の拡幅に向けた勉強会について ①開催目的について伺います。
６．福祉行政について	１．伊良部老人福祉センターについて ①管理体制について伺います。 ②利用状況について伺います。
７．伊良部公民館について	１．伊良部公民館備品修繕について ①進捗状況を伺います。

発言順位	5	議員番号	2	氏　　名	下　地　　茜
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．畜産行政について	１．持続可能なヤギ生産の振興について ①ヤギ生産の振興のため、今後どのような取組を行うか伺う。 ②ヤギ飼育者が交流できる機会の支援について伺う。
２．文化財保護について	１．保良クバクンダイ鍾乳洞における環境保全について ①学術調査後の文化財指定について進捗状況を伺う。 ②地域からは、鍾乳洞に立ち入らせたくないという声も強い。文化財指定後に策定する保存活用計画において、立入りの制限が可能か伺う。 ③保存活用計画において、鍾乳洞の活用状況について管理・監視す

	る役割は誰が担うのか、伺う。 ④県知事認定保全利用協定について、本市の見解を伺う。 ⑤指定管理業者が鍾乳洞へのカヤックツアーを行うとき、本市はどのような管理方針を持つか伺う。
３．保育行政について	１．保育人材の確保について ①本年度より国による保育士の配置基準が変更となっている。保育士確保の状況を伺う。 ②国の配置基準に対する本市の保育士の配置の状況について、前年度との比較を伺う。 ③本市の処遇改善加算の状況について伺う。
４．旧庁舎利活用について	１．平良庁舎利活用計画について ①当初は売却方針であった平良庁舎について、所有権は市が有したまま、民間資金を活用して運営することとなった。経緯を伺う。 ②「宮古島市役所平良庁舎利活用事業実施方針」（令和５年）では、事業コンセプトとして、「公共的機能を備えた集客施設」など複数項目を挙げている。以下のとおり伺う。 ア．平良庁舎利活用の公共的機能として、特に福祉総合センターまたはそれに準じる機能を置く予定はあるか伺う。 イ．バリアフリー化について伺う。
５．環境について	１．水源地におけるネオニコチノイド系農薬の検出について ①白川田水源地におけるクロチアニジンの検出について、令和４年度から令和６年度までの推移について伺う。 ②沖縄県は、宮古島市から要請があれば「高度浄水処理施設」について国庫補助での支援が可能とする。浄化処理施設について検討から始められないか伺う。
６．国民保護計画について	１．本市に配備されている12式地対艦ミサイルについて、ミサイルの燃焼時には塩化水素ガスが発生することが分かっている。こうしたミサイル発射時また被弾時の土壌汚染について、どの程度の汚染状況が発生するか､本市は防衛省より説明を受けたことがあるか伺う。 ２．ミサイル被弾時には、トマホーク巡航ミサイル（爆薬450キログラム）級で直径10～15メートル、深さ３～５メートルのクレーターができ、爆発による圧力が地下に広がることで、10～20メートル範囲の基盤への影響があるとされている。こうしたミサイルの攻撃が複数回行われた際に、宮古島の地下水を抱える地下水脈への影響を、本市は防衛省より説明を受けたことがあるか伺う。 ３．上記の影響を経て、本市の地下水に甚大な影響があった場合も、

	宮古島市民が島へ戻ってきた際の生活用水及び農業用水の確保は、国民保護法に記載される「武力攻撃災害及び武力攻撃災害の復旧」の対象範囲となるか伺う。

発言順位	6	議員番号	13	氏　　名	平　良　和　彦
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．特定利用空港・港湾について ①座喜味一幸市長の考えについてお伺いします。 ②メリットとデメリットについてお伺いします。 ③特定利用空港・港湾についての政府との協議の進捗状況についてお伺いします。 ④座喜味一幸市長は今後どのように取り組むのかお伺いします。 ２．市民防災訓練について ①本市には、市民防災訓練実施要綱はあるのかお伺いします。 ②本市は、これまで市民防災訓練は実施したのかお伺いします。 ③今後の取組についてお伺いします。 ３．有事の住民避難訓練について ①座喜味一幸市長の考えをお伺いします。 ②住民避難登録センターの設置についてお伺いします。 ③今後の取組についてお伺いします。 ４．下水道事業等について ①下水道料金についてお伺いします。 ②下水道事業以外の住民の負担についてお伺いします。 ③今後の下水道料金の改定についてお伺いします。
２．畜産行政について	１．畜産農家への和牛子牛価格安定緊急対策事業の進捗状況についてお伺いします。 ２．畜産飼養経営実態把握調査による畜産農家の実態についてお伺いします。
３．道路行政について	１．城辺地域の下南自治会から上野地域への道路城辺314号線に街灯を設置することはできないのかお伺いします。
４．市民行政について	１．宮古島市の押印見直し状況について ①進捗状況についてお伺いします。 ②見直しが進まない要因等についてお伺いします。 ２．蛍光灯生産終了に伴い、ＬＥＤに切り替える費用への補助金についてお伺いします。

発言順位	7	議員番号	14	氏　　名	下　地　信　広

質問方式	一問一答方式	発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．副市長の任命責任について ①任期半ばで座喜味一幸市長が任命した２人の副市長が辞職いたしました。今も副市長のポストが空いていますが公務に支障はないのか市長の任命責任についてお伺いします。 ２．市長の２期目に向けた出馬表明について ①乱立が予想される市長選について出馬表明が遅れた胸中についてお伺いします。 ３．市長が公約に掲げた施政方針の中から事業内容について ①市長は住居不足の対策として空き家や公営住宅等を有効活用したいとうたっていますがいまだに効果が出ていないことについて市長の見解を伺う。 ②増大する介護需要への対応として介護人材の確保及び介護職の定着率向上のために介護初任者研修、介護福祉士実務研修を実施しますとうたっていますが介護現場からするとケアマネジャーや介護士が今すぐ必要だが探せないと訴えている。このことについて見解を伺う。 ③伊良部地域における都市計画区域への編入、防災集団移転についても説明会は開催されているものの前に進んでない気がします。このことについて市長の見解を伺う。 ④ひとり親家庭の自立支援については民間アパート等の賃貸物件を活用した住居支援を推進するとうたっていますが支援事例は現在何件あるのか伺う。 ⑤市民所得10%アップを掲げて座喜味市長が誕生しました。就任４年目もあと一月というのに具体的な数字が出てきません。このことについて市長の見解をお伺いします。 ４．さらはま中央縦線（仮称）の進捗状況についてお伺いします。 ５．マイナ保険証は宮古島市の全ての病院、整骨院等で対応可能なのか伺う。 ６．地域別家庭ごみ収集曜日一覧について ①生ごみ分別収集世帯とありますが利用状況についてお伺いします。 ７．伊良部島小中学校結の橋学園の英語力について ①小中一貫校結の橋学園が開校して今年で５年目を迎えます。開校時に国際理解や英語教育に柱を置き開校したと記憶していますが

	現在の生徒たちの英語力はどのレベルなのかお伺いします。 ８．伊良部カントリーパークのトイレが使用できずサッカー少年やイベントの開催時に不便を来しています。修理できないかお伺いします。 ９．結の橋学園前から南区に行く通称伊良部線の歩道が歩きにくく道路の管理ができていません。安全に歩けるよう整備できないかお伺いします。 10．ビーチクリーナーの導入について ①海からの漂流物でいろんなごみが砂浜に蓄積され清掃ボランティアの負担が重くなっています。ボランティアの負担を軽減するためにもビーチクリーナーの導入ができないかお伺いします。 11．サシバリンクス伊良部の指定管理について ①ゴルフ場の整備、運営面でいろいろな苦情が寄せられていますが当局はどのような指導を行っているのか伺う。

発言順位	８	議員番号	１	氏　　名	久　貝　美奈子
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市政運営について	１．公共施設の後利用について ①本定例会で、平良庁舎利活用のため公共施設等運営権の設定についての議決議案が上程されています。これまでの流れを伺う。 ②その他の旧庁舎の後利用について、現在どのような計画があるか伺う。
２．福祉行政について	１．重層的支援体制整備事業について ①重層的支援体制整備事業について、本市において実施予定はあるか伺う。 ２．福祉分野における人材確保、人材育成について ①市役所における専門職確保、人材育成について現状と課題について伺う。 ②社会福祉協議会、民間事業所等における専門職等の人材確保について、現状と課題について伺う。
３．動物愛護行政について	１．多頭飼育崩壊問題について ①本市における多頭飼育崩壊の現状を伺う。 ②多頭飼育崩壊の相談があった場合の対応について伺う。 ２．動物愛護行政の拡充について ①９月定例会において、ＴＮＲ推進に向け自治会対象にアンケートを実施しているとのことでしたが、アンケート結果からどのよう

	なことが分かったか伺う。 ②アンケート結果等を踏まえ、これから市がどのような取組を考えているか伺う。
４．都市計画行政について	１．宮古島市中心市街地活性化事業について ①根間公園整備の進捗状況について伺う。 ②交番の設置について ２．宮古島市景観計画について ①３月定例会において、「宮古島市景観条例及び計画について景観形成基準の中の「高さ制限」を撤廃もしくは大幅緩和をした計画変更等を求める決議」が賛成多数で可決されました。質疑や反対討論でも訴えましたが、開発が進む海岸線の建物の高さ制限については、慎重に議論していく必要があると考えます。この決議を受け、市長の考えを伺う。
５．観光行政について	１．観光振興について ①クルーズ船受入れ態勢について ア．中国や台湾からのクルーズ船寄港の急増により、二次交通への影響など、受入れ態勢に課題が見られます。市として、これらの課題についてどのような考えか伺う。 イ．宿泊税の導入が検討されていますが、クルーズ船による観光客来訪によって生じる課題解決のため、観光に関わる税や協力金など入域料を、クルーズ船客からも徴収できる仕組みを検討できないか伺う。
６．健康・医療行政について	１．子宮頸がんワクチン（ＨＰＶワクチン）接種について ①国は、2022年４月から、ＨＰＶワクチンの積極的勧奨を再開しました。本市においての接種状況を伺う。

発言順位	9	議員番号	22	氏　　名	上　地　廣　敏
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．竹アラ地区圃場整備事業について ①１工区の工事は完了したとする発言の真意について ②境界ブロック等（構造物）の設置について ③かんがい排水施設事業の施行について ④受益農家への引渡し時期はいつか伺う。 ⑤損害賠償訴訟についての市の見解を伺う。 ２．市道の維持管理について（来間線・ブナズマ線） ①現状をどのように認識しているか。

	３．県営圃場整備事業で整備された農道の舗装工事について ４．産業廃棄物処理施設についての市の考えを問う。 ①現状をどう捉えているか伺う。 ５．公園管理の実態について ①都市公園及び農村公園の箇所数を伺う。 ②管理計画等はどうなっているのか伺う。

発言順位	10	議員番号	18	氏　　名	長　崎　富　夫
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．座喜味一幸市長在任４年間の実績について ①市政刷新について、市長のご見解を伺う。 ア．市長在任中、市政刷新の成果について伺う。 ②農業用資材の高騰による肥料及び農薬などの農家支援の実績について伺う。 ③畜産飼料の高騰や子牛価格の下落に伴う生産農家への支援の実績について伺う。 ④農林水産物の輸送品目の拡大と輸送費に対する補助、流通不利性解消事業の実績について伺う。 ⑤地産地消の取組と六次産業の成果について伺う。 ⑥所得向上取組の実績について伺う。 ア．令和６年度末の見通しについて伺う。 ⑦水産業振興支援の実績について伺う。 ⑧航空運賃離島割還付について ア．令和６年より取り組まれた、沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業の成果について伺う。 ⑨難病患者への渡航費の補助について伺う。 ア．令和３年度から令和６年度までの実績について伺う。
２．都市計画行政について	１．市営住宅の空き家対策について
３．教育行政について	１．教育行政の成果等について ①本市の総予算に占める教育費の10%以上の予算措置について伺う。 ②給食無償化への取組状況について伺う。 ③公立小中学校のクーラー設置の状況について伺う。 ④小中高校生の県外への大会派遣費補助について伺う。 ⑤小中学生の修学旅行費補助について伺う。 ⑥公立の教職員住宅の建設について伺う。

４．道路行政について	１．平良松原市営住宅の東交差点から久松小学校に至る道路について ①平良松原市営住宅の東側交差点から久松小学校に続く道路は、児童生徒の通学路でもあるが、ギンネムの木や雑木等でどこが歩道か分からない。特に、交差点付近の状況がひどく、少々の雨でも水たまりができ、歩道が通れないので水たまりを避けるように車道を歩かざるを得ない。大変危険である。現場を確認し、早急な対策をお願いしたい。 ②市道Ａ―56号線、松が原ゴルフ場東側から市役所付近に抜ける道路、坂になった箇所を工事してあるが、あの状態で完了ですか。 ③２段になった段差があるが坂の上のほうの段差がひどい。土のうなどで応急処置しているが、途中に宮古地区トラック事業協同組合があり大型車両の通行が多く土のうも車に引きずられ役に立たない。私もよく利用する道路ですが、工事が終わった後は、前方段差ありの立て看板があったが今はない。特に、バイクなどの通行は危険である。事故があってからでは遅い。改善を要すると思うがいかがでしょうか。
５．大型プロジェクト事業の取組について	１．新総合体育館建設、し尿等処理施設、平良庁舎を活用したにぎわいの拠点事業について、大型プロジェクトが動き出している。市長の見解を伺う。

発言順位	11	議員番号	11	氏　　名	上　地　堅　司
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．建物行政について	１．県営住宅と市営住宅について ①家賃について ア．家賃はどのように設定されているか伺います。 イ．家賃の見直しはできないか伺います。 ②市営住宅の修繕の進捗状況を伺います。 ③公営住宅の管理は、県営住宅、市営住宅は何者で管理しているか伺います。 ２．体育館について ①総合体育館の進捗状況を伺います。 ②体育館の使用について伺います。 ③小中学校の使用について伺います。 ④結の橋学園の体育館に審判台は購入することはできないか伺います。
２．道路行政について	１．街路樹や防風林について

	①防風林がある交差点は､交通の妨げになっている箇所があります。伐採をしてほしいとの市民の声が聞こえています。交差点から10メートルほど伐採はできないか伺います。 ２．アスファルト修繕について ①上野ＪＡ給油所から宮国公民館までの道路の凹凸が多く、車の運転も支障を来しています。アスファルト修繕はできないか伺います。
３．環境行政について	１．産業廃棄物処理について ①現在、産業廃棄物処理はどのように行われているか伺います。（ビニール、マルチ、発泡スチロール、タイヤなど） ②前浜海岸の対策は、沖縄県、宮古島市はどのように考えているか伺います。
４．市長の政治姿勢について	１．政治姿勢について ①市長は２期目出馬表明をしましたが、どのような形で選挙戦は戦っていくのか伺います。

発言順位	12	議員番号	4	氏　　名	狩　俣　勝　成
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治姿勢について	１．市職員の育児休業取得について ①育児休業取得状況について伺う。 ②育児休業を取得しやすい環境にあるのか、見解を伺う。 ２．ライドシェアについて ①日本版ライドシェアが宮古島でもスタートしましたが、利用状況について伺う。 ②対応車両３台と乗務員２人で対応とのことだが、間に合っているか伺う。 ３．地域づくり支援事業補助金について ①地域づくり支援事業補助金が各地域一律となっている経緯について伺う。 ②今後も継続していくのか伺う。 ４．住居不足について ①９月定例会一般質問での市長答弁で、公営住宅の枠を地域の現状に合った計画とし、枠を検討していただきたいと申し上げたと答弁していたが、その後、進捗はあったのか伺う。
２．農畜行政について	１．優良繁殖雌牛更新加速化事業について ①支援の内容について伺う。

	②今後導入予定はあるか伺う。 ２．県内の家畜市場開設日程について ①どのように決定しているか伺う。 ②各市場の購買者名と数は把握しているか伺う。 ３．農業経営高度化支援事業について ①事業実施要綱と要領が改定され促進費の交付が受けやすくなっていると認識しているが、見解を伺う。 ②農家負担金を徴収するのではなく、現物給付ができないか伺う。 ４．農業基盤整備促進事業（竹アラ地区）について ①新たに着手する３工区は、計画変更か伺う。 ②竹アラ地区全体の工事完了（かんがい施設工事含む）は、いつか伺う。
３．環境衛生行政について	１．宮古島市し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の入札について
４．スポーツ施設について	１．城辺総合公園について ①今後の活用方法について見解を伺う。 ②今年度も韓国の高校野球チームがキャンプを予定しているとのことだが整備の予定はあるのか伺う。
５．教育行政について	１．コミュニティ・スクールについて ①地域学校協働活動の推進団体として､子ども会を位置づけている。見解を伺う。 ②宮古島市子ども会育成連絡協議会と宮古島市教育委員会の連携について伺う。

発言順位	13	議員番号	20	氏　　名	上　里　　樹
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市の窓口業務について	１．各種申請書類受付の簡素化について ①申請書類の押印省略の実施状況について伺います。
２．市庁舎について	１．市庁舎の管理について ①市庁舎外構工事に関係する駐車場通路や庁舎周辺通路に使われた素材が雨の日に滑りやすくなっています。その、滑り止め対策について伺います。
３．税の徴収について	１．税の滞納処分について ①給与の差押さえをした件数について伺います。 ②預貯金の差押えをした件数について伺います。 ③給与や年金が振り込まれた通帳の差押えはやめるべきです。見解

	を伺います。 ２．生活保護世帯からの国保税滞納金の徴収について ①生活保護世帯から分納による滞納金を徴収している件数について伺う。 ②生活保護世帯からの滞納金徴収はやめるべきです。見解を伺います。
４．緊急保護施設について	１．緊急保護施設の確保について ①生活に困難を抱え、保護が必要なのに現在住む場所を失ったり、失うおそれがある方を対象にした保護施設の確保が必要です。例えば、家賃滞納による強制退去が迫っている方や、家庭内トラブルにより住居がないという様々な状況があります。見解を伺います。 ②生活保護世帯で家賃の値上げにより、生活保護費住居手当を上回っている世帯は何件ありますか。
５．水道行政について	１．安全な水の供給について ①ＰＦＡＳやネオニコチノイド系農薬等の化学物質低減・除去のため、高機能活性炭浄水処理設備等高度浄水処理施設を緊急の対策として、各浄水場に設置すべきです。見解を伺います。
６．自衛隊施設について	１．駐屯地内の御嶽について ①御嶽が駐屯地のフェンスで囲い込まれてしまい自由に出入りできなくなっています。もともとあった里道を確保し通れるようにすべきです。 ２．弾薬庫火災標識について ①千代田の駐屯地弾薬庫火災標識の撤去と設置が繰り返されていますが、その理由について伺います。 ３．陸上自衛隊宮古島駐屯地について ①電子戦部隊の施設建設と隊員の配備について ア．市長と市議会の説明会開催の要請を無視し、電磁波を利用したレーダーや無線通信を介した戦闘で妨害や傍受を担う新たな電子戦部隊基地建設と部隊配備が進められています。説明のない配備は容認できません。市の説明会開催要求に対する防衛省の回答について伺います。
７．自衛隊の訓練について	１．自衛隊の施設外訓練について ①住民が大嶽城跡公園で戦闘服姿の自衛隊員たちが訓練しているところを目の当たりにして驚き、市に問い合わせたところ、同公園だけではなく別の敷地外でも訓練が行われていたことが明らかに

	なりました。その訓練について宮古島市にどのような説明があったのか経緯と訓練の内容について伺います。
８．総合体育館建設について	１．地下施設の屋内駐車場と一時避難所について ①現在、防衛省予算を活用して、総合体育館建設が進められています。その基本設計では地下施設に屋内駐車場を整備し、一時避難所として利用する計画です。そこで伺います。新たに内閣官房の予算を活用して整備する計画を進めると予算総額は幾らになりますか。

発言順位	14	議員番号	19	氏　　名	友　利　光　徳
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．農業振興について	１．沖縄県農業共済組合と市の関係について ①事業別実績（サトウキビ、施設園芸、収入保険、家畜ワクチン）について伺う。 ②各支所別の実績順位について伺う。 ③共済組合総代会を宮古島市で開催することができないか伺う。 ④浦底ダムの利活用について伺う。 ⑤本市で陸稲を普及することができないか伺う。
２．衛生行政について	１．一般廃棄物収集運搬業務受託資格審査申請について ①令和元年８月１日～令和２年３月31日まで間、申請者から市の担当部局に提出された書類について伺う。 ②令和２年４月１日～令和３年３月31日まで間、申請者からの担当部局に提出された提出書類について伺う。 ③申請者から提出された書類が一致（違う）しない点とその目的について伺う。 ④担当職員として、委託事業者に対する逸脱した行為（越権）が、地位の悪利用に該当するのではないかと考えるが、市の見解を伺う。 ⑤それらの対応は、上司から指示によるものかについて伺う。
３．教育行政について	１．選手派遣費について ①事業開始から現在まで、高校生に対する支払いの内訳について伺う。 ②旧城辺中に寄贈されたグランドピアノについて ア．廃棄された年月日について伺う。 イ．廃棄された目的について伺う。 ウ．廃棄された経緯について伺う。

	エ．グランドピアノはどのような方法で廃棄されたのか伺う。 オ．廃棄される際には教育委員会定例会において協議したか伺う。 カ．グランドピアノを寄贈した方への気持ちを伺う。
４．消防行政について	１．条例に定める法定の職員数と現在の職員数について伺う。 ２．消防の出動に際して、救急要請に対する体制等の対応について伺う。
５．本市の住宅不足解消に向けた補助制度の導入について	１．市内で三世代で同近居する世帯に対する支援補助金を支給することができないか伺う。 ２．沖縄県等の出先機関との連携など体制が強化できないか伺う。
６．公職選挙法について	１．公職にある者の積極的選挙運動と消極的選挙運動の線引きについて伺う。
７．畜産振興について	１．特定地域経営支援対策事業について ①事業導入件数について ②事業執行適正化について ③事業効果について、令和２年から令和６年９月現在まで事業効果は出ていない。廃業届提出を促し許可したらどうか伺う。 ２．補助金返還の時期について ①現状では宮古島市の補助事業申請関連に悪影響を与える可能性が大である。補助金返還事務執行はできないか伺う。 ３．庁議で議論する必要性について ４．緊急優良母牛更新事業について ５．飼料高騰事業と和子牛価格安定対策事業について
８．指定管理について	１．宮古島市体験滞在交流施設について ①指定管理の交代の在り方について ②現場確認と現場立会いの実施について ③事業計画概要の執行達成率について（１～５項目） ④宮古島市体験滞在交流施設条例第３条、事業の厳守について ⑤決裁者の変動と決裁の持つ意味について ⑥宮古島市体験滞在交流施設条例第７条、利用許可の取消し等について ⑦宮古島市体験滞在交流施設条例第９条、目的外利用等の禁止について ⑧令和２年４月１日～令和３年３月31日までの事業報告について ⑨促進事業実績について ⑩指定管理者選定の作業（事務的）の流れについて

	⑪農業生産法人を指定管理者に選定した感想について ⑫前政権が残した課題についての見解 ⑬市に与えた影響について
９．文化財の現状について	１．上野千代田カーンミ御嶽の出入りの許可 ２．文化財審議会の開催の状況について（旧城辺町） ①１年度ごとに（平成18年～令和６年11月までの回数） ３．下南集落のニスニャガー登録について ４．西中集落、ひまる御嶽の登録について ５．山立御嶽の登録について（友利集落） ６．嶺間御嶽の登録について（友利集落） ７．金志川御嶽の登録について（友利集落） ８．浦底御嶽の登録について（福里） ９．砂川元島遺跡の登録について（砂川） 10．友利古墳群の登録について（友利） 11．ドルメンの登録について
10．スポーツ振興について	１．離島甲子園ｉｎ宮古島について ①輸送、宿泊等業務委託（少年野球開催スポンサーの優先） ②城辺野球場の活用について ③元プロ野球選手による野球教室の開始について ④女子チームの参加について ２．宮古島ドリームズの予算支出について ３．高等学校駅伝競走大会の宮古島開催について（要請行動）
11．島の変貌について	１．宮古島移住について（未住居登録者の実態について） ２．環境保全について（開発行為について） ３．住環境悪化について ４．竹原地区について

発言順位	15	議員番号	10	氏　　名	池　城　　健
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．教育行政について	１．特別教室等へのクーラー設置について ①クーラー設置の予算総額について伺います。 ②今年度の設置台数と次年度の設置台数について伺います。 ２．選手派遣費の補助金について ①今年度の補助金の総予算額と前年度対比について伺います。 ②補助金を給付した児童生徒延べ人数について伺います。 ３．検定料補助金について

	①今年度の検定料補助金の総額と前年度との違いについて伺います。 ②補助金を給付した児童生徒の令和５年度と令和６年度の延べ人数について伺います。 ４．修学旅行費補助金について ①補助金の総額と前年度との違いについて伺います。 ②補助金を給付した児童生徒数について伺います。 ５．教育相談室の拡充について伺います。 ６．学校給食材費高騰への対応について伺います。 ７．次年度の島外から来島する教職員のアパートへの対応について伺います。
２．中央公民館について	１．中央公民館で購入したピアノの使用状況について ①購入日時と使用回数について伺います。 ②使用できてないとしたらその要因について伺います。 ③いつから供用開始の予定か伺います。
３．地下水について	１．地下水の農薬汚染についての認識及び対応を伺います。
４．水道行政について	１．水道水への農薬濃度が高くなっていることへの認識及び対応を伺います。
５．農薬使用について	１．宮古島市の農薬使用量についての今後の方針を伺います。
６．福祉行政について	１．住宅改修の補助金申請について伺います。 ①令和４年度と令和５年度の補助金申請の件数について伺います。 ②今後の見通しについて伺います。

発言順位	16	議員番号	5	氏　　名	富　浜　靖　雄
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市政運営について	１．カスタマーハラスメントについて ①当局の対策について伺う。 ②職員の名札について伺う。 ２．地域雇用活性化推進事業について ①提案した事業構想について伺う。 ②国の支援内容について伺う。 ３．島の経済循環『見える化』調査について ①調査の結果を踏まえて何を行うのか伺う。 ②調査結果の公表について伺う。 ４．副市長の辞職について ①市政運営への影響について伺う。

２．建設行政について	１．宮古島市景観計画に関する意識・意向調査について ①調査内容について伺う。 ②スケジュールについて伺う。 ③建物の高さ制限の検討はあるのか伺う。 ２．根間公園整備事業について ①事業の進め方について伺う。 ３．空き家バンク制度について ①導入の考えはないか伺う。 ②メリットやデメリットについて伺う。
３．道路行政について	１．ＬＩＮＥによる道路緊急ダイヤル（＃9910）について ①内容を把握しているのか伺う。 ②当局としての対応について伺う。
４．福祉行政について	１．こども誰でも通園制度について ①実施の可能性について伺う。 ②今後の取組について伺う。 ２．帯状疱疹ワクチンについて ①定期接種が決定した場合の対応について伺う。

発言順位	17	議員番号	9	氏　　名	山　下　　誠
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市長の政治行政について	１．市政運営について ①市政の評価について ア．六次産業化の推進について自身の評価を伺う。 イ．市長就任１期目の総括について伺う。 ②教育行政について ア．選手派遣費補助事業の実績について説明を求める。 イ．選手派遣費補助事業支援対象枠拡充について当局の見解を求める。
２．農林水産業振興について	１．農業振興について ①地産地消について ア．地域内経済循環システム構築事業について伺う。 イ．地産地消振興センター設置事業の進捗を伺う。 ②基幹作物について ア．今期サトウキビの生産状況について伺う。 イ．機械化の推進状況について伺う。 ウ．支援策について説明を求める。

	③農業用廃ビニールの処理について ア．処理の課題と現状、対策について伺う。
３．観光行政について	１．観光振興について ①法定外目的税について ア．宿泊税導入に向けた進捗状況を伺う。 イ．課税対象について当局の考え方を伺う。
４．教育行政について	１．教職員の働く環境について ①住環境について ア．島外から赴任する教職員の住居環境について伺う。 イ．支援策について伺う。 ②教職員の休職について ア．宮古島市立の学校教職員の休職者の実態を伺う。 イ．どのような対策を講じているか。
５．スポーツ振興について	１．各種スポーツ施設について ①新総合体育館について ア．建設に伴う影響について伺う。 イ．駐車場兼地下避難施設について伺う。 ②キャンプ誘致について ア．クロスカントリー場の整備について伺う。
６．自治体ＤＸについて	１．行政サービスの充実について ①自治体ＤＸについて ア．行政サービス、業務フローの変革に向けた当局の取組について伺う。 ②デジタル化事業について ア．地元新聞２紙の紙面デジタルアーカイブ事業について伺う。 イ．公文書デジタル化事業の進捗状況について伺う。
７．住環境について	１．住居環境について ①市営住宅の活用について ア．若者の入居状況について伺う。 イ．募集方法について伺う。 ②集落地域整備法について ア．県内、市内における同法の導入事例について伺う。

発言順位	18	議員番号	8	氏　　名	狩　俣　政　作
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．教育行政について	１．全国的に増加傾向にある「いじめ」について

	①本市の状況を伺う。 ２．全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数増加の状況について ①本市の状況を伺う。 ３．横断歩道と標識の設置について ①まてぃだ通りａｕＳｔｙｌｅみやこじま中央前に横断歩道を設置できないか伺う。 ②まてぃだ通りから平良中学校裏門へ続く途中に事故が多発する交差点がある。標識もカーブミラーもなく危険な状態になっているが、注意喚起の標識等及びカーブミラーは設置できないか伺う。 ４．学校周辺のカラー横断歩道のその後の取組について伺う。
２．市民生活・福祉行政について	１．こども誰でも通園制度について ①事業概要を伺う。 ２．乳がん患者の会「ぴんく・ぱんさぁ」「まんま宮古」の活動について ①本市の乳がん検診の状況を伺う。 ３．Ｂ型肝炎について ①本市の状況を伺う。 ４．訪問入浴について ①再開を求める声が多数ありますが見解を伺う。 ５．市営住宅の階段の手すり設置状況について ①城辺西城市営住宅の８棟と９棟にだけ手すりがないため、居住者から不便な状況だと相談が来ている。早急に設置できないか伺う。 ６．盛加農村公園前の道路の雑草について ①抜け道になっていて交通量も多いが、道幅が狭いのに雑草が生い茂っていてとても危険な状況なので、定期的に清掃できないか伺う。 ７．Ａ―１号線の手登根ブロック工場前の私道について ①その後、地主とどのような協議を行ったのか伺う。 ８．城辺線の街灯について ①ＬＥＤ電球に変わっている場所があるが、とても暗くて怖いとの声が多い。対策を伺う。 ９．下地農村環境改善センター駐車場にある資材について
３．市長の市政行政について	１．「一般社団法人宮古島千年プラットフォーム」について ①概要を伺う。 ２．想定浸水深が１メートルの場所に２つの重要な施設「し尿処理施設、下水処理施設」が併設している荷川取漁港周辺の防災対策につ

			いて ①施設（ＯＤ槽を含む）の耐震等級について伺う。 ②施設（ＯＤ槽を含む）の津波対策について伺う。		
発言順位	19	議員番号	21	氏　　名	粟　国　恒　広
質問方式	一問一答方式			発言場所	演壇及び質問席
発　言　事　項			要　　旨		
１．市政運営について			１．市長在任中に副市長２人が離職する事態になったことに関して市長の見解を伺う。 ２．市長公約の市民所得10％アップの達成について見解を伺う。 ３．宮古島市防災訓練の実施計画について ４．観光目的税について（宿泊税・入島税） ５．伊良部地域における都市計画区域への編入について ６．平良庁舎東側駐車場について ７．宮古島市職員等の旅費に関する条例の改正について		
２．過疎対策事業について			１．過疎地域持続的発展計画において、本市が取り組んでいるソフト事業、ハード事業の取組について ２．令和３年度から今年度までの過疎対策事業費の総額と、市債における割合について		
３．財政について			１．本年12月定例会までの各基金からの繰入金の総額について伺う。 ２．新年度予算の予算編成について		
４．入札制度について			１．指名競争入札と制限付一般競争入札について		
５．農業委員会行政について			１．農地法関係許可申請添付書類について （農地法第４条・第５条共通必須書類の残高証明、融資証明等について）		
６．水道事業について			１．安心・安全な水道水の供給について ２．伊良部島での水質調査の予定について ３．宮古島地下水研究会からの請願書について		
７．教育行政について			１．旧来間小中学校の利活用事業について ２．学びの基礎力アップ事業について ３．健康の保持増進と体力向上について（朝の徒歩登校について） ４．食の推進について		
８．公園管理について			１．市が管理する公園等の休憩施設において、ロープ等で立入禁止措置が取られている施設の対応状況について伺う。 ２．公園遊具の改修について		
９．農林水産業について			１．下地竹アラ地区の土地改良事業について（行政と受益農家の整備完了認識の違いの見解について）		

	２．製糖工場からの副産物資源を活用した有機質肥料を圃場へ散布等を行う地域循環型製造施設の構築について（狩俣地区） ３．モズク養殖業への支援事業について
10．道路行政について	１．国道390号線久貝北交差点の右折信号機設置について ２．国道390号線県営久貝団地に隣接する道路への押しボタン式信号もしくは横断歩道の新設の要請後の状況について ３．久松松原32号線の整備について ４．久松赤浜東側の倒壊した護岸の修繕について

発言順位	20	議員番号	24	氏　　名	山　里　雅　彦
質問方式	一問一答方式			発言場所	質問席のみ

発　言　事　項	要　　旨
１．市政運営について	１．平良庁舎利活用について ①今定例会に平良庁舎の利活用に対し、事業権を民間事業者へ移行する公共施設等運営権の設定について議決議案として上程されているが、その前に議会や市民に対し事業計画や事業内容・運営計画等説明すべきではないか、見解を伺う。 ②民間業者に運営権を任せることになるが、市として事業者の運営・業務状況等を把握し、事業体制等をチェックした上で必要に応じて事業者に指導するべきではないか、見解を伺う。 ２．国民保護計画について ①政府が有事に備え、全国各地の空港や港を「特定利用空港・港湾」に指定し、整備・拡充を進める中で、６月末に内閣官房など政府職員の方々が本市を訪れ、県管理の宮古空港・下地島空港、市が管理する平良港について「特定利用空港・港湾」の指定に向け検討しているとのこと。宮古空港・下地島空港・平良港の「特定利用空港・港湾」の指定について市長の見解を伺う。 ３．ふるさと納税について ①企業版ふるさと納税の目標と達成率について ②ふるさと納税利活用状況について ４．宮古島市市制施行20周年記念事業について ①市制施行20周年・宮古サッカー協会50周年記念事業やびじ交流サッカー宮古島大会について ②その他、市制施行20周年記念事業イベント等について
２．農業振興について	１．圃場整備事業・西原第４地区整備事業について ①令和５年度、令和４年度の整備事業費と整備面積について ②令和６年度の整備事業費と整備面積について

３．道路行政について	③令和６年度の事業費減の理由について １．富名腰８号線について ①富名腰８号線は庁舎近くの路線であり、庁舎周辺整備計画事業で事業整備できないか伺う。

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第３号のとおりであります。

この際、諸般の報告をします。

事務局長から報告させます。

◎事務局長（友利毅彦君）

議長の命により、諸般の報告をいたします。

12月５日、総務財政委員会が開催され、総務財政委員会副委員長の議員辞職に伴い、副委員長の互選が行われ、指名推選により、砂川和也委員が選任されました。

諸般の報告は以上です。

◎議長（平良敏夫君）

ただいまから日程第１、一般質問に入りますが、通告外の質問にわたらないよう、議事進行にご協力を願います。また、質問方式及び質問場所については、一般質問通告書により事前に通告した方式及び場所を遵守するようお願いいたします。

なお、議会運営に関する申合せ事項により、質問の１人持ち時間はいずれの質問方式も質問時間、答弁時間、移動時間を含めて60分以内、質問回数は一括質問方式については３回以内、一括質問・再質問から一問一答方式及び一問一答方式については回数の制限は設けないこととなっております。

それでは、通告順に従いまして、順次質問の発言を許します。

◎我如古三雄君

自由民主党、我如古三雄でございます。よろしくお願いいたします。

今年も早いもので、12月、師走となりました。これから一段と年の瀬へとまちじゅうも慌ただしくなってまいります。当局におかれましては、日夜市民福祉向上のために頑張っていることに心から感謝を申し上げたいと思います。各部署、部局、課においては、それぞれの懸案事項があります。この懸案事項にスピード感を持って対処、解決してもらいたいと強く要望いたします。このことが市民福祉向上に大きくつながるからであります。

それでは、通告に従いまして、私見を交えながら質問してまいります。市民に分かりやすい説明、答弁を求めたいと思います。まず最初に、市長の政治姿勢から。旧上野庁舎における植物工場整備計画についてであります。旧上野庁舎に離島の食料葉野菜の安定供給と地域内経済循環に資する目的で整備する植物工場の計画概要について伺います。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

植物工場の概要についてでございますが､事業名はゼロエミッション型植物工場実証事業でございます。宮古島市地産地消振興センターの２階北側の約半分のスペースを沖縄振興特定事業推進費民間補助金を活用し、入居事業者自ら整備を行うものでございます。整備後は、野菜製造業として葉野菜等の製造と販売を展開する予定となっております。事業の目的は、化石燃料由来の電力利用とプラスチック製廃棄物を最

小限にするゼロエミッション型植物工場を構築し、離島地域における持続可能で安定した生鮮野菜の地産地消を実現することで地域内経済循環の発展に貢献することとしております。

具体的な内容といたしましては、対象スペース388平方メートルに５段６列の棚を設置いたしまして、１日で700株のレタスを出荷する計画となっているほか、ゼロエミッション型植物工場を構築するため、生産物は島内の住民及び飲食、観光事業者へ販売し、雇用の創出、地域資源の活用、環境価値の創造を通じて利益を地域へ還元する仕組みとなっております。なお、本事業は令和６年度から令和８年度までの３年間の事業で、総事業費１億558万6,000円となってございます。

◎我如古三雄君

②でございますが、入居する植物工場を整備、経営する事業者、その供用開始時期はどのようになっているのか。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

センターの整備状況にもよりますが、事業者の希望といたしましては現時点において新年度早々に稼働し、夏頃の出荷を目標にしたいと伺っているところです。

◎我如古三雄君

旧上野庁舎が宮古島市地産地消振興センターへと変更になりますが、民間事業者の募集に対する入居申請状況はどのようになっているのか。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

令和６年10月４日に開催された宮古島市地産地消振興センター入居者選定委員会において入居予定事業者が決定し、現時点で７事業者が入居予定となってございます。内訳につきましては、長期チャレンジスペースへ５つの事業者、短期トライアルスペースへ２つの事業者がそれぞれ入居予定となっております。なお、１次募集の結果を踏まえまして、スペースの設定内容を見直した上で、現在長期チャレンジスペースの２つの区画の募集を本日より令和７年１月17日までの間で実施しておるところでございます。

また、飲食業専用の短期トライアルスペースの１つの区画については、募集期間での応募はございませんでしたが、現在幾つか問合せがありますので、事業者の事業計画や市に対する要望など聞き取りを行いながら条件面の整理を行った後、再度募集をかけていきたいと考えております。

◎我如古三雄君

これは、今１次募集だと思うんですが、２次募集は考えていますか。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

飲食業専用のスペースにつきましては、聞き取りが終了次第、今月中には実施したいと考えております。

◎我如古三雄君

次の④は、去る日曜日に上野地域づくり協議会がしっかりと整備をしてありますので、省略をいたしますが、上野地域づくり協議会で年に６回ほど整備をして頑張ってもらっております。去る日曜日にも、役員の皆さん方が総出で頑張って、きれいに整備をしてあります。ただ、お願いしたいのは、新年度から民間事業者が入りますので、この地域づくり協議会に含めて、プラスして入居事業者のほうにも頑張って整備をしてもらいたいと。やはり市の公共施設、隣は国道が走っていて、交通量も多いところです。市民から、地域住民も荒れ放題に雑草が生えていると入りづらい、これが市の庁舎なのかというぐらいに繁茂期

には雑草が伸び放題になります。上野地域づくり協議会が一生懸命頑張っておりますが、やはり年６回ほどでは足りない。やはり月１回のペースでしないことにはどうしても建物の雰囲気が悪いというふうなことで、幸いにも新年度から民間事業者が宮古島市地産地消振興センターに入るというふうなことでありますので、連動してこの事業者の皆さん方にも強く環境整備には力を入れてもらいたいというふうなことを要望しておきたいと思います。

次、２番のコロナ収束後の経済効果についてであります。コロナ収束による入域観光客等の増加、クルーズ船寄港増加に伴う観光消費額と本市に与える経済効果はどのようになっているのか伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

コロナ収束による入域観光客数の増加、またクルーズ船寄港に伴う観光消費額と本市に与える経済効果についてでございます。

コロナ発生前の平成30年度及び令和元年度は、入域観光客数が100万人を超え、観光消費額は600億円余りとなっております。コロナ禍の令和２年度には入域観光客数が約36万人、観光消費額は約340億円と落ち込みましたが、令和５年度には入域観光客数は約94万人、観光消費額は約886億円とコロナ禍前より経済効果を生み出している状況となっております。

◎我如古三雄君

886億円というふうなことであります。やはりそれなりに経済効果はかなり出ているものと受け止めております。

次に、令和７年におけるクルーズ船の寄港予定、それに対する二次交通の課題対策についてであります。どのように検討されているのか伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

令和７年クルーズ船の寄港予定と二次交通の課題対策でございます。

令和７年クルーズ船寄港は、123回を予定しております。クルーズ船寄港時の平良港旅客受入れ施設の現状といたしまして、着岸後約２時間は多くの観光客が集中いたします。そのことから、バス、タクシーの二次交通利用において混雑が起きる状況が発生しております。現在、この混雑対策といたしまして、ツアー予約客の優先下船の協力や市内シャトルバスや平良港旅客受入れ施設を発着としたループバスの運用、またバス、タクシー以外のレンタサイクルや電動キックボードの貸出し、徒歩圏内での受入れ促進としてのイベント実施等を行っております。クルーズ船観光客に様々な移動手段で島内観光できる取組を行うことで、市民の公共交通利用時の不安解消につながるというふうに考えております。クルーズ船寄港に伴う課題等については、引き続き関係機関と話合いを持ちながら対応を検討してまいりたいというふうに考えております。

◎我如古三雄君

次に移ります。クルーズ船の寄港増加によって係船料も増加していると思います。今年度において係船料はどのようになる見込みなのか伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

令和６年度クルーズ船の入港に伴う係船料の収入は、11月末時点で4,410万7,000円で、回数は33回となっております。また、12月から翌年３月までの予約数に基づく見込みで試算しますと5,324万9,798円で、

回数は37回となります。合計しますと、令和６年度係船料収入見込額は9,735万6,798円で、回数は70回となります。

◎我如古三雄君

対前年度比でどのようになっていますか。

◎建設部長（川平陽一君）

前年度比で申し上げますと、令和５年度の収入実績は3,691万141円、回数は32回となっておりましたので、令和６年度は6,044万6,657円の増となり、回数も38回の増となる見込みとなっております。

◎我如古三雄君

次、順番を変えて４番を先に行きます。陸上自衛隊の税収についてであります。

陸上自衛隊宮古島駐屯地が開設されてから５年が経過しております。駐屯地の隊員、家族のもたらす税収と本市に与える効果はどのようになっているのか伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

陸上自衛隊の税収についてお答えをいたします。私のほうからは税収にお答えしまして、本市に与える相乗効果につきましては市民生活部のほうで答弁をさせます。

陸上自衛隊隊員や家族のもたらす税収についてお答えをいたします。令和６年度現在、陸上自衛隊隊員における本市での市県民税の課税総額は約１億7,816万円となっており、その内訳は市民税分が約１億726万円、県民税分が約7,090万円となっております。

続いて、自衛隊員と同世帯の家族における市県民税の課税総額ですが、約270万円となり、その内訳は市民税分が約166万円、県民税分が約104万円となります。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

市民生活部からは、相乗効果についてお答えいたします。

宮古島市には、現在陸上自衛隊員が約700名、家族を含めると約1,100名が定住しております。自衛隊員、家族が本市に与える相乗効果として、まず地域経済の活性化が挙げられます。隊員とその家族による消費活動が増え、市内の商業、飲食業、サービス業が活性化すると考えております。

次に、少子高齢化が深刻な本市では、若い世代が多い隊員とその家族の定住により、学校や地域行事の活性化、地域に活気が生まれることも考えられます。また、台風時等の災害時には自衛隊を中心に迅速な対応が可能となり、市民の生命、財産を守るために重要な役割を果たすことも期待されております。そのほかにも、スポーツイベント、それからボランティア、市民との交流も深まりつつあります。このように幾つかの効果が考えられることから、本市における自衛隊員や家族がもたらす一定の相乗効果はあるものと考えております。

◎我如古三雄君

次に、２番、公共施設の適正な処理について、宮古島市肉用牛センター施設の使用についてであります。

肉用牛センターの畜舎、倉庫の耐用年数について伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

宮古島市肉用牛センター施設は、畜産振興の基盤確立を目的として、旧城辺町が昭和61年度に建設した施設でございます。宮古島市肉用牛センターの施設は畜舎や倉庫、堆肥舎、管理棟があり、畜舎、倉庫、

堆肥舎の耐用年数は38年、管理棟は50年となっております。

◎我如古三雄君

畜産農家が畜舎として使用しておりますが、今年度の使用期限となっていると。市の個別施設計画に基づいて売却に向けた適正な手続が必要と考えますが、当局の今後の取組はどのようになっているのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

売却に向けた取組についてでございます。

現在、同センターは、畜産農家に使用許可において許可しております。期限は、来年の３月末となっております。同センターの主たる施設であります畜舎と倉庫は今年度末をもって耐用年数を迎えることから、宮古島市個別施設計画では、機能判定は廃止、建物判定は売却となっております。管理棟以外の施設は次年度以降に耐用年数を超過し、個別施設計画でも売却となっております。令和７年度の売却、令和８年度の引渡しを目指して取り組んでいきたいというふうに考えております。

◎我如古三雄君

計画に基づいて適正に処理をしていただきたいと要望いたします。

次に、宮古島市総合交流ターミナル施設の売却について。これてぃだの郷でありますが、市の個別施設計画に基づいて、売却に向けた適正な手続で、解決に向け、早めに処理すべきと考えます。現在の取組状況を伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

宮古島市総合交流ターミナル施設、通称てぃだの郷でございますが、建設から20年余が経過しており、施設の老朽化に加え、伊良部地区では民間活力によるホテル等の類似施設の建設が活発に展開されております。そのため、公共施設としての一定の役割は終了しているとの判断から、宮古島市公共施設等総合管理計画及び施設の個別計画において、売却の方針としております。当施設の売却に向けた取組としては９月定例会でも答弁しておりますが、これまでに不動産鑑定評価、沖縄県との財産処分に係る調整を行ってまいりました。現在施設を使用している方に対しては、施設の売却方針について幾度となく説明しておりますが、依然として理解をしていただけない状況があり、退居していただけない状況にあります。市としては、これ以上の話合いによる解決は難しいと判断し、今年度中に退去に向けた法的措置を行う考えであります。

◎我如古三雄君

この相手方との協議を進めているということであります。退去命令を出しても従わないというふうな状況、これは当局が弱腰だと私は思っております。市が本気で対応をしなければ解決できないものと思っておりますから、市の方針に沿って公募して売却することだと思っております。年間の使用料が未納と聞いておりますが、何年間未納となって、その金額はどのぐらいいくのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

当施設ですけども、令和２年度に指定管理を終了しております。令和３年度からは、施設の使用許可制度となっております。施設使用料については年間377万1,400円となっておりますが、令和３年度以降の使用料の納付状況は、令和３年度が約１か月分、31万4,283円の納付のみとなっており、令和４年以降は未納となっております。３年間の合計は、600万円を超える金額が未納となっております。

◎我如古三雄君

これまで600万円余の未納があるというふうなこと、これはいかがなものかと思います。早期の売却に向けた取組を強く要望したいと思っております。

次に、宮古島市指定管理施設についてであります。指定管理の施設の現状はどのようになっているのか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

指定管理施設の指定の現状についてお答えをいたします。

指定管理者制度を活用しまして管理している施設は47施設となっておりまして、各指定期間につきましては、今３年が20施設、５年が27施設となっております。

◎我如古三雄君

市全体で指定管理施設が47施設ということであります。この施設の指定管理者の募集方法について伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

宮古島市が指定管理制度を導入しております47施設につきましては、先ほど申し上げました公募が30、非公募が17施設となっております。非公募の判断につきましては、宮古島市指定管理者制度導入に関する指針の公募の原則のただし書に、合理的な理由があるときは、市長等は公募を行わず、指定管理者候補者を選定できるものとするとなっており、まず１つ目に地域密着型の施設であること、２つ目に福祉サービスの利用者の利益のほうが特に優先される施設と条件に合致する施設については非公募としているところでございます。

◎我如古三雄君

次、福祉行政について伺います。

子供の貧困緊急対策事業についてであります。生活困窮世帯、就学援助対象世帯の子供に対する居場所の提供あるいは食事の提供、共同での調理、生活指導、学習支援、就学継続のための支援状況について伺います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

本事業は、生活が困窮している子育て世帯の子供に対して、生活指導や軽食の提供、キャリア教育を行うための居場所を提供し、意欲喚起や学習意欲の向上を図るとともに自己肯定感を高め、将来的な自立を目的として子供の居場所の設置を進めております。現在、宮古島市が運営している子供の居場所では、おおむね18歳以下の子供たちを主に平日の放課後の時間帯、これは午後２時から午後９時となっております。に受け入れ、食事提供や生活指導、学習支援等を行っております。キッチンがある居場所では、共同調理なども取り入れながら夕食を提供しております。

利用人数について、子ども食堂を含む運営委託をしている事業所が６か所ございます。そのうち、５か所の子供の居場所では、11月末時点の利用者実人数の合計は147名となっております。また、子ども食堂では、利用者延べ人数が6,612名となっています。さらに、市の補助金を活用して運営している事業所は２か所あり、利用者実人数の合計は38名となっております。利用者はそれぞれ週１から２日の頻度で居場所を利用しておりますが、家庭の事情や受験を控えて勉強したいなど、本人の希望があれば曜日以外でも居場所の対応が可能な範囲で受入れを行っております。そのほか全ての居場所において、地域の関係団体や全

国の支援団体からご寄附いただいた食品等を利用世帯へ配布しております。

◎我如古三雄君

次に、農業振興について伺います。

今期のサトウキビ生産見込みでありますが、今期のサトウキビ作型別による生産見込みはどのようになる見込みなのか伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

今期のサトウキビの生産見込み、作型ごとに申し上げたいと思います。

サトウキビ生産見込み調査、去る11月１日に２回目の調査を各製糖工場で実施しております。夏植えで12万264トン、春植えで１万6,132トン、株出しで19万6,957トン、全体の生産量としまして33万3,354トンの見込みとなっております。昨年の29万529トンの実績と比べまして４万2,824トンの増産見込みとなっております。

◎我如古三雄君

昨年に比べて４万2,000トン余の増加というふうなことで、大変これは結構だと思っております。しかしながら、生産農家がかなり高齢化しております。そういったこと等も勘案していろいろと支援をお願いをしたいというふうに思っております。

次に、今期のハーベスター収穫申込み状況はどのようになっているのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

今期のハーベスターの利用申込み状況でございます。

2024―2025年産のハーベスターによる刈取り申込み状況によると、全体で96.6％の申込み状況となっております。昨年がハーベスターの刈取り実績が94.7％となっておりますので、約２％伸びております。生産農家の高齢化が進展しておりまして、今後ますますハーベスターによる収穫は進むものと考えております。

◎我如古三雄君

次に、収入保険についてであります。

さきに沖縄県農業共済組合から、次年度の農業共済事業運営負担金、収入保険加入推進事業の農家負担金共済掛金の助成を求める要請がありました。以上を踏まえて伺いますが、助成策について伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

去る11月７日に沖縄県農業共済組合から、令和７年度の農業共済事業運営負担金、畑作物共済事業、園芸施設共済事業及び収入保険事業の農家負担金共済掛金助成、また家畜伝染病疾病発生予防対策補助金の予算確保に向けた要請がございました。以上の事業につきまして、沖縄県農業共済組合は例年同時期に新年度の予算確保について要請しております。要請金額の内容といたしまして、農業共済事業運営負担金に457万2,000円、園芸施設共済加入促進事業補助金に570万円、畑作物共済加入事業の補助金として455万円、収入保険加入推進事業補助金に1,280万円の要請となっております。市としましても、令和６年度より自然災害等による損失リスクを軽減するため、災害後の支援より災害前の支援に力を入れております。令和７年度においても、農家支援のために予算確保に取り組んでまいりたいと考えております。

◎我如古三雄君

同じく家畜伝染疾病の発生予防対策についても要請がありました。どのようになっているのか伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

宮古島市では、家畜の伝染性疾病の発生の予防や蔓延を防止することで家畜の死亡や病気を防ぎ、農家の経営安定を図るため、家畜共済加入の農家の肉用牛への飼養管理に係る異常産予防ワクチンや肺炎予防ワクチン、下痢予防ワクチンの接種の購入費用の３分の２以内の補助をしております。今年度上半期の実績として、異常産予防ワクチン370回、肺炎予防ワクチン583回、下痢予防ワクチン432回分の申請がございます。次年度以降も、異常産予防ワクチン1,400回、肺炎予防ワクチン2,150回、下痢予防ワクチン1,200回分の補助を予定しております。

◎我如古三雄君

しっかり対策してもらいたいとお願いいたします。

次に、公園整備についてであります。上野の野原大嶽城址公園の展望台整備についてであります。この展望台整備工事がなかなか前に進まないと地域住民からあります。この整備状況、供用開始はどのようになっているのか伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

大嶽城址公園展望台建築工事につきましては、令和６年６月から10月にかけて合計５回の入札を行いましたが、いずれも入札が不調となっております。新たな発注時期につきましては、工事仕様等を見直し、単価の入替えを行い、令和７年４月を予定しております。また、供用開始につきましては、令和７年度中としております。

◎我如古三雄君

もう５回ほど入札に付した、不調に終わったということでありますが、これ新年度でもう大丈夫ですか。

◎建設部長（川平陽一君）

辞退した業者への聞き取り調査を実施したところ、民間工事の受注が多く、人手不足が要因であるとのことでした。辞退届の中でも、技術者の確保が困難、作業員の確保が困難となっておりますが、新たに次年度で工事の仕様書を見直し、単価の入替えを行って、令和７年４月に再度入札を行う予定となっております。

◎我如古三雄君

この大嶽城址公園は、宮古島全域が眺望できる地域住民、市民の憩いの場として、かなりの絶景下でもあります。早期の展望台の整備を待ち望んでいます。当局の早めの対策を、整備に向けた取組をお願いをしたいと思っております。

次に、台風で倒壊した野球場とテニスコートの外周のフェンスの整備が長年にわたって放置された状況と。私はこの問題については何度か取り上げて質問をしておりますが、今日までまだ手つかずの状況であります。現在、整備に向けて取組はやっているのか伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

野球場及びテニスコート外周の倒壊したフェンスの改修工事につきましては、令和６年11月27日に工事請負契約を締結しており、令和７年２月28日の完了を予定しております。

◎我如古三雄君

次に、環境衛生について伺います。

不法投棄ごみ対策についてであります。不法投棄・散乱ごみ監視事業で設置した監視カメラの稼働状況、その抑止効果と今後の設置計画について伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

今年度不法投棄抑止を目的に、監視カメラ６台を購入いたしました。監視カメラの仕様としましては、電池式で夜間の撮影も可能となっております。カメラを設置する際には防犯カメラ設置中であることを掲示し、摘発することを目的とはせず、抑止を図っているところです。これまで市民から通報があった不法投棄現場に監視カメラを設置したところ、翌日にはごみが撤去されたということもございました。これは監視カメラを設置したことによる抑止力が発揮された事例と捉えております。ただし、まだまだ不法投棄は確認されており、監視カメラを設置し、不法投棄を抑制する必要性を強く感じているところです。当面は現在ある６台のカメラを維持しながら監視活動を継続し、不法投棄抑制を図っていきたいと考えております。

◎我如古三雄君

ドローンの活用、あるいは市公式ＬＩＮＥを活用した市民からの通報制度等によって、監視強化、処理対策の推進、官民連携の対策委員会を立ち上げて取組を強化する必要があると考えます。見解を伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

不法投棄ごみ対策において、新たな不法投棄ごみを発生させないための抑止活動を推進していくことが重要と考えております。今年９月より新たに市公式ＬＩＮＥのリッチメニューに不法投棄通報システムを導入しております。不法投棄現場に関する位置情報や不法投棄ごみの写真など添付可能となっておりますことから、詳細についていち早く通報していただけるようになっているところです。

また、官民連携の対策委員会につきましては、宮古保健所を事務局といたしまして、県、市、警察署、海上保安庁、産業廃棄物協会会員、ＮＰＯ団体等で構成する廃棄物不法処理防止ネットワーク会議が組織されております。その中で、不法投棄実態調査の報告や各会員の取組内容の報告等を行っております。あわせて一斉パトロールを実施するなど、現状把握に努めているところです。

市の取組としましては、ボランティア団体と連携して島内ごみゼロ大作戦を実施しております。今年で３回目の開催を行い、今回は1,426人のボランティア申請と約3.8トンの不法投棄ごみが回収されました。年間を通して多くのボランティア清掃が行われている本市のボランティア活動に対し、引き続き可能な限りの支援を行ってまいりたいと考えているところです。

ドローンの活用につきましては、他自治体においてスカイパトロールと銘打ち、不法投棄現場のパトロールやドローンに音声機器を備え、不法投棄ごみ抑止の呼びかけを実施している事例があるようです。ドローンの活用につきまして現在本市では予定しておりませんが、導入を開始した監視カメラの運用効果を見極めながら判断してまいりたいと考えております。

◎我如古三雄君

大変大事なことであります。不法投棄をやはり減らさなければならないと。そのためには、やはり市民のそういった不法投棄に対する認識を改める必要があるかと思っております。

次に、水道水農薬複合汚染対策について。宮古島市地下水研究会が農薬による地下水や人体などへの健

康影響を指摘した水道水農薬複合汚染対策を求める請願について、当局はどのような見解を持っているのか伺います。

◎水道部長（下地貴之君）

今回提出のありました緊急要請の内容は、東添道水源地及び山川水源地の原水において、フィプロニル農薬が高濃度で検出されたことによる原因究明、当該水源地の一時的な取水停止、早急な高機能活性炭浄水処理等の高度浄水処理施設整備、フィプロニル代謝産物濃度測定の実施及び高濃度検出に対する今後の対策を市民に説明することについて、宮古島地下水研究会より要請がありました。同研究会の提案理由にもありますとおり、今年５月、水道水源でのフィプロニルの測定結果、東添道水源地から、これ１リットル当たりでお答えしますけども、87ナノグラム、山川水源地から17ナノグラム検出されております。ただ、その濃度は水道水質管理目標値の500ナノグラムを下回っております。ちなみに８月の測定結果におきましては、東添道水源地１ナノグラム、山川水源地２ナノグラムとさらに低濃度で検出されております。ちなみに蛇口から出る水を上水といいますけども、上水からはこれまで行った検査では検出されておりません。この現状を踏まえまして、同研究会の要請事項である当該水源地からの取水停止は考えておりません。

また、農薬濃度の増減につきましては、今年度より高精度のモニタリング調査を実施しておりますので、まずは結果を注視しながら原因究明に努めてまいります。高度浄水処理施設の設置につきましても、今後仮に濃度が上昇していく傾向が見られれば、施設の必要性について検討してまいります。また、代謝産物濃度測定につきましては、まずは現在実施している高性能のモニタリング調査を継続することが重要だと考えております。そのことから、代謝産物を新たに検索項目に追加する考えはございません。検査結果につきましては、これまでどおり水道部のホームページで公表してまいります。

◎我如古三雄君

袖山浄水場、加治道浄水場に高機能の活性炭浄水処理設備等高度淡水処理施設の整備を求めております。どのように対策を講じる考えなのか、整備は可能なのか伺います。

◎水道部長（下地貴之君）

先ほどの答弁と一部重複する部分もございますけれども、まずは現在行っておりますモニタリング調査、その結果を注視しながら、今後濃度が上昇していく状況であれば施設の必要性については検討を行ってまいります。県の要望につきましても、今後全国的に調査が進みまして、国や県から具体的な方針が示されるなど、情勢に動きがあった場合には施設の整備も検討してまいります。

◎我如古三雄君

整備は今のところ考えていないというふうなことでよろしいですか。

◎水道部長（下地貴之君）

施設整備につきましては、現在は検討の段階ではないと考えております。

◎我如古三雄君

最後になりますが、市長の公約実現について伺います。

来年１月をもって任期満了を迎えようとしておりますが、振り返って市民に示された公約を中心にどのような成果をもたらしたのか伺います。

◎市長（座喜味一幸君）

私は、５代宮古島市長に就任してから、市民ファーストを基本姿勢に掲げた公約をはじめとして様々な取組を推進してまいりました。公約である市民の所得については、専門部署である産業振興局を設置した六次産業化の推進、上野庁舎を活用した加工流通拠点、宮古島市地産地消振興センターですね。の整備等に取り組んできました。農林水産業と観光産業を有機的に結びつけ、地域産業の活性化を進めてまいりました。あわせて、経済団体、民間事業者、関係行政機関等が参画する市民所得向上懇話会を立ち上げまして、官民連携の下、取組を推進する体制を構築したことは、ほかの市町村でも例を見ない先駆的な取組であるというふうに考えております。

誰一人取り残さない社会の構築については、中学校卒業までの通院、入院に係る医療費の完全無償化、母子保健と児童福祉が一体となり、切れ目のない支援が可能となるこども家庭センターの設置、ひとり親世帯の自立支援を行うひとり親家庭生活支援事業の実施など、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、高齢者の外出、社会参加促進への支援となるシニアカーの購入補助を新設するなど、幅広い世代への支援に取り組んでまいりました。

離島における不利性の解消として、児童生徒の選手派遣費や修学旅行の費用に対する補助対象の拡充、上限額の引上げ、これまで補助対象外となっていた12歳に達する小学６年生を交通コスト還付事業の対象として追加し、子育てを頑張っている保護者の負担軽減に努めたと自負しております。これらに加えて、長年の課題でありました総合体育館の建て替え、平良庁舎を利活用した新たなプロジェクトの着手も進んでおります。

これらのことから、私が目指した市民のための市政運営による持続可能で豊かな島づくりに向けて着実に歩みが進められたものと考えております。

◎我如古三雄君

私は、この４年間の行政運営は、各地域との対話もなければ、地域を切り捨て、上から目線の行政運営であり、地域をさらに衰退化へと追いやったというふうに考えます。市民ファーストどころか、市民スロー、市民ラスト、全ての公約実現にはまだまだ程遠い行政運営であったと言えます。以上、いろいろ私見を交えながら質問してまいりましたが、未解決の事項等については早期に取り組んでいただきますようお願いを申し上げます。

今年も余すところあと３週間、市民の皆様にとりましてよりよき新年が迎えられますよう祈念申し上げまして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

答弁漏れがあるそうです。

◎農林水産部長（石川博幸君）

先ほど宮古島市総合交流ターミナル施設通称てぃだの郷の未納についてご質問の中で、約600万円を超えるという話をしましたけども、使用許可は令和３年、令和４年のみ出しておりまして、未納額が722万円となっております。令和５年、令和６年におきましては使用申請も出されておらず、現在許可も出されていないというふうになっております。

◎議長（平良敏夫君）

これで我如古三雄君の質問は終了しました。

◎下地信男君

９月定例会は体調が悪くて休みましたけど、今回は２期ぶりの質問になります。しっかり質問してまいりたいと思いますので、当局の職員、市長の適切な、できたら分かりましたという答弁がいただけるとありがたいです。

まず最初に、市長の政治姿勢ということで、地域賑わい創出事業というこの基本構想を昨年の11月に策定しております。そこで以下について伺いますけども、この事業の目的についてまずはお伺いをいたします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

地域賑わい創出事業の目的についてということです。

国勢調査における城辺、下地、上野、伊良部、平良地区の北部を合算した旧町村地域の人口は、平成17年２万2,203人から令和２年には１万8,261人と3,900人、率にして17.8％の減少となっております。また、当該地域における65歳以上の老齢人口の割合は、平成17年の31.9％から令和２年では36.6％と4.7ポイント上昇をしております。旧町村地域においては、人口減少と少子高齢化が進んでいる現状にあります。その一方で、旧町村地域においては、本市の大きな観光資源にもなっている豊かな自然環境を有すること、郷土に愛着を強く持ち、地域のために活動する人々が多くいること、また昔から受け継がれている伝統文化、芸能があること、また県内でも有数な耕地面積を活用した農産物の生産力があること等、地域それぞれに資源や特性、魅力が存在していると考えております。その魅力を生かすということで、地域賑わい創出事業はこれらの地域が持つ資源や特性、魅力を生かしながら地域の住民の皆さんが主体的に地域のにぎわいを創出できる取組を行い、持続可能な地域社会の形成につなげることを目的としております。

◎下地信男君

企画政策部長、これは次の質問まで答えてしまったということになるんですか。次の質問は地域の課題をどのように捉えたかということで、市がこういった事業を仕掛けて、市民と連携しながら協働で、寂れていくと言ったらおかしいですが、少子高齢化、それから担い手不足という課題もあります。そういった課題を解決するような取組をしていこうということなので、地域にどういった課題があるかということを的確に捉えないとちょっとポイントがずれた取組になっていくと思いますので、この事業を実施するに当たって、地域の課題、これをどのように捉えるか、どのような考えの下に構想が出来上がっているかということをまず先にお答えください。

◎企画政策部長（久貝順一君）

地域の課題をどのように捉えたかということです。

先ほどの質問でお答えしたんですけども、旧町村地域、また平良地区の北部を含めて、人口減少と少子高齢化が進んでおります。これは、年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口の割合が高くなっている状態ということもありまして、地域活動の担い手の減少、また農業などの後継者問題など、様々な課題があると考えております。地域賑わい創出事業につきましては、現在基本計画の策定を進めておりますけども、地域の意見を把握、収集するために各地区で開催したヒアリング、ワークショップにおいても、地域から市街地に比べ、少子高齢化が著しく進行しているのを感じるとか、若い人が少なくなり、各地の伝統行事や事業の継続が困難となっている等の意見が上がっております。持続可能な地域社会の構築、いわゆ

るコミュニティーの維持に向けては、これらの課題を踏まえながら取組を進めていく必要があると感じているところです。

また一方で、にぎわい創出の取組に向けては地域から積極的な意見も上がっておりまして、共通した意見としましては、小規模でも構わないので、集会、イベント等を開催して人が集まるような機会づくりが重要であるとか、また現在行っている地域行事等をブラッシュアップして幅広い世代が楽しめるような取組を進めたい。また、様々な取組を中心となって行う人、組織づくりが必要という意見等が挙げられております。これらいただいた意見につきましては、ハード的な整備をしてほしいということではなくて、地域住民自身が主体となって取組を行うためのソフト的な支援を求めているものだと捉えております。

◎下地信男君

もうちょっと議論したいと思いますけど、私もこの下地地域に住んで、旧町村に住んでいる人間として、あるいは地域で自治会などの集会で話をするときに、まず少子高齢化と担い手不足というのも本当によく言われている問題ですけれども、自治会の運営実態というのがもうままならない。自治会という市がこういうにぎわい創出等やらなくても、当時数年前、数十年前は、自治会が元気なときは、自治会で独自に行事を開催したり、それからいろんな共同作業をしながら地域の活性化をどうすればいいかということをあらゆる機会を通して話をしながらやってきたという経緯があります。ところが、今はもう高齢化、平均80歳以上の方が60%とか50%とかいう地域になると、こういう活動がもうできないんです。これが実態です。そこに、この計画書の中には地域資源と言って出ているのは、もう公共施設の羅列ですよね、公民館とかスポーツ系施設、コミュニティーセンター、子育て支援施設とか。これこういう施設を生かすとなると、要は私がさっき言った自治会、本質の本当に原点になる自治会というのを無視してしまうと、本当に課題というのを履き違えてしまうとこの目的達成できないと思うんです。

では、ここで質問ですけど、これは５地域ありますね。旧町村部４地域、平良市の北部地域が対象になっています。この大きなエリアの中でどういうふうな事業を展開するんですか。この大きな中で、例えば上野地域は上野地域の１か所だけ拠点施設を造って、市民全体でやると。3,000名の市民でやると。こういう取組が本当に末端組織の活性化になるのかどうか、少子高齢化を解決する取組になるのかどうか、私はそういうところが疑問なので、当てるべきポイントは本当に末端組織の自治会です、今は。それが起こると地域全体の自治会連合会みたいな組織に発展していきます。ここは慎重に考えてほしいんですけど、この対象となるエリアというのは、その地域のうちの全体ですか。それともどういった感じでイメージされています。これイメージがありますけど、地域と行政と各団体と三角形になって連携とありますけど。事業者か。そういうイメージを、課題の上に立ってのイメージをぜひ聞かせてください。

◎企画政策部長（久貝順一君）

このにぎわい創出拠点づくりという形で、各地域、旧町村を中心としまして、各町村に対して１か所の拠点を造って、そこでにぎわいをつくっていこうというのがこの事業の中身となっております。その中で、既存の公共ストックを活用した事業ということとなっておりまして、その中で住民の意見交換としては、そこで農産物の物産の販売とか、あとキッチンカーを置いたイベントとか、そういった様々な意見が出ていたということは聞いております。確かに８月の下旬でしたか、下地地域の地域懇談会の中でもある自治会の女性の方がおっしゃっておりました。もう高齢者が増え過ぎて自治会活動もままならないと、自治会

費も取りにくいという話もしておりました。そういうふうな話も含めて、今後進めていくところは、課題は多々あるかと思うんですけども、その中でもこの現状は聞いたんですけども、市として取り組んでいる各町村地域の中での拠点づくりとして、この地域が全体としてにぎわうという形の部分を取り組んでいこうということで事業を進めているところです。

◎下地信男君

この事業の名称も「賑わい創出」とありますけど、普通は、これまでは地域の活性化であるとか、これ「賑わい」にしたというのは、例えばにぎわいというイメージは人が集まってわいわいやります。何か単発的なイメージというのか、常時そこににぎわいの場があるということを想定して今あるというふうに思うんですけど、活性化ということの中には組織、これは辞書を引いたんですけど、組織や地域などの機能を活発にするためとか言われますけど、今まさに基礎自治会、これを何とかしてほしいという思いが私はあります。

企画政策部長は、先ほどこういう賑わい創出事業という事業を仕掛けるときに大事なのは地域住民が主体となってという話がありましたね。この構想の中には重要な、地域づくりというのはもう人ですよね。箱物があるから活性化するわけではありません。人がどういう考えで企画を持って、あるいは周りの人たちに協力してもらってというキーマンが必要ですよね。その考えがこの構想の中には入っていない。

これこの後は要望ですけど、１つは、この後にも質問しますけど、防犯灯の問題だけでも、もう防犯灯払えないんですよ、会費が徴収できないから。高齢化して。すると、私が心配するのは、将来心配しているのは、この自治会がなくなっていったときに、基礎的な組織がどんどん、どんどんなくなっていくのに、その上に土台が組めるかなということなので、この事業で可能であればこういう自治会の運営に目合わせてちょっと伴走をしていただいて、長期間の実施期間を経てこれをどうするかということをまずはやっていただきたい。そうしないと、もうその地区の一部の人だけが楽しんで、あとはもう取り残されていくような気がしますので、この光の当て方をどうするかということをぜひ考えていただきたいと思います。これは要望です。

次の観光目的税（宿泊税）について。今、沖縄県で検討されている宿泊税です。観光目的税ですけども、３回の検討委員会の会議が終わって、ある程度まとまっているようです。県の検討委員会で検討されているこの結果、宿泊税の内容はどういう形になっているのか、これ教えてください。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

沖縄県で検討されている宿泊税の概要についてでございます。

沖縄県は、国内外の人々から選ばれる持続可能な観光地として発展していくことを目指し、安全かつ安心で快適な観光の実現、観光旅客の受入れ態勢の充実強化、その他の観光の振興に関する施策に要する費用に充てるため、宿泊税を導入するということにしております。

宿泊税の税率についてでございますが、１人１泊当たりの宿泊料金に対して上限を2,000円として、定率での２％の課税で、修学旅行生とその引率者に関しましては課税免除で、また県と市町村との配分についてでございますが、独自に宿泊税を導入する予定の市町村との配分は、県が２、市町村が３、その他の市町村とは県１、市町村１というふうな内容になっております。

◎下地信男君

これ2026年度から県は導入するということでありますけども、市は導入準備中の５市町村に入るので、６割の配分ということですよね。試算していると思いますけど、市への配分財源というのはどの程度になっているのか、それをお願いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

試算の段階では、４億円程度というふうな試算となっております。

◎下地信男君

この４億円というのは、もう自主財源のような形でやるという話になるんですか。県は６項目の事業を対象とする考え方を示していますけども、市ではこの４億円の活用方針というのはどのようになっているのかお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

具体的に使途のほうについてでございますが、まずは県のほうからでございますが、県の宿泊税の部分では、安全、安心で快適な観光の実現、県民、観光客双方にとっての満足度の高い受入れ態勢の充実強化、また観光地における環境及び良好な景観の保全並びに魅力ある付加価値の高い観光地ブランドづくり、観光の振興に通じる文化、芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興、また地域社会の持続可能な発展を観光を通じて促進することによる県民理解の向上と、これらを前提としながら国内旅行への促進、市町村への配分というふうになっておりまして、市のほうとしましてもこういった県の部分と重ならない市独自で実施する部分、県のほうでやり切らない部分として、市として受入れ態勢の充実強化、また環境及び景観の保全、宮古島独自の文化、芸術やスポーツ振興、持続可能な観光地の推進の４つの柱を設定して事業を行っていくということにしております。

また、詳細な事業に関しましては、関係者とこれから協議しながら検討していくことになりますが、二次交通対策や人材育成、また確保、観光地、海岸、道路の美化、文化、芸能、歴史等を活用した観光コンテンツ造成、宮古島サスティナブルツーリズムガイドラインの普及、促進などを想定しているところでございます。

◎下地信男君

しっかり計画をつくって、市民等の理解も得ながら事業を進めていただきたいと思います。

次に、観光客のみならず県民へも課税することについてということで、３回の検討委員会でそういう決定をして、これ検討委員会の委員から、県民から取るのはちょっと無理があるんでは、おかしいんではないかという指摘を受けながらも、検討委員会では県民に詳しく説明をしていくということで、これはどうも実施されそうですけども、ただ飛行機の不利性解消というか、航空運賃の助成なども離島ということに鑑みて支援してきたという経緯からすると、やはりもう少し離島の住民への配慮があってもよかったのではないかというふうに思っています。この県民へも課税するということについて、市長の見解をお聞かせください。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

県民への課税についてでございます。

県民の課税免除という考え方につきましては、税の公平性の観点から法の下の平等の例外に相当するかというところが論点となっているところでございます。免除するためには総務省の同意を得ることが必要

でございますが、現段階ではまだ総務省の同意を得るための理論を整理するに至らなかったことから、県としては制度導入３年後の見直しに向けて議論を深めていくことというふうな現在の段階でございます。

また、宮古島市の取組といたしましては、県に対して宿泊税導入の際に離島住民への負担が生じることへの配慮について要望しているところでございます。引き続き、県との意見交換の中におきまして、一旦税として徴収をするものの、例えば下地信男議員のほうからもございましたように、子供たちの大会派遣等に関しての離島の不利性解消という形での補助を実施していくような形で何らかの形で助成を行えないか、負担を軽減していけるよう要望していきたいというふうに考えております。

◎下地信男君

離島の不利性というものの観点から、私は強く要望していくべきだと思います。その上でちょっと壁があるようですけども、ただそういう新たな事業が出てきたときに、やはり離島の立場というのをどんどん主張していくべきだと思います。こういうのが次の事業につながっていくと思いますので、市長を先頭に頑張っていただきたいと思います。

次に、市財政について。経常収支比率が2.1ポイント上回ったという、これ監査委員からの意見書の中にありました、９月のですね。ただ、91.6％という宮古島市の収支比率ですけども、80％を超えるともう財政構造が硬直化していると言われていますので、相当これは超過しているということなので、早急に何とか手を打たなければいけないということです。これ毎年指摘されているんですね、監査委員の意見書の中で。ただ、逆に悪化していくという状況なので、この件について市長の本気度をまず聞きたいんですけど、市長、大丈夫ですか。こういった審査意見書について、こういった財政状況というのはもう今日明日という話ではなくて、じわり、じわり、じわりと来て、後でもう戻ることができないような状況になってしまうというのが行政の財政の危険なところなので、これ真摯に受け止めるべきだと思います。この辺のお答えお願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

経常収支比率についてお答えをいたします。

今、下地信男議員からありましたとおり、令和５年度決算における経常収支比率は91.6％で、前年度比で2.1％悪化となっております。経常収支比率の悪化の要因としまして、まず物件費で使用された一般財源の２億円の増。中身としましては、市営住宅管理委託業務の5,664万8,000円の増などによる約１％の増。扶助費で使用された一般財源の２億円の増。主な要因としまして、生活保護扶助費の１億6,778万2,000円の増などによる約1.1％の増となっております。今後、経常収支比率の改善策としまして、経常的経費の削減を図る方策としまして、各種事業の見直しや施設の統廃合によるコストの削減、委託事業の精査等を図るとともに、デジタル化による業務効率化による経費節減を進めまして、自主財源の確保として資産の有効活用、国や県からの補助金等を確保することにより収入面を強化するということで、歳出歳入の両面から経常収支比率の改善を図ってまいりたいというふうに考えております。

◎下地信男君

91.6％という数字を見たときに、本当に市民のために何も事業ができないねと、これでは。合併して20年になりますけども、この大きな課題を抱えつつ20年間来てしまったという状況ではないかと思います。これ市長、どこかで大なたを振るわないとなかなか難しいと思います。毎年毎年予算要求をそのまま黙って

見ているようでは、多分これは職員の意識だけでは改正できないよと。これは市長がもう大なたを振るう時期に来ているんではないかと思います。その辺も市長の見解を少しお聞かせをください。

◎市長（座喜味一幸君）

今、総務部長から答弁があったとおりでございます。１つは、物件費等の公共財産等の利活用、こういうものはスピード感と効率性をもって速やかにしなければならないということで、財産等の利活用等については財産管理の専門の課を設けながら、それによる対策もしていきたい。出るを制していけるところをしっかりと出るを制していくということは当然であります。また、入るほうでは、自主財源は自主財源率というのが伸びております。そういう伸びた入るほうを増やすふるさと納税、今議論になっております宿泊税等々で、そういうことも増やしながら、やはり経常収支比率というものはしっかりと長期の目線で効率化していく必要があるというふうに思っております。その辺に関してはしっかりと危機感を持っての対応をしてまいりたいと思います。

◎下地信男君

こういう離島県の離島地域である自治体が自主財源を増やしていくということは、かなり大きなハードルがあると思います。３割自治ですよね。でも、自主財源というのは本当にこれをしながらやっていけないと思いますので、職員の認識を一つにして市長が大なたを振るうということもぜひ考えてください。

次の農林水産業振興について、土地改良事業について。この地区の農家の皆さん方の話を聞くと、農林水産部長の話もそうですけど、工事は終わりましたと。もう県への工事完了の手続は終えたと。ただ、農家と現地へ行ってみると、受益農家に案内されていくと、まだ冠水があるからここには置いていけないよと、グレーダーで表土を剥いで、道路そばに山のように積んである地域のところがありました。これもう終わったのに、県へも完了手続をして、ただ現場は終わっていないという状況はどういうことなのかなということをお答えいただけますか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

下地信男議員ご指摘の件については、２工区の部分だというふうに伺っております。９月定例会、竹アラ地区の圃場整備工事に関する答弁で、２工区についても完了しておりますというふうに答弁いたしました。沖縄県には、令和５年度の工事をもって２工区での補助事業の圃場整備工事は完了したと報告しております。しかしながら、一部の圃場で排水不良があることから、その対応について県と協議を行っておりましたところ、予期せぬ事態であり、補助事業として追加で工事を行うこととなりました。現在の状況といたしましては、２工区4.5ヘクタールは一部圃場において排水不良箇所の排水性改善工事を実施するため、入札を依頼しているという状況でございます。

◎下地信男君

では、これはこういう手続はしたものの、県が実態を見て助成しましょうという形になったんですね。これ受益農家の皆さん方の話なので、よく分かりませんけど、県はこの土地改良財源が本当に乏しくなってきている、国からの流れが弱くなっているという中で、もう出来高で途中で打ち切って補助を終了するというのが多々あるという話を聞いたんです。これ県の補助金の減少というのが市町村の団体営圃場整備に影響しているということなんですけども、こういうのが実際にありますか。内示を出して、予算は宮古地区にはこれだけといった部分が、途中で出来高でもう切ってくださいということという事案はあるんで

すか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時32分）

再開します。

（再開＝午前11時32分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

宮古島市では、そういう事案はないということです。

◎下地信男君

では、次の質問です。２番後にして、３のほうから。農家の説明会で、２年も３年も作付ができなくて農家がもう収入がないよという話をしたときに、市はもうそのとおりですと、市の責任です、工事が遅れて農家に損害を与えたのは市の責任ですという話をして、営農によるいわゆる肥料などを補助するという形で支援していきたいという話がありました。これ農家に聞くとそういう話は聞いたことないという話などもする人もいますけど、これどんな感じで進めていますか。この内容と、これ説明しているかということ少しお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農家への営農による支援の説明については、今年３月26日と４月24日に説明会を開催して、その中で説明しております。あわせて、説明会の通知文にて支援内容を記載し、送付しております。しかしながら、説明会に参加できなかった農家で、その通知文書の中で詳しく読まれなかった方もいると思いますので、今後この内容について再度周知を図っていきたいというふうに考えております。

◎下地信男君

混乱が起きている中で、市が何とかしてくれると言って届かない農家がいるということで、その延長線上に損害賠償請求の訴訟が出ていると思うんです。要するに市の対応について、これはもう不満があるということだと思います。私は農家というのは、作った物を売って、それで生活しているということなので、これが滞ってしまうとやはりでは生活どうするのという中からこういった訴訟が提起されたと思っています。

これ９月定例会に上地廣敏議員への質問に対して、同じような質問に対して、市長は地元との連携を強くする、今後強くしていくと、反省しているという話がありましたけども、この土地改良事業をするに対して、その前に連携という言葉はお互いがそれぞれやるべき責任をしっかり果たして、そこで手を携えればまたプラス効果が生まれていくということが私は連携だと思いますけど、土地改良事業について、しかも土地改良の工事について農家がやるという部分は私はないと思うんです。全て市が農家からの委任を受けて工事を発注して、施工業者を指導しながらやっていくというのがあれなんですけど、ではこれこういう問題になっているのは地元との連携がなされていなかったというと、何か受益農家にも落ち度があったみたいな形に聞こえませんか。この地元との連携を強くするということはどういうことなのか、市長、少しお聞かせください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

地元との連携ということでございますが、やはり工事の進捗状況とか現場の状況についてこれまで何度か説明会とかをしているんですけども、説明会へ参加していない農家への説明、意思の疎通が十分ではなかったなと考えております。個々の農家へのきめ細やかな対応を図って状況をやるべきだったというふうに、そういうふうにして進めるべきだったというふうに考えております。

◎下地信男君

こういった結果になったのは、農家の皆さん方も説明会に来ないからこういうことになったんだよという話ではないと私は思います。工事を市がしっかりと、むしろコンサルタントと事前に現地を踏査して、問題点把握して、これを踏まえた設計をして市が施工していくと、そういうところが問題の一番大きな点だと思います。これ受益農家がおかしいんではないかという話をするべきではないと私は思います。この農家への支援も、これはもうやると言ったからには、まだ不満に思っている人もいます。営農だけで、３か年間何も肥料だけでという話出ますので、これ本当に丁寧にやってほしいということを毎回言っていますけど、市長、農林水産部長、これ本当にやってください。そうでないと第２、第３の訴訟が出てくる、私はそういうふうに見ていますので､ぜひ丁寧な説明を受益農家の皆さん方と膝を交えてやってください。

次の質問ですけど、今問題になっている竹アラ地区は、下地小学校の南側に位置している。ところが、また今度は北側に位置するいわゆる沖縄製糖の東側の農地を土地改良するということになっています。この事業の採択に向けた進捗状況についてお願いいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

下地地区の竹アラ第２地区の進捗状況です。

現在、経済効果の算定や土質調査、排水計画の調査業務を実施しております。11月29日に第１回の事業説明会を開催し、地元農家の意見を伺ったところです。今後は、農家の意見を基に本計画策定業務にて作成された事業計画書、積算資料等を基に事業採択に向けて県とヒアリング等を実施し、令和８年度採択に向けて調整を行ってまいります。

◎下地信男君

この竹アラ第２地区も、竹アラ地区と同じように、地質、それから排水環境がよく似ている地域なんですよね。この間、受益者説明会のときにも、もう頼むから排水処理を何とかしてほしいと、それがしっかりできないから水がたまるという話になっているので、現地の状況をしっかり踏査して、現地に合った設計、施工をしてほしいという強いこれ願いが出ておりました。一部の農家からは、もし３か年間植付けができなかった場合は補償するかと、こういう、何か契約書を作ってほしいという人もいましたね。それだけ竹アラ地区の事業というのがこの辺にも影響していると思います。ぜひ竹アラ地区の反省を生かして、この竹アラ地区本当にスムーズにできるようにしっかり取り組んでいただきたいと思います。

次に、畜産業の振興についてですけれども、これ８月の臨時会でしたね、宮古島市和牛子牛価格安定緊急対策事業補助金って。これを創設して、今県平均との差額を支援していますけども、１は割愛して、12月８日の競りまでで、この事業は１年間ということでした。１月以降はいろいろ状況を見て考えるということでしたけど、これ今後の予測ができない状況の中でこの12月の競りまでとした、期限を切ったという理由は何ですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

本事業ですけども、競り価格低迷による畜産農家への緊急支援として本市の一般財源を充当して実施しているため、財源確保に課題があるということから、継続的な支援については不透明な状況もあることから、令和６年１月から12月までの１年間を事業の対象期間として設定したところでございます。

◎下地信男君

今、畜産農家は、何か乾燥草というのを飼料に変えて使っているということでした。乾燥草だと、もう体重も乗らない、肉質も劣ると。そうしたら、これ当然価格低下を招きますよね。この価格低下を招くと、もうこれ市場そのものの価値といいますか、評価がもう下がってしまうと、購買者の皆さん方から。これは負のスパイラルですよね。こういうことを言う農家がたくさんいます。８日の競り市では、本当に小さな牛も、メザシのような小さな牛も出品されておりました。なぜかと。１次産業は、作ったら売らないといけないと。売らないともうこれ生活できないと。赤字でも売らんといかんと。赤字でも売らんといかんという向こうに何があるかというと廃業です。今こういう状況です。ある一部の農家は、もう畜産やらんで、アルバイトをしながら生活をつないでいるという話がありました。こういう状況からすると、これ１年もないですよね。１年間の４分の３期間ですよね。これぜひやってほしいんですけど、財政の問題を総務部長に聞けばいいですか。市長ですよね。市長、これも終わりにするんですか、まだ子牛価格の回復は見えていませんけど。市長の見解をお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

家畜競りのときにも私も行きました。農家の皆さんと意見交換もさせてもらいました。今回私ども市としましては、子牛の価格低下、これは大変重要な問題。それで、価格安定基金、生産費にできるだけ近づけるということで、国、県の制度に上乗せして対応していると。それについては、高齢化あるいは畜産を廃業しようというふうな流れをどうしても食い止めなければならないというふうなことで、私は思い切って対応したと思っています。また、この競り価格低下、飼料の高騰、それに関してもしっかりと市独自でも補填をしているんですが、状況を見ながらやはり今畜産の高齢化等々については非常に曲がり角に来ていると思っておりますんで、畜産業が続くような対応はしっかりとやっていきたいと思っております。

◎下地信男君

価格の高騰も世界情勢の変化の中からこういった大きな問題が出てきているわけですけども、むしろこういう窮地のときにこそやはり行政が伴走してしっかりと支援してあげるということは、私は大事だと思います。やらなければならない。いわゆる１次産業の問題をどうするかという大きな問題につながっていく問題だと思います。

次に、コールドチェーン体制の構築について。これ３か年間県の支援を受けて、実証事業はもう３年目になりますけども、取組状況は前回聞きました。気になるのは、３か年間の実証を終えて本格運用というのがいつ頃になるか、この見通しは立っているかについてご答弁をお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

まず、農政課関連でございます。６月定例会でも実証事業を実施して、ゴーヤ、ピーマン、枝豆をスーパーで販売等をしたということを答弁させていただきました。６月には、収穫から14日目のメロンを同じく兵庫県のスーパーで販売して、鮮度もよく、好評だったということ。また、８月には、収穫から28日目のマンゴーを世田谷区民まつりにおいて関係者へ試食提供を行い、高い評価を得ることができているとい

うことでございます。これら実証事業、他の鮮度保持技術の情報を踏まえますと、船舶輸送でも農産物の品質保持は十分可能だというふうに考えているところであります。しかしながら、運用に当たって不利性事業を利用している農家のほとんどがＪＡ系統外であるため、農作物の集荷体制や集荷、選果場、コンテナの確保などの課題があります。そのため、物流事業者や生産農家を含む協議会を立ち上げ、船舶輸送による物流システムの構築を目指して関係者と協議を行っております。次年度以降については、ＪＡも含めて今年度の課題解決に向けて取り組んでまいります。コールドチェーン体制の本格運用の見通しについて、農作物の関係については現在未定でございます。

次に、水産関係ですけども、モズク関係のリーファーコンテナについてはもう十分うまく運用がいっているということでございます。また、鮮魚についてのＣＡＳという鮮度冷凍技術ですけども、稼働期間が短いということもありまして、費用対効果の検証、取引の検証までは至っていないというふうに６月定例会で答弁させていただきました。本格導入までに至る課題といたしまして、このＣＡＳについては台風や冬場の荒天時の漁獲量が減る時期の数量確保及び安定供給に係る課題がございます。その他導入機器のリース料、光熱費、人件費等の必要経費の対応など、自走化に向けた取組の推進や高付加価値に向けた取組が挙げられます。これら課題を話し合うために、水産関係、去る10月に物流関係、行政等を構成とする検証委員会を組織しております。これまでの取組や課題について確認等を行っております。本格運用の時期については、農作物と一緒、同様に現在のところは未定となっております。

◎下地信男君

３年間の実証を終えて、今後は市単独の予算を確保しながらということになるというふうに思っていたら、沖縄振興予算がこの事業へ一括交付金からも単独事業になりましたよね。事業費もかなり増えています。そのところですし、活用しながら生産物も含めて物流の大量輸送というのが、この品質を保持しながら市場の評価をいただけるようなそういう輸送体制というのが、これ農家にとってプラスになりますよ、大きく。輸送費が減るわけですから、この辺しっかりお願いしたいと思います。

次の質問ですけど、久松地区で実施した有機質肥料、これは製糖工場からバカスとか、いろいろ糖蜜を出してもらって、市が運送費を支援しながら久松地区でやった事業で、これかなりいい肥料ができているという話を聞いています。この成果を踏まえて、今後どう展開するのか。狩俣地区でも同じような事業がありますけども、もうこれ久松地区での成功例というのを今後どう生かしていくのかということをお答え願えますか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

久松地区で令和４年、令和５年と２年間やりまして、堆肥を散布した圃場では平均して約１トンの収穫、反収増となっているという成果が上がっております。その結果を踏まえまして、堆肥を投入した圃場で成果が上がっておりますので、改めて土づくりの重要性を認識しているところでございます。さらなる展開を図るために、令和５年度より狩俣地区で堆肥製造施設の整備をスタートしております。令和５年度では整地作業を終えまして、令和６年度においては土間の整備を進めているところでございます。堆肥の攪拌、圃場への運搬、散布については令和７年度からのスタートとなりますが、狩俣地区の堆肥の原料となるトラッシュ、バガスについては、既に沖縄製糖から搬入しております。農家の希望において、活用を進めているところでございます。狩俣地区での整備後、各地区での展開を図っていきたいというふうに思ってお

りまして、現在実施しております狩俣地区での取組を確実なものにしまして、その状況を踏まえまして他地区への展開、他地区での課題等を整理して進めていきたいというふうに思います。

◎下地信男君

実証事業の成功例を全展開ということなので、どこからやるではなくて、できたら一挙に、こういった有用な肥料というのはこれ早いほうがいいので。ただ、上野あたりも計画に入っているといいますか、下地、城辺あたりがまだのような話を聞いていますので、ぜひ宮古島全体に展開できるように頑張っていただきたいと思います。

次の福祉行政は割愛をいたします。

次に、道路行政について、市道の白線整備について。市は去年度からでしたか、令和５年度から消えかかっている中央線や側線を補修すると。これ交通の安全を確保していくために、市道の全長距離の32%、309キロを補修していくという話でした。その進捗状況についてお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

道路区画線の更新につきましては、７年から10年の周期で更新が望ましいことから、市としましては令和５年度から交通量の多い幹線を優先に、地域からの要望に応じて順次区画線の更新を行っております。現在までの区画線の更新実績は9.7キロで、設置費は約2,400万円となっております。進捗率につきましては、整備予定の300キロに対して約3.3%になります。

◎下地信男君

これ10年計画でやるという話だったと思いますけども、実績が309キロのうち9.7キロ、事業費ベースで2,400万円の実績。10年間でやるとこれ達成できないんですよね、この計算でいくと。何が原因ですか。できない理由というのは何ですか。

◎建設部長（川平陽一君）

道路の白線整備計画は10年計画で、市道の延長約950キロメートルの約30%に当たる約300キロメートルの中央線や側線の更新を計画しておりますが、なかなか財源確保が厳しく、進捗が進まないのが現状です。県から交通安全対策事業費800万円から900万円の予算配分はありますが、主に通学路の整備に充てております。今後予算の確保に向けた関係部署との調整を行い、起債事業による事業化ができないか検討をしているところでございます。

◎下地信男君

ここでまたお願いですけど、郡部においてはもう停止線も消えて、側線はもちろんない、中央線もないという、しかも交差点、道路の幅が大きい。そうすると、観光客は本当に交差点停止しないで、もう事故が多いんです。側線と中央線というよりもむしろ停止線、あの停止線に至る何らかの距離を、何とかここは危険ですよという何か標示でもできたらいいなと思っています、安全確保という観点からすると。これは、市が32%と決めて道路も選定していますけど、建設部長、やってほしいのがあるんですよね。自治会長の皆さん方を一堂に集めて、こういった危険な交差点はどこにあるのかというこれ地図に落とし込んで、ここを優先的にやっていく、こういうことも一つの方法だと思うんです。財源が厳しいんであれば、どこから優先するかということが話であるんであれば、それぜひやってください。現場知っているのは自治会長、地域の人たちですから、そういう意見を吸い上げて安全な道路環境というのをつくっていただきたい

と思います。

質問があと２分ですけども、防犯行政については割愛して、私は市長に苦言を申し上げたいと思います、所見として。市長は、市民と共感する４年間だったと、自負しているという話をマスコミにしております。ただ、この４年間の間に、農業委員会の選任も問題が多いとして議会の理解が得られず、調査特別委員会が開催されました。竹アラ地区の問題も、もう賠償責任の問題。受益農家から提訴がなされています。畜産農家、本当に聞きますけど、補助金はありがたいんだけど、もうちょっと農家に寄り添ってほしいという声があります。もう廃業しないといけないのかなと、諦め顔の農家もいますよ。

それから、職員から、私も感じていますけど、市長は土日の市長日程を見ると、ほとんどイベントには参加しないですね。代理ですね。このイベントというのは、もう市民が主体となって頑張っているイベントがとても多いです、土日は。これに顔を出して、市民によくやっているねって激励するのも私は市長の役割だと思っています。ほとんど代理が参加しています。この４年間の間に、市長が郡部に、旧町村部に足を運んで市民とゆったりと話し合う、そういうのはありませんでした。私は地域懇談会がこういう場だと思ったんですけど、対象者も自治会長しかいませんでした。そうすると、地域懇談会という意味が、この自治会長以外の市民はもう言えないのかと、行政に対して。

これは、市長、市民と共感するという話は、私は適当ではないと思います。行政は市民の伴走者です。今、大変厳しい状況にある市民の立場をよく理解すると、共感を得たということは私は違うなと思います。市民のこういう苦しい現実をしっかりと受け止めて、必要な支援をしていくと。本当に行政は今や市民の伴走者にならなくちゃいけないというところで、ぜひ、もっとありますよ。ただ、選挙前なので、この程度にしておきますけども、本当に行政が市民をしっかりと支援するという、今この時期だと思いますので、議会もそういう意識をもって頑張っていきたいと思います。

私の質問を終わります。

◎議長（平良敏夫君）

これで下地信男君の質問は終了しました。

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午後零時02分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

午前に引き続き一般質問を行います。

順次質問の発言を許します。

◎砂川和也君

一般質問初日、午後のトップバッター、砂川でございます。何かちょっと緊張しております。今日はよろしくお願いします。緊張感のある中、始めたいと思います。

まず、道路行政についてご質問いたします。まもる君の配置場所について。まもる君の周りで違法駐車が増加しており、交通の妨げや事故の誘発の可能性があると市民から相談が寄せられております。当局はどのように認識しておりますか。

◎**市民生活部長（狩俣博幸君）**

砂川和也議員ご指摘により、宮古地区交通安全協会と宮古島警察署に意見を伺いました。まもる君の設置については、これまでも市民から様々なご意見があり、宮古地区交通安全協会では安全対策を検討中とのことでございました。また、宮古島警察署からは、まもる君が設置されている交差点付近において、路上駐車など迷惑駐車の通報があった場合は､当該車両の運転者に対し指導を徹底することとしております。悪質な違反については、検挙する場合もあり得るとの説明を受けております。市としましては、まもる君はあくまでも本市の交通安全運動のシンボル的な存在であると認識しております。しかし、昨今の観光客の増加やまもる君の全国的な知名度の向上により、やや観光名所的な印象を否めません。今後は、本市の交通安全運動関係機関と安全対策等について意見交換を行い、適切な対策が講じられるよう対応してまいりたいと考えております。

◎**砂川和也君**

そうですね、最初は事故が多発するところに注意してくださいという意味でいたまもる君が、今ではまもる君が事故を誘発しようとしていると。いわゆる宮古島もやはり昔は観光客を受け入れるということでいろいろやっていたことが、フェーズが変わって、今は来た観光客、やはり来てくださいから来た人に対してどうやってやっていくかというフェーズに入ったのかなと思います。それをもってやはりまもる君の位置とかも考え直さないといけないという時期に来ているのかなと思います。今聞いているとまだ移動とかは考えていないみたいな話だったんですけど、事故が起きてしまったら遅いので、まもる君もでも全国区になって、まもる君のお菓子とかも、まもる君のお土産とかも売れているみたいですので、それは一つのいいあれではあるんですが、もういっそのこと何か集めて、まもる君今日は役所にいますとか、来月は前浜にいますとか、何かそういうのも、もしかするとありかもしれないですね。二十何体あるんでしたっけ。分かりました。では、一応そのまもる君の位置は今後検討して、位置とかも考えていくということはしっかり頭に入れておきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、農村整備行政について。午前中も下地信男議員のご質問でありまして、私もこれ結構取り上げておりまして、最近は下地地区の議員に任せていたんですけども、最初に口火を切ったの私ですので、ちょっとお伺いしたいんですが、そもそもこの工期が延びた根本的な原因というのはどういうふうに分析しておりますか。

◎**農林水産部長（石川博幸君）**

工期が延びた要因といたしまして、下地地域の特性が挙げられます。下地地域の特性として、標高が低く、粘土層の多い地層であり、その中でも竹アラ地区は他地区と比べ地形上さらに低い位置にあることから、水が集まりやすく、周辺地域の雨水が流入している可能性が考えられます。実際に竹アラ地区においては、少量の降雨であっても数日間の湧き水が発生しており、地下水位の上昇により、地表面は乾いているものの、掘削すると水が湧き、なかなか引かないため、工事車両が工場内での作業が行えなかったことが原因の一つと考えられています。また、令和３年度、令和４年度と記録的な大雨や断続的な長雨により、長期的な湧き水や一部の石積みが倒壊するなどの不測の事態が発生し、円滑に工事が行われなかったことも原因の一つです。

次に、土地改良の工事においては、本来その地区内にある耕作土や石積み用の石材等の資材を利活用し

て工事を行いますが、地元より赤土を投入してほしいとの強い要望があったため、赤土の提供場所の調整や、それに伴う搬入や購入が増加したことも要因の一つとなっております。これらの不測の事態が複合的に重なり合い、工事の遅れが生じているものと分析しております。

◎砂川和也君

農林水産部長、そうですね、今になるとちょっと言い訳がましく聞こえてしまうんです。何で下地地区の特性がありますということが分からなかったんですか、そもそもってではなってきます。赤土を入れてほしいって言ったから、またこれ農家に、受益農家の方にちょっと押しつけがましいようなことにも聞こえます。正直言って最初の工事失敗しちゃったんではないですかってみんな思っていると思うんです。コンサルタントを入れてやっているのに最初の下地地区の特性が分からなかったって言われたら、ではそのコンサルタントは何なんですかという形と、そのコンサルタントを見て職員が判断できなかった、何か知識のノウハウがまだ浅かったというのもあるんではないでしょうかというふうに多分みんな職員の皆さんも気づいているんではないでしょうか。なので、それを踏まえて、もう起きてしまったことは戻せません。同じようなことが起きないためにはどのような対策を今もう既に行っているか、お伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

竹アラ地区の現状を真摯に受け止めまして、今後の土地改良事業の執行につきましてはまず土地の現状を把握している地元農家との意見聴取と綿密な打合せをすることが大事だと考えております。計画段階で受益農家の要望について対応を明確にするとともに、実施設計時には県及び土地改良事業団体連合会、土地改良区に協力を求め、設計検討会を開催するなど様々な角度から設計や施工に対して意見交換を行い、よりよい土地改良事業が執行できるように取り組んでまいります。市の内部につきましても、課題の多い地区については担当者２人体制で事業執行を行うなど係内、課内の連携を図り、早期に課題解決に取り組めるよう体制を整えてまいります。

◎砂川和也君

そうですね、担当者もある意味もしくは責任が重くてかわいそうかもしれないです。これは一応役所がやっているということですので、組織でやっています。これ組織のミスなので、組織としてどうするかという体制を整えなきゃいけないです。職員個々が弱くても組織になって強いという行政であれば、私はいいと思うんです。そのほうがいいと思うんです。組織のスーパースターは要らないと思うんです。ただ、組織となったときに強み、市民から安心される、そういうことなので、最初に言って、総務部長に人員を増やしてくださいとかお願いして一応人員が１人増えたということも聞いています。そういう対策はしていただいているなと思いますが、やはり職員も、もしかするとこれ責任重くて潰れちゃうかもしれないので、それフォローもしなきゃいけないという時代になっていますので、組織として強くなるというチームとしてですか、というような体制をしっかり整えていくようなことを我々もお伝えしていきますので、よろしくお願いします。

続きまして、産業廃棄物行政について伺います。令和６年６月定例会で、環境衛生局長のほうで、島内処理できない産業廃棄物が結構ありました、廃棄物の種類は合わせて二十数種類ありましたと答弁いただきました。本来であればこの排出業者が責任を持って処理しないといけないんですけども、例えば島外に持っていく場合、まず宮古島の回収をする、それが島内でできないから運搬を持っていく、島外に持って

いったところで処理をするというようなところと契約を結ばなきゃいけないという作業が出てくることで、結構手間がすごくかかるようなごみの処理になってきていると。そこで諦めて不法投棄になるのも多いんではないかなという声が寄せられております。

そこでちょっとご質問なんですが、そういう廃棄物を一旦宮古島市がクリーンセンターに持ってきてくださいということで全部料金設定して、もちろん料金はしっかりいただいてやるような運用というのはできるかということをお伺いします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

砂川和也議員がおっしゃっておりますように、産業廃棄物の処理は排出者が自らの責務において適正に処理する排出者責任というところが原則となっております。砂川和也議員お尋ねの市が一旦クリーンセンター等で料金を徴収し、産業廃棄物を集積するような運用ということに関しましては、クリーンセンターの施設内の手狭な敷地において産業廃棄物を集積することは、一般廃棄物の取扱い、集積等の分別混雑等が予想され、市が本来担うべき処理作業に支障を来すおそれがあります。加えて料金徴収に関しましても、現在島内で稼働している民間事業者の事業活動に大きく影響を与えるものと考えております。これは民間事業者の事業活動に影響するという内容については、料金体系の均衡などに関することなどです。これらの様々な問題が想定されることになります。そのため、クリーンセンター等でもって産業廃棄物を受け入れ、仮置きするなどの運用については現在のところ考えておりません。

◎砂川和也君

そうですね、いろいろ問題があるとは思います。この質問をした経緯は、宮古島市で今問題になっているこの産業廃棄物をどのようにしようと思っているかという指針をお聞きしたいと思って聞いております。いわゆる市ではそういうことを考えていないんであれば、島外からそういう処理をできる企業を誘致してやらせようと思っているのか、それとも今島内にある企業たちと一緒に手を組んでやるのか。いわゆるこういう指針がないと、例えば島内の事業者がビジネスチャンスと思ってやろうと思っても、設備投資をしようと思ったときに島外から大型の産業廃棄物業者が入ってくると事業計画が失敗しちゃいます。なので、市としては今この緊急事態と言われる産業廃棄物をどのように処理していこうという方針をお持ちなのかお聞かせください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

島外からの事業者を誘致して産業廃棄物処理をさせるかということについては、現在島外の事業者において産業廃棄物、特に建設系の混合廃棄物の中間処理について、計画の提案について説明を受けております。９月定例会でもお答えいたしましたが、島内企業の育成は十分考慮するべきことでございます。それに加えて、島内企業で処理できない産業廃棄物につきましては、処理知識の豊富な島外企業の活用及び島内企業との連携も含めて検討することが、現在処理困難となっている廃棄物処理の課題解決につながると考えているところです。市といたしましては、引き続き宮古保健所、県の環境整備課と意見交換を行うなどして、あと地元の産業廃棄物の処理事業者の皆さんとも意見交換を行い、現状の産業廃棄物問題、市でできることを調整するなどし、課題解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

◎砂川和也君

そうですね、では今のところあまりそういう方針はまだ全く決まっていないというふうに受け取れまし

た。今、環境衛生局長が、島内の産業廃棄物事業者とも意見交換をするっておっしゃっていたんですけど、実際やっていますか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

地元の産業廃棄物処理業者､あと収集運搬事業者の皆様とは個別に意見交換を行うこともございますし、皆さん集まっていただいて、宮古保健所も一緒に意見交換を行う機会もございました。これからも引き続き意見交換は行ってまいりたいと考えております。

◎砂川和也君

その意見交換会は、今年何回やりましたか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

個別に意見交換を行ったのは、私は４回ほどです。集まっていただいて意見交換を行っている箇所に私も参加したのが２回ほど。それ以外に環境保全課、あと衛生施設課のほうで事業者の皆さんと意見交換は行っております。

◎砂川和也君

では、その意見交換でまず十分という認識ですか。今行われた環境衛生局長含めた２回、個別では４回、あと環境衛生局長抜きの話は度々やっているけども、これで結構もう事業者とはしっかり意見交換ができているという認識ですか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

個別に意見交換などを行った際に私が事業者の皆さんから聞いている意見と、また県のほうに出向いてお話を伺ったりする場合と少し違う意見が出てきているようなこともあると思っています。感じているところですので、今の状況で意見交換が充足しているとは思っておりません。

◎砂川和也君

そうですね、事業者たちは県にも赴いて話をしているそうです。多分環境衛生局長の話ししている、今おっしゃるとおり、ちょっと聞いていたのと話が違うぞみたいなことが出てきているということなので、やはりこれしっかりまとめる必要があるんではないでしょうか。なので、先ほども申し上げましたけど、ある意味このごみ問題、産業廃棄物問題というのはすごく重要な問題だと思っています。なので、なかなか解決の糸口は見つからない。では、解決策をどうしようかといったときに事業者とまだなかなか意見が取れていないというのは、ちょっと行政として本当に緊急事態と思っているのかなと思ってしまうことはありますよ。なので、また早急に、事業者に聞くと全然話聞いてくれたら話すけどなという人は結構いましたので、１回集めて何かいろいろ話をしてもいいんではないかなと思いますので、もう早急に皆さんの意見を聞いてみてください。市としては、どういうふうにするかという方針を早く出してください。そうしないと、ある意味これビジネスチャンスでもあり、そういうのを考えてもしかすると若い人とか事業者とかもいらっしゃるかもしれないので、そういうのを含めてしっかり対応をお願いしたいと要望させていただきます。

続きまして、公営住宅行政について伺います。宮古島市の公営住宅の適正戸数は何戸数ですか。

◎建設部長（川平陽一君）

宮古島市公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の必要管理戸数については､1,460戸となっておりま

す。

◎砂川和也君

この戸数の算出方法というのを教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

必要管理戸数の算出方法は、まず著しい困窮年収未満の世帯数を将来人口や世帯数から推計し、その世帯数を４万1,000円以下の低廉な民間賃貸住宅と公営住宅で賄う計算となります。

◎砂川和也君

ちょっと聞き取りにくかったんですけど、非課税世帯とかの対象が４万1,000円以下のアパートの数とかの割合で計算する算出方法があるんですね。それをやると1,460戸ということですね。現在、この戸数状況は何％ですか。

◎建設部長（川平陽一君）

現在、市営住宅の管理戸数は1,426戸あり、先ほど述べました宮古島市公営住宅等長寿命化計画の必要管理戸数1,460戸の97.6％となっております。

◎砂川和也君

県営住宅はどれくらいありますか。

◎建設部長（川平陽一君）

県営住宅の管理戸数は、1,007戸となっております。

◎砂川和也君

そうですね、ではほぼもういっぱいなんですね。すみません。では、公営住宅に入る条件等を伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の入居条件につきましては、１つ目、現に同居または同居しようとする親族があること。２つ目に、申込者本人及び同居親族の所得を合算計算した月収が15万8,000円以下であること。ただし、裁量世帯については21万4,000円以下であること。３つ目に、現に住宅に困窮していることが明らかな者であること。４つ目に、市内に住所を有し及び勤務している者であること。５つ目に、市税及び国民健康保険税の滞納がない者であることとなっております。

◎砂川和也君

建設部長、今おっしゃった裁量世帯というものは何ですか。教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

裁量世帯とは、１つ目、小学校就学前のお子さんがいる場合。２つ目に、全員が60歳以上の場合。３つ目に、本人が60歳以上の方で同居者が18歳未満の場合。４つ目に、本人または同居者が障害認定を受けている場合。５つ目に、本人または同居人に戦傷病者がいる場合。６つ目に、本人または同居人に原子爆弾被爆者がいる場合。７つ目に、本人または同居人に海外引揚者がいる場合。８つ目に、ハンセン病療養所入所者を裁量世帯としております。

◎砂川和也君

ちょっと調べました、裁量世帯。小学校就学前のお子さんがいる場合とか、全員60歳以上、60歳以上でも同居が18歳未満の場合とか、あとまたは戦傷病者、原子爆弾被爆者がいるとか、ハンセン病療養所入所

者等裁量世帯という形になっていると思います。こういうのは優先して入られているということだと思います。そこはちょっと問題になっているこの住居不足の点で、公営住宅というのがその窓口になるんではないかなと思っていたんですが、やはり聞いていると所得制限の部分で月収額が15万8,000円以下でないと入れないというようなことがあるので、今家がないとおっしゃっている方々はこれ以上の所得があって、多分世帯で30万円ぐらいの収入がある方々の家がないんだなということが問題だと思います。なので、今市営住宅はもうこれ以上は造れない状態だよという状態で、最近所得制限なしで入れるというのを10戸募集したと、市が。あれは３年間以上かな、３年間全く入居者がいなかったところに関しては所得制限なしで入れますよということで10戸募集して申込みが来たと。ただ、７件ぐらいキャンセルになったと聞いております。なので、所得制限を緩和して、お金がそれ以上あるのにそこにも入らないってなると、何かその場所も問題が出てきているのかなと。多分それは結構郡部のほうの市営住宅が所得制限なしで入れるよって言っても入らないという現状があるので、一旦この住むところがないという問題と公営住宅というのは受皿ではないんだなってちょっと私は何か認識し始めています。いわゆるこの15万8,000円以下の世帯となると、ではそうなってくるといわゆる働き控えみたいな方で15万8,000円以下、稼ぐと入れないからそれ以内で収めようとか、よく103万円の壁みたいなものがもしかすると公営住宅にもあるのかなという感じでいます。

それで、次の質問なんですけど、公営住宅のＰＦＩ、ＰＰＰというものの事業内容を教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

公営住宅に係るＰＰＰ及びＰＦＩ事業とは、公営住宅の整備から管理運営まで公共団体と民間が連携して実施していくもので、民間の資金や経済能力、技術などを活用し、効率的かつ効果的に事業を進めることが期待されるものです。例としましては、民間が整備費50％を国から助成を受け、整備し、そのまま管理運営を行います。公共団体は、家賃収入を原資に整備費の残り50％分割で民間に支払い、設定した期間が終了した時点で公共団体に譲渡するという例があります。また、公営住宅とは別になりますが、特に配慮が必要な世帯の居住の用に供する良質な賃貸住宅の供給を目的とした地域優良賃貸住宅制度による住宅整備もＰＦＩ事業で実施が可能となります。

◎砂川和也君

この公営住宅というのは、50％ぐらい国から補助が出て運営を行いますと。家賃収入、その分建築資材が、自分の持ち出しが低くなるから家賃も抑えられるんではないかというような効果が期待される制度と思います。今ちょっと建設部長が地域優良賃貸住宅制度ということをおっしゃいましたので、地域優良賃貸住宅制度の説明をお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

地域優良賃貸住宅制度とは、高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯など、各地域における居住の安定に特に配慮が必要な世帯の居住の用に供する居住環境の良好な賃貸住宅の供給を促進するため、賃貸住宅の整備などに要する費用に対する助成や家賃の減額に対する助成を行う制度でございます。

◎砂川和也君

建設部長、この地域優良賃貸住宅制度を使って建物を建てるではないですか。これは公共住宅になるんですか。公共住宅の数に入る、入らないか。いわゆる今、宮古島市はいっぱいいっぱいではないですか。

97％ぐらいなんですよね。これ建てるとなると、これはそれに入るか入らないか。

◎建設部長（川平陽一君）

公共施設には入りませんが、地域優良賃貸住宅の助成金としましては、公共、地方自治体が整備主体となり、地域優良賃貸住宅整備をＰＦＩ法に基づき実施する場合は、ＢＴ、ＢＴＯ、ＢＯＴ方式とも助成の対象となります。

◎砂川和也君

すみません、建設部長、あまりＢＴＯ方式とかその何とか方式はちょっと分からないんですけど、入らないけど、予算がもらえるということでいいですか。公共住宅の枠には入らないけど、同じ予算の枠で使える事業ですよという認識で大丈夫ですね。

（「はい」の声あり）

◎砂川和也君

だったら宮古島市もこの地域優良賃貸住宅制度を活用したほうがいいんではないですかって話になると思うんです。見たら、高齢者世帯、障害者、子育て世帯など、各地域における居住の安定の配慮が必要だということ書いてあるので、今そこの子育て世代とかが家がないと言っている。高齢者世帯も家賃が上がって出ていけって言われている。だったら、この今市営住宅の枠に入らないんであれば、これが造れるんであれば、市営住宅は造れないですよね、もう。だって、98％ぐらいあるんだから、今から新しく造れないんであれば、この地域優良賃貸住宅制度というのを活用することを考えたほうがいいんではないでしょうか。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の件数につきましては、宮古島市公営住宅等長寿命化計画を見直していけば新規で建設することも可能となります。今回の提案いただいた事業につきましてはこの事業も活用できますので、この制度も検討していきたいと思っております。

◎砂川和也君

そうですね、これ民間の力を借りて50％ぐらい補助が出るみたいな話なので、民間が持っている土地でこの制度をつくって建てれば、もしかするとその人を救えるかもしれないですよね。もしかすると、市が持っている土地を提供して、そこに民間で建ててくださいという方法もあると思います。先ほど申し上げたように、実は所得制限なしで入れるという市営住宅あるんだけど、７件キャンセルしているってことは、多分値段、もう場所とか建物の古さとかも問題になってきていると思うんです。だって、入れるよって言って市営住宅空けたのに10戸のうち３戸しか入っていないんですよね。

（「４戸」の声あり）

◎砂川和也君

４戸。分かんないですよね。なんで、ということは６戸がキャンセルしているってことはそこに魅力がないので、だから変な話ですけど、魅力がないところに建物建てても入らないという可能性もあるので、場所もすごく大事なんだなというふうに思います。

今、建設部にお聞きしたんですけど、ほかの部署でも同じようなこういう住居対策というのをやっている部署がありますよね。お願いします。

◎**市民生活部長（狩俣博幸君）**

市民生活部所管の地域振興課で取り組んでいることをお答えいたします。

市では、使用していない旧町村の市有地を活用し、宅地造成、賃貸集合住宅等を整備し、比較的安価で若者、特に子育て世代に提供できないかと考えております。そこで、効果的な施策提案、対象となる補助金の活用方法、効果的な若者をターゲットとした条件整備などの可能性調査を実施します。市有地の有効活用に当たっては、民間事業者のノウハウや活力を最大限に取り入れ、運営に生かしていくことが重要だと考えていることから、事業の検討段階において民間事業者との対話を通じて事業の在り方を検討することを目的として、サウンディング型市場調査を実施いたします。今月より市のホームページで要項を公表し、提案、募集を呼びかけ、１月から２月にかけて本調査を実施、今年度中に結果を公表する予定でございます。

◎**砂川和也君**

簡単に言うと、市の土地を安く売りまっせということですか。市の土地を安く貸します。

（「貸す」の声あり）

◎**砂川和也君**

貸すのですね。そこに土地代は安いからその分建てやすくなるんではないのみたいな形であそこに若者世代とかをやろうという調査を始めているということですね。分かりました。

次、⑤番、賃貸住宅で住民票なしの賃貸契約を結んでいる割合の把握調査を行っているか伺います。知り合いの不動産屋何件か回ってちょっと聞いてみると、新しくできたアパート、集合住宅の入居者の９割は移住者だと思うと不動産屋のオーナーたちがおっしゃっておりました。なので、別にこれが悪いとかいいことではなくて、いわゆる今やはり住民票を持たない人口がどれだけいるのかということを把握しないと、そもそも結局住民基本台帳に載っていて非課税とかそういうのを中心の者で市営住宅を造っているとかの話があるんですけど、それ以上に宮古島に人がいるので、そもそもその算出根源の数字が間違っているんではないかという、それをまず調べて宮古島にどれだけそういう方がいるのかという調査をすることをしないと、この建物の議論、戸数とかの議論がまず始まらない気がするんです。今話している議論が間違っている可能性が、何の数字を根拠に我々はこの建物とか公営住宅、市営住宅とか話しているのかとかなってくるので、これを早急に行う必要があると思います。というか、早急に行ってください。どう思いますか。

◎**建設部長（川平陽一君）**

現在のところ、住民票なしでの賃貸契約の割合についての把握調査は行っておりません。

◎**砂川和也君**

だから、行ってください。そんな難しいことではないと思うんです。不動産屋に聞いて、ある程度数字が来ると、アクセスとかでも何でも打ち込んでくれるとこぶつけてやれば、分析すれば、大体これぐらいいるなというのは出てくると思いますので、この数値が、よく言われるのが、例えばごみ出ししても燃えるごみは燃えるごみの袋買っているからいいけど、燃えないごみとかもその人たちのごみも住んでいる市民の税金で賄っているよねとかいう問題が出てきたり、海に行って帰ってくるシャワーを浴びるこの水道代も誰が払っているのって話になってきたりするので、そもそもこの基本政策を立てる上での住民基本台

帳を基にしているということがもうそろそろそぐわなくなってきている時代に来ているんではないかなと思うので、やはり宮古島にどれだけの住民票を持たない方が住んでいらっしゃるかというのは早急に把握しないと、我々の立てている政策全ての根拠の数字が危うくなってくると思いますので、これ早急にやっていただきたいんですが、どこの部署がやりますか。

◎建設部長（川平陽一君）

宮古島市へ住民票を移さず移住する方に関しましては、長期的移住となるか不明であり、民間賃貸住宅戸数の安定確保への影響が懸念されると考えております。本市の生活環境に大きく関わる事項と捉え、把握調査を今後実施していきたいと考えております。

◎砂川和也君

建設部長、実施するでいいんですよね。市長、実施するでいいですよね、実施するで。

（「そうですね」の声あり）

◎砂川和也君

では、実施するってお願いします、実施するって。

◎市長（座喜味一幸君）

少しまとめて私の見解も述べさせてもらいますけど、短めに。住宅問題というのは大変大きな問題で、課題だと思っております。これからの課題として、我々としましては、県の職員の宿舎等については、県では県職員宿舎は造ってくれませんか、大型のリゾートホテル等については施策をつくってくれませんかというような各部署における推進をまず要請等含めてやってもらいます。それから、今おっしゃったように、この民間の事業、ＰＦＩとかＰＰＰ等を活用した事業の展開、これは制度としてありますし、また特定地域推進交付金等も活用した速やかな対応をしてみたいと思っております。その中で、公営住宅の先ほどおっしゃった15万8,000円の壁、それからトータルとしての地域住居戸数の枠、そういうものもいよいよ現状に合ったような形で改正等をしていかないといけないのかなという問題も把握しておりますので、しっかりと調査も含めて対応していきます。

◎砂川和也君

そうですね、この公営住宅法の15万8,000円とか戸数の壁というのがあるので、それをもしかすると我々議員全員で行政とか陳情していかないとという時代になってきたのかなと思いますので、よろしくお願いします。

ちょっと時間がなくなってきたんで、さくさくいきたいと思います。すみません、ちょっと画面を見せていただきたいんですが、画面切り替わりますか。盛加越公園の遊具についてです。さびがすごく目立っていまして、危険な状態になっております。改修の予定があるかお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

現在、盛加越公園の公園施設につきましては宮古島市公園整備長寿命化計画を策定し、沖縄振興公共投資交付金公園事業として既存の公園設備を対象に改築、更新を実施しております。砂川和也議員ご指摘のふたば保育園側の遊具につきましては、宮古島市公園施設長寿命化計画に基づき改修工事を令和８年度に予定しておりますが、簡易な修繕等につきましては、対応できる箇所については今年度で修繕を行ってまいります。

◎砂川和也君

一応令和８年度に予定しているけど、簡単なものであれば今年度でも対応していただけるという答弁ですよね。ということは、ではすみません、早め早めに。これその費用ってどれぐらいかかるんですか。

◎建設部長（川平陽一君）

同規模の遊具では、本体価格が約320万円、撤去、設置費用、諸経費等を含め、全体の工事費として約800万円がかかる見込みでございます。

◎砂川和也君

これハード交付金とかを利用してやる事業ですよね。

では、６番、宮古島市省エネ家電製品買換促進補助金制度について伺います。補助金の検証結果どのように出たかお伺いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

省エネ家電の検証、効果についてということです。

検証効果につきましては行ってはいるんですけども、その中で庁内の職員を対象にした調査のみとなっておりますので、その部分の中での報告をしたいと思っております。まず、検証方法としましては、県内の家庭電力のうち、消費割合の高いエアコンと冷蔵庫を検証対象として絞っております。その中で、夏場と冬場の電力消費につきまして、令和４年から令和６年の電力の変化を確認をしたところです。その中で結果としまして、家電買換えした令和５年の夏は令和４年と比べまして電力量が減少をしている。また、令和６年の夏は昨年より気温が高い日が続いたところもあったんですけども、電力量が昨年と同程度であったことから、エアコンの買換えによる省エネ効果があったと見られております。

ただ、一部で電力消費の増加事例がありました。聞き取りをしたところ、高効率機器導入による省エネ化による機器への依存、また節電意識の薄れの影響が見られております。また、冬場につきましては、買換えの有無にかかわらず、令和４年より令和５年の電力消費が低い傾向にあるため、省エネ効果については考察が難しいと。いわゆる県内の消費電力の中でエアコンと冷蔵庫が高いというふうに言われておりまして、冬場になるとエアコンの使用割合が低いというところもあって、なかなかそういう部分の中で効果の検証が難しいという結果となっております。また、その聞き取りした中で、電気料金が上がったので、省エネ効果が薄いと感じているとの声がありました。また、実際の電力量の増減について説明をしたところ、電力量についての気づきを得た方などもいらっしゃいました。このことから、家電買換えを契機に自らにおいて電力の明細等を活用した実態把握をしていただきたいというふうに考えております。

◎砂川和也君

そうですよね、多分これ検証すごく難しいと思います。でも、企画政策部長は検証結果を出すと言ったので、議会で。それはもう出さないといけないので、しっかりデータで、これ正直口頭で申し上げてもあんまりイメージできませんので、実際このぐらい減った、このぐらい減った、夏使って冬使わないというのはもう知っていますし、なので、これはもうちょっと検証結果随時追っていってしっかり出してください。

続いての質問です。ちょっと飛ばしまして、災害行政について。宮古地方防災講演会が開かれ、平良地区で複数の自主防災会を設置することが大事との提言が新聞等で報道されておりました。当局は、どのよ

うな取組を行っておりますか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

災害行政についてお答えいたします。

本市は、市民の防災意識や知識の向上を目的に毎年宮古島地方気象台等と共催で防災講演会を開催しているほか、小中学生や婦人会等を対象にした勉強会、行政連絡員や自主防災組織設立を検討している自治会に対し説明会等を行っており、組織設立後には資機材の整備や活動に対し補助を行い、さきに述べました講演会や勉強会に参加していただきながら、共に防災力の向上に努めております。令和６年度現在で自主防災組織は７自治会となっておりまして、今後も引き続き自主防災組織設立に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

◎砂川和也君

そうですね、やはり郡部のほうの防災と市街地の中の防災のあれが違うと思うんです。やはり郡部のほうでは顔が見えていて、誰が誰かというのを分かっている方々が助け合うのと、隣に誰が住んでいるか分からない人たちが助け合うのでは、全然やり方が違うと思うんです。なので、ちょっと郡部のほうのやり方と、例えばイーザトとか市街地のほうでやっているところだと、いわゆる移住者とか観光客とか圧倒的に多いと思うんですよ、逆に。やはりそこに住んでいる方ってほうが自治会がないという地域がいっぱいあります。なので、そこはどういうふうにでは自主防災組織をつくっていくかというと、誰か中心になる人いるんですかって言ったら、その人もそこに住んでいなくて、そこに通っているかもしれない。なので、そうなったときにだから地域ごとでその自主防災組織の在り方が違ってくると思うので、そこら辺を考えないと、同じようにやっていても、前もちょっと言ったんですけど、停電が起きたではないですか、半日ぐらいの。あのとき夜中にもう全部出てきて、４時ぐらいにもう道に観光客とか若者がたまっていたんです。これがもし災害があって避難所に逃げてきますと、避難場所に。酔っ払いとかも確実にいます。初めて宮古島に来た人とかもいます。そういう人たちは誰がどう扱うかってなってくるとかなりこれ厳しい。もめごとも起きると思うので、何かちょっと最近は、先ほどの質問で移住者がどれだけいるかという質問にもつながってきますけど、顔が見えない人たちがどの人たちか、どこの人か分からないというのが多い。流動人口が多い地域での自主防災組織の在り方ってすごく難しいと思うので、今のうちにこれしっかりやっておかないと、いざ始まったら暴動が起きると思いますよ、私は確実に。移住者とかも分からないんで、観光客とかも不安になってくると思うので、ここはちょっと１回本当に集めて、今どれくらい、夜中、夜の市街地の歩いている層はほとんど宮古島の人いないです。ごめん、ほとんどっていうと、私歩いているからいるけど。なので、本当にここでなったとき、さっき下地信男議員のほうでにぎわいの創出もそうですけど、核になる人がいないとまとめられないです。誰が言うかというのもでかいし、見えてくるんで、そうなってくると多分飲食店たちがそれを担ってくるのかなと思うんです。やはり飲食店たちのほうが顔が知れていて、オーナーとかという連携ができているので、そうなってくると飲食組合とか社交組合、酒造組合とか、あとは通り会。ただ、通り会も本当にずっとそこに住んでいるかというと住んでいない方もいらっしゃるので、難しい問題だと思うので、早く着手したほうがいいと思いますので、本当に一緒に考えましょう。私も考えます。

ちょっと時間がないんで、次行きますけど、観光行政について。11月23日、24日に前浜ビーチで行われ

たジェットスキーの大会で、トイレが非常に汚れて不快であったとの声が寄せられております。前日、当日にクルーズ船の乗客が多数利用した後であったのが要因かなと考えますが、というのは産業まつりのときもいっぱい役所のほうに人が来たんですが、トイレ掃除されている方がいらっしゃいました。私は来たので、見ました、土日だけど。なので、そういうことができるんであれば、前浜もそういういっぱい人が来るんであればお願いしてできたりするんではないかなと思ったので。結局観光で来てトイレが悲惨だったら、もう嫌な思い出しかないです。二度と宮古島来ないって思うと思うんです。結構このジェットスキー今回39チームぐらい参加していて、１チーム10人で家族とか来たら結構1,000人ぐらい人来るんです。1,000人の人であのトイレで足りるかなってなると、ちょっとそれもあると思うので、いわゆる今後このようなことって清掃員とか入れるのかということも含めてお伺いしています。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

前浜のトイレの件でございます。前浜のトイレに関しましては、指定管理者においてトイレ清掃の対応をしております。ただ、イベント等で大勢の利用がある際には行き届かない部分がございますので、見回り等を実施して指定管理者と清掃回数を増やすなど、対応を指示してまいりたいというふうに考えております。

また、クルーズ船のように一度に多くのお客様が来られる場合でございますが、その場合はクルーズ船のツアー会社にも、バスの送迎だけでなく、立ち寄った観光地等のトイレの使用後の確認やごみの回収などもセットで対応できないか申し入れ、エコアイランド宮古島の取組へもつながるような観光ツアーができないか協議していく必要があると思っておりますので、関係者等と連携して取り組んでまいりたいというふうに考えております。

◎砂川和也君

そうですね。なので、正直そういうのがあるんであれば、自分たちで簡易トイレもやったほうがいいですよとかアドバイスもしてもいいと思うんです。それって行政がやらなきゃいけないってことないと思うので、民間がやっているんであれば、そういうちょっと混むから、トイレ足りなくなるから自分たちも簡易トイレ考えたほうがいいよぐらいなこういう配慮、いわゆるクルーズ船来るよとかそういうのが、配慮がないというのが多分みんな思っていることなんです。ちょっと一言言ってくれれば、ああ、それ言われたなってなって、ああ、そこを考えていたんだなって思うので、だからそういう案内を衛生施設課のほうでもしっかりしていくというのが大事だと思います。

10番、水道行政についてです。午前中の質問もあったんですが、宮古島地下水研究会から陳情の上がっている高機能活性炭浄水処理設備等高度浄水処理施設について、これもし導入する場合ってなると予算規模ってどれくらいなんですか。

◎水道部長（下地貴之君）

水道部としましては今導入する考えはありませんけれども、仮に導入する場合の事業費でありますけれども、ただ本市の水質の特性、硬度が高いという様々な要因によりまして、施設の規模が確定できません。そのため、現時点ではこの予算規模を算出することは困難であると考えております。

◎砂川和也君

では、かなりでかい規模と。かなりでかい大規模って何なんだろう。もう数千万円単位ではなくて、億、

何十億円レベルの肌感で、感じでもいいですか。それも具体的には言えないですか。

◎水道部長（下地貴之君）

仮に算定する方法はあるんですけれども、今この場で言ってしまうとそれが、数字が先行してしまいますので、この件については答弁は控えたいと思います。

◎砂川和也君

ちょうどもう終わりですね。ごめんなさい、ちょっと一、二問ぐらい残しておるんですが、私の一般質問は今年もありがとうございました。12月定例会で、本当にもうあっという間に12月で、年を重ねるごとに１年１年が早く終わるというのを感じておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調管理も含めて、まだまだ定例会来週まであありますので、今日初日ですので、私らも終わってちょっとほっとしますけど、皆さんは緊張感持ってやられてください。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで砂川和也君の質問を終了しました。

◎仲間誉人君

本日、４番バッターで質問をさせていただきます。早速通告に従いまして質問をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最初に、１、漁業行政について、漁業の現状について。原油価格の高騰に伴い、漁具等についても負担増の現状にある。市としての支援策をお伺いいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

原油価格高騰に伴う漁具等への支援についてでございます。

昨今の物価高騰により、漁業者の経費は増加していることを踏まえ、市では漁具の購入、更新等に対する支援として、モズク養殖業に対して種つけの支援、網購入支援、伝統漁法支援事業としてアギヤー漁に使用する網等の漁具の購入支援を行ってまいりました。また、去る11月臨時会におきましても、氷代値上げの抑制のため、３漁業協同組合の製氷施設の電気料金高騰への補助金を予算計上したところでございます。市としましては、水産業振興のため、補助金を令和５年度より約1,200万円増となる2,100万円の予算を確保し、漁業者の負担軽減と経営安定とさらなる生産意欲向上につなげるため、取り組んでいるところでございます。今後ともこの漁業協同組合とも話し合いながら、どういったものに、ピンポイントにやっていくほうがいいのかというような意見交換をしながら取り組んでいきたいと思います。

◎仲間誉人君

種つけ支援、そしてアギヤー漁に対する網等の支援を行ってきたということでありますけれども、この件については漁業協同組合から要請、要望があったということでしょうか、お伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

まず、毎年度３漁業協同組合のほうに、来年度どういった事業を予定しているのかという、水産業振興補助金というのがございますので、それに対して漁業協同組合のほうから要望を出していただいております。モズク網の件につきましては、漁業協同組合のほうから劣化した網によって返品等があるということを踏まえて対応したところでございます。

◎仲間誉人君

次に、次年度へ向けた新たな取組・支援について伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

来年度に向けた新たな支援としまして、漁業共済加入支援事業を予定しております。これは不漁及び災害等による損失の軽減対策として、漁業共済への加入を促進するため、漁業共済掛金の一部を予算の範囲において補助するものです。市としましても、災害や漁獲金額の減少による損失などに対する漁業者負担の低減、漁業経営の安定化につなげるため、事後の支援だけでなく、事前の備えが重要との認識であり、掛金に対して助成を実施したいと考えております。

次年度の取組としまして、漁業共済が４つに区分されます。漁獲共済、養殖共済、特定養殖共済、施設共済などがありますけども、そのうちの漁獲共済、特定養殖共済の加入者増に向けて、共済事務を担う漁業協同組合と連携して取り組んでいきたいというふうに考えております。

◎仲間誉人君

共済加入の支援、掛金の助成という答弁でありますけれども、冷凍飼料の支援等、またカツオ餌の補助率の拡大という点においては、取組は予定していますか、伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

共済以外にも、その他の支援としまして仲間誉人議員おっしゃいました冷凍飼料、カツオ餌の確保に係る支援事業の新設、補助事業の拡大を行いまして、漁業者の支援を行いたいというふうに考えておりまして、令和７年度当初予算に予算を計上しているところでございます。

◎仲間誉人君

令和７年度の当初予算で計上するということでありますので、農林水産部長、ありがとうございます。やはり農業においては、多くの補助や支援があるという現状です。そして、漁業についても農業と同じ第１次産業でありますので、しっかりとした支援をお願いいたします。

次の質問に移ります。③、クロマグロ漁獲枠の現状について当局の見解を伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

クロマグロの漁獲枠の現状についてでございます。

沖縄県におけるクロマグロの漁獲枠は、日本国の漁獲可能量から近年の漁獲実績に応じた数量が配分されております。本県の令和６年度漁獲枠は、12月５日現在171.1トンとなっております。仲間誉人議員ご指摘のとおり、本市で取れ始めた頃に採捕停止となる状況があるということと、次年度の我が国のクロマグロの漁獲枠が1.5倍というふうになるというような報道がありますので、本県漁獲枠の増加が見込まれておりまして、宮古島市でも水揚げの機会が増えることを期待しているところでございます。

◎仲間誉人君

このクロマグロの漁獲の枠につきましては昨日と今日も報道があったと思いますけれども、水産庁が公表をした前年度比で大型魚30キロ以上が71.3％の増と、そして小型が39.6％の増を公表しているというところであります。そして、沖縄県についても、先ほど答弁にありました沖縄県が171.1トンの現行から枠が拡大され、236トンに拡大されるという報道が今日ありました。それを受けて、やはり水産業の振興、宮古島市が挙げる水産振興基本計画の中の儲かる漁業の推進、そしてやはり産業の創出、そして拡大を図る上でクロマグロの漁獲も、水産業のみならず、宮古地区の産業においては牽引をできるような漁業の一つで

あるというふうに私は考えております。それで、やはりこれまで５月の時点で漁獲の制限をされる、制限がかかってしまうという現状にある。そして、しかしながら、今回236トンに拡大をされたというところにおいて、沖縄県全体での236トンという枠があるんですけれども、これが沖縄本島で枠が何トン、そして宮古地区で何トン、そして石垣地区で何トンであるという枠の仕組みづくりも必要であるかなというふうに考えております。ですが、しかしながら、またそういった枠を組んでしまうとこの枠に満たなかった場合の調整が必要になってくるかなというふうに思いますので、やはり漁業者、漁師の皆さん、そして行政が漁業協同組合と一緒になって県に働きかけていくそういった手助けといいますか、漁業の推進に当たっては必要かというふうに考えておりますが、見解を伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

地区ごと、地域ごとの漁獲枠の配分について、県への要請についてでございますけども、漁獲枠の配分の基準は沖縄県資源管理方針において漁獲実績を基礎として定めることとされているとのことです。本市における水揚げはごく僅かであることから、地区別配分により本市が十分な漁獲枠を確保するのは難しいというふうに考えておりますが、沖縄県は漁業関連団体と連携し、国に対して増枠の要請を続けていることから、市としましても引き続き国、県の動向を注視していきたいというふうに考えております。

◎仲間誉人君

やはり宮古島市においても、漁師、そして市内３漁業協同組合と行政と一緒になって連携しながら、今後の宮古島の水産の振興、そして漁業者の安心、安全を確保するためにぜひとも検討、そして連携を取って調整していただきたいというふうに思っております。

次の質問に移ります。④、尖閣諸島周辺海域における安心安全な操業が確保できない現状について当局の見解を伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

尖閣諸島海域における安全安心な操業についてでございます。

尖閣諸島周辺海域は、良好な漁場というふうに認識しております。しかしながら、中国公船による領海侵入が常態化しているのも実際にあることも認識しております。市としましては、３漁業協同組合と調整を行い、周辺海域での漁業の実態や被害状況等を確認するとともに、必要な対応を検討したいというふうに考えております。

◎仲間誉人君

今の農林水産部長の答弁でもあるとおり、良好な漁場であるというのは確かであるというふうに思っております。そして、その良好な漁場、そして我が国の領土、領域であるにもかかわらず、中国の公船による領海侵犯が度々毎日のように行われている現状についてはこれまでも質問をしておりますが、やはりこの件については漁業者の安心、安全の確保、そして漁場を守る、そして何より漁師の生活を守るという意味においても大事な案件であるかなというふうに考えておりますが、それについて答弁をお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

漁師の安全、安心、そして漁場を守ることについてでございますが、県のほうで漁業者の漁業権益を確保するために、平成25年以降、漁業関係団体とともに日中、日台漁業協定の見直し等に関する要請を行っているということでございます。市としましては、引き続き県の動向を注視していきたいというふうに考

えております。

◎仲間誉人君

尖閣諸島の周辺海域の問題につきましては、漁師の生活を守るという観点においても大事な項目であるというふうに私は考えておりますので、今後も質問を続けていきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

次の質問に移ります。道路行政について、道路整備について、市内各地でカーブミラー、ガードレール、除草、白線の整備など多くの要望があると思いますが、寄せられた件数を伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

カーブミラーとガードレールにつきましては、市民から寄せられる要望等は主に修繕に関することで、予算の範囲内により対応しております。

除草作業につきましては、11月末時点で約100件の要望がありますが、全ての要望に対応できず、市民の皆様にはご迷惑をおかけしているところでございます。

区画線の更新につきましても多くの要望が寄せられていますが、交通量の多い幹線道路を優先に、各地域からの要望等に応じて順次区画線の更新を行っておりますが、宮古島全体の市道の管理を行っていることから、行き届かない場合がございます。

市民からの問合せ等については、状況を確認し、早急に対応してまいります。

◎仲間誉人君

建設部長、今の答弁で主に修繕の要望があると。そして、除草については100件ほどあるんですけれども、全てに対応できていないと。その対応できていない要因について教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

特に要望の多い道路の除草についてですが、道路の除草につきましては道路パトロールを実施して、道路の脇の雑草や雑木について交通に支障ないように定期的に管理を行っておりますが、やはり宮古島市全体の管理となると管理が行き届かない場合がございますので、これら今後徹底して管理に努めたいと考えております。

◎仲間誉人君

今の答弁を聞くと全体を見るから管理ができていない状況にあるというふうな受け方もできますけれども、やはりどの地区においても宮古島市の市道であり、農道であり、市が管理する道路という点においては全てに対応できるようにしっかりと取り組んでいただかなければならないというふうに私は考えておりますが、自治会等で除草作業等を行っているということも聞いております。その点について自治会等にお願いをして、やはり自治会に財源、権限をある程度与えて、自治会で管理してもらう。午前中の下地信男議員の質問にもありましたけれども、やはり地域のことは自治会がよく知っているというふうに考えておりますので、自治会との意見交換、要望等を受けられる体制づくりが必要であるかなというふうに私は考えておりますが、当局の見解はどうですか、伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

道路の除草につきましては道路作業員16名で全体を対応しておりますが、やはり仲間誉人議員からも指摘がありますように、これ特に地域づくり協議会、例えば城辺地域、上野地域、下地地域、伊良部地域の

地域づくり協議会にも依頼して清掃は行っております。また、地域自治会等が清掃に要望があれば、これもちゃんと要請を受けて市と契約しまして対応をお願いしていきたいと考えております。

◎仲間誉人君

次の質問に移ります。次年度へ向けた取組・対応について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

カーブミラーにつきましては、修繕が必要な箇所が多々あることから、現状での調査を終え、計画的に改修してまいります。

除草作業につきましては、先ほども申しましたが、道路作業員が16名で宮古島全体の除草、管理行っております。また、一部の路線については、地域づくり協議会にも依頼しております。これは地域のご協力をいただき、今後も安全、安心な道路環境に努めてまいりたいと考えております。

また、区画線の更新につきましては、幹線道路や通学路を優先にして更新する計画ですが、幹線道路以外の路線についても全体的に範囲を広げ、地域からの要望等や交通量の多い路線については予算確保を行い、順次更新してまいりたいと考えております。

◎仲間誉人君

やはり市民の声、地域の要望等に応えられるような対応をお願いしたいと思っております。

次の質問に移ります。次に、伊良部横嶽市営住宅駐車場への出入りの際、隣接する県道204号線街路樹が視界の妨げとなり、危険な状態にあります。市営住宅入居者から街路樹の伐採を求める声が寄せられております。対応を伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

仲間誉人議員ご指摘の現場は確認しております。県道を管理する沖縄県土木事務所に確認したところ、同様の要望があり、管内に樹木の伐採を必要とする箇所が多々あるという状況でございます。当該箇所の街路樹の伐採につきましては、今後優先度や予算の状況を踏まえ、実施に向けた検討を進めてまいりますという回答を得ております。

◎仲間誉人君

この件につきましては県道204号線の街路樹となりますので、県の管理というところにおいては県の判断であるというふうに捉えますが、入居している地域の住民、市営住宅入居者においてはやはり市民の声でありますので、今回は質問にあえて入れております。対応をよろしくお願いいたします。

次の質問に移ります。スポーツ行政について、１、伊良部屋外運動施設について、利用状況を伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

伊良部屋外運動施設の利用状況についてでございます。伊良部屋外運動施設における野球キャンプの利用状況についてお答えいたします。

令和４年度、自主トレーニングとして２団体、チームとしましては社会人１チーム、大学生１チームの計２チーム。令和５年度は、自主トレーニング３団体、チームといたしまして韓国プロ野球団１チーム、社会人１チームの合計２チームを受け入れております。令和６年度は12月現在で、自主トレーニング１団体、韓国プロ球団が１チーム、社会人チーム、大学生１チーム、高校生１チームの合計４チームがキャンプを予定しているところでございます。

◎仲間誉人君

次に、②、外構整備について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

伊良部屋外運動施設の外構につきましては、多目的運動広場として子供広場、健康広場、駐車場、敷地の道路等の利用者の利便性と安全性に考慮した整備計画となっております。年明けには工事を発注し、野球関連の利用者の安全に十分考慮しながら整備を進めていく予定となっております。全体のスケジュールとしましては、国との整備予算の調整が継続中でありますが、予算の確保を行い、令和８年度中での整備完了を目指します。事業費では、令和６年度から令和７年度までで３億7,627万6,000円となっております。

◎仲間誉人君

令和８年度中の実施予算については、審議中という回答ですか。ということは、まだ予算確保できていないということですか。

◎建設部長（川平陽一君）

令和６年度から令和７年度までの事業費は、先ほど申しましたように３億7,627万6,000円を予定しています。零歳から３歳までの遊具が補助対象外となっておりますので、予算確保の後に同広場については令和８年度中に整備を予定しております。

◎仲間誉人君

ぜひ予算の確保をしていただいて、やはり子供たちが遊べるような遊具の整備については地域のお母さん方からの要望も把握して承知していると思うところでありますので、ぜひとも整備に向けてしっかりと取り組んでいただきたいというふうに思います。

そして、球場周辺については、先月１７ＥＮＤハーフマラソンでも利用をされていたところであります。そして、次年度は離島甲子園の開催もあるというふうに思います。その際に大型バス二十数台分の駐車スペースの確保が必要であるというふうに伺っているんですが、その点は問題ないですか、駐車スペースは。伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

駐車場とトイレにつきましては、平常時の利用から整備台数を算出しております。１年に１回開催する大規模なイベントについては、担当課でイベント規模、参加人数、特色等を鑑み、空きスペースを臨時駐車場として使用していきたいと考えております。また、仮設トイレを増設して利用者の利便性向上を図るとともに、その都度臨機応変に対応してまいりたいと考えております。

◎仲間誉人君

臨機応変に臨時のスペースも確保しながらというところですけれども、バス二十数台入るスペースは大丈夫ですかと、聞いているんですけど。

◎建設部長（川平陽一君）

駐車場につきましては約200台程度確保を予定しておりますが、足りない場合は野球場の北側にスペースがございますので、このスペースを使用していただきたいと考えております。

◎仲間誉人君

次の質問に移ります。次に、伊良部カントリーパークについてです。サッカーの利用の状況について伺

います。

◎建設部長（川平陽一君）

サッカーでの利用状況につきましては宮古サッカー協会による利用が主で、令和５年度では51日、令和６年度11月末の段階で46日の利用となっております。

◎仲間誉人君

今の令和５年度で51日、そして令和６年度46日を踏まえた上で次の質問に移りますが、今後の整備について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

現在、伊良部カントリーパークの主な利用としましては、宮古サッカー協会による少年サッカー大会が主で利用しております。グラウンドのフィールドの大きさは縦85メートル、横75メートルで、少年サッカー場の規格としては満足しておりますが、試合サッカー場としての整備につきましてはまだ具体的な進展がありませんが、当該施設につきましては陸上競技、サッカー競技の両方で利用されておりますので、今後地域からの要望等も踏まえ、検討していきたいと考えております。

◎仲間誉人君

この伊良部カントリーパークの整備については、以前子供たちがサッカーの試合をしている際に少し見に行ったことがあるんですけれども、その中で子供たちの膝下、膝の真ん中ぐらいまで草が伸びている状態でサッカー競技をしていたということを私見たことがありますので、その辺りしっかりと整備をしていただいて、対応をしていただきたいというふうに思いますが、どうですか、建設部長。

◎建設部長（川平陽一君）

伊良部カントリーパークの草刈り等の管理状況につきましては、清掃維持管理業務として公園内の除草を毎月１回、トイレ清掃を毎月４回実施しておりますが、仲間誉人議員からもご指摘がありますように、これサッカー等に相当支障がありますので、徹底的に管理は努めてまいりたいと思います。

◎仲間誉人君

建設部長、ぜひお願いしたいと思います。

この伊良部カントリーパーク、そしてサッカーの競技について、以前に元ＦＣ琉球の上里一将氏が市長の表敬に来たことがあると思います。そして、来た際の報道で、整備、そしてキャンプの誘致に向けての前向きな発言があったというふうに思っております。これだけ毎週のようにサッカーの競技で利用をしているという実績があるわけですので、整備の必要性は十分にあると考えます。そして、伊良部カントリーパークにおきましては、国際基準の環境に整備を行えば国内外問わずキャンプを行うチームは現れるのではないかなと考えております。伊良部大橋の開通以降、令和５年度の入域観光客数は94万人。そして、開通に伴い、宮古島の知名度も高くなっております。そして、今後も伸びる可能性は大きいというふうに考えられます。そして、野球、サッカーを含むスポーツの振興、そして人材の育成、そして新たな産業の創出、そして午前中質問にもありましたけれども、にぎわいの創出にもつながるのではないかと考えます。当局の見解を伺いたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

サッカー競技の規則によりますと、縦方向に90メートルから120メートル、横方向に45メートルから90メ

ートルの確保が必要であることから、現状のフィールドの大きさでは約15メートルから25メートルほど拡張工事が必要になります。今後、地域からの要望を踏まえ、拡張に向けて検討してまいりたいと考えております。

◎仲間誉人君

ぜひ今後の整備に向けて検討をしていただきたいというふうに思います。

次に、公園行政について、牧山公園活用基本構想について、11月12日開催されました地域住民との意見交換の目的を伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

牧山公園の地域住民との意見交換についてでございます。

本市では、牧山展望台の老朽化に伴い、展望台の建て替えを含め、伊良部牧山公園全体の魅力向上を検討しているところでございます。このたび伊良部牧山公園活用基本構想の策定に向けて案を取りまとめましたので、訪れる観光客のみならず、地域住民にとってもより魅力的な場にしていけるよう、構想案に対してのご意見をいただきたく意見交換を実施したところでございます。この意見交換に関しましては、今月18日にも牧山公園の立地する佐良浜地区の皆さんを中心とした意見交換会を実施する予定となっております。

◎仲間誉人君

その12日に開催された説明会の中で、この対象となった参加者からの意見等はありましたか。あればどような意見があったのか、お聞かせください。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

参加者からの意見でございます。案に対しては、おおむねご賛同いただき、その中で地域食材を活用したり、家族で遊びに行ったり、観光客だけでなく、地元の人も楽しめるような施設としてほしいといった意見がございました。構想案にもそういった案を盛り込んでまいりたいというふうに考えております。

◎仲間誉人君

先ほどの答弁の中に、18日に地域住民を対象に説明会を実施するということでありますけれども、その後の整備に向かっていく中での周知方法について伺います。

（「議長、休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時10分）

再開します。

（再開＝午後３時10分）

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

この周知に関しましては、当日伊良部、佐良浜地区の建設部の実施する説明会がございますので、それと併せて実施するという形で周知しているところでございます。

◎仲間誉人君

その展望台も含めた施設の完成予定時期というのは、具体的にあればお聞かせください。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

完成、供用開始の時期については、現在のところ未定ではございます。ただ、整備のスケジュールといたしましては、今年度中に基本構想を策定し、次年度、令和７年度に基本設計、令和８年度に実施設計、令和９年度には工事着工を予定しているところでございますので、順調にいけば、全体の部分でどれぐらいの工事量になるかというところは今後また設計を見ながら検討に入ると思いますので、現時点では供用開始、完成時期については未定でございます。

◎仲間誉人君

しっかりと取り組んでいただきたいというふうに思っております。

次の質問に移ります。次に、都市計画行政について、根間公園予定地に隣接するタクシー乗り場について、公園建設に伴い新たな乗り場の整備について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

根間公園の整備につきましては、今年度用地買収が完了しており、令和７年度の公園整備に向けて、西里大通り商店街振興組合を含む中心市街地活性化協議会とも整備内容について意見交換をしているところでございます。仲間誉人議員ご指摘の新たなタクシー乗り場につきましては、公園用地としての整備計画を立てておりますので、タクシー乗り場としての整備はございません。

◎仲間誉人君

西里大通り商店街振興組合等と意見交換をしているというところですが、タクシー乗り場としての整備はないという答弁でありますけども、やはりタクシーは公共の交通機関であるという観点から、乗り場を設けるという動きは必要であるというふうに考えます。やはりなかったものを造って、今度は造ったものをなくすという動きがちょっと私には理解できないんですけれども、この同じ場所ではなくても近くに設けるというような動きはあるのかないのか、調整等が必要であるのかないのか、当局の考えを伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

現在のタクシー乗り場の使用につきましては、平成31年にタクシー協会から要望があり、根間公園整備を開始するまでの間、暫定的にタクシー乗り場としての使用を認めております。近くにタクシー乗り場が設置できないかとの仲間誉人議員の要望ですが、この件につきましてはちょっと検討してまいりたいと考えております。

◎仲間誉人君

タクシーの利用者、そしてタクシー事業者、両方ともいい方向に向かえるように、やはり今の場所が難しいのであるのであれば、西里大通り商店街振興組合と協議等を、話合いをする、そして検討するという必要性はあるというふうに考えておりますので、乗り場の整備に向けてぜひ検討をしていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

次の質問に移ります。次に、佐良浜地区で行われた狭隘道路等の拡幅に向けた勉強会について、開催目的について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

11月13日に開催されました狭隘道路の拡幅に向けた勉強会では、佐良浜地区内に点在する道路の幅が４メートル以下の狭隘道路に面する住宅にお住まいの方に対して呼びかけを行い、車の擦れ違いが可能とな

る４メートル以上に道路の幅を広げるセットバックを行うことにより、地域へのアクセス改善と災害時の避難経路の確保、緊急車両の動線確保の目的とする狭隘道路整備促進事業について、提案を行っております。

◎仲間誉人君

狭隘道路の解消に向けた提案、４メートル以下の道路の周辺の住民を対象に行ったということでありますけど、やはり道路が狭いと擦れ違い時にどっちかがバックしていくとか、そういったところで、空き家等を利用した思いやりゾーンを設けるという提案がされたと思っておりますけれども、この中で地域の方からどのような意見が出たのか、あれば伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

仲間誉人議員からありますように、佐良浜地区は４メートル以内の道路が相当面しているというところがあります。その中の住民に対してそういった提案をしながら意見求めましたが、その意見としましては、この説明会の中でアンケートを実施しております。そのアンケートの中で建て替え予定の、建築年数等のアンケートを取っております。これ住民が自ら建て替えの際にセットバックするのがこの事業の目的でございますので、それについて住民の皆さんからはいろんな意見が出ましたけども、アンケートで確認していきたいと考えております。

◎仲間誉人君

ということは、アンケートを取っているので、そのアンケート結果が集約された後にまた今後どういった説明を行うのかという、説明会の開催の方法とか検討されていくということでよろしいでしょうか。

◎建設部長（川平陽一君）

この説明会の中では、アンケートも実施しております。また、この勉強会では、事業内容の理解や率直な意見を抽出することが目的としておりましたので、勉強会で出た意見については来年２月に開催予定の勉強会の中で再度住民の皆様にご説明していきたいと考えております。

◎仲間誉人君

狭隘道路の早急な解消に向けて、対応していただきたいというふうに思っております。

次に、福祉行政について、１、伊良部老人福祉センターについて、管理体制について伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

伊良部老人福祉センターにつきましては、指定管理者制度により、社会福祉法人宮古島市社会福祉協議会による指定管理が行われているところです。指定管理者は、地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とし、安全、快適な環境を提供できるよう施設を管理するとともに、介護予防の取組など、健康づくりの援助、各種サークル活動や教養講座などを実施し、高齢者の交流や社会参加を促進するための総合的な事業の提供を行っております。

◎仲間誉人君

次、②、利用状況について伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

伊良部老人福祉センターでは、介護予防事業として、高齢者を対象にした運動機能の向上や閉じ籠もりなどを予防し、地域への参加を促進するためのいきいき教室や生涯学習や多様な文化的活動の講座を開催

している長寿大学など、各種事業を実施するとともに、地域の老人クラブなどの活動の場として利用されております。

◎仲間誉人君

社会福祉協議会が指定管理で行っているという、そして介護予防事業やいきいき教室、長寿大学等が行われているということでありますけれども、この施設全体の、ゲートボールとかも月に３回ぐらいですか、年間ですか、よく通った際には地域の老人、高齢者等がゲートボールをしているのを見かけたりするんですけれども、その中で要望に挙がるのが、ゲートボール場を整備してほしいと。そして、その周辺、除草作業等についてもしっかりと対応してもらえないかという意見を伺っているので、今回の質問に入れてあります。その点の対応について、当局の考え、見解があればお願いします。

◎福祉部長（守武　大君）

ゲートボール場につきましては、指定管理者により年数回の雑草の除去や周辺の木々の剪定を行っております。昨日、高齢者支援課の職員が確認に行きましたところ、ゲートボール場が４面ありまして、そのうちの２面を通常使われているということでした。たまたま社会福祉協議会の職員が掃除をしておりまして、年に何回か使う３面も含めて、周りの剪定も含めて掃除をしておりましたので、要望がありましたら掃除等の整備をちゃんとしていきたいなと思っております。

◎仲間誉人君

今後もしっかりと対応をしていただけるようにお願いをいたします。

次に、最後の質問になります。伊良部公民館について、伊良部公民館備品の修繕について、進捗状況を伺います。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

伊良部公民館のテーブルについては、昨年度仲間誉人議員に答弁させていただきましたように、修繕に向けて取り組みましたが、特殊なネジなどで、テーブルの天板が止められていることから、修繕が難しかったため、購入で対応したいと考えております。

◎仲間誉人君

取り組んだけれども、できなかったという意味ですか。予算は確保できていたけど、取組ができなかったということですか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

予算は既決予算で対応しようと考え、修繕を試みたんですが、できなかったということです。

◎仲間誉人君

予算は確保できていたけれども、できなかったという答弁でありますけれども、これ前回質問した際に、令和５年12月定例会で質問をさせていただいております。その中で、伊良部公民館で使用しております椅子、テーブル等の備品については、一部老朽化しているのは確認しておりますので、修繕または買換えを行いたいと考えておりますという答弁でございました。しかしながら、されていないという現状がありますので、質問をさせていただきました。予算の確保は大丈夫ですか。確保できるんですよね。答弁お願いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

購入の予算については、令和７年度当初予算で要求しております。

◎仲間誉人君

令和７年度の当初予算で要求するという答弁でありますけども、確保されていたのに令和５年12月定例会で対応するというお話だったのが、今度は当初予算で要求をするということですね。しっかりと対応していただきたいというふうに思っております。

ちょっと時間少し残っておりますけれども、これをもって12月定例会一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで仲間誉人君の質問は終了しました。

お諮りします。本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議はこれにて延会します。

（延会＝午後３時28分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月11日（水）　　４日目

（一　般　質　問）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第４号

令和６年１２月１１日（水）午前１０時開議

日程第 １　 一般質問

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１１日（水）

（開議＝午前10時00分）

（延会＝午後３時24分）

◎出席議員（２２名）

議長	（２３番）	平良敏夫 君	議員	（１１番）	上地堅司 君
副議長	（１８〃）	長崎富夫 〃	〃	（１２〃）	仲間誉人 〃
議員	（１ 〃）	久貝美奈子 〃	〃	（１３〃）	平良和彦 〃
〃	（２ 〃）	下地茜 〃	〃	（１４〃）	下地信広 〃
〃	（３ 〃）	砂川和也 〃	〃	（１５〃）	我如古三雄 〃
〃	（４ 〃）	狩俣勝成 〃	〃	（１６〃）	欠員
〃	（５ 〃）	富浜靖雄 〃	〃	（１７〃）	西里芳明 〃
〃	（６ 〃）	下地信男 〃	〃	（１９〃）	友利光徳 〃
〃	（７ 〃）	欠員	〃	（２０〃）	上里樹 〃
〃	（８ 〃）	狩俣政作 〃	〃	（２１〃）	粟国恒広 〃
〃	（９ 〃）	山下誠 〃	〃	（２２〃）	上地廣敏 〃
〃	（１０〃）	池城健 〃	〃	（２４〃）	山里雅彦 〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸 君	環境衛生局長	下地睦子 君
企画政策部長	久貝順一 〃	会計管理者	下地美明 〃
総務部長	與那覇勝重 〃	水道部長	下地貴之 〃
福祉部長	守武大 〃	消防長	上地一史 〃
市民生活部長	狩俣博幸 〃	企画調整課長	前原敦 〃
農林水産部長	石川博幸 〃	総務課長	豊見山徹 〃
建設部長	川平陽一 〃	財政課長	国仲英樹 〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗 〃	教育長	大城裕子 〃
産業振興局長	下里盛雄 〃	教育部長	砂川勤 〃
こども家庭局長	幸地幹夫 〃	生涯学習部長	天久珠江 〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦 君	次長補佐	与那嶺彰成 君
次長	仲間清人 〃	議事係長	国吉たかよ 〃

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第４号のとおりであります。

この際、日程第１、一般質問について、昨日に引き続き質問を行います。

本日は、下地茜君からであります。

これより順次質問の発言を許します。

◎下地　茜君

議員番号２番、下地茜です。２日目朝一、しっかり質問していきたいと思います。よろしくお願いします。

まず、早速ですが、畜産行政について聞いていきます。山羊サミットがＪＴＡドームで11月16日に開催されまして、私も参加させていただいて、参加された方から例年に比べ白熱した議論が飛び交って、大変よかったというような意見なども聞きました。ヤギ振興については、私も一般質問で取り上げたいなと思っていながらなかなか至らなかったのは、やはりヤギを産業として見たときの規模の小ささかなと思っています。しかしながら、今ヤギ需要は右肩上がりでして、特に食肉加工施設など、需要に対して生産体制の整備拡充までに及ばない点は、ヤギを産業として見た場合の課題かなというふうに思っています。また、予防すれば防げる腰麻痺などの病気、獣医師の指導がもらえる環境整備があればなと思っているところですが、特に今のような冬場、冷たい雨の時期は病気もしやすいですし、ご苦労される飼育者とヤギのことを思えば私自身の非力さを感じているところです。

そこで、今回お聞きしたいのは、本市として今後ヤギ産業についてどのような施策を検討されているのか、出荷奨励補助等、既に幾らか取組をされていることは存じているところでありますが、お聞かせいただきたいと思います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

先ほど山羊サミットの話が出ましたけども、山羊サミット大変盛り上がりました。沖縄本島、ヤギの専門店が100店舗ぐらいあるということで、非常に驚きました。それだけヤギに対するそういう食文化というのが深く浸透しているんだなと思ったところでございます。

ヤギの振興のための今後の取組ですけども、先ほども下地茜議員が申されたとおり食肉センターで屠畜されたヤギの屠畜料に対して１頭当たり3,000円を補助しております。令和３年度から令和５年度にかけましては宮古島市優良繁殖ヤギ導入補助事業を実施し、島外からの大型種の導入しております。本事業による大型種の導入により、令和３年度の屠畜実績は43頭でございましたが、令和５年度は121頭と約３倍まで伸びております。今年度は畜産飼料高騰対策事業で、配合飼料を購入している農家を対象に、ヤギ１頭当たり2,200円の補助を行っております。また、平成29年３月に宮古島市山羊生産流通組合が発足され、平成31年度より年間30万円の活動費の助成も行っております。今後については宮古島市山羊生産流通組合の組合員の方々と意見交換しながら、ヤギ産業の振興に向けて取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。

◎下地　茜君

３倍ほど出荷量も増えているということで、しっかり実績になっているのかなとお聞きして思いました。

実は個人的に最も整備していただきたいのは獣医師なんです。念のためにお聞きしたいのは、ヤギを診る獣医師、宮古島市内にそういった環境はありますでしょうか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

ヤギの獣医師についてでございます。ヤギの獣医師に関しましては、民間の獣医が２名おります。宮古家畜保健所の獣医においては、家畜伝染病の蔓延防止対策や伝染性疾病の防疫演習、飼養衛生管理基準の遵守指導を行っており、診療は行っていないとのことでございました。

◎下地　茜君

配置は、獣医はいるけれども、通常の一般の診療を行っていないということかとお聞きしましたが、獣医師を宮古島に配置するとなると牛がどうしても優先になってしまって、牛の獣医だけでも足りないという状況があって、ヤギを診る環境というのは実際のところほぼないというのが現状かなと思っています。けれども、ヤギの産業規模では獣医師置くのも難しいということも感じておりまして、そこででは何ができるかというと、やはり関係者の交流による情報交換かなと思っているんです。ヤギサミットが大変よかったなと思うのは、小規模な産業ながら、ヤギを見ている飼育者たちが一堂に募って、いかにしてヤギの振興を行うかというところを顔を突き合わせて議論をしていたところかと思っていまして、こうした島外からの獣医師を呼んで、定期的に指導を仰ぐとか、あるいは別の地域で工夫されていることを今回のように飼育方法を学ぶとか、意見交換の場を設けることの大切さを感じたところでした。

そこで、②番になるんですけれども、こうしたことについて本市でできる事業といいますか、協賛という形でのフォローでもよいのかなと思いますが、あれば教えていただきたいと思います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

ヤギの交流ですけども、ヤギ飼育者が交流できるヤギのイベントといたしまして、昨年の11月25日にみゃーくピンザフェスを開催し、今年度は去る11月16日、17日に全国山羊サミット宮古島大会を開催したところでございます。両イベントとも組合員とヤギの関係者と市民などとの交流が図られ、大会も成功しております。また、ヤギ愛好家主催のピンダアース大会についても11月９日に開催されております。宮古島市山羊生産流通組合に確認したところ、今後組合員を中心とした講演会、イベントを通して組合員とその他ヤギ飼育者との交流を深めていきたいということでございました。

◎下地　茜君

ヤギ振興は、座喜味一幸市政始まってからの一つの政策カラーであったと感じております。ぜひ小さなところからでありますが、大きく育つように、自主的な勉強会への支援などが好ましいかなと思っていますが、今後も可能であればヤギ振興計画を立てるなどして、ぜひしっかり取り組んでいただきたいと思います。

続いて、文化財保護についてお伺いしたいと思います。保良クバクンダイ鍾乳洞、通称パンプキンホールですけれども、以前より地元自治体から保全対象に十分当たるのではないかとして学術調査を求めていまして、令和５年度には専門家による現地視察、文化的価値が高いとして、市文化財指定に向けて調整をしていくと議会での答弁もあったかと思っております。地域からも、それからここに関わるマリン事業者

の方々からも早い指定を望む声が届いていたところでありますが、現在の進捗状況をお聞かせいただきたいと思います。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

保良クバクンダイ鍾乳洞の文化財指定については、令和５年12月８日付で教育長から文化財保護審議会へ諮問し、これまで２回の審議が行われております。これと並行して令和５年度に鍾乳洞の環境調査を行い、２回目の審議会ではその結果も踏まえて天然記念物としての価値づけが議論されております。審議会では、文化財指定については異論はないものの、鍾乳洞の成り立ちに関する考察を再整理する必要が指摘されていることから、現在その作業を行っているところです。

◎下地　茜君

関連して、もし今後のスケジュールが分かれば教えていただきたいと思います。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

今後のスケジュールですが、あくまでも予定で、１月までに文化財を指定し、２月から保存活用計画を発注する予定で、令和８年度中に保存活用計画を施行したいと考えております。

◎下地　茜君

地域と話し合いながら、どういう計画を立てるかというのが来年、令和７年度を使ってやっていくのかなと思いますが、またいろいろ要望も出てくると思いますので、しっかり向き合って、お願いしたいなと思います。

この場所、一時期は全国ネットの放送にも載ったりして、そのときに話題沸騰して、ドル箱のような場所にもなっていたんですけれども、一方でサンゴの上を歩いていったり、鍾乳洞のつららを折ったりと問題が噴出しまして、その後マリン事業者が業者内でのルール、利用保全協定を結んで、以前よりは少しは落ち着いている状況かなと思っています。しかしながら、明確な制度がある中でやっているわけではないので、必ずしも協定を守らなくても実際には鍾乳洞まで行けてしまうと。なので、程度の差はあれ、地元自治会もマリン事業者の皆さんも行政には明確なルールを求めてきたところですが、少し確認ができればと思っています。地元の方は、できれば鍾乳洞には入ってほしくないという強い思いの方もいます。今後計画を立てていくとして、その中で立ち入らせないという規制が可能かどうかお伺いいたします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

指定文化財は、文化財の保護はもちろんのことですが、それを公開することで宮古島市の自然、歴史、文化への理解を深める普及啓発活動へ果たす役割も重要な点となります。文化財指定後に策定する保存活用計画の中では、天然記念物として文化財的価値を損なわないために保護していく範囲と公開していく範囲とを分け、保護と活用の両面から検討を行ってまいりますが、活用の観点からも現在のところ全面的に立入りの制限を設けることは予定しておりません。

◎下地　茜君

もう少々お聞きしたいと思います。仮にある程度の計画が立てられていく際に、例えば鍾乳洞の中の泥、クチャは希少なので、持ち帰ってはいけないとか、あるいは一定以上の奥は環境保全の観点から、脆弱なため立ち入ってはいけないとか、ルールを定めていったときに、実際には誰がそれを監視して、違反している人に声かけをして、そういうような役割を担うのか、市としてはその点どういうふうに考えているの

かお聞かせいただきたいと思います。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

保良クバクンダイ鍾乳洞が文化財指定された場合、管理者は宮古島市教育委員会となります。これまでの調査などで鍾乳洞内の鍾乳石の保存や損壊状況などを記録しておりますので、委託などにより定期的に鍾乳洞内の状況調査を行い、それを比較検討することで天然記念物としての保全を図っていきたいと考えております。

◎下地　茜君

定期的に調査を行うということで､監視というようなことまではされないということでよろしいですか。恐らく海浜を利用する当事者でその辺りを協力という形で担っていくようなことが現実的なところなんではないかなと思っています。保良泉ビーチでは、鍾乳洞へのツアーに当たって事業者同士で締結している利用保全協定があって、ここで自主的な運営方法をルール化しているわけです。これは、県の認定制度なので、申請する際には宮古島市にも何度も相談をした上で、宮古島市を通して県に申請しているものと記憶していますが、そこでいま一度この利用保全協定について本市の見解をお伺いしたいと思います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

県知事認定の保良クバクンダイ鍾乳洞保全利用協定についてお答えいたします。

市が各海岸の利用規則を策定するというものではなくて、エコツアー事業者が自主的にルールを定め、自然環境への配慮、安全管理、地域への配慮の３つの要素で構成され、それぞれの項目で地域の特性に合わせたルールが策定され、各海岸を利用するエコツアー事業者が協定を結び、県に申請して認定される制度でございます。観光振興と環境保全とのバランスを取りながら、次世代に豊かな自然を継承するために必要な対策であるというふうに考えております。また、海岸を利用するエコツアー事業者等が地域住民と連携し、地域の自主的な保全と利用に取り組むことに対しても、市としても引き続き推奨していきたいというふうに考えております。

◎下地　茜君

実は保良泉ビーチは、プールについて市の指定管理となっています。本定例会では指定管理業者についても提案されていまして、事業計画の中ではこの鍾乳洞へのカヤックツアーも書かれているところではありますが、担当課としては承認された後に決めていくことなので、カヤックツアーを必ずしもやることというわけではないというお話もお聞きしていますが、ただ仮にこのツアーをやるとすれば、自主事業ではありますけれども、市の管理施設を利用しながら行う事業でありますので、市の責任とは無関係とはならないだろうと思うんです。本市として管理の範疇にあるものと思っていますので、確認させていただきたいんですが、この⑤番、指定管理業者が鍾乳洞へのカヤックツアーを行うとき、本市の管理方針、どのような管理方針を持つのかお聞かせください。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

指定管理者との保良泉ビーチの利用についてでございますが、指定管理施設は保良クバクンダイ鍾乳洞保全利用協定そのものとは直接の関連はございません。ただ、自主事業で隣接するビーチ等利用するのであれば、当該利用協定に基づいて事業は実施されるものというふうに考えております。

なお、この協定ができた目的としましては、マリン業者の乱立による地域資源の保護、保全への危機感

から、自治会をはじめマリン業者、市、県との公式なルールづくりが最大の趣旨になりますので、自主事業を実施するに当たっては市としても協定への参加は求めてまいりたいというふうに考えております。

◎下地　茜君

例えば利用保全協定では、この協定事業者内で９業者とか８業者とかいた場合に、その業者内で１日上限80人と決められているんです。新しい指定管理者がもしそこは別途運用していく、例えば１日100名というような枠を持ってやっていくとなると、もうこの利用協定自体を全員で守るモチベーションってなくなっていってしまいますので、今観光商工スポーツ部長のご答弁の中では保全利用協定というところも理解しながら協力を求めていくというようなお答えもありましたけれども、ぜひここの場所を守るというところを、どういう形であればそれがしっかりできるのかということについて市としても積極的に関わっていただけたらなというふうに思っております。よろしくお願いします。

質問の順番を変えまして、国民保護計画についてからお聞きしたいと思います。実はかねてより地下水への質問取り上げていただきたいという市民の要望もいただいていたところでありまして、何点かお聞きできればと思いますが、本市に配備されている12式地対艦ミサイルについて、ミサイルの燃焼時には塩化水素ガスが発生するということが分かっています。こうしたミサイルの使用時の化学成分による土壌汚染がどの程度発生することになるか、防衛省から説明がこれまであったかお聞かせください。

◎企画政策部長（久貝順一君）

国民保護計画についてのご質問にお答えをいたします。

12式地対艦ミサイル発射時及びミサイル被弾時の土壌汚染につきましては、これまで宮古島市に対し防衛省からの具体的な説明はないものと承知をしております。

◎下地　茜君

秋田県、山口県に配備が、宮古島に配備されるのとほぼ同時期に計画されていた防衛ミサイル、イージス・アショアというものがあって、これはミサイルの発射時に例えばブースターが住宅地に落下するのではないか、塩化水素ガスが発生して周辺に影響を及ぼすのではないかという住民の懸念に対して、シミュレーションを出して安全性を説明していたんです。どういう説明をしたかというと、この影響は敷地内で収まりますよ、けれどもそれでもそれは100％ではないということで配備撤回になっていくんですけれども、実は宮古島へ配備されるときも私たち地域住民として、秋田県、山口県と同等のシミュレーションを出してほしいというのを実は求めてきていました。けれども、防衛省がそれに対して何と答えたかというと、塩化水素ガスの発生に関しては事故が起こらないようにするということで、平時のときのみに言及した回答になっていたわけです。山口県へは有事のときのシミュレーションまで出しているにもかかわらず、宮古島に関しては平時のときのみで回答して、有事のときの回答を避けているというところを見ると、なぜ一方では丁寧に説明をして、なぜ宮古島市へは丁寧な説明がされていないのか。なぜかというところをぜひ少し考えてみていただきたいんですが、私は理由は１つだと思っているんです。宮古島に配備するミサイルは、秋田県、山口県の防衛ミサイルと違って、敷地内に固定するミサイルではないからなんです。私が住む保良地区への住民説明会で、私自身がやった質問なので、大変よく覚えているんですけれども、私の家からすぐ160メートルのところにこの施設が、訓練場がありますので、ここでミサイルを撃ちますかということを沖縄防衛局に質問をしました。沖縄防衛局の回答は、違いますと、これは敷地の外に出て、

人気のないところで撃ちますという回答だったんです。宮古島に配備されている12式地対艦ミサイルというのは、トラックの荷台に発射台がついた車載型移動式のミサイルです。なぜ移動式なのかというと、撃てば今衛星システムで、そこが撃った場所と分かるので、１発目を撃って、そしたらその場所から移動して２発目、３発目を撃っていくと。車で１時間あれば１周できるような宮古島で、もし複数台このミサイル車両が展開するとすれば、宮古島全域が当然軍事展開範囲にならないと成り立たない。シミュレーションが出せるわけがないんです。これは、同時に地下水の安全を考えるときに重要な前提になっていきます。

２問目をお聞きしたいと思います。ミサイルが被弾したときには地下の深さ５メートルほどのクレーターができて、爆発による圧力が地下に広がることで周辺20メートル範囲の基盤への影響が起こるというふうにされていますが、こうしたミサイルの攻撃が複数回行われた際に宮古島の地下水を抱える地下構造への影響、これについて防衛省から説明を受けたことがあるかお伺いいたします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

下地茜議員ご質問のミサイル攻撃の部分の中で、複数行われた際の宮古島への地下水脈の影響についてもこれまで防衛省から市に対して具体的な説明はないものと承知をしております。

◎下地　茜君

平成28年に宮古島の北海岸の福山地区に駐屯地の配備計画があった際に、ここは水道水源の保全流域なので、地下水審議会学術部会が必要であるということで開催されて、その検討の結果、この地域には駐屯地は造るべきではないと提言がなされて配備断念につながっていく。そして、その代わり千代田と保良に造られていくわけですが、当時の学術部会の提言がどういうものだったかというのをいま一度振り返ると、例えばミサイル燃焼時の化学物質については発射場付近に飛散したものが汚染するような話もあり、懸念はあるというふうに話していて、流域に施設を設置してはならないと言っているんです。それから、地下水の水脈については、この辺り白川田流域なので、この流域にミサイルの攻撃で崩落があった場合は水の量が減るという地質構造を持っており、万一のことがあった場合大きな問題になるというふうに話をしていて、結論としてこの水は何千年も使用していきますので、ミサイルでも撃ち込まれたらどうなるかということが危惧されますというような言葉も出ています。最終的にはこの場所が攻撃対象になった場合ということを考えると、予防原則的に認められないという結論で提言をされていきます。しかしながら、もうお話ししてきたことなので、お分かりだと思いますが、本市に配備の12式地対艦ミサイル、敷地内に固定型のものではないわけです。敷地の外に出て、移動しながら撃つわけです。防衛省は、敷地の外に出て撃ちますよと説明していますし、地下水審議会の学術部会も攻撃対象になった場合を考えると予防原則的に認められないとばらばらに話していますけれども、私たちがちゃんと点と点を結んで真実を捉えていく必要があると思っていて、有事となって私たちが島外避難をした後に、島全域を使って存分に戦闘行為をした後、宮古島の水は変わらず飲めるだろうか、生活の水として、農畜産業の水として使えるだろうかということを本当に誰か考えなければ、本当に誰も考えないまま進んでいくことになるかもしれません。明日以降、特定利用空港、港湾の話題もあるようですが、学ばずして提言することの責任ということも少しは感じていただきたいと思っています。

３つ目の質問ですが、私たちの島の地下水、それをはじめ生活基盤に甚大な影響があった際に私たちが島に戻ってきて再び生活を続けられるかということについては、国民保護法には武力攻撃災害の復旧とい

う言葉があります。国は、ここでは可能な限り迅速に復旧を行うものとしていますが、可能な限りとはどの程度まで担保いただけるのかお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

国民保護法第171条では、武力攻撃災害の復旧に関する措置に係る財政上の措置につきましては、別に法律で定めることとされており、下地茜議員ご質問の対象範囲も含めて、その具体的内容につきましては武力攻撃事態終了後に制定される法律において定められるものと承知をしているところでございます。

◎下地　茜君

防衛省の調査機関に防衛研究所というところがありまして、そちらで出している資料、国民保護の経緯、現状、方向性、国民保護の制度と運用という資料に有事の国民保護、平時の災害対策基本法との違いを見ていくという資料ですけれども、この中に書いてある文章で、総務部長もおっしゃられたように復旧は事態終了後の状況を踏まえて検討するとされており、応急の復旧を超えた復旧、復興は基本的に事態対処法の射程に含まれていないのであるというふうに書いてあります。つまりどの程度補償されるかについては終わってから考えるということで、応急、差し迫った場合に取りあえず間に合わせるという、を超えた復旧というのは基本的に想定されていないということです。そういうことを私たちへは説明はしないけれども、自分たちの資料には書いてあるわけです。言わない防衛省が悪いのか、調べない私たちが悪いのかということは少し考えたいと思いますが、能登半島の地震で東京の投資家の方がブログなどで、持続可能性が絶望的な地域や集落に公費を入れて復興させる必要があるのかというふうに書いて話題になりました。この言葉、私はまさにいずれ私たち自身に向けられる言葉になるんではないかというように感じています。ぜひ皆さん、共に考えていただきたいと思っています。本当はいろいろもっと質問したいんですけれども、時間が限られていますので、引き続いて水に関しての質問をしたいと思います。

環境について。５番、市民団体が主催する地下水の勉強会が定期的に行われていまして、これまでネオニコチノイド系の農薬についても指摘がされてきたところですが、今回はフィプロニルという農薬について本市の水道水源からは微量ながら検出が続いているところでもあります。何度か水道部へはお伺いして、特にフィプロニルについては頻度を上げて検査をしているということはお聞きしてきたところですが、こうした指摘の中で検査費用も大きく予算を割いて対応をしてきていることは認識もしておりますが、市民からやはり子供たち、孫たちへ安心できる水でなければという訴えをよくいただくんです。今回注視したいのは、ネオニコチノイド系農薬のクロチアニジンです。商品名はダントツですけれども、白川田水源地は令和４年度からの数値がありますので、取り上げたいと思いますが、令和４年から令和６年までそれぞれどの程度検出されているのか、推移が分かるようお示しいただければと思います。

◎水道部長（下地貴之君）

クロチアニジンにつきまして、まず国が示す水質管理目標値でありますけれども、１リットル当たり20万ナノグラム以下であります。白川田水源地におけるクロチアニジンの測定結果でありますけれども、令和４年度が45ナノグラム、令和５年度が78ナノグラム、今年度からは年４回の精密定期検査を計画しておりまして、そのうち２回検査結果を公表しております。５月が89ナノグラム、８月、88ナノグラムとなっております。

◎下地　茜君

昨日、水道部長の答弁では、数値の上昇があれば検討していくとしていた浄水処理施設についてですが、また以前はネオニコチノイド系農薬の除去には国庫補助がないという説明もされていたと思いますが、県のほうが宮古島市から要請があれば高度浄水処理施設については国庫補助での支援が可能と回答してきている経緯もあります。今ＰＦＡＳが全国で検出されて問題になっているところで、石垣市でも水道水に含まれるＰＦＡＳの濃度が県内で最も高かったとして、全国的にも全県的にも新たな成分への対応が今後本格的に求められていくと思うんです。このネオニコチノイド系の農薬もＰＦＡＳに関しても活性炭の処理が有効ということで、重ねて取り上げてきたところでありますが、こういう中でいち早く対応していくことが市民の暮らしの安心と安全を守ることだと思っていますが、特に高度浄水処理施設について検討から始められないかと思っております。ご見解をお伺いいたします。

◎水道部長（下地貴之君）

昨日の我如古三雄議員にも答弁いたしましたけれども、水道部としましてはまずは現在実施している調査、その結果を注視していくことが重要であると考えております。その上で今後濃度が上昇していく傾向が長期的に見られれば、高度浄水処理施設の必要性については検討してまいりたいと考えております。

◎下地　茜君

命の水ということで、宮古島の地下水に関しては、私も議員になって以来ずっと取り上げてきている問題でして、この数値を水道部がしっかり出しているというのはそれだけに感じているところで、予算も３倍ぐらいに上げていますか、かなりしっかりやってきてくれているとは思います。この施設を造るには億単位の予算も必要で、国庫補助も大きくないので、簡単ではないという話も聞いてきていますが、子供たち、孫たちへの水を、自分の年代はもう大丈夫なんだけれども、子供たちのことを考えるとしっかり対応してほしいという市民の声というのはやはり直接電話がかかってきて訴えられたりもしますので、調査から続けて検討していくということですが、ぜひ市民の声を真摯に受け取って、対応していっていただきたいというふうに思います。

続いて、保育行政についてお伺いしたいと思います。本市も保育士不足の対応を様々に講じてきているところかと思いますが、昨年は国が配置基準の見直しなど行ってきていて、処遇改善も少しされやすくなってきているかなと思っています。国は保育士の負担軽減のために、保育士１人が見る子供の数を減らす配置基準の変更を行ってきましたが、本市の配置基準の変更への対応はいかがでしょうか。ご状況を伺います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

保育士の配置基準につきましては、国の定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の改正により、令和６年度より３歳児の配置基準が児童20名に対し保育士１名から、児童15名に対し保育士１名へ変更となり、４、５歳児の配置基準についても30対１から25対１へ変更となりました。配置基準の改正が行われましたが、経過措置として当分の間は従前の基準により運営することも妨げないとされており、各施設の状況については調査、把握はしておりませんが、保育士数が不足しているといった状況はないものと考えております。

◎下地　茜君

20人に対して１人が15人に対して１人であったり、30人に対して１人が25人に対して１人であったり、

子供の数が多い場所に対しては、もしかしたら今まで１人で大丈夫だった保育士が２人配置しなければならないと。負担は減るけれども、経営側の努力というのは大きくなると思っていますが、不足している状況はないということは、これは国が求めている配置基準に合った数を本市の公立の園に関しては配置できているということなのか、②、本市の配置基準に対する保育士の配置状況どのようになっているか、前年度と比較してご答弁をいただきたいと思います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

公立保育施設６施設、これは保育所が３施設、認定こども園が３施設となります。の保育士配置状況についてお答えをいたします。

令和５年度の保育士数は、パート保育士、サポート保育士を含め91人、常勤換算すると71.3人。令和６年度は保育士数は95人、常勤換算で73.9人となり、比較すると保育士数は４人増で、常勤換算した人数では2.6人の増となっております。児童数は令和５年度349人、令和６年度が363人と14人増となっておりますが、新しい配置基準においても６施設とも基準を満たした配置となっております。

◎下地　茜君

子供の数が今減っているというようなところもあって、これ以上園は増やさないという話も前には聞いていましたけれども、保育士の確保が現状の課題である。そこも今のところ問題なくできているのかなとお聞きしましたので、今後しっかり保育人材というところの確保と、それから拡充というところができていけばいいのかなと感じておりますが、お給料がしっかり増えていくというようなところでの中で処遇改善加算というものがあると思います。本市の状況をお伺いしたいと思います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

保育士の処遇改善等加算については、国の公定価格に基づいて私立の認可保育施設に給付しており、職員の勤続年数により加算される処遇改善等加算１や、研修を修了し、一定の役職等に就いた保育士に対し支給される処遇改善等加算２が給付されております。加えて令和４年10月からは、職員の賃金改善を行う施設に対し支給される処遇改善等加算３も給付されるようになっております。

◎下地　茜君

実は１年ほど前にも同様の質問をしまして、できる制度は全て使って処遇改善に当たっているという印象を持っています。公立としては例えば会計年度任用職員の待遇改善も一つの手だてとして残っているかもしれませんし、来年度から給与状況の公開が国から義務づけられていくということで、現場は様々に対応しなければならないことがあって、大変だと思いますが、働く保育士の環境がよくなることなしに保育士の数も増えないと思いますので、引き続きしっかり取り組んでいただきたいと思います。ありがとうございます。

では、平良庁舎についてお伺いしたいと思います。2021年当初は利活用に向けた検討委員会での事務局、つまり市側が示した利活用計画案では地元企業への建物と土地の売却という方針でした。現在は賃貸とすること、所有権は市が有したまま民間資金を活用して運営することとなっていますが、この方針に至るまでの経緯をお伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

平良庁舎利活用計画の経緯についてご答弁させていただきます。

平良庁舎は、令和３年１月の総合庁舎開庁に伴い閉庁となり、今日まで閉鎖状態となっております。令和３年当時は市町村合併によって公共施設を多く抱えている現状と施設維持管理費の抑制の観点から、平良庁舎を売却との方針としておりましたが、令和３年12月に平良庁舎利活用検討委員会を立ち上げ、平良庁舎の売却や活用案等についての検討が始まりました。令和４年８月に第２回、令和５年１月に第３回の検討委員会を行い、利活用計画案が取りまとめられ、令和５年２月に検討委員会委員長から平良庁舎の利活用計画案について、整備方針を売却でなく賃貸とする、民間資金を活用した事業手法とすると市長に対し報告をしております。その報告を踏まえ、市では平良庁舎を民間資金を活用した利活用事業を行うこととなりました。

◎下地　茜君

検討委員会を通して方針が定められてきたということですが、検討委員会についてどのような構成のものなのか、どのようなものなのかお聞かせいただきたいと思います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

検討委員会の構成員についてお答えいたします。

検討委員会の委員としまして、商工会議所、宮古島観光協会、市内通り会、市内商店街振興組合、青年会議所、金融機関、市内設計事務所、そのほかに副市長、市の関係部長等の方々、計17名が構成員となっておりました。

◎下地　茜君

以前こういう民間活力を利用しながら行政の事業を進めていく際の講演会みたいなものが、市の主催だったかと思いますが、庁舎内で行われてお聞きしたときに、地域のプレーヤーをいかに巻き込んでいくことが大切かというようなお話もされていたので、お聞きして、地域の当事者を入れた検討委員会になっているというふうには感じておりますが、台湾の民主主義の在り方を少し勉強していると、いかに市民が社会の事柄の決定に関与する場があるかということを大切にしている、そうすることで社会が市民のものであるということを市民が経験すると、そういうようなお話が繰り返し出てきます。そういった意味では検討委員会を通して地域関係者の思いを提言として受け取って進めていくということは、大変大きな意味があると思っています。

この中で令和５年につくられた宮古島市役所平良庁舎利活用事業の実施方針、②番を聞きたいと思っていますが、これを見ると事業のコンセプトとして公共的機能を備えた利便施設というふうに書かれています。公共的機能としては、商工会議所、宮古島観光協会、福祉団体を備えた集客施設、またバリアフリーに配慮した利便施設と説明されていますが、またかねてより社会福祉団体から福祉総合センターの設置について要望がされてきた経緯もありますが、この平良庁舎利活用の公共的機能として、特に福祉総合センター、またそれに準じる機能を置く予定はあるかお伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

福祉専門に特化しました整備は特にございませんが、オフィスを整備しますので、事務室としての利用は可能となっております。また、選定事業者に確認したところ、福祉団体に対して安価な賃料設定は予定しておりませんが、１階の一時利用施設である屋内ステージや吹き抜けホール等につきましては、福祉団体に限らず、市内の団体等に対して安価な料金設定を行い、地域の方々が利用しやすいようにしていくと

の回答を得ております。

◎下地　茜君

本市の福祉の機能は各地に分散しているということで、なかなか福祉の動きが包括的にならないという指摘が以前からされてきていると思うんです。ぜひ庁舎に限らずですけれども、何らかの形で考慮いただけないかと思っています。

②の２点目ですけれども、バリアフリー化についてどのように実施されるのかというところを聞かせていただきたいと思います。沖縄県には福祉のまちづくり条例とあって、市町村でこれを条例化されているところもありますが、本市にはこの条例はないので、県の条例に合わせることになると思うんです。本市の場合はその辺りどうなのかというところをお聞かせください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

バリアフリー化についてお答えいたします。

平良庁舎の改修工事は、選定事業者がその費用を負担し、民間のアイデアで整備していくことから、あらかじめ事業者募集時においてバリアフリーに配慮するよう示しております。事業計画では、誰でもトイレ、授乳、おむつ替えスペースの確保、建物北側歩道から地下階エレベーターまでのスロープ設置など、選定事業者も可能な限りバリアフリーに対応していくと回答を得ております。

◎下地　茜君

バリアフリー化に対応するということでした。本市の例で言えば、例えばこの新庁舎は通路も広くて、車椅子の方でも大変利用しやすいと好評です。しかし、同じようにガイドラインに沿って造られていても、市立図書館などは例えば避難経路に段差があったり、無事避難口から外に出れても土手で囲われているので、実はお庭から公道のほうに出れないというような状況などもあって、こうした違いがなぜ起きるのかというところをぜひ本市は一度検討していただけないかなと思っているところですが、さて、では新しい施設をとなったときに、多くの方にとって本当に利便性のある施設になるかどうか、当事者の声を酌むなど今一歩踏み込んで工夫をしていただきたいなと思っていますが、これについて少しご見解をいただけますでしょうか。お願いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

先ほど下地茜議員からもございました沖縄県の福祉のまちづくり条例に沿った整備ということで、その条例につきましては生活関連施設を新築しようとする者は整備基準に適合させなければならないというふうにございますので、選定事業者には県と事前に協議を行うよう伝えたいというふうに思っております。また、改修工事前に身障者等の意見を取り入れることにつきましては、選定事業者の裁量となるところではございますが、実施契約の中で事業者は施設利用者の要望、または意見の把握に努めて、業務の見直し、改善に努めなければならないというふうに定めているところでございますので、選定事業者は施設の利便性向上を図りながら事業運営していくということになります。

◎下地　茜君

クルーズ船はじめ観光客に向けても、立ち寄って楽しめる施設にしていける場所でもあると思います。今ユニバーサルツーリズムといって、ハンディのある方でも等しく楽しめる観光の在り方が注目されていたりもします。多くの方が多様に利用するユニバーサルな場のデザインをぜひ創出していただけたらと思

っておりますので、当事者の声等ももちろん取り入れながら、ぜひ進めていただきたいというふうに思います。

あと５分。私の質問は以上ですが、市長選も盛り上がりを見せつつあるのかなという今日この頃ですが、政策を進めるには足踏み期間なのかなと思っていましたら、市民の意識も高まっているようで、アンケートが届いたり、かえって勉強させていただいているかなと思っています。一方で、政治家とは何ぞやと思うような機会もあって、座喜味一幸市長、よく政治家とは消耗品であるということをおっしゃられるわけですが、市議であれ、市長であれ、市民に選ばれたときから４年間確かに特別な力を与えられて、では４年後自分の中に何が残っているんだろうと、その力はどこに行ったんだろうということを思うと、それは恐らくこの期間で全て市民へと還元されていくということなのかなと思っています。では、その市民とは誰なのかというと、それは恐らくこの島のどこかに住む私たちの顔も知らない誰かであったり、５年後、10年後、この島に生まれて育っていく誰かであったり、私たちが恐らくありがとうと言われることもない、そういう誰かのために一生懸命働くのが政治家というものの望ましい姿なのではないかということを市長の背中に学ばせていただいていると思っています。引き続き市民の声を聞きながら、市民のための政治をしていただきたいと思っておりますので、市長へのねぎらいの言葉は言いませんが、感想だけ述べて、私の12月定例会の一般質問を閉じさせていただきます。

（「議長、休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時57分）

再開します。

（再開＝午前10時58分）

これで下地茜君の質問は終了しました。

◎平良和彦君

一般質問２日目の２番、議員番号13番の平良和彦でございます。通告に従いまして一般質問を行いますので、答弁のほうは市民に分かりやすい、ご説明と誠意あるご答弁をお願いしたいと思います。

一般質問に入る前にお礼を申し上げたいと思います。城辺地区にあります城辺陸上競技場の東側の市有地があるんですが、そこに雑木が生い茂り、繁茂状態でありました。近隣の住民のほうから苦情等がありましたので、市のほうへお願いしたところ本当にきれいに清掃されておりました。近隣の住民がとても喜んでおります。本当にありがとうございました。これからも繁茂状態にならないように、管理のほうもまたしっかりとやっていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、市長の政治姿勢についてお伺いいたします。１番目に、特定利用空港、港湾についてお伺いいたします。特定利用空港、港湾とは、自衛隊、海上保安庁が平素から空港、港湾を円滑に利用できるように、そして関係省庁とインフラ管理の間で円滑な利用ができるような整備拡充をするものとあります。そして、今年の６月26日に報道のほうを見ますと、内閣官房のほうで職員が10名ほど宮古島市役所を訪れて、そこで１時間ぐらい市の担当と面会したと報道にありました。そして、政府側からは沖縄県が管理する宮古空港と下地島空港、それに市が管理する平良港について特定利用空港、港湾の指定に向けて検討し

ているという説明があったとのことですが、市長にお伺いいたします。そのときの面会の内容はどういったものかお聞かせください。

◎建設部長（川平陽一君）

国が進める防衛力強化のため、特定利用空港、港湾につきましては、有事における災害復旧活動や支援物資の搬入、あるいは住民避難に係る国民保護といった観点においても、離島である我々宮古島におきましては国の果たす役割が大きいものがあると考えております。国におきましては、それらの事案において迅速に対応できる体制を整えるために、平素において訓練やインフラ管理者との間で連絡体制を構築するための仕組みづくりなど､安全保護体制の強化を目的として取組を進めているものだと認識しております。しかしながら、その取組内容につきましてはまだまだ不明な点があることから、制度の詳細について情報収集を行っているほか、訓練計画などの具体的な取組内容について説明を求めているところであります。いずれにしましても、国が進める取組につきましては、住民の理解と協力が前提であると考えておりますので、今後も意見交換会を継続しながら……

（議員の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時04分）

再開します。

（再開＝午前11時04分）

◎建設部長（川平陽一君）

内容については詳細を持ち合わせておりませんので、先ほどの答弁の内容となります。

◎平良和彦君

ということは、面会はどなたが行った。建設部長は参加しなかったということですか。記憶がないということではない。会っていたら。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時05分）

再開します。

（再開＝午前11時06分）

◎建設部長（川平陽一君）

６月26日、10名の方が市役所に見えまして、私も参加しております。その中で前副市長も参加しております。その中の詳細を持っておりませんけども、平良港における港湾施設の円滑な利用に関する確認事項を行っております。

◎平良和彦君

それで、円滑な利用をできるようにというご説明があったかと思います。副市長も同席したと。副市長はもう退職しておりますので、聞くことできませんけども、この内容は市長には報告なされておりますか。

◎建設部長（川平陽一君）

そのときの内容は、前の副市長がまとめて市長のほうには報告されていると思います。

◎平良和彦君

では、もう副市長がいないので、追及難しいんですけども、多分当然ながら行政であれば副市長は市長のほうに報告をしていると思います。その後市長からの指示があったと思うんですけど、どういった内容なのかはご存じですか。

◎市長（座喜味一幸君）

防衛省をはじめ官房、内閣府、消防庁等の皆さんが担当部局と意見交換をしました。私のほうにも報告ありましたけれども、詳細は覚えておりますが、ポイントだけお答えしますと、今の特定利用港湾、空港、特に港湾について、今まで我々港湾の条例だとかいろんな法制度の下で防衛の荷揚げだとか、いろんな利用をしているんだけれども、今後特定地域としてどういう、今の制度を超えて、特定として地域指定したときに、どういう状況で利活用をお考えでしょうかというようなことがポイントだったと思っておりまして、その際に詳細については実務レベルでは具体的に年に何回ぐらいのどういう利活用があるかとかというようなことに対して意見を求めたり、意見交換をしているというふうに認識しております。

◎平良和彦君

今ポイント的な答弁をいただきました。市長は、それを報告を受けて、もう言えばこれ６月ですので、半年近くなるんですけど、どういった考えをお持ちですか。これが質問になりますけども、座喜味一幸市長はこの特定利用空港、港湾についてどのような考えをお持ちなのかをお聞かせください。これ半年たっていますので、いろいろ考えているかと思いますが。

◎市長（座喜味一幸君）

空港については宮古空港、下地島空港は県管理でございますから、まずは港湾についてなんですが、港湾についてまず原理原則的に確認すべきこと、それはやはり市民にも明確に私ども責任持って説明せんといけませんので、これまでの港湾の経済港湾としての機能、支障はあるのというようなこと、もちろん市民生活です。そういうものにどういう影響が、これまでと違ってどのような影響が出てくるのか、これは最大のポイントでありますから、そういうものについての意見交換、具体的なやり取りをしている状況です。

（「ちょっと休憩で」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時11分）

再開します。

（再開＝午前11時12分）

◎平良和彦君

座喜味一幸市長にまたお聞きしますけれども、今いろいろ考えていると言っているんですけど、ある程度情報来ているのかなと思うんですけど、メリットとかデメリット、どういうふうに考えているのか。というのは隣の石垣市長の中山義隆市長は、現行の石垣港港湾計画に基づく港湾機能強化の整備が国から新たに予算がつけられる、前倒しで進むことを期待していますよと。また、具体的に言えば既存計画にのっ

とって、水深の掘り下げ、災害に強い耐震岸壁整備等の新設などを見込んでいるそうです。また、中山義隆市長は指定による地域へのデメリットはないというのも断言しております。それから、与那国町も新港湾と与那国空港について、有事や災害の際、住民の全島避難のために欠かせないと指摘しております。そして、整備することで観光産業の拡大と町の自立発展にも期待できるという指摘も、求めているそうでございます。そういうことで、市長はメリット、デメリット、ほかの先島の２つの市、町はメリットだけを挙げているんですけど、そこでデメリットもあるんですか。そこ、メリット、デメリットお教えください。

◎建設部長（川平陽一君）

特定利用空港、港湾のメリット、デメリットについてのご質問ですが、指定されるメリットとしましては、例えば大規模災害が発生した際に災害復旧活動や支援物資の搬入など、自衛隊や海上保安庁の船舶が平良港を利用することが想定されます。平素よりそれらの船舶が柔軟かつ迅速に施設を利用できるように訓練しておくことや、港湾管理者との間で連絡調整体制を構築していくことで有事の際に迅速に対応できることなど、大きなメリットだと考えております。また、海岸岸壁の整備や航路の整備などに加え、既存の事業を促進することによって、港湾の利便性の確保や機能を強化することにもつながるものだと考えており、さらにインフラ整備による経済振興も期待できるものだと考えております。また、平良港は人流、物流を支える重要な港湾であり、民間港でもあり、自衛隊や海上保安庁の訓練によって民間港としての機能が阻害されてはならないと考えておりますので、指定するに当たってはどのような影響が生じるのかしっかりと見極め、情報収集をし、港湾の民間使用に支障がないようにしなければならないと考えております。

◎平良和彦君

建設部長、今の答弁聞くと、私はメリットとデメリットをということで話した。デメリットがないんです。だから、いいことしかないのかなと私は思っているんですけど、市長、そこはどう考えています。宮古島の発展にもかなり影響するかと思いますんで。

◎市長（座喜味一幸君）

港湾について申し述べますと、実はやり取りの中で特定港湾に指定することによって、今のところ具体的に大きな目玉事業というのが、今のところなくて、今おっしゃった耐震だとか港湾の拡大だとか防波事業だとかというような事業、予算的にも今回前年並みで港湾整備の国の予算がついておりまして、国のほうとしても今後そういう特定利用港湾にしたときに、国として何を、どう新たな事業を起こすんですかという意見交換、港湾の所長等々ともやっているんですけども、今のところはこれといって大きな事業というものは、特定港湾に指定することによっての大きな事業というのは今のところ現場、港湾事務所も持ち得ておりません。メリット、デメリットということで、これで公共事業等、新たな事業起こしが前に進むというような認識をしているところもありますけれども、私どもの港湾計画というものの中で計画的に今整備事業を進めておりますんで、指定することによって新たな大きな事業というものは今のところはありません。ただ、宮古空港については近々に必要なエプロンの拡大の話、誘導路の話、あるいは荷物の受け場所の狭隘による改善、ボーディングブリッジ等の充実等々の我々宮古空港の課題としては県に対しては申し入れておりまして、速やかな対応が必要だというふうに申し入れておりますから、県としてどういう予算を確保していくか、ぜひともに私どもの現場の空港の充実についてはやはりしっかりと求めていきた

いと。

◎平良和彦君

市長、いろいろあるではないですか、やはり。エプロン、言えば宮古島空港のほう、本当に今狭いです。それで、これを、エプロン広げるとか、誘導路を増やすとか、そういったものをどうしてもお金が、今市長が言ったように予算が必要なんです。県だけでは足りないと思うんです。そういうほうから考えても、石垣市みたいにある意味国のほうから寄せてきているところをやはりつかみ取って、宮古島の発展のために、この大きな事業をやるためにはやはり市長、大事なことかなと思っております。市長、ここはしっかりと考えて、前向きに検討していただきたいなと思っております。

３番目の政府との協議の進捗状況ということ、これはもう今市長が言ったとおりなのかなと思っておりますので、もう少し付け加えると、やはりこの26日の面会の中では、新聞等の内容では有事の際の避難とかそういったものだけではなくて、経済振興の観点から施設の整備や拡張の必要性、こういったものはどうですかという質問もあったというふうに書いてありますので、やはり国の寄り添うことをしっかりと受け止めていただきたいなと思っております。

次に、進みます。続きまして、市民防災訓練についてでございますけども、今年の１月１日に発生しました能登半島地震では、石川県において地震、火災、津波による甚大なる被害が発生しております。そして、４月３日には台湾東部地震に伴う津波警報が発表され、一時避難所まで、宮古島ではカママ嶺の付近で大渋滞が発生するなど課題があらわとなっております。このような中で、また石垣と比較するんですけども、石垣市が去る12月１日日曜日に市民防災訓練を実施しております。訓練に先立って実施要綱をまず作成当然しますけれども、作成した後、訓練実施までの約５か月間準備期間として進めてきております。要するに防災訓練に向けての準備は、今現在宮古島市としては、それだけ時間かかると。石垣もう実際やっておりますので、宮古島市としてはそういったものは行っているのか。要するに市民防災訓練実施要綱、こういったものを今つくっているのかをお聞かせください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

市民防災訓練についてお答えいたします。

宮古島市におきましては、平良和彦議員ご質問の市民防災訓練実施要綱は定めておりませんが、市地域防災計画におきまして、市をはじめ関係機関における防災訓練の実施や、市民の責務として防災訓練への積極的な参加について明記しているところでございます。

◎平良和彦君

ということは、この訓練の実施はまだ実際考えていないということでよろしいでしょうか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

訓練につきましては、現在も様々な関連機関と訓練しているところでございます。現在のところは市民防災訓練といいますか、そこら辺の今予定はないところでございます。

◎平良和彦君

ないということは、どうするんですか、本当に実際起きた場合。隣の石垣市は、もう実際行っているんです。前向きに言えば特定利用空港、港湾もやはり予算が伴うものですから、市民の幸せを考えればそういったものもやるのかなと私は感じますけども、ないと言っていますけども、なくてもいいんですか。市

長、どう考えていますか、訓練に対して。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時24分）

再開します。

（再開＝午前11時24分）

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、本市におきます市民向けの防災訓練としましては、Ｊアラート情報伝達訓練や緊急地震速報訓練により情報取得手段への理解を深めるとともに、沖縄県広域地震・津波避難訓練を市民向け防災訓練と位置づけまして、自治会など住民組織、学校、医療、福祉施設などへ積極的な参加を呼びかけており、毎年1,000名を超える市民の皆様が参加をしております。また、現在自助、共助強化への取組としまして自主防災組織の設立、育成支援を行っておりますが、自主防災組織独自の訓練への支援も行っており、地域の実情に沿った防災訓練が各地区で展開され、島全体として災害対処能力の向上につながる取組を引き続き進めてまいりたいというふうに考えております。

◎平良和彦君

今の答弁で、島全体の訓練というふうになりますか。実際市民が危機感を持つ。やはりこういう知らせるのも当然市民の生命、身体及び財産を災害から守る責任がある市長がやることかなと私は思っているんですけども、市長が就任して、これ一回もやっていないですよね、実際訓練らしきもの。訓練らしきというんですか、住民を交えての市独自のやっていないですよね。２番目の質問ですけど、実施したことはあるのかと。

◎総務部長（與那覇勝重君）

市民を巻き込んだ全体的な訓練としては今のところは実施しておりません。先ほどの答弁と重なりますが、沖縄県広域地震・津波避難訓練を市民向け防災訓練に位置づけておりまして、自治会等との住民組織も含めまして網羅して今やっているというところでございます。

◎平良和彦君

一回もやっていないということを、こういうご時世、やはりテレビ等でもかなり報道されているので、ぜひとも市民を巻き込んで、やはり市民が意識を持つためにも大事なことだと思います。

続きまして、また避難の質問でございますけども、有事の際、住民避難訓練についてお伺いいたしますが、沖縄県が2022年12月に他国からの武力攻撃が予測される事態で、宮古島、八重山両地区の住民や観光客を民間の航空機や船舶で九州に避難させる場合、１日当たり最大約２万500人を輸送できるという試算をしております。そうすると、宮古島地域、多良間も含めますが、住民が、当時ですけど、５万6,680人という人数でいくと約３日間かかると想定されております。緊迫した事態なので、避難の想定どおりにはいかないと考えますけれども、それに基づいて国民保護の観点、国、県、市の役割から、有事の際の国民避難訓練について市長はどのような考えでしょうか。お聞かせください。また、市の役割は住民誘導、また避難登録手続など、また避難先との調整や、そのほか避難先での学校や入院患者等の避難に関する調整を県と市で行うということの役割もありますので、そういった面も含めながら市長のお考えをお聞かせくださ

い。

◎総務部長（與那覇勝重君）

有事の住民避難訓練についてお答えいたします。

令和８年度に実施されます沖縄県国民保護共同訓練に向け、国、県、先島市町村関係機関により避難実施要領や要配慮者避難の具体化について意見交換会、検討会を重ねているところでございます。先日石垣空港で実施された住民避難訓練につきましては、通常とは異なる航空機への搭乗手続や動き、それに係る時間などについて確認を行ったところと聞いております。今後宮古空港や下地島空港におきましても同様な確認を行う必要があると考えており、国や県、関係機関にもその旨伝えているところでございます。

◎平良和彦君

次の質問に移ろうとしたんですけど、その答弁になっているような感じで、ではないですか。

次、住民避難登録センターの設置についてという質問があるんですけども、先ほど総務部長が申しておりましたけども、９月25日に住民避難登録センターの設置をして、この実施確認を石垣市のほうでは行っております。このセンターでは、国民保護法に基づいて、市の役割である住民の島外避難を進めるための住民登録、手荷物の事前確認や航空機の座席登録を行い、そしてこのような確認作業を目標時間内に実施できるのかと検証をしております。そこで、宮古島市がこのような住民避難登録センターの設置訓練等は計画しているのかという質問ですけど、よろしくお願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

石垣市でそういうことをされたというのは当然承知しているところでございます。先ほども述べましたけど、宮古空港、下地島空港での訓練については必要というふうに考えておりますので、今国や県と、関係機関と必要であるという旨、時期の調整をしているということでございます。

◎平良和彦君

では、今総務部長の答弁では国、県との調整をしているということで、日程等を調整しているということでありますか。そういうことですか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

先ほどとも答弁重なりますが、国、県、関係機関に必要性は伝えてありますので、時期についてこれから、いつ頃やるのかという話合いというのはこれからになりますけど、一応必要性は伝えてありますので、実施したいという方向で動いているということでございます。

◎平良和彦君

私もこのやる、やらないという判断は、市がやるんではなくて、調整しながら多分やると思うんですけれども、石垣市のほうは住民避難登録センター設置は何か全国初めてだったらしくて、国、県、防衛省とかいろいろ来て、100人余りの国、県の方が来て、参加したみたいなんですけれども、こういった、初めてなので、多分どういうものかということで国のほうからも来たのかなと思うんですけども、１回石垣市のほうでやっているので、同じような離島であります。場所的にもＪＴＡドーム宮古島が近くにありますし、空港も近いですし、そういったところを使えばいいのかなと思うんですけど、そんなに調整というのは何か難しいんですか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

住民避難登録センターにつきましては、宮古空港を利用する場合はＪＴＡドーム宮古島を想定しているところでございます。あとは下地島空港の場合には伊良部多目的屋内施設、船舶につきましては平良港ターミナルビル、クルーズ船のターミナルビルというのを検討しているところでございますが、今調整しておりますのはその規模や実施方法、どういうふうにしていくかというもの、もちろん石垣市でやった訓練も参考になると思いますが、そこら辺である程度固めてから実施時期については決まっていくものというふうに思っておりますので、しっかりそこら辺は今後も要望していきたいというふうに思っております。

◎平良和彦君

石垣市、先ほど私申しましたけども、要綱等いろいろ作成して、すぐできるもんではなくて、まず要綱をしっかり議論してつくりさえすれば、それに沿ってやるだけだと。それでも石垣市は半年かかっているんです。私は、日にちを見ての話なんですけど。だから、今やっていないとなると、あと半年後になるんです。その間にでは何か災害とか起きた、そういった大きな台風来た、もう気候変動もかなりありますので、そういう、急がないといけないのかなと思うんですが、これやはり市長の決断ではないかなと思うんですけど、市長、どういう判断を持っているんですか。今待てと言っているのか、もう進めたほうがいいよというのか、市長の考えをお聞かせください。

◎市長（座喜味一幸君）

防災訓練というのと国民保護に係る訓練というものを一緒にしないようにしていただきたいんですけど、国民保護に係る訓練、石垣市がやられましたけれども、あれ宮古島のほうも年内でないかというようなスケジュールの調整もありましたが、多分年明けになるかと思っております。これには国の内閣官房が多分チーフになるんですけれども、消防庁だとか国の関係機関、これから沖縄県との連携、市との調整等々の中で進められるもんでありますから、集まる場所から飛行機に乗り込むまでのいろんな手続等の、そういうスムーズな流れ等を確認しておくというような訓練等になっておりますので、国を含めた県との調整ということで進められているというふうに認識しています。

◎平良和彦君

本当に市長は、やはり市民の生命や財産を守る責任がありますので、ぜひとも早めに計画立てて、国と県と調整してやっていただきたいとお願いしたいと思います。やはりこちら離島でもありますので、九州まで行くというのは大変な作業だと思います。市の職員もやはり何百名という大世帯の組織をつくらなきゃいけないというふうなこともありますので、日頃からやはりそういった訓練は必要かなと。ここをしっかりとやってほしいと指摘をしたいと思っております。

続きまして、下水道事業についてでございますけども、下水道事業は公共下水道事業が平良市街地で、また農業集落排水事業は宮島地区、高野、比嘉、上地、与那覇、川満地区の６つの地区から成っていると思います。そして、漁業集落排水事業は久松と池間地区から成っております。市の下水道事業経営戦略によりますと、事業によって異なった料金体系となっているんですけども、どういう仕組みになっているのか、当局の見解をよろしくお願いいたします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

先ほど平良和彦議員がおっしゃったとおり公共下水道、平良の市街地において公共下水道であったり、高野地区、島尻地区、あと比嘉地区、川満地区、上地地区、与那覇地区において農業集落排水、久松地区、

池間地区において漁業集落排水をそれぞれ運営しているところです。これらの下水道の使用によって発生する下水道利用料金については、用途によって、一般家庭用の一般用と企業等用の営業用に分かれており、それぞれ月の水道を使用した量、立方メートルに応じて下水道料金が決定される仕組みとなっております。

現行の料金表は宮古島市下水道条例に定められておりまして、それぞれ税抜きで、公共下水道に関しましては一般用で８立方メートルまで基本料金が550円、９から20立方メートルまで使用すると１立方当たり65円の上乗せ、21立方メートルから30立方メートルまで使用すると１立方当たり80円の上乗せ、31立方メートル以上使用すると１立方メートル当たり100円の上乗せとなっております。また、公共下水道の営業用につきましては、10立方メートルまでは基本料金が850円、11立方メートルから50立方メートル（　部分は143頁に発言訂正あり）まで使用すると１立方当たり90円の上乗せ、51立方メートルから200立方メートル（　部分は143頁に発言訂正あり）まで使用すると１立方当たり123円の上乗せ、201立方メートル（　部分は143頁に発言訂正あり）以上使用すると１立方メートル当たり143円の上乗せということになっております。農業用集落排水の一般用につきましては、８立方メートルまでの基本料金が300円、９立方メートル以上使用すると１立方当たり50円の上乗せ、農業集落排水の営業用につきましては10立方メートルまでの基本料金が500円、11立方メートル以上使用すると１立方メートル当たり100円の上乗せとなっております。

◎平良和彦君

これは、料金がまちまちではあるんですけども、一般家庭用、20立方メートル当たり使用料を比較すると、家庭では1,463円で、農業と漁業集落排水では990円というふうになっております。こういった料金について、関係あるか分からないんですけど、最近上地廣敏議員も申しておりましたが、西里大通りの加入率が低いというのがあるんですけど、そういったもの影響あるんですか。あるかないかでいいです。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

今の平良和彦議員のご質問についてですけれども、西里大通りの接続件数がゼロ件である。これは、現在の料金に関係しているということではございません。

◎平良和彦君

極端な話をしたんですけども、この加入率が上がれば何か安くなるとか、そういったものではないということですか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

おっしゃるとおりでございます。条例で使用料金決められておりますので、加入率が上がったところで安くなるという今現状ではございません。

◎平良和彦君

勝手に決める料金ではございませんね。審議会とかあって、そこで決めるかなと思っておりますけども、要は加入数上げたら安くなるよというのがあれば、増えるのかなと考えてみました。

次に、下水道事業以外の住民の負担についてお伺いいたします。公共下水道事業や農業、漁業集落排水などの下水施設のない例えば上野地域など、浄化槽を設置している住宅などの負担金はどうなっているのかお聞かせください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

下水道に接続されていない方について、合併処理浄化槽をご自身で設置されている場合の汚水処理コストに係る説明となりますが、令和６年９月に下水道課において浄化槽保守点検業者に行ったアンケート調査結果によりますと、イニシャルコストといたしまして10人槽までの合併処理浄化槽の設置に係る費用は約150万円、ランニングコストといたしまして10人槽までの合併処理浄化槽の維持管理費に係る費用の年額は約５万円となっておりました。

なお、あくまでもこれは、浄化槽の設置保守点検については民間の業務領域でございます。この金額等については、令和６年９月時点の任意回答によるアンケート結果として、参考程度にとどめていただければと存じます。

次に、間接的な住民の負担としての話でございますが、令和４年度下水道事業会計決算において、公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水の３つの下水道事業に対する一般会計からの繰入金額は４億6,995万7,000円でした。このうち基準内繰入金として繰り入れることが国に認められた金額は１億3,733万7,000円であったため、繰入金総額からこの金額を差し引いた３億3,262万円分の繰入金については基準外繰入金となります。これが負担している金額ということになります。本来であれば、下水道使用料金で賄われるべきであった下水道事業の維持管理費など約３億3,000万円が一般会計から繰出金として、市の一般財源から捻出されるものとなってしまっているという状況でございます。基準外繰入金として一般財源から支出するということは、下水道に接続していない、下水道を使用していない方も下水道事業の維持管理費等を負担しているという状況となっております。この部分は、間接的に住民の負担となっていると言えると考えております。

◎平良和彦君

次に、今後の下水道料金の改定についてお伺いいたしますが、今聞きますと審議会が行われていて、下水道料金の改定を審議をなされているというふうに聞いておりますけども、まだ途中だと思いますけど、どういった状況なのかをお聞かせください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

下水道料金審議会の状況ということですけれども、下水道使用料審議会は令和６年５月30日に第１回目を開催しております。下水道使用料の適正な在り方についてということで、市長より同審議会に諮問を行ったところです。令和６年12月１日現在、３回の審議会が開催しており、令和６年度内には下水道使用料、下水道料金の適正な在り方について審議会から答申が予定されております。

審議された内容について少し詳しく説明させていただきますが、第１回の審議会では審議会や公営企業、経営戦略といった下水道事業経営に関する各要素の特徴や一般の行政との違い等について、法令や例規、国からの通知等の観点から各委員への説明が主な内容でございました。第２回の審議会では、第１回の復習や疑義等への詳細な解説等を主な内容といたしまして、今後の下水道への接続率向上に係るアイデアや宮古島市下水道事業の経営状況の現状、経営戦略として設定している宮古島市の使用料、目標値等の根拠について審議が行われました。第３回目の審議会ですけれども、第１回から委員の意見やアイデア等を接続向上に生かすための具体的な施策やツール等の提案と、使用料金の改定に係る複数パターンでのシミュレーション提示などを行い、それぞれ審議が行われました。先日11月29日になりますけれども、第３回の下水道料金審議会が開催されたところでございます。

下水道使用料の適正な在り方について、まだ答申はなされていない状況となっておりますが、審議会の検討及び審議のたたき台となった下水道事業経営戦略、これは令和５年度版ですけれども、においては下水道料金の値上げを行う必要があるとして目標を設定しておりまして、現在の決算数値を踏まえ、独立採算制の原則や税の公平性等の観点から、事務局としましては使用料を値上げする方針の下で審議会に各案を作成、提出しているところです。

◎平良和彦君

審議会のほうで料金の実質値上げという審議になるのかなというふうに答弁を受けました。

続きまして、時間ないですので、畜産行政について、畜産農家への和牛子牛価格安定緊急対策事業の進捗状況についてお伺いいたします。６月の定例会で、石川博幸農林水産部長は９月２日から申請を受け付けて、526戸の肉用牛農家のうち200戸が、率にして38％が申請していると答弁しておりましたが、その後の進捗状況をよろしくお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

和牛子牛価格安定緊急対策事業の進捗状況についてです。12月９日現在、１月から９月までに出荷した526戸の肉用牛農家のうち392戸、率にして74％が申請しております。予算額に対しての執行率は、64％となっております。申請受付から２か月をめどに支払いできるように、順次交付手続を進めているところでございます。

◎平良和彦君

予算執行が64％ですか。まだありますので、まだ申請なされていない方、声かけをして、100％とはいきませんけども、やはりせっかく予算取ってありますので、執行できるように頑張っていただきたいと思っております。

続きまして、畜産飼養経営実態把握調査を行っていると思いますけども、畜産農家の実態について、分析等行っていればお聞かせください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

畜産飼料高騰対策事業の補助金申請と同時に、畜産飼養経営実態把握調査に関するアンケートを実施しております。このアンケートですけども、農家ごとに飼養頭数や経営の状況が違うことから、個別課題を明確化し、宮古島の畜産業全体の状況を把握し、より実態に合った畜産施策、事業の展開を図ることを目的として実施しております。内容は家畜全般の飼養状況、装置や肥料、刈取りなどの自給飼料に関すること、収入や資金調達などの畜産経営に関することや畜産経営する上で困っていることなどを聞き取りしております。11月末時点で287件の回答をいただいているところでございます。集計、分析については今後順次やっていくこととしておりますけども、経験だけでなく、データに基づく飼養管理を行い、より質の高い、より高く売れる牛へとつなげていきたいというふうに考えております。

◎平良和彦君

せっかく調査もして、分析もしておりますので、これを生かしていただければなと思っております。

続きまして、順番変えまして、市民行政について、宮古島市の押印見直し状況についてお伺いしたいと思います。宮古島市届出書等の押印省略に関する規則は、令和２年12月１日から施行されておりますが、本市の押印見直しの進捗状況についてお聞かせください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

押印見直し状況についてお答えいたします。

本市では、令和３年１月に新庁舎への移転を機に、窓口での市民負担の軽減、事務手続の簡素化を目的として宮古島市届出書等の押印省略に関する規則を制定し、施行しているところでございます。本規則に基づき、基本的には本人確認書を提示し、署名をいただくことで押印を省略した手続が可能となっているところでございます。しかしながら、一部届出書等で押印を求めているものもあるため、押印を不要とできるものについては引き続き見直しを図ってまいりたいというふうに考えております。

◎平良和彦君

石垣市のを調べて比較を、石垣市ばかり比較しているんですけども、道路占用許可申請、これ石垣のほうは不要だそうです。埋蔵文化財等の有無確認申請等も石垣は不要だというふうに、宮古島はこれは押印が必要だというふうなことになっております。ここも早めというんですか、うまく調整しながら、やはり職員の仕事も簡素化できればなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは､城辺地域の下南自治会から上野地域への道路城辺314号線の街灯を設置することができないかという質問です。この城辺314号線は、砂川学区の生徒たちが上野のほうに野球の部活動をしに行く際、部活が終わって帰るときに真っ暗になっておりまして、ちょうど上野から下南自治会のほうに下りるときが急な坂になっておりますので、スピードも出やすく、また見通しも悪いということもありますので、そこで何とか城辺314号線に街灯を設置することはできないのかお聞きします。

◎建設部長（川平陽一君）

道路照明灯は、夜間において道路状況、交通状況を的確に把握するための良好な視覚環境を確保し、円滑な道路交通安全を図ることを目的としております｡道路照明施設設置基準に基づき設置をしております。平良和彦議員ご質問の路線につきましては、現場を確認し、設置基準に基づき道路照明灯の設置を検討したいと考えております。

◎平良和彦君

基準でいけば、何か十字路とか、そういったところしかできないということを言っておりますけど、その間が、坂の間が真っ暗になっておりますので、そこをまたいろんな防犯灯とかいろいろ工面して、できればいいかなと思っております。

もう一つ質問あったんですけど、この蛍光灯終了分に伴い、ＬＥＤの切替え費用の補助はないですかとしようと思ったんですけど、これは何かもともとあるそうですので、これは割愛させていただきたいと思います。

最後に、今年もいろいろと市民の皆様にはお世話になりました。市民の皆様もいいお正月を迎えられることを祈念申し上げまして、以上をもちまして議員番号13番、平良和彦の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

平良和彦議員、環境衛生局長より答弁の訂正があるそうですから、少し待ってもらえますか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

申し訳ありません。公共下水道の営業用の料金につきまして、誤りがございましたので、訂正させてい

ただきます。

10立方メートルまでの基本料金が850円、11立方メートルから50立方メートルまでが90円の上乗せ、51立方メートルから200立方メートルまでの使用料が123円の上乗せ、201立方メートル以上が143円の上乗せとなっております。申し訳ございませんでした。

◎議長（平良敏夫君）

これで平良和彦君の質問は終了しました。

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午後零時03分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

午前に引き続き一般質問を行います。

順次質問の発言を許します。

◎下地信広君

14番、下地信広です。どうぞよろしくお願いします。まず、一般質問に入る前に、所見と要望を述べてから質問したいと思います。最近どこに行っても道路の白線、これが消えているとか、アスファルトが剥がれているとか、あとは道路の雑草が取るのが遅いんではないか、そういう苦情がたくさん、多く寄せられておりますので、ぜひとも急いで対応していただきたいなと思っております。

もう一つは、雨が降るときに、この庁舎の周辺のタイル、これに滑って倒れる人がいたり、倒れようとしている人を見てきておりますので、この一般質問の中でも何名かの議員の皆さんがおっしゃっておりましたが、なかなか対応が遅いという部分がありますので、これも急いで対応していただきたいなと思っております。これは要望です。

それでは、早速一般質問に入っていきたいと思います。まず、副市長の任命責任についてお伺いいたします。任期を待たずして、２人の副市長が辞職いたしました。そういった前代未聞の出来事が起こっているわけでありますが、公務に支障はないのかどうか、市長の任命責任について、市長、お伺いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

伊川秀樹氏、嘉数登両氏とも私をしっかりサポートしていただき、市の抱える課題解決に積極的に取り組んでいただきました。ご本人たちの意向により辞職されることになりました。副市長不在により各部局の調整や各種委員会等の委員長が不在になるなど、公務において様々な面で影響が出ていることは否めませんが、そこは各部局長と調整しながらしっかりと対応しておりますので、公務に支障が出ているということはないと認識しております。

◎下地信広君

公務には支障がないということで、それはよかったかなと思いますが、ただ２人とも難産の末に誕生した副市長ですので、何でこんな簡単に辞めていくのかなと。本来ならば市長を支えるべきだと、最後まで、思いますが、なぜ市長の下では長続きしないのか。その責任は副市長にあるのか、それとも市長自身であ

るのか、その原因何だと思いますか。

◎市長（座喜味一幸君）

ご本人の意思ということもあります。政策的な判断、個人的な理由ということでの辞任となっていると思っておりますので、嘉数登氏に至っては新たな挑戦をするというようなことでありますし、それを止めることもできないということでございますので、しっかりとその場で頑張っていただきたいと思います。

◎下地信広君

嘉数登副市長をポストに持ってきたいといったときに、市長の説得の中で、次の市長選は嘉数登さんを推薦するよとか、そういった話はなかったんですか、市長。

◎市長（座喜味一幸君）

彼の宮古島に対するビジョン、そして宮古島に対する、宮古島振興に対する熱い思い、それはしっかりと聞かせていただいたこともありますし、宮古島を背負って立つべく人材だという認識は持っておりました。

◎下地信広君

先ほど公務にはもうしようがないとおっしゃっておりますが､任命責任というのは私はあると思うんで、自らの給与カットとかは考えていないんでしょうか。お伺いします。

◎市長（座喜味一幸君）

先ほどから申し上げているように、本人の意思、それから次へのライフステージを思っての辞任というふうに思っておりますので、副市長といいますと極めて政治家としての重い判断もできる方たちだというふうに思っております。願わくは宮古島の振興のために、ぜひともに頑張っていただければと思います。

◎下地信広君

次に行きたいと思いますが、乱立が予想される来年の市長選についてお伺いいたします。

現在、市長のほうに爽やかな追い風が吹いていようかと思いますが、県議選が終わった時点では２期目に出馬する意向はあったのか、気持ちはあったのか。そして、保守系が３名も４名も出てから出馬する気持ちになったのか、市長の胸の内を少しだけでも聞かせていただきたいと思います。

◎市長（座喜味一幸君）

市長選挙へ出馬するという決断は、大変重いものがあるというふうに思っております。私もどうあるべきか、宮古島市にとってお役に立てるか等々含めて、熟慮に熟慮をして決断をいたしました。政治家の出処進退、ましてや市長選への出馬というものはそんな軽いものではないと思っておりまして、乱立したからとかという、そんな状況というものは判断の中では考えておりません。

◎下地信広君

私は、市長が早めに出馬の決意、決断をしていたら、今の嘉数登前副市長は出なかったのではないかと思いますけど、その点に対してどうですか、市長。早めに。

◎市長（座喜味一幸君）

先ほども申し上げましたように、市長選への出馬、出処進退を決めるということは、政治を志す者として大変重いものがあるというふうに思っております。嘉数登氏が云々とかではなくして、私は私としての市民との公約も含め、支持団体等々との意見交換の中で、しっかりとした将来の宮古島市を背負うという

ような体制を含めて、十分に検討して意思を表示したものでありますし、嘉数登氏もそういう意味では大変いろんなことを考察、検討しながら出馬をしたものと思っております。

◎下地信広君

９月定例会のときに山下誠議員の質問にいろいろ答えておりましたけど、そのときは相当副市長を持ち上げておりました。ですから、仲がいいのかなと思っていたんですが、どの時点で何か落としたのか、持ち上げて落ちたのか、２人に愛はあったのかどうかお伺いしたいと思います。

◎市長（座喜味一幸君）

選挙というものは、やはり対立する政策を戦わせて市民が選ぶものでありまして、勝った、負けたではなくして、必ずや嘉数登氏は宮古島の振興、発展に大いに頑張ってくれると期待しております。選挙ですから、支持母体を含めていろんな違い等もあるかと思いますけれども、ぜひ頑張っていただきたいと思っております。

◎下地信広君

次に移りますが、質問の順番を変えたいと思います。まず、地域別家庭ごみの収集日一覧についてお伺いいたします。

この生ごみの分別収集とありますけど、これの利用状況を教えてください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

生ごみの分別収集につきましては、平成21年から生ごみ分別収集堆肥化モデル事業として開始しております。当時市の一般廃棄物の約80％は燃やせるごみで、そのうち30から40％を生ごみが占めていたことから、生ごみを資源化し、有効活用する焼却ごみの減量化を図り、環境負荷を軽減する、焼却施設の負担軽減、最終処分場の延命化などを目的といたしまして分別収集を広く呼びかけたところです。現在、生ごみ収集を行っております地域は、市が発行しております家庭ごみ収集エリアマップに示す市街地を中心とした平良Ａ地区の一部で466戸、平良Ｂ地区の一部で525戸、主に共同住宅を中心に、合計991戸について収集を行い、上野資源リサイクルセンターへ搬入し、堆肥化している状況です。

◎下地信広君

今平良のＡ地区、Ｂ地区という答弁がありましたけど、これは平良地域だけを収集しているということですか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

平良を中心としておりますが、一部下地地域、あと上野地域の市営住宅のほうも含まれております。

◎下地信広君

この一覧表見ても、非常に分かりにくくて、伊良部地域とかも城辺地域とかもどこもあんまりないんで、どういうことかなと私は思っていたわけです。これどういうふうにＰＲしているのか。本当に必要としているのかどうかというか。伊良部地域とかも、これはやろうと思えばできますか、ほかの地域も。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

ごみ収集の事業者が４者おりまして、その収集地域内に今のところは伊良部地域は入っておりませんので、今後必要であれば、要望等がございましたら検討していくということになるかと思います。

◎下地信広君

何か不平等感を今感じていますけど、それでは生ごみだけの予算規模幾らなのか教えてください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

収集業者につきまして、市が委託契約を行っている事業者は４事業者ございます。令和６年度の収集運搬費用は、４者合計で2,736万3,600円となっております。また、回収しました生ごみを上野リサイクルセンターへ搬入しておりますが、その費用に関しましては令和５年度１年間で50万7,000円かかっております。

◎下地信広君

たしか隣のプラザ棟の事業の中でスリーRというか、リデュース、リユース、リサイクルのこの３つでごみの減量化、あとは再資源化を目指してやっていると思いますが、これとの整合性で、何か一方ではごみは出すなと、リサイクルして資源にしようと、再利用しようとしているのに、ここではまたごみを出しなさいと皆さんバケツも上げている。これ矛盾しませんか。循環型社会に対するそういった部分では矛盾していないかどうか、説明をそのところお願いしたいなと思います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

生ごみの分別収集につきましては､エコアイランド宮古島推進計画の取組にも位置づけられております。市にとっては、ごみの減量化には必要な事業であると考えております。しかしながら、先ほどから下地信広議員がおっしゃっておりますように一部しかされていない。あとはプラザ棟の取組もございますので、これにつきましては今後費用対効果などの面から実績を基に検討していく必要がある。今後どうするかというところをまた新たに見直していく岐路に立っているものと考えております。

◎下地信広君

簡単にはなかなか難しいのかなと思いますが､私が考えるのには２点あるのかなと思っています。まず、１点目は全地域にもしやるんであれば周知徹底してやってもらうという部分と､あと約3,000万円かかっていますので、それよりかはまず各家庭にコンポスト、家庭で有機肥料が作れるように、そして菜園で余ったのを役所や農協が買う。そういうふうにやればもっともっと浸透していくのかなと思っていますので、この毎年毎年約3,000万円というのを有効に使うためにもこういう有機肥料化を各家庭に意識づけることが大事かなと思っておりますので、ぜひとも将来にわたって検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

次のほうに移ります。次、３番目、市長が公約に掲げた施政方針の中から事業内容についてお伺いしたいと思います。まず最初に、①に、市長は住居不足の対策として、空き家や公営住宅を有効活用したいとうたっていますが､いまだに効果が出ないように思っております。このことについて見解をお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

人材確保の問題となっている住居不足の対応としての空き家や公営住宅等を有効活用した若者の定住促進への取組についてですが、空き家に関しましては本年度空き家実態調査を行い、所有者の意向調査を踏まえ、有効活用により住居不足解消へ取り組んでまいります。また、公営住宅の有効活用については、民間賃貸住宅の高騰により、若者が住宅に困窮している状況の対策として市営住宅の空き部屋を活用することで定住を促し、さらには移住地域の活性化にもつなげることを目的として、若者入居を対象として市営住宅10戸について入居の公募を実施しております。現在４戸について入居が決定しており、残りの６戸に

つきましては問合せ等について対応を行っているところであります。入居していただけるよう取り組んでいきます。また、居住の確保ができない住宅確保要配慮者への対応として、民間賃貸住宅の供給を促進する家賃低廉化事業を沖縄県の協力の下で実施し、住宅確保要配慮の居住の安定を図ってまいります。

◎下地信広君

市長が答弁したら再質問しようかなと思ったんだけども、どうしようか。公営住宅の入る条件とかの緩和、これも踏まえながら、いろいろと早めに、スピーディーにやっていただきたいと思っております。

次行きます。２番目に、増大する介護需要への対応として、介護人材の確保、介護職の定着率向上のために介護初任者研修、介護福祉士実務研修を実施しますとうたっていますが、介護現場からするとケアマネジャーや介護士が今すぐ必要だと、探せないと訴えています。このことについて見解をお願いします。

◎福祉部長（守武　大君）

介護人材確保についてお答えいたします。

介護事業所において、ケアマネジャーや介護士、その他の専門職が不足しているという人材不足の厳しい実情の声は伺っております。その対策の一つとして、これまでケアマネジャーや介護職として働いておられたが、諸事情により離職され、潜在的に埋もれている方もおられると思いますので、介護の現場へ復職していただけるよう、ハローワーク等の募集状況も踏まえながら現場の課題を把握し、対応を模索してまいります。

◎下地信広君

仕事を探すんであればもちろんハローワークですが、なかなかハローワークだけでは難しいのかなと思うときもあります。私が昔介護職に携わったということで、私にしょっちゅう電話が来ることもありますけど、本当に難しいのかなと。介護現場、施設でもどこでもいいんですが、給与の問題、こういった部分もやはり調べながら、何が原因でこういうふうに探せないのか、福祉の職に就けないのか、離れていくのかという部分をしっかりとこれは調査、把握する必要があると思っております。確かに退職した人をまた再雇用となると、ケアマネジャーの場合には結構何十時間研修時間がかかりますので、やはり難しいのかなと思っておりますので、ぜひとも魅力ある現場づくりに役所も一緒になって、特に独自の福祉だけの専門の、そういったハローワークみたいな調整機関も必要かなと思っていますので、それも含めて検討していただきたいと思っています。

次、まず伊良部地域における都市計画区域への編入、防災集団移転についても説明会は開催されているんですが、なかなか前に進んでないような気がしております。特に政策参与２人も置いて、この４年間何をしてきたのかなと思っておりますので、その見解を市長、お願いしたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

都市計画区域への編入につきましては、メリット、デメリットがあり、住民理解を得る時間が必要なため、現状では都市計画区域外での活用可能な事業を提案しております。過年度から佐良浜地区で実施している勉強会について、住民の意向を聞き取った結果、提案内容が多過ぎて分かりにくいという意見を受けて、７月31日に開催しました佐良浜地区まちづくり勉強会では優先順位を絞り込み、防災集団移転促進事業、狭隘道路整備促進事業（　　部分は150頁に発言訂正あり）を提案しております。

◎下地信広君

都市計画区域の編入が難しければ、最初から施政方針には入れんほうがいいんではないかなと思うし、入れたとしてもまずはこういうことから、できることからやろうと、そういうふうにうたったほうがいいんではないかなと思っております。都市計画に編入した場合には、建蔽率でも40％とか50％とかなるということなので、余計これマイナスになりますよね、道路幅とかもした場合。こういった部分もちゃんとやはり分かっているわけだから、だったら損しないように、もっと早めに私は対応すべきだと思っていますので、ぜひともスピード感を持って対応していただきたいと思います。

次、４番目、ひとり親家庭の自立支援について、民間アパート等の賃貸物件を活用した住居支援を推進するとうたっていますが、今支援した事例は何件ぐらいあるのかどうかお伺いします。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

本市では、ひとり親家庭の自立支援として、宮古島市ひとり親家庭生活支援事業を令和５年４月より実施しております。この事業は、ひとり親家庭の生活の安定と子供の健全育成を図るため、支援が必要なひとり親の中でも特に自立する意欲のある家庭に対し、地域の中で自立した生活ができるよう、住宅支援のほか生活支援、就労支援、子育て支援といった様々な側面から、専任のコーディネーターによるトータルサポートを１年間支援していく事業で、これまでの支援件数は２件となっております。

◎下地信広君

２件です。何か少ないような気もするけど、それほど相談に来ていないのか。もっと周知徹底をお願いしたいと思いますが、その辺に関してはどうでしょう。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

まず、ニーズについてお答えさせていただきます。

ニーズについては調査を行ったわけではございませんが、相談と問合せ件数が令和５年度で72件、令和６年度、これ９月末時点ですけれども、21件となっていることから、ニーズはあるものと考えております。ではなぜ少ないのかということですけれども、支援件数が少ないということに関しては、この事業の支援メニューの一つに民間アパートを借り上げる住宅支援がありますが、これは家賃補助のみが目的となっているわけではなく、家計管理など生活全般の自立を目的とした事業となっております。さらに、コーディネーターが関与することから、借金などは隠したいと、滞納金額は言いたくないなど触れてほしくない部分があるようで、相談や問合せはあるものの、支援に至っていない、もうでは結構ですという件数が多いというふうになっております。

◎下地信広君

なかなか相談に来れない方がいると思うんで、そういう部分は自分から自ら行って、アウトリーチも、サービスも大事かなと思っていますので、引き続きよろしくお願いしたいと思います。

次、５番目の市民所得10％アップについてお伺いします。９月定例会で参考資料とか市長選前のデータを見て、８％は達成できているのではないかと前の副市長が答弁しておりましたが、私が見る限り、私は８％どころか５％も達成できないんではないかなと思っています。というのは、その根拠として総務省が毎年発表している資料があるんですけど、宮古島市の平均所得がもう発表されています。ぜひ御覧になっていただきたいなと思いますが、その資料によると令和元年度から令和５年まで、去年までです。宮古島市の平均所得が出ています。その中で2020年、令和２年、これは前市長のときのが283万5,289円。座喜味

一幸市長が就任した2021年、令和３年が283万5,007円で、これ沖縄のデータと違っているんですけど、沖縄では224万6,000円になっております。令和４年には291万57円、令和５年には285万9,995円。５年間で12万4,740円増加しています。前市長の令和２年の平均所得が283万5,289円ですので、これの10％アップとなると28万3,528円です。28万円アップしなければならないということになります。先ほど述べたように５年間で12万4,740円しかアップしていないので、皆さんが言っている８％アップはしていないんではないかなという部分どころか４％しか達成されていないなと思っていますが、このことについて見解をお伺いしたいと思います。ちなみに、沖縄県の統計では、令和３年度のは出ておりますけど、それによると令和２年度と令和３年の１年間で10万7,000円は伸びています。このことについて見解をお願いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

市民所得10％向上についての質問にお答えをいたします。

市長公約であります市民の所得向上につきましては、県が公表しています１人当たりの市町村民所得を基本指標としてのものとなっております。先ほど総務省の発表の話をしておりましたけども、基本指標としましては県が公表している１人当たり市町村民所得を指標としているところであります。また、１人当たりの市町村民所得における最新の公表数値、先ほど下地信広議員もおっしゃっておりましたけども、令和３年度の224万6,000円であります。これは、公約の基準年度である令和２年度の213万9,000円と比較しますと10万7,000円の増加、率にして５％の伸びとなっております。市町村民所得に関しましては、３年遅れて発表が、公表があるということもありますので、宮古島市としましては基本指標を補うための市が独自に有する市町村税課税状況から見る所得データというのを補完指標としまして設定をして、現在の状況の把握を行っているところであります。この当該データ、補完指標のデータを用いた場合に１人当たりの所得額は、最新年度である令和６年度で243万6,000円、基準年度である令和２年度の226万1,000円と比較しますと17万5,000円の増加、率にして7.7％上昇していると考えております。これらの数値につきましては、所得向上への取組としましては着実に進展しているものと考えているところです。

◎下地信広君

どっちにしてもデータが違う部分がありますので、ただやはり総務省がやっているデータですので、そんなには違いはないのかなと思っておりますので、ぜひとも総務省のデータも見ながら、本当に80％達成しているかどうかもう一度、３年に１度しか県のデータは出ないんだけど、このデータをしっかりと捉えていただきたいなと思っております。所得がアップするということは、それはもう市民にとってはいいことでありますので、ぜひとも取り組んでいただきたいと思っております。

では、次に行きます。このさらはま中央縦線、仮称でありますけど、これの進捗状況お伺いしたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

さらはま中央縦線、これ仮称となります。この進捗状況につきましては、今年度で概略設計を実施しております。今月18日に地元説明会を開催する予定で、道路法線、道路断面などについて説明会を予定しております。今後の計画につきましては、令和７年度で用地及び事業同意に関する調査を実施し、100％の同意があれば令和８年度から沖縄県へ新規採択に向けて調整を行う計画となっております。

それと、先ほど下地信広議員の都市計画区域の編入の質問の中で、狭隘道路促進事業と答弁しましたが、

正式には狭隘道路整備促進事業の誤りです。訂正します。

◎下地信広君

さらはま中央縦線の道路ですけど、これ長山港佐良浜線から佐良浜のＡコープの十字路までの一直線だよね、大体おおむね。としますと歩道がない農道だったり、住宅が密集しているところもあるので、これ取り壊さないとまっすぐ行けない、向こうまでは。何軒ぐらいそういった取壊しの対象になっているのか大体分かりますか。立ち退きとか、そういった把握は。

◎建設部長（川平陽一君）

現在計画しておる延長ですけども、これ1.72キロメートルになります。この対象の地権者としましては約150名となります。

◎下地信広君

いろいろと防災の面でも一番大事な部分かなと思っていますので、急いで取り組んでいただきたいと思っております。

次、５番目です。マイナ保険証の件ですが、このマイナ保険証は宮古島市の全ての病院、整骨院等で対応可能なのかどうか、お願いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

マイナ保険証の対応についてでございます。厚生労働省のホームページによりますと、令和６年11月時点で宮古島市の約９割の医療機関において、マイナ保険証を利用できることが確認できております。ただ、整骨院等については、同じく令和６年11月時点で確認はできておりません。

◎下地信広君

この12月から導入されて、間もないんですけど、苦情とか何かありますか、問題とか。そういった件数があれば教えてください。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

マイナ保険証についてトラブル等はないかというご質問だと思います。現在、宮古島市の国民健康保険課にマイナ保険証についての相談等の問合せはありますが、医療機関でマイナ保険証を利用した際に不具合等があったという報告はございません。

◎下地信広君

スムーズにいっていると理解しております。

次、７番目、伊良部島小中学校結の橋学園の英語力についてお伺いいたします。小中一貫校の結の橋学園が開校して今年で５年目を迎えます。開校時に国際理解や英語教育に柱を置き、開校したと記憶しておりますが、現在の生徒たちの英語力はどのレベルなのかお伺いいたします。

◎教育長（大城裕子君）

結の橋学園におきましては、開校時からＪＴＥ、これはジャパニーズ・ティーチャー・オブ・イングリッシュです。を配置して、英語教育に取り組んでいるところです。

文部科学省が実施した令和５年度英語教育実施状況調査において、中学校卒業時の国が目指すレベルＡ１相当、これは英検３級に該当する生徒の割合は、全国50.3％、沖縄県40.3％、宮古地区30.4％、結の橋学園の結果は24.3％となっていました。これらの状況を踏まえ、本市では各学校で取り組んでいる各種検

定の検定料に対して、令和５年度までは４割補助だったところを令和６年度からは全額補助とし、学びの意欲を高め、学力向上、英語力向上につなげられるよう取り組んでいるところです。今年度英語検定第２回終了時点、10月現在、中学校では39％の生徒がチャレンジしておりまして、内訳としては高校卒業レベルの２級１名、高校中級レベル、準２級２名、中学卒業レベル、３級９名、中学中級レベル、４級12名、中学１年修了レベル、５級18名がチャレンジしています。１月に第３回が実施される予定ですので、第２回以上に受験者、そして合格者が増加することを期待しているところです。また、第３回宮古地区中学校英語パフォーマンスコンテストにおいて、本校の生徒がスピーチの部、プレゼンテーションの部において入賞を果たしていることや令和５年度の全国学力調査における英語の生徒質問の結果において、英語の勉強は好きですか、英語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか、将来積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思いますかの３つの項目で、本校の生徒は沖縄県と全国の数値を上回る結果が出ていることからも、生徒の英語学習に関しての関心度や意欲は高いと捉えています。これからどんどん伸びていくものと期待しています。

◎下地信広君

教育長、大変細かい答弁ありがとうございます。なぜこの質問をしたかといいますと、我々文教社会委員会は兵庫県の小野市のところに行ったんです。そしたら、脳科学とかいろんなものを使って、小中同じ一貫校ですけど、本当にレベルが高い。全国でも高い。小学校卒業したら、大体日常会話はしゃべっていると。中学校の先生が同じ科目であれば小学校の英語も教えることができると、そういうふうな話も聞いて、非常にオープンでフレンドリーなのを感じたので、ぜひとも教育長含めて、職員も研修に行っていただきたいなと思います。よろしくまたお願いします。

次、移ります。まず、８番目、伊良部カントリーパークのトイレが使用できず、サッカー少年やイベントの開催時に不便を来しております。修理できないかお伺いいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

下地信広議員ご指摘のトイレは、陸上競技場の南側に設置されたトイレで、現在使用禁止となっております。現在故障の程度について業者へ調査を依頼しており、調査結果の報告を受けて今後対応を検討してまいります。

◎下地信広君

対応を検討していくということは、もしかしたら悪かったら作らないと、修理しないという意味にも捉えられたので、やはり必要だと思ったから作っていたと思うんで、ぜひとも作る、修理する方向で検討していただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

９番目、結の橋学園から南区に行く通称伊良部線、この歩道が非常に歩きにくい。雑草、道路の管理ができていない状態なので、安全に歩けるように整備できないかお伺いしたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

下地信広議員のご指摘の道路は、市道伊良部102号線になります。現場を確認したところ歩道上に草やギンネムが生い茂り、歩行者の通行に支障があることを確認しております。除草につきましては、現在50件近くの要望箇所を実施する予定となっておりますので、下地信広議員がご指摘の伊良部102号線については１月中に清掃を予定することにしております。定期的に管理を行っておりますが、宮古島全域の管理を行

っていることから、管理が行き届かない場合がございます。早急に対応を行い、安全、安心な道路管理に努めていきたいと考えております。

◎下地信広君

いろんな方からの苦情もあるわけですので、道路清掃に関しましては。ギンネム、方言でニャータラギーというんだけど、あれのカットしたらカットしたところからまたすぐ出てきて、だんだんと幹が、根が大きくなっていくんだ。これ根っこからは取れないんですか、掃除のときは。根っこから取る、時間かかるかもしれんけど。

◎建設部長（川平陽一君）

下地信広議員がご指摘の道路は、一応現場確認しております。写真でも確認しております。歩道、植樹ますの中にあるギンネムについては撤去は困難になりますが、対応できるところはバックホーも作業で使っておりますんで、その辺のミニバックホーで根っこから取る方法も検討したいと考えております。

◎下地信広君

とにかくよろしくお願いします。

次、10番目、ビーチクリーナーの導入について。海からの漂流物でいろんなごみが砂浜に蓄積され、清掃ボランティアの負担が重くなっています。ボランティアの負担を軽減するためにもビーチクリーナーの導入ができないかお伺いいたします。今、毎日歩きながら取る人もいるんだけど、ボランティアで取るごみというのは砂の上しか取れないわけ。ところが、中には瓶割れだったり、石ころがあったりするので、はだしで歩くビーチですから、非常に危ない。そういう面ではやはり１つぐらい導入してもいいのかなと。パイナガマ、渡口の浜、市内中心、最初はやってもいいのかなと。前浜ももちろんたくさん観光客が来ますので、常にこれはきれいにしておくべきだと思いますが、見解をお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

ビーチクリーナーの導入についてのご質問でございます。ただいま前浜の海岸に関するご質問が入ったので、私のほうからお答えさせていただきます。

まず、市へ県から管理が移管された海岸につきましては４海岸ございます。そのうち前浜海岸での砂浜のごみ等の除去作業の状況ですが、前浜海岸にて許可を受けた事業者が許可を得る際に、事業者側の提案で海岸の美化、漂着物の撤去などを行うことが提案されているところでございます。実際前浜海岸では２つの事業者が営業前に砂浜のごみ等の撤去作業を行っておりまして、事業者が自主的に現場の美化に努めていると考えております。その上で、事業者からビーチクリーナーの導入を求める要望はこれまでございません。市といたしましては、現在ビーチクリーナーを導入することは考えておりませんが、台風後の大規模な作業が生じる際など、事業者だけでは対応することが厳しい状況も出てくるかと思いますので、その場合は状況に応じて指定管理者や許可事業者と協議してまいりたいというふうに考えております。

◎総務部長（與那覇勝重君）

財政課所管のビーチといいますか、砂浜についてお答えいたします。

財政課管理地の砂浜は、ビーチとして整備した場所はございません。全て自然海岸となっております。そのほとんどの砂浜は、中の島海岸のように通路が狭く、徒歩でのみアクセス可能な場所や崖地や背後が保安林となっている箇所が多いため、車両などの乗り入れは困難な地形となっております。そのためビー

チクリーナーの導入につきましては、現在のところ検討しておりません。

◎建設部長（川平陽一君）

建設部が管理している海岸は、トゥリバー、みやこサンセットビーチとパイナガマビーチでございます。みやこサンセットビーチでは監視業務を委託している業者がビーチの清掃を行っており、委託業者からはビーチクリーナーの導入の要望が現在ないため、今のところ導入は予定されておりませんが、またパイナガマビーチにつきましてはボランティアの方が海岸の除草や枯れ木の除去等を実施しております。今後清掃の頻度やごみの量、内容物を確認しながら、必要に応じて導入を検討していきたいと考えております。

◎下地信広君

いろいろ諸事情があるみたいで、簡単には導入できないような感じですね。ボランティアに今頼らざるを得ないということでございますが、やはり将来的には必要だと思っていますので、ぜひ検討をお願いしたいなと思っております。

最後になりますが、サシバリンクス伊良部の指定管理についてお伺いいたします。ゴルフ場の整備、運営面でいろんな苦情が寄せられておりますが、当局はどのような指導をしているのかお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

サシバリンクスの管理体制に対する苦情に対応するための市の指導でございます。ゴルフ場、サシバリンクスに対する苦情でございますが、こちらのほうは芝刈機の老朽化に伴う故障等が夏場に多く発生し、夏場は芝が伸びるのが早く、対応が追いつかないまま営業したことと、また同時期にグリーン等においてのクレームをいただいているところでございます。それを踏まえまして、指定管理者に対して、芝の伸張が早い時期には芝刈りが完全に完了した上で営業すること、またグリーンにつきましても早期に芝等の補修を行うよう指導しております。

◎下地信広君

私もゴルフやりますから、いろいろ行くんですが、このフェアウエーに打ってもボールがなくなるときあるんです。フェアウエーを歩いていても、捻挫するときがある。ということは、これは穴が開いて、草が生い茂っているから見えない。本当に捻挫しているんです、たくさんの方が。そういった部分でフェアウエーの土だけはきれいに埋めていただきたいなと。あとはグリーンの芝生、この管理もしっかりやっていただきたいなと思っておりますけど、市長もゴルフ好きなので、東急のコースでは何回かお会いしておりますが、指定管理のサシバリンクス伊良部には行ったこともありますかどうか、お伺いします。

◎市長（座喜味一幸君）

何回か、ずっと数年前は行ったことがありますが、しばらく行っておりません。管理があんまりよくない。グリーンもボールが跳ね上がる等々、カニの穴とか結構あって、もう少し徹底した管理が必要かなという思いを持っております。

◎下地信広君

市長が指定しているわけですから、なるべくたくさん行くようにお願いしたいなと思っていますし、私もゴルフのスコア悪かったら、もうカニの穴に入りたいなという気持ちになりますので、なるべくその穴を埋めていただきたいなと思っております。

これで私の一般質問は終わります。また、皆さんいいお年をお迎えください。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで下地信広君の質問は終了しました。

◎久貝美奈子君

１番、市民ネット結、久貝美奈子です。よろしくお願いします。

それでは、通告に従いまして質問いたします。１、市政運営について伺います。公共施設の後利用について。本議会で平良庁舎活用のため、公共施設等運営権の設定についての議決議案が上程されています。これまでの流れを伺います。すみません。これについてですが、今日午前中に下地茜議員に答弁されていたので、割愛したいと思います。

次の質問に行きます。その他の旧庁舎の後利用について、現在どのような計画があるか伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

公共施設の後利用についてお答えをいたします。

旧庁舎の後利用についてでございます。まず、城辺庁舎は出張所の北側と西側の教育委員会がありましたスペースが空いておりましたが、出張所の北側は総合体育館の整備に伴う備品の一部保管場所として現在使用しております。また、教育委員会があったスペースにつきましては、介護事業所きゃーぎの移転先となっているところでございます。令和８年度に移転予定というふうになってございます。

次に、下地庁舎についてでございます。現在シルバー人材センターが使用しております勤労青少年ホームが施設の老朽化に伴い、解体を予定しているところでございます。そこに入居しておりますシルバー人材センター、宮古更生保護女性会、宮古保護区保護司会の移転先として現在調整を行っているところでございます。

◎久貝美奈子君

旧上野庁舎については、昨日我如古三雄議員の質問でも説明がありましたように、地産地消振興センターとして活用されるとのことでした。上野地区のにぎわいにつながるものと期待しています。また、下地庁舎については先ほど答弁がありましたように、以前議会で質問したときよりは利用事業者が増えているのかなと感じました。

先日宮古島観光協会へ行く機会がありまして、下地庁舎を見て回ったんですけれども、まだ何か所か使えそうなスペースがありました。将来下地庁舎の活用について、何か計画があるかどうか伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

現在のところ先ほど述べたような入居予定と聞いておりまして、そのほかにつきましては特に決まっているものはございません。

◎久貝美奈子君

同じように城辺庁舎についても何か現在のところ、将来計画があるか伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

下地庁舎と同様に、今現在のところ先ほど述べたような使用予約といいますか、使用計画というふうになっております。

◎久貝美奈子君

平良庁舎もいよいよ動き出します。地域の方もどんな施設になるのかすごく楽しみにしていると思いま

す。この下地庁舎、城辺庁舎につきましても、地域住民に親しまれるような施設になることを期待しています。引き続きよりよい検討をよろしくお願いいたします。

次に、福祉行政について伺います。重層的支援体制整備事業について。重層的支援体制整備事業については、令和４年３月定例会でも下地信広議員が質問しています。そのときの答弁では、まず福祉部内で共通認識を深めた上で庁舎内外の関係部局と協議を行い、本市に合った体制づくりに向けて取り組んでまいりたいと考えておりますとの答弁でした。現在この事業の実施予定はあるか伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

重層的支援体制整備事業についてお答えします。

本事業は、市町村において、地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備することを目的に、社会福祉法に位置づけられています。本市においては、令和４年より重層的支援体制整備事業検討委員会を設置し、関係部署で事業内容の理解や庁内外の連携の重要性を共有しているところであり、事業実施には至っておりません。また、重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業を行っている県内５市においても、庁内外の関係機関との連携に課題があることを確認しております。そのため事業実施に当たっては、関係機関との連携強化に向けた取組が重要であり、今後も他自治体の先進事例を参考に、部局間の既存相談支援体制についての連携強化から取り組んでまいりたいと考えております。

◎久貝美奈子君

なぜこの質問をしたかといいますと、10月に文教社会委員会で視察した滋賀県野洲市のほうでこの重層的支援体制事業を行っておりました。野洲市では生活困窮者の相談支援などの取組を生かしつつ、地域住民の複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、地域づくり参加支援、相談支援に向けた事業を一体的に実施していました。また、他機関の協働による包括的支援体制を構築し、市役所庁内だけでなく、地域全体で連携して支援体制を構築しているとのことでした。本市において、重層的支援体制整備事業、私必要だと思うんですけれども、この事業実施に向けて、課題が何かあれば伺います。お願いします。

◎福祉部長（守武　大君）

重層的支援体制整備に向けた課題についてですが、先ほども答弁したように様々な相談支援体制が現在ある中で、それらの連携が大事になっていくということと、久貝美奈子議員がおっしゃったように地域の方々、地域を支援していただいている社会福祉協議会などとの連携なども必要になってきますし、県や国などの関係機関とも連携をする必要もあることから、それらの連携を強化していくという面で課題があると感じております。まずは庁舎内の部局間での連携を強化し、段階的に地域社協との協力や関係機関との協力に向けて整備していけたらなと思っております。

◎久貝美奈子君

野洲市について少し報告したいと思います。野洲市では、くらし支えあい条例を策定して条例の下、様々な事業を行っています。断らない相談体制として、税や国保の滞納から生活困窮などで苦しむ方を発見し、自立相談機関である市民生活相談課で相談を受けています。この市民生活相談課はコンシェルジュのような役割で、相談を受け、相談者の背景にある様々な困り事をそれぞれの支援につないでいます。また、

野洲市の債権管理条例では、市民生活の安心確保に資することを目的として、市民生活を壊してまでは税の滞納整理をしないという、市民生活支援のきっかけとする取組をしています。視察においてこの取組を学びまして、これこそ誰一人取り残さない仕組みになっているのではないかというふうに感じました。ぜひ職員の皆様も野洲市の取組を知っていただいて、できれば視察して、今後一緒に考えていけたらと思いました。よろしくお願いします。

次に行きます。福祉分野における人材確保、人材育成について。市役所における専門職確保、人材育成について現状と課題について伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

福祉分野における人材確保、人材育成についてお答えいたします。

福祉分野の専門職につきましては、これまで各部局の意見を踏まえながら、保健師、社会福祉士、心理士等の職種について採用試験において募集を行い、確保に努めているところですが、専門分野の会計年度任用職員に関しましては募集に対してなかなか応募者がないといった課題がございます。職員の確保、特に会計年度任用職員につきましては、定期的に市のホームページや市のＬＩＮＥ等で募集の周知を行っていくことに加え、既に導入している勤勉手当の支給や休暇等の福利厚生の充実についてのアピール、令和５年度に実施した実務経験者を対象とした採用試験の検討など、会計年度任用職員のモチベーションの向上への取組や職場環境づくり等を講じてまいりたいというふうに考えております。また、人材育成につきましては、現在メンター制度を活用した職場への早期適応を図ることや一般的な法令や倫理といった実務研修については適宜実施しているところですが、専門分野に係る研修につきましてはこれまで取り組んでおりませんので、今後は関係部署と連携しながら専門職の個々の特性や課題、ニーズに応じて必要な研修を構築するなど、各自の専門的なスキルアップの支援に努めてまいります。

◎久貝美奈子君

社会福祉協議会、または民間事業所などにおける専門職等の人材確保について、現状と課題について伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

福祉部所管の現状と課題についてお答えいたします。

本市では、今年８月から９月にかけて人材不足の現状を把握するため、介護保険事業者へ向けてアンケート調査を実施しました。事業の種別を問わず、38か所から回答をいただき、人員不足の現状、また解決へ向けた意見や要望などが寄せられました。内容を一部紹介しますと、現在職員が不足しているかとの問いには84％が不足しているとの回答で、規模の大きな施設では10名以上不足しているとの回答もありました。不足している職種と人数に関しましては、回答のあった38事業所の合計で介護職員が62名、介護士が12名、リハビリ専門職が２名、ケアマネジャーが10名、その他事務職や送迎ドライバー等が12名不足していることが分かり、介護人材不足の厳しい実情が現れていると考えております。また、社会福祉協議会においても、多くの地域福祉事業を実施しながら市の様々な事業も受託している中、人材の確保については非常に苦慮している状況です。障害福祉事業所における人材確保も深刻で、特に相談支援員が不足しています。相談支援事業所の委託設置は、５か所に対し４か所になっており、さらにその中で相談員が退職し、代わりが探せず、相談員の資格要件の緩和を余儀なくしている状況です。

先ほどの介護保険関係事業者へのアンケートにおいて、賃金や待遇の向上はもちろんのこと、住宅確保問題や資格取得のための研修費用の負担、福祉の仕事に対するイメージアップが重要との声がありますので、今後の人材確保の取組への参考にしたいと考えております。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

こども家庭局からは、認可保育施設に対する人材確保及び育成についてお答えをいたします。

保育士確保対策といたしましては、保育士宿舎借り上げ支援や保育士就労支援、保育士資格取得を支援する保育士試験対策講座や施設見学会及び合同就職説明会等を実施しております。ほかにも年休、休憩取得や産休取得に係る支援事業等も実施しており、令和７年度においても同様の支援事業を実施する予定でありますので、施設には各支援事業を活用し、保育士確保に努めてもらいたいと考えております。また、令和５年度からは通信教育による小田原短期大学宮古島スクールが開校し、次年度、令和７年度には１期生が卒業する見込みとなっており、保育士人材確保に期待を寄せているところです。人材育成については、保育士や保育支援者等を対象としたキャリアアップ研修事業や保育の質の向上研修、子育て支援員研修等を実施しております。

◎久貝美奈子君

先ほどから話している重層的支援体制整備事業の実施の件とつながりますけれども、野洲市のほうではこの事業を社会福祉協議会へ委託しています。でも、今の答弁を聞きますと、本市でも社会福祉協議会にでは事業委託するかというと、やはりここでも、社会福祉協議会のほうでも何か人材不足で、抱えている業務がいっぱいいっぱいという状態なのかなというふうに、今答弁を聞いて感じました。今後市民の多様化する困り事を解決するために、今後新しい事業を始めたくても、人材不足が課題になっているのかなというふうに思います。社会福祉協議会や福祉事業所の強化も考えていかなければならないと感じました。市としてどうでしょうか。その考えのほうお聞かせください。今後の新しい事業を始めるに当たり、そういった事業所の強化とか、そういったところお聞かせください。

◎福祉部長（守武　大君）

重層的支援の整備等の関係にはなると思うんですけども、現在のところすぐに相談窓口を一本化するというのは難しい状況だと考えております。ただ、例えば今福祉部とこども家庭局、教育部のほうと支援が必要な要支援生徒に対する支援に対して情報を共有して、お互い支援の漏れがないような、福祉につなげるようなというような動きも始めておりますので、まず既存の相談支援体制の連携強化からやってまいりたいなと思っています。先ほども話しましたが、社会福祉協議会についてはやはり地域を一番よく分かっておりますので、市も協力しながら社会福祉協議会の強化も検討していく必要があると思っておるところです。

◎久貝美奈子君

介護、健康、教育、保育、障害、就労、様々な情報をつなぎ合わせて、今後は連携して市民の皆様の必要な支援につなげていくことが重要だと考えます。ぜひよろしくお願いいたします。

続きまして、多頭飼育崩壊問題について伺います。本市における多頭飼育崩壊の現状を伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

近年、多数の動物を飼養している方が適切に動物を管理できない状態に陥るいわゆる多頭飼育崩壊が全

国的にも社会的な問題となっております。多頭飼育における問題は、環境省の多頭飼育対策ガイドラインによりますと、１つ目に飼い主の生活状況の悪化、２つ目、動物の状態の悪化、３つ目に周辺の生活環境の悪化といった３つの影響が生じている状況とされております。また、沖縄県では環境省のガイドライン等を参考に制定を進めております沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例、これは案ですけれども、によりますと、所有、または占有する犬猫の数が10以上となったときに知事に必要事項を届けることとしております。

本市における多頭飼育崩壊の現状につきましては、宮古保健所より提供を受けた情報によりますと、令和２年度から令和６年度現時点で犬関連が４件、猫関連が15件、犬猫関連が１件の計20件となっております。

◎久貝美奈子君

多頭飼育崩壊の相談があった場合の対応について伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

福祉の支援が必要な方々に関する相談の中で、多頭飼育に係る相談や情報があった場合は、市や県の関係機関だけではなく、地域の住民や相談支援者、動物愛護団体との連携、協力が必要であると考えます。多頭飼育崩壊に限らず、福祉の支援が必要な相談については、先ほども申しましたが、関係部署での情報を共有し、対応しているところです。久貝美奈子議員ご指摘の部局間の情報の連携、引継ぎは大変重要でありますので、今後支援の枠組みや連携体制について段階的に拡充してまいりたいと思います。

◎久貝美奈子君

この多頭飼育崩壊については、福祉の分野で多頭飼育をしてしまう人を救うということで、福祉行政で質問しました。多頭飼育崩壊してしまうのは高齢者の独り暮らし世帯、あと精神に何らかの障害がある方が多いと聞いています。適切な支援に結びつかず、長年放置され、気づいたら多頭飼育崩壊になり、劣悪な生活環境になってしまうケースもあります。実は先ほどの重層的支援体制整備事業によって、この問題解決に取り組んでいる自治体があることが分かりました。長野県の上田市です。この事業によって、福祉と動物愛護行政が連携し、取り組んでいるということです。先ほども申しましたが、他機関が連携し、それぞれができることで問題解決するために動いていくことが今後ますます必要になってくると思います。何度も言いますが、重層的支援体制整備事業実施について、またこれらの課題も含め、検討をお願いしていきたいと思います。よろしくお願いします。

続きまして、動物愛護行政について伺います。動物愛護行政の拡充について。９月定例会において、ＴＮＲ推進に向け、自治会対象にアンケートを実施しているとの答弁でしたが、アンケート結果からどのようなことが分かったか伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

ご質問のアンケートは、野良猫に関するアンケートとして本年７月から８月に96名の行政連絡員を通しまして、各自治会向けに実施いたしました。アンケート内の質問といたしましては、猫について困っていること、野良猫の数、犬、猫の避妊去勢手術の助成について、ＴＮＲの認知についてを聞いております。アンケートの回答は52件ございまして、次のようなことが分かっております。猫について困っていることとしまして、ごみあさりが一番多いという結果になっております。猫が30匹以上いる自治会が５、11から

30匹いる自治会は11ございました。困っている自治会が多いという結果になっております。ＴＮＲにつきましては、まだ知られていないという状況でした。ＴＮＲが必要な猫の頭数は、アンケートの集計結果より726頭となっております。

◎久貝美奈子君

自治会へのアンケート、どうもありがとうございます。結構自治会のほうで協力して、もう既にＴＮＲを実施しているところもあると聞いています。まず、これらの取組を行うときに、やはり動物愛護団体の資金、または宮古島市の動物基金の行政枠の資金などを利用して行っているということなんですが、どんどんボランティア団体も結構内地から仕事で宮古島に異動で来ている方もいまして、いつまでも宮古島にいるか分かんないという状況でありまして、ボランティアを行う、主になって動いている方が異動して宮古島から出ていってしまうと、こういう活動がなかなかできなくなる。また、最近では動物基金の事務局から資金難に直面しているというメールが届いています。このような活動、なかなかボランティア団体だけではもう大変になってきています。自治会のアンケートの結果からも分かりますとおり、県と連携して市の、行政のほうでもこの課題解決に向けて、取り組んでいただきたいと思います。現状を踏まえて、また５月に行った市長要請なども踏まえて､これから宮古島市がどのような取組を考えているのか伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

現在、本市においては、飼い犬、飼い猫の去勢、避妊手術費用の一部を助成する宮古島市犬・猫去勢及び避妊手術支援事業を実施しております。本助成事業を基軸に、アンケート等を通した現状を踏まえた支援拡充を行うことが最適と考えております。拡充に当たっては、市内動物病院との協力、自治会が地域の問題として認識することがポイントになると考えております。これによりＴＮＲに関する関心を高めることにもつながり、市内動物病院の協力の下、推進することができるものと考えております。詳細な支援内容につきましては、市内動物病院や宮古保健所等と調整しつつ、現状の支援事業の支援額を予算の範囲内において増額する形で要綱制定を進めてまいりたいと考えております。

◎久貝美奈子君

市長要請の中で、ふるさと納税など使って、犬、猫愛護枠を設置していただけないかという要請もしましたが、その件についてはどうでしょうか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

現在まだ具体的な支援額等は出ておりませんが、宮古保健所や市内動物病院の状況や調整等を踏まえまして、手術費用に対する支援額を決定してまいりたいと考えております。現状の宮古島市犬・猫去勢及び避妊手術支援事業よりも増額を行い、ＴＮＲが推進されるよう進めていきたいと考えているところです。

◎久貝美奈子君

アンケートの実施、また予算の増額の検討など、ご理解いただき、本当に感謝申し上げます。まだ様々な課題がありますので、また今後とも相談していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、都市計画行政について伺います。宮古島市中心市街地活性化事業について、根間公園整備の進捗状況について伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

根間公園の進捗状況は、交渉が難航しておりました残り１筆につきましては、令和６年４月に地権者と

土地売買契約を締結し、所有権移転登記まで完了しております。公園整備につきましては令和７年度を予定しており、整備概要として屋台、ステージ設置のスペース、イベント広場、ベンチ用花壇など、概算工事費としまして6,700万円を予定しております。市民との話合いの場については、西里大通り商店街振興組合などと令和６年８月と11月に２回実施しており、今後も継続して話合いの場を設けていきたいと考えております。

◎久貝美奈子君

次に行きます。前の定例会でも質問したんですけれども、交番の設置についてはいかがでしょうか。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

交番の設置についてでございます。市街地の中心付近に交番が新設できないかということだと思いますが、宮古島警察署に確認したところ、市街地中心付近の新設の計画は現在のところないとのことでした。しかしながら、現在市街地の繁華街においては、地元から治安の悪化が見受けられるという情報もございますので、市としましては本市の安全、安心な住環境を確保するため、宮古島警察署、防犯活動を行う関係機関と安全対策等について意見交換を行いたいと考えております。

◎久貝美奈子君

引き続き検討のほうよろしくお願いします。結構地域住民の方、また近くの飲食店を営んでいる方からも要望がありますので、検討をよろしくお願いします。

次に、宮古島市景観計画です。３月定例会において、宮古島市景観条例及び計画について、景観形成基準の中の高さ制限を撤廃もしくは大幅緩和した計画変更を求める決議が賛成多数で可決されました。質疑や反対討論でも訴えましたが、開発が進む海岸線の建物の高さ制限については慎重に議論していく必要があると考えます。この決議を受け、市長の考えを伺います。

◎市長（座喜味一幸君）

宮古島市景観計画における建築物等の高さ制限の基準の見直し検討に当たり、市民や事業者の意向を把握するアンケートを実施することも大変重要な手続だというふうに考えております。このアンケートは、12月６日から12月22日までの期間において、市民及び事業者、高校生、観光客等を対象に実施しております。その結果、市民意向を把握した上で、２月に開催されます景観審議会に諮って、見直しの必要性も含めて検討を進めていくことになります。

◎久貝美奈子君

この宮古島市景観計画、これホームページでも見ることができます。令和３年４月に改定されたものです。今回質問するに当たり、改めてじっくり読み直しました。この計画の中には本当にたくさんの市民の声が詰まっていました。注目してほしいのは、平成20年の実施アンケートの結果と、この計画をつくるための令和元年のアンケート結果の比較です。令和元年から平成20年の10年前と比べて、景観について市民の皆様からの声が、景観が悪くなったと感じている方が５割以上、とても悪くなったが大幅に増加していました。道路や住宅等の景観の評価はよくなった一方、海岸線、森林等の景観の評価が悪くなっている。残すべき景観は、海や文化、歴史資源に関連しているものを残すべきという回答が多くなっているという結果になっていました。

この計画の中に市民の皆さんからの声が入っていますので、少し紹介します。アンケート、令和元年に

取っているんですけれども、市民の意見として、島を囲む海岸、海域について、一部の企業や個人のために規制を緩和し、公益を害するべきではない。自然を壊してまでリゾート開発をするべきではない。自然のままの海岸を残してほしい。観光客の増加に対応した海岸の保全が必要である。海岸沿いの木が少なくなっている。子供の頃の緑豊かな島、生物豊かな海岸線に戻したい。また、海岸線の自然景観の保全については引き続き市民の要望があり、一部の民間企業のための規制の緩和について好ましくないとの指摘があるというふうに市民の意見がアンケート結果から出ています。それに伴って、課題解決のための考え方がまとめられています。この中に課題として海岸地域景観ゾーン内の建築行為開発は、全て市窓口で内容が確認されているが、市民の開発に対する評価などが厳しい。また、市民は海岸線の自然景観の保全のために規制を緩和することを望ましくないと考えているという課題が書かれています。また、考え方として、海岸景観の保全のために一律の規制の緩和は行わないというふうにも書かれています。このように令和元年度、この計画をつくるためのアンケートで市民の声がたくさん載っています。皆さんもぜひ見ていただきたいと思います。まだ令和３年につくられた景観計画から３年しかたっていません。確かに改定され、これからアンケートを実施するということなんですが、私のところに届く市民の皆さんからの声は、全くこの当時の声と変わっていません。なので、もう一度宮古島の自然を残すためにも、景観を守るためにもこの計画をもう一度見直していただいて、慎重に考えていただきたいと思います。

再質問します。この計画をつくるための過程といいますか、どのような流れでこの計画はつくられたか伺いたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

令和３年度の改定におきましては、市民アンケートを踏まえて宮古島市景観審議会に諮り、事業者説明会、パブリックコメント、そして景観審議会へ上がりまして、最終的には市長の同意、告示を行っております。

◎久貝美奈子君

私も質問の前に職員の方に少し聞き取りをしました。この計画をつくる際の作業として、まず初めに市民のアンケートを取って、市民が宮古島の景観にどういう思いがあるのか、将来次世代にどういった景観を残していきたいのかを伺う。そして、次にアンケートの結果をもって景観審議会に諮り、審議会での意見を伺う。そして、その次にある程度の素案が固まれば、それを基に事業者説明会、観光事業者、不動産事業者などと意見交換を行う。そして、これらの意見をまとめてパブリックコメントを行う。そして、最後にこれらの全てをまとめ、景観審議会へ諮り、市長への答申を行うという、かなり慎重に慎重に景観計画というのは策定されています。なので、確かにこれからアンケートもありますし、３月定例会では決議されましたが、ぜひ市民の声というものをしっかり聞いていただきたい。３月の決議案の中には開発で規制をかけてはいけないとか、それも理解しています。ただ、やはり投資という言葉が多く聞こえていました、この説明の中で。投資も大事なんですけど、やはり市民の声、つくられた計画のこれまでの過程を理解していただいて、慎重にみんなで議論していっていただきたいと思います。よろしくお願いします。これを踏まえて、市長から何かありますでしょうか、この市民の声を聞いて。お願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

久貝美奈子議員から今いろいろと市民の声もありました。また、状況の変化はいろいろとあると思って

おります。ただ、市民の中にやはりいろんな賛否の声もあるかとは思っておりまして、この景観条例、これが持つ、やはり自然環境、海岸、景観等を保全するというような、これ大変重要な課題でありますから、冷静に現状をしっかり把握する。そして、将来のビジョンを明確にする。そういう中で最もふさわしい案としてまとまっていくことを審議会にも求めたいと思いますし、早急にというようなことは必ずしも適切ではない。慎重にいろんな意見を考えながら、取り入れながら判断していければと思っております。

◎久貝美奈子君

このアンケートも実施されるということなので、また市民の皆様の声も聞き、またその結果を待ちたいと思います。

それでは、観光行政について伺います。観光振興について、クルーズ船受入れ態勢について伺います。中国や台湾からのクルーズ船寄港の急増により、二次交通への影響など受入れ態勢に課題が見られます。市としてこれらの課題についてどのような考えか伺います。すみません。これ質問通告しているんですけれども、昨日我如古三雄議員からもクルーズ船の質問があり、経済効果や係船料について答弁されていましたので、少し割愛したいと思います。

次の質問に行きたいと思います。宿泊税の導入が検討されていますが、クルーズ船による観光客来訪によって生じる課題解決のため、観光に関わる税や協力金など入域料をクルーズ船客からも徴収する仕組みを検討できないか伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

本市では宿泊税の導入が検討されているところでございますが、クルーズ船観光客は宿泊を伴わないため、宿泊税の課税対象とはなりません。しかしながら、環境整備や受入れ態勢の強化に関してはクルーズ船観光客からも一定程度の負担を検討してもよいのではないかというふうに考えております。クルーズ船の受入れ等の課題については、こういった受入れに係る何らかの負担について、関係者と連携しながら、対応について検討してまいりたいというふうに考えております。

◎久貝美奈子君

先日クルーズ船寄港の際に様子を視察してきました。乗客5,000名ぐらいの大型船だったんですけれども、船からどんどん乗客が降りてきまして、観光案内所のトイレもすごく並んでいまして、タクシー乗り場もすごく混んでいました。一体何時間待つのだろうというくらいタクシーが全然来ない状態で、乗客の皆さんずっと列をなしていました。現場の職員に聞きますと、ツアー会社によっては宮古島に着いた後のタクシーやバスの準備も行うところがあると聞いています。そういったところから、寄港する船会社やツアー会社へのルールづくりなど進めていくために情報共有などをしていくことはできないか伺います。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

観光客が一堂に、やはり5,000名ほどの乗客が島に降りるとなると、様々な問題が生じております。これにつきましては、やはり船会社やツアー会社、これらを企画した会社と連絡を取りながら、昨日の砂川和也議員の質問にもお答えしたところなんですが、そういったいろんな観光地を管理する指定管理者や事業者の皆さん、またツアー会社、こういった皆さんと意見を交わしながら、対応策についてお互いができること話し合いながら対応できたらなと思っておりますので、こういった話合いを持つ機会を設けていきたいと思っております。

◎久貝美奈子君

もう一度宮古島に来たいとクルーズ船のお客さんにも思ってもらえる、そして受け入れる側も気持ちよく受け入れられる宮古島独自の､離島ならではのルールなども必要になってきているのかなと感じました。また、提案なんですけど、トイレの有料化とか観光マップの有料化など、もしクルーズ船のお客さんから入域料とか難しい場合は、こういった何か新しいことにもチャレンジしていってもらいたいなというふうに感じました。少しでも、人材不足もあると思いますので、そういった資金を集めてタクシーを誘導する、警備員とか、そういったマンパワーが足りないところでそういった資金を活用できないかなというふうに思いました。よろしくお願いします。

次に、健康、医療行政について伺います。子宮頸がんワクチン、ＨＰＶワクチンの接種について伺います。国は、2022年４月からＨＰＶワクチンの積極的勧奨を再開しました。本市においての接種状況を伺います。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

宮古島市では、国の方針によりＨＰＶワクチン、ヒトパピローマウイルスワクチンの積極的接種勧奨の差し控えにより、定期接種の対象年齢、これ小学６年から高校１年生の間に接種を受ける機会を逃してしまった方を対象に、改めて接種の機会、キャッチアップ接種を行っております。対象者については５月に封書にてお知らせをしております。

なお、予防接種については強制するものではなく、個人の判断により行うものでございます。

◎久貝美奈子君

キャッチアップ接種も始まっているということですが、男子児童への接種も始まっている自治体もあると聞きましたが、宮古島市ではどうでしょうか。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

男性に対しての接種ということです。男性のＨＰＶワクチン接種は、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えるＨＰＶ感染予防が期待されていますが、予防接種法に定められておらず、個人の判断により発症予防として接種する任意接種となり、全額自己負担となります。

なお、現在男性を定期接種の対象に加えることについては厚生労働省で議論されております。

◎久貝美奈子君

国は、ワクチンの安全性、特段の懸念が認められない、有効性が副反応のリスクを上回るとして2022年４月に積極的勧奨を再開しております。ただ、県外では再開後に副反応が出ているケースもあると聞いております。宮古島市において、接種再開後にそういった副反応の相談などはあったかどうか教えてください。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

体調不良の方々への支援ということでお答えさせていただきます。

本市では、ＨＰＶワクチン接種後に体調不良を訴えている方に対し、治療のための渡航費助成を行っております。そういう対象がいるということでございます。

◎久貝美奈子君

すみません。市民生活部長、この接種再開後に副反応が出ているというケースがあるかどうかをお答え

していただきたかったんですけど、分かりますか。

（「休憩」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時20分）

再開します。

（再開＝午後３時21分）

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

再開後にそういう副反応の事例はないということです。

◎久貝美奈子君

先日宮古島市未来創造センターのほうでＨＰＶワクチンほんとうのことお話会という、当事者の方がこれまでの自分の体に起きたことなどを話す会に参加してきました。宮古島にも何名かいらっしゃって、副反応で悩んでいる。毎回議会でも私言っているんですけども、ただこの方たち本当にワクチン禁止とか止めてほしいという、そういうことは言わずに、自分たちの体に起きたこと、実際にこのワクチンを打って、中学生の頃からこれまで、27歳とかになっているのかな。それまで副反応でかなり苦しんでいる。現在も苦しんでいます。そういうことを、本当になかなか訴えにくいことだと思うんですけど、そういった場を自分たちでつくって、こういう私たちの声を聞いてほしいということで、こういったチラシも作って訴えています。なかなか国のもの、またこのワクチンを打ちたいという方もいらっしゃると思うんです。なので、禁止してほしいというのはなかなか言えないです。私も医療的な、そういった知識もないですので、議会の場でこれを禁止してほしいとか、市に止めてほしいとか、そういったことは言えないんですけれども、そういった方が宮古島に実際にいらっしゃるということをぜひ忘れないでいただいて、接種を受ける際は、市役所の方も、担当も言っていましたけど、受ける、受けないは自分で選べますので、しっかり考えて接種のほうはしていただきたいなというふうに思います。

あと３分残りましたけれども、これで一般質問終わりたいと思います。市長をはじめ職員の皆様、また市民の皆様にとって、来年もまたすばらしい年でありますように祈念いたしまして、私の一般質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで久貝美奈子君の質問は終了しました。

お諮りします。本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議はこれにて延会します。

（延会＝午後３時24分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月12日（木）　　５日目

（一　般　質　問）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第５号

令和６年１２月１２日（木）午前１０時開議

日程第 １　 一般質問

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１２日（木）

（開議＝午前10時00分）

（延会＝午後３時23分）

◎出席議員（２２名）

議長	（２３番）	平良敏夫	君	議員	（１１番）	上地堅司	君
副議長	（１８〃）	長崎富夫	〃	〃	（１２〃）	仲間誉人	〃
議員	（１ 〃）	久貝美奈子	〃	〃	（１３〃）	平良和彦	〃
〃	（２ 〃）	下地茜	〃	〃	（１４〃）	下地信広	〃
〃	（３ 〃）	砂川和也	〃	〃	（１５〃）	我如古三雄	〃
〃	（４ 〃）	狩俣勝成	〃	〃	（１６〃）	欠員	
〃	（５ 〃）	富浜靖雄	〃	〃	（１７〃）	西里芳明	〃
〃	（６ 〃）	下地信男	〃	〃	（１９〃）	友利光徳	〃
〃	（７ 〃）	欠員		〃	（２０〃）	上里樹	〃
〃	（８ 〃）	狩俣政作	〃	〃	（２１〃）	粟国恒広	〃
〃	（９ 〃）	山下誠	〃	〃	（２２〃）	上地廣敏	〃
〃	（１０〃）	池城健	〃	〃	（２４〃）	山里雅彦	〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸	君	環境衛生局長	下地睦子	君
企画政策部長	久貝順一	〃	会計管理者	下地美明	〃
総務部長	與那覇勝重	〃	水道部長	下地貴之	〃
福祉部長	守武大	〃	消防長	上地一史	〃
市民生活部長	狩俣博幸	〃	企画調整課長	前原敦	〃
農林水産部長	石川博幸	〃	総務課長	豊見山徹	〃
建設部長	川平陽一	〃	財政課長	国仲英樹	〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗	〃	教育長	大城裕子	〃
産業振興局長	下里盛雄	〃	教育部長	砂川勤	〃
こども家庭局長	幸地幹夫	〃	生涯学習部長	天久珠江	〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦	君	次長補佐	与那嶺彰成	君
次長	仲間清人	〃	議事係長	国吉たかよ	〃

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第５号のとおりであります。

この際、日程第１、一般質問について、昨日に引き続き質問を行います。

本日は、上地廣敏君からであります。

これより順次質問の発言を許します。

◎上地廣敏君

５点ほど通告をいたしてありますので、通告に従いまして一般質問を行います。

まず、竹アラ地区の圃場整備事業についてでありますけれども、これまで市当局は竹アラ地区については１工区、それから２工区とも全て事業は完了しましたというふうに発言をしてきております。これについて、先月25日に私ども会派で現地を視察いたしました。当然農林水産部の担当職員の皆さんも参加しておりましたけれども、現場を見る限りにおいて、工事が完了しているというふうにはとても思えない。これは、100人中100人とも向こうの現場を見たときにそういうふうに感じると思っております。

そこでお伺いをしますけれども､去る９月定例会でも１工区の4.6ヘクタールについては全て完了したという答弁をいただいておりますが、この工事完了したとする発言の根拠は何なのか、答弁を求めたいと思います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

９月定例会において､上地廣敏議員に１工区4.6ヘクタールは全て完了していますというふうに答弁したところです。正確には、１工区4.6ヘクタールの補助事業の圃場整備工事は完了しておりますが、附帯工事と隣接地区外との市単独工事は今後も継続してまいりますと申し上げるべきでございました。

◎上地廣敏君

今の農林水産部長答弁では、いわゆる補助事業に係る工事の部分については全て完了したという答弁でありますけれども、では地区外との境界の工作物、ああいったものについては、これまでの圃場整備事業において補助事業としての取扱いをして事業を実施してきたというふうに理解しておりますけれども、なぜ今回の竹アラ地区においてこの地区外との境界の工作物について補助事業で、補助の範囲内で取り組むことができなかったのか、なぜわざわざ市単独として市民の本来使うべき一般財源を持ち出してまでこの地区外との境界を施工する必要があったのか、その理由をお聞かせください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

地区外ですけども、地区外もサトウキビを植えて畑として利用しております。将来的に一体的な利用ができるようにということで、なるべく工作物は設けないようにというふうに考えていたところでございます。竹アラ地区の１工区の除外地との境界を明確にすることについては、去る12月３日に除外地の両隣の地権者や親族の方々へ説明を行っております。現在、除外地の一部に繁茂している雑木を除去して畑にするために高低差をなくす工事を行っているということを説明させていただきました。高低差がなく、圃場としてフラットになる旨をご理解いただいた上で、境界上には木ぐいを追加する工事を進めていくことに

了承を得たところでございます。

◎上地廣敏君

農林水産部長にお尋ねしますけれども、今の答弁では地区外の圃場を優先して、地区外と地区内、いわゆる段差がある、高低差がある、したがって地区外、いわゆる協力できなかった農家の畑も単独事業できれいにフラットにして、それでその上に境界を境界くいでもって、このくいが境界ですよとそれで示して終わるというふうな発言をしておりますけれども、私がこの25日に現地を視察して、その後、この地区外の仲里成幸氏の自宅に出向いて、じかに話を聞きました。奥さんも同席しています。皆さんがその圃場に作物を作付するという方からの意見として、くいだけでもいいですよというふうに話があったというふうなことを当時言っていましたけれども、その旨を確認いたしましたら、所有者は、仲里成幸氏は夫婦ともに、いやいや、これでは駄目ですと、ちゃんと工作物で境界をはっきりしないとこの地区外の、あれ雑木林みたいになっているんですよね。そこから雑草が繁茂して畑に侵入してくる。あるいは、ギンネムなどの雑木も入ってくる。それでは畑としてこれまでどおり活用することはできないと、無理であると、したがって今後、役所のほうには工作物を造らないと引き取りませんよというふうなところまで言うつもりであるというふうにそのとき仲里成幸氏は言っていました。境界に工作物を設けないというふうに判断したと言っていますけれども、皆さん、令和５年、去年の12月定例会で、私の質問に対して、ただいま地区外との境界については工作物を設置すべく設計を発注しているところでありますというふうな答弁をしているんです。ならこの発注した設計書は誰が、この設計した業者には誰が費用を払ったんですか。どうなっているんですか、この設計書は。これをお答えください。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時09分）

再開します。

（再開＝午前10時09分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

まずお答えいたしますのは、地区外の石積み工事についてでございます。これ地区外がほかにもありまして、南のほうというんですか、ハウスがある、御嶽があるところなんですけども、そこの石積み工事の件を指して、設計を依頼しているというふうに答弁しております。仲里成幸氏へは、12月３日に農村整備課の職員が出向きまして、実際に耕作いただく親族の方々も集まっていただきました。その親族の方々にも説明したところでございますが、再度話合いを持って、どのようにしたほうがいいのかということを確認したいと思います。

◎上地廣敏君

今、地区外２か所あると。皆さんが地区外といって石積みをしたところは古波蔵氏の畑であります。どうして同じ地区外であるにもかかわらず、一方はちゃんと石積みをして境界をきれいに設ける、一方はそのまま境界くいだけで、あれ30センチ、40センチのくいを四、五本打つだけで、これが境界です。本当に雑木林と隣接している農地がそういうふうに使えるんですか。もう一度答弁をお願いします。なぜ一方は

石積み工作物で境界を設けて、一方は、一方というか、残りの２か所はなぜ工作物を設けないんですか。その理由をお聞かせください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

石積みを設計して設けたところは大分高低差がございまして、このままでは危険なため、石積みを施工しております。今回、仲里成幸氏の畑に隣接する地区外のところにつきましては、この地主の方は除外地の方なんですけども、整形化に協力していただいたことによりまして、除外地との高低差に対する石積みが不要になったことや水兼農道の法線が直線になったこと、いびつな形状の圃場がなくなるということなどもありまして、１工区としてもメリットがあるため、整形化をしております。将来的に一体的に使える可能性もありますので、木ぐいにおいて境界をしていこうという話をしたところでございます。

◎上地廣敏君

農林水産部長、仲里成幸氏との境界、いわゆる整備前は不整形であったと。それを整形化に、地区外、整備事業に参加できていない農家が境界の部分の整形化に協力したから、境界を設けないで、では将来一体的に使える可能性もあるというのは何を根拠に言っているんですか。反対に、その西側、譜久村氏との境界、向こうは今の状況で見ますと収穫すべきサトウキビがある圃場なんです。それと整備事業をやったところ、譜久村氏が配分を受ける予定の農地とは50センチぐらいの高低差があります。なぜそういったところにも工作物を造らないんですか。これは、聞きますけれども、サトウキビを収穫して終わった後に、この地区外の圃場は表土を剥いで、土砂を別に移してこれフラットにするんですか。それもお答えください。しかも、これを市が単独事業でその費用を負担するということですが、これも併せてお答えください。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時15分）

再開します。

（再開＝午前10時16分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

地区外両隣の受益者の譜久村氏とも話合いを持っております。その中で、地区外を隣接する土地について高低差がありますので、その辺をフラットにするという話をして、木ぐいで境界を設けるということで、これも了解を得ているところでございます。地区外の工事ですので、単独一般財源で工事となります。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時16分）

再開します。

（再開＝午前10時17分）

◎上地廣敏君

地区外に係る工事費用、これを一般財源で負担をしますと。これでは市民は納得しません。では、今後基盤整備事業やります、いや、私は反対です、どうぞ竹アラ地区の圃場整備事業をやったとおり、私の畑

もフラットにして役所の、市の一般財源で費用負担してくださいと、農家がそういうふうに話してきた場合どうしますか。この地区外の圃場にかかった費用、これは地区外の農家は負担金ありますか。お答えを願いたい。

◎農林水産部長（石川博幸君）

地区外の農家の負担金はございません。今回、この地区外の方の畑が大分圃場整備したところに入っておりました。それで一部提供していただいたということもありまして、整形化に協力をしていただいたということもありまして、この整形化の協力がなければ道路の法線も直線にならず、いびつな形になっておりましたので、大分１工区としてもメリットがあったということで、そういう判断の下でこういうふうな工事をしているところでございます。

◎上地廣敏君

これ地区外の圃場が整形化された。地区内もそうですけれども、整形化された。地区外の農家は、この整形化のための潰れ地については無償でやったんですか。どうですか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時19分）

再開します。

（再開＝午前10時20分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

地区外の方の土地について潰れ地ですけども、これは隣接する仲里成幸氏と一部交換しております。

◎上地廣敏君

隣接地の地主と法線を整形化するために、いわゆる土地の交換分合をやったということですよね。それをやったから、地区外の圃場もちゃんとその地区内と同様にフラットにして整形化してあげますという工事を市が、いいですか。市が市民が払った税金をもって工事費を負担するというのは誰が考えても私おかしいと思います。その件について座喜味一幸市長は、土地改良事業、かんがい排水事業について非常に詳しく、知見もあるというふうに思っておりますので、ひとつ市長の見解をお伺いしたいと思います。

◎市長（座喜味一幸君）

地元との調整、非常に大事なことでございます。隣接地の交渉、あるいは交換分合等での協力等もいただいたということで、最終的な事業完了というのは換地委員会において確定して引き渡していくということになります。あちこちの現場でも排水が悪いと、浸食が大きい、いろんな課題はあって、大体最終年でそういう課題に対しては対応して、地元との調整、了解を得て事業が完了していくものというふうに思っております。今の農家の協力に対する、構造物を造るよりは一体的な利用がいいのではないかというようなことで、願わくば、できればその事業完了内で、のうちにその辺の調整が済んでおけば当然よかったなというふうに思っておりますが、ぜひ農家の協力に対する御礼といいますか、そういうことも含めて市単独事業となりましたけれども、効果が出るような形で収まればいいのかと思っております。

◎上地廣敏君

今の市長の答弁でも、その境界に工作物を設けないほうが将来、一体的な土地利用も可能になるんでは

ないかというふうな思いの答弁だったと理解しますけれども、ただこれは一体的に土地利用ができるというふうな前提は、その事業に参加しなかったその部分の土地、それから参加した人の土地、同じように農地として使える状態であればそれ話いいんですよ。一方の隣接地は雑木林になっていて、一方は基盤整備事業でちゃんとやりました。これを境界工作物も設けないで、将来一体的に使いますから境界くいだけでいいですと。そんなやり方は誰も認めないんです。これは、皆さんが事業完了したとこれまでずっと言ってきた。裏返せば、皆さんは議会の場でうそをついてずっと通してきた、そう言っても私は過言ではないというふうに思っております。時間も大分過ぎておりますから、工作物設置の件についてはこれぐらいにしておきたいと思います。ただ、言っておきたいことは、今の市のこういったやり方では、整備事業に参加した農家だけではなくて、恐らく市民全体、こんな工事の事業の進め方は納得いかない。なぜ国、県の補助事業があるのにそれ以外に市が単独で、しかも事業に参加しなかった農家の圃場に係る費用負担をしなければならない。これは誰が聞いてもおかしな話であります。

次に移ります。かんがい排水施設事業はいつ頃から開始をするのかお伺いいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

畑地かんがい施設工事については、現在実施設計を行っております。令和７年度から畑地かんがい施設工事の着工を予定しております。完了は令和８年度を予定しております。

◎上地廣敏君

このかんがい排水事業の施工も当初は令和６年、いわゆる今年の10月、去る10月から着手をすると。これは当初の計画でありました。それが今の答弁では今実施設計をやっているというふうなことでありますけれども、完了が令和８年ですか。これも圃場整備が相当、約２年遅れた関係で、かんがい排水事業もおのずとバックせざるを得ない状況になっております。ぜひともこのかんがい排水事業も、もし同時並行できれば同時で進めていただきたいというふうに思っております。

それから次に、農家への引渡し時期についてお伺いします。最後の換地総会はいつ頃予定をしているのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

３工区の工事が来年の６月に工事完了予定となっております。その後、竹アラ地区全体の権利者会議を開催して、土地配分について議決を得た後、換地処分を行うこととしております。最終的な引渡しは令和８年３月末になるものと考えております。

◎上地廣敏君

次に移ります。

今、この竹アラ地区については、２名の農家が那覇地方裁判所のほうに損害賠償の提訴を行っております。昨年の12月に第１回目の裁判が開かれて、第２回目も開かれております。３回目が今月16日であります。４日後ですか。そういうふうに16日で３回目を迎えますけれども、それでお尋ねをいたしますけれども、この裁判がもう既に２回開かれて、その裁判の結果を踏まえて市はどういうふうな見解をお持ちなのかお尋ねをいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

これまでに２回裁判が行われております。その中で、訴状に対する認否等を行っている途中でございま

す。現在も裁判は係属しております。ただ、土地改良事業により訴訟が起こされたことについては、今後の事業展開、地域農業の推進に大きな影響を及ぼすということで、深刻に受け止めているところでございます。

◎上地廣敏君

竹アラについて最後にお尋ねをしますけれども、皆さんはずっと以前から工事が遅れている、このことについて農家に金銭的な支援は厳しいんですけれども、金銭以外の、いわゆる作物栽培に係る農薬であるとか肥料であるとか、そういった物的な支援をしていきたいというふうにこれまでずっと答弁をしてきております。この営農に対する支援はこれまで実施したのかどうかお尋ねいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

これまでも竹アラ地区の農家に関しましては営農的な支援、有機質肥料等の支援を行っていくと申し上げたところでございます。まだ現在の段階で営農的支援は行っておりません。

◎上地廣敏君

これは、工事が２年も遅れて、いわゆるかんがい排水工事を含めるともう約３年、しかもこれから順調にいけばの話ですが、これまでずっとこの支援についてもやっていきますというふうな説明でありましたが、まだ現在のところ支援はやっていないと。ここ令和３年から事業着手して、農家の皆さんはですよ、恐らく令和２年の途中から作物の作付もできない。現在に至るまで全く収益ゼロ。こういった中で、文句を言いながらも負担金を払ってきている。こういった農家の心情を酌み取って、農家の皆さんは竹アラ地区だけではないんですよ。ほかにも圃場はいっぱいあります。なぜ支援を早急に開始しないんですか。この理由を教えていただきたい。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時33分）

再開します。

（再開＝午前10時33分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

今月末に換地委員会を開きまして、一時利用指定に向けて話合いを持つ予定となっております。一時利用が可能と認められましたら、それに合わせて、作付に合わせて支援を開始したいというふうに考えております。

◎上地廣敏君

これ一時利用がすぐできるというふうな状態では今ないと思うんです。なので、この農家の皆さんは別の圃場での作付もやっている農家がほとんどです。ですから、有機質肥料あるいは農薬の補助を、もし支援をやるんであれば、別の圃場での作付などにどうぞ使ってくださいというふうな形で早急にこの支援を始めるべきだと思います。ぜひ早急な支援をお願いしたいと思います。

次に移ります。市道の維持管理についてでありますが、画像をお願いしたいと思います。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時35分）

再開します。

（再開＝午前10時35分）

◎上地廣敏君

これは、下地小学校からＡコープ下地店、いわゆる今問題になっている竹アラ地区の圃場整備事業の南側を通っている、路線名はブナズマ線ですけれども、通称学童線と言っているところであります。これ片側歩道になっております。次の写真、これもそうです。同じように、同じ路線ですか、ブナズマ線で。歩道にはこういうふうに見事に雑草が生え、しかも歩道の中央にはギンネムまで生えています。こういったところから下地小学校、下地中学校に通う児童生徒は通学をしているわけであります。ちょうど奥のほうに、拡大できますか。この奥のほうに今１人写っていますけれども、これは中学生が下校する途中の写真であります。歩道が歩けないために、利用できないためにこういうふうに車道を歩いてうちに帰る、下校すると。こういった状況が今頻繁に下地の地区内でも起こっております。一体どういった市道の管理をしているのか。そのことについて市の考えをお聞きしたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

上地廣敏議員ご指摘の道路につきましては、現場の状況を把握しております。早急に対応する必要があると考えております。上地廣敏議員ご指摘のブナズマ線につきましては、一部土地改良の擁壁からギンネム等が歩道に飛び出している部分もあるため、農林水産部と連携、協力しながら管理に努めてまいります。一方の来間線につきましては、来年１月中に除草作業を予定しております。定期的に管理を行っておりますが、宮古島全域にわたっての管理を行っていることから、管理が行き届かない場合がございます。早急に対応を行い、安全、安心な道路管理に努めてまいります。

◎上地廣敏君

先ほどの写真はブナズマ線、いわゆる学童線でありましたけれども、これは下地のＪＡのＡコープ下地店から与那覇前浜港に通じる来間線であります。片側歩道がついていますけれども、ここも写真で見る限り人間が歩道として利活用することが全くできない。この道路は、特に来間島、与那覇前浜へ観光にいらっしゃる、いわゆるクルーズ船が入港した場合はバスが何十台と通る。外国からの観光客の皆さん、あるいは国内クルーズでいらっしゃった皆さん、必ず通る道路であります。昨年までは大体年に三、四回は除草作業をして、そんなに歩行者の通行に支障は出ていなかった。特に今年に入ってからは１回これまで、９か月になりますけれども、１回やったのかどうか、そのくらい。朝夕にジョギングする、あるいはウオーキングする市民の方もたくさんいらっしゃいますけれども、全くもう歩道を歩かない。観光、観光と言いますけれども、観光地に通じる道路がこのような管理の状態では宮古島市は本当に、訪れる皆さんは感じているというふうに思っております。この理由は何か。除草作業ができない理由は何か。今年の４月から除草作業員が大幅に減員された、それが最大の理由であると思います。建設部長の答弁では来年の１月と言っていますけれども、これは主要な観光道路ですから、来年と言わずに12月中にぜひ工事を委託して作業に取りかかっていただきたい。これについてもう一度建設部長の答弁をお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

上地廣敏議員がご指摘しておりますように、大変ご迷惑をおかけしております。市の作業員は全16名で

今全体を管理しておりますが、ローテーションを調整しながら早急に対応してまいります。

◎上地廣敏君

年末年始にかけて観光客の皆さんも宮古島に相当数入ってくると思っておりますので、ぜひ今建設部長が答弁したとおり作業員の確保、あるいは昨日でしたか、仲間誉人議員の質問に自治会等に協力できる部分があれば自治会にもお願いして除草作業については実施していきたいというふうな答弁もあったかと思っております。ぜひ関連自治会などにも作業員の確保が厳しければ話を持ちかけて協力を仰いでいただきたい、ぜひ年内に実施をしていただきたいというふうに強く要望をいたします。

次に、順番を入れ替えたいと思いますが、５番目の公園管理についてお尋ねをいたします。現在、宮古地区においては都市公園、それから農村公園があると思っておりますけれども、その都市公園の箇所数、何か所あるか、農村公園が何か所あるかお尋ねをいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

都市計画課が管理している公園は、平良地域が10か所、城辺地域が３か所、下地地域が６か所、上野地域が３か所、伊良部地域が２か所、合計24か所となります。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農林水産部所管の農村公園は54か所になります。

◎上地廣敏君

では、この都市公園にかかる管理費用、令和５年度実績、それから令和６年度の見込み、農村公園も同じように管理費用について令和５年度実績、それから令和６年度の見込みをお尋ねしたいと思います。

◎建設部長（川平陽一君）

令和５年度の実績です。道路維持管理費、これは工事費も含めての管理費となります。令和５年度が１億2,859万円、令和６年度が１億5,889万6,000円となります。令和６年度の中で、公園の清掃委託費につきましては、観光地公園環境美化強化事業一括交付金による委託費が５か所で2,325万9,000円、それと市単独事業で行っております５か所の公園につきましては1,888万6,000円、合計で清掃の委託管理費は4,214万5,000円となります。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農村公園の維持管理費でございます。令和５年度が1,790万円、令和６年度の予算が1,730万円となっております。

◎上地廣敏君

今後この公園の管理計画、あるいはこの公園の長寿命化について市はどういうふうに考えているのかお尋ねをいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

建設部が管理しております公園は24か所ございます。その中で、今後公園管理につきましては、より質の高いサービスの提供、利用者のニーズ多様化への対応、維持管理費用の財源の確保などの観点から、公園を包括的に民間に委託をする等活用ができないか今後検討してまいります。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農林水産部所管の農村公園についてでございますが、農村公園の中に管理が行き届いていない公園が幾

つかございます。これまでも議会において管理が行き届いていない農村公園に関しては地元自治会に譲渡してはどうかとの提案がありましたので、アンケート等で自治会の意向を伺いまして、農村公園の利活用について検討していきたいというふうに考えております。

◎上地廣敏君

今の画像は、下地にあるツノジ児童公園。名称はツノジ児童公園というふうになっておりますけれども、これは今都市公園として位置づけられているようであります。これが公園全体の写真です。これ昨日朝撮りましたから、現在も、今日皆さん行ってみてもこういった状況であります。牧草地よりも立派に雑草が育っているということ。奥のほうに見えるのは、トイレが見えておりますし、これは立派な滑り台が１基設置されております。もちろん上水も引かれていて、きれいに管理すれば非常にいい公園として利活用できると思っておりますけれども、こういった管理では利用しようにも全く利用できない状態です。ですから、これツノジの公園です。もう一個、これは都市公園。これは、与那覇地区にある平成４年度に整備をした農村公園であります。これ農村総合整備モデル事業で実施した公園です。ここも見事に雑草が生えております。この部分は、これ平成４年度ですから、平成４年度から二、三年くらいは私の記憶では利用していた。老人クラブの皆さんがゲートボール場として利活用していましたけれども、老人クラブのクラブ員の数も年々減っていきまして、今隣に１か所ありますけれども、この部分は全くもう活用されていない。いわゆる10年以上、約20年にわたって利用されていない部分なんです。ですから、こういったところにも除草作業のための作業員、この間見ましたら宮古森林組合の作業員が作業しておりました。こういった無駄な経費をかけないためにも早急に都市公園、農村公園の利活用状況調査をされて、無駄な経費をかけないために、財政的に宮古島市は今後厳しくなっていくと思いますので、公園としての利用を廃止するか、あるいは先ほど建設部長答弁にあったように自治会の皆さんに委託できないか含めて早急にぜひ検討していただきたい。これを強くお願いをしておきます。時間もありませんから、次に移ります。

次に、農道の舗装工事についてであります。県営圃場整備工事で実施されました与那覇の内浜地区、言葉で言ってもあまりぴんとこないと思いますので、与那覇のサニツ浜、いわゆるサニツ浜カーニバルをやっているサニツ浜の南側のほうに位置するところが内浜地区であります。これ県営整備事業で約50ヘクタールぐらいの面積で圃場整備工事が実施されました。平成８年から平成13年までの５年間をかけて実施されましたけれども、現在23年くらい経過をしております。農家の皆さんからの不満というのは、この圃場内には水兼農道がありますけれども、水兼農道の部分については全て舗装が実施されております。しかしながら、水兼農道以外については石粉舗装といいますか、当初石を敷いて造った農道ですから、それ以降全く手がつけられておらずです。この農道については、雑草が繁茂したり、あるいは凸凹ができたり、大変使いにくい、利用しにくい農道になっております。事業は県営で実施されましたけれども、その後の維持管理については恐らく市に移管をされていると思っております。市において、この水兼農道以外の農道について舗装する計画はないのかどうか、その辺をお尋ねいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農道の舗装でございます。以前は水兼農道以外の舗装はなかなか採択されなかったと、認められなかったというふうに聞いております。その当時とは状況が変わりまして、交通量も増えましたし、多くの市民の方々から要望があるということを理解しております。ですので、農業農村整備事業管理計画というもの

にこの農道舗装を盛り込んで、早期に対策できますよう県と調整を図っていきたいというふうに考えております。

◎上地廣敏君

担当部署に聞き取りをいたしますと、大体５か年のスパンで管理計画といいますか、計画策定をし、年度ごとに国、県とヒアリングを実施していますというふうな返事でありました。ぜひこの管理計画をしっかりとつくっていただいて、こういった農道が市内に何本ぐらい、距離にしてどれくらいあるのかというふうなことも調査をされて、優先順位をつけながら国、県とぜひヒアリングを実施して、早急に舗装工事ができますようによろしくお願いをいたしたいと思っております。

最後に、産業廃棄物処理施設についてであります。宮古島市には今、これまで産業廃棄物の廃棄場として利用されておりましたところが閉鎖されました。その後、宮古島市民、この産業廃棄物の処理に相当困っております。こういった厳しい状況を宮古島市としてどういうふうに現状を捉えているのかお尋ねをいたします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

上地廣敏議員ご指摘のとおり、本年２月に市内の産業廃棄物処理を担っていた事業者が許可の取消しを受け、市内の産業廃棄物を排出している事業者の多くが処理について混乱しているという状況を受けまして、市としましては市ができることを取り急ぎということで調整しまして、４月から宮古島市クリーンセンターにて廃プラスチック等の併せ処理が可能となるよう環境省に承認申請を提出するとともに、４月１日から発泡スチロールに関しては同センターで受入れを行っていたところです。その発泡スチロールに関しましては、４月と、あと10月に新たに処理施設が許可を受けておりますので、この発泡スチロールの受入れについては市としては10月で今のところは受入れを止めております。また、島内の農業用廃ビニールの処理につきましては、機器の故障により受入れを停止していた事業者の機器復旧により、10月頃から徐々に解消されているところです。この際、市が所有しております産業廃棄物処理場の一角を農業用廃ビニール等の仮置場として提供しまして、処理体制については後押しを行っております。これについては、年度内は継続するという考えでございます。建設工事等から排出される建設混合廃棄物については、現在、細かく分別を行い、既存の許可業者等に搬入している事業者、沖縄本島などに海上輸送を行っている事業者がいるということは確認しているところです。先日も答弁をした内容と少し重複するところがございますが、現在、島外、県外の事業者になりますけれども、産業廃棄物、特に建設混合廃棄物の中間処理施設を整備したい旨の説明を受けております。その事業者によりますと、今後、計画等を具体化して沖縄県へ申請する旨の話を聞いているところです。

◎上地廣敏君

建設混合廃棄物については、県外の業者が提案をしていると。市にとっても有益な提案であるため、後押しできる部分については後押しをしたいというふうなことだと思いますけれども、建設混合廃棄物についてはこういった業者が出てきているということでありますが、１つは今問題になっているのは、これは不法投棄も含めて廃タイヤの処理なんです。この廃タイヤの処理についてどのように考えているのかお尋ねをいたします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

廃タイヤの処理につきましては、島内で処理を行っているものが約15万トン程度、残りの180から190万トン程度、島外、沖縄本島のほうに海上輸送を行って処理をしているところです。島内で処理できるほうがよりよいとは考えておりますが、現状においては難しいと考えています。市としましては、廃タイヤの適正処理に関しては県の宮古保健所のほうと連携をして、各整備事業者、また廃タイヤを出すような事業者の皆さんには理解をしていただきたいということで指導をしてまいりたいと思います。

◎上地廣敏君

確かに環境衛生局長が今答弁しましたように一部、15万トン程度ですが、については島内処理もできているということでありますけれども、その大部分が、その190万トンですか、大部分は島外での処理に頼らざるを得ない。現状はそうだと思います。ただ、島内処理についても島外処理についても、この排出業者におかれては非常にキロ当たりの単価が高いというふうなこと。これは言い換えれば、車を利用している方々、タイヤを排出している方々、いわゆる市民の皆さんがその輸送費分、処理費用を含めて負担しているわけですから、ぜひその部分については、その辺については島内処理で全部処理できるように努力をしていただきたいと、重ねて県のほうと交渉して早急な処理施設が完成できるように頑張っていただきたいというふうに思います。

時間となりましたので、質問終わります。今年もあと僅かですが、迎える新しい年が宮古島市にとって、そしてまた市民に、そして職員にとってもすばらしい一年となりますように祈念をいたしまして一般質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで上地廣敏君の質問は終了しました。

◎長崎富夫君

通告に従いまして一般質問を行います。当局のご答弁をお願いいたします。

座喜味一幸市長は、2021年１月、持続可能な豊かな島を再構築するため、市政を刷新し、市民が主役の市政を訴え、第５代宮古島市長に就任されました。就任当初は世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、本市においてもその対策に追われました。ＰＣＲ検査の充実やコロナ禍による事業者、低所得者等々に対するきめ細やかな支援を行うため市独自の予算措置を行い、国や県にも事業者向けの支援を強力に進めたことと承知しております。市長は、６月定例会で、約３年半を振り返り「市民による市民のための市政運営、市民の暮らしが第一、市民に開かれた市民ファーストを基本として、公約達成に向けて様々な分野で取組を推進してまいりました」と私の質問にお答えされました。市長が述べられたように、これまで日々市民の生活向上、安心、安全な暮らしのため市民目線での市政運営に取り組んできたことに対し、私なりには高く評価しております。そこで、市長在任中の主な事業の成果や実績についてお伺いいたします。

まず、市長にお伺いします。市政刷新を公約に市長に就任しました。市長就任以来、まずは１つの目標は達成したと思いますが、在任４年間、宮古島市の市長として行政を進めてきた中で、市政刷新に対するご見解をお伺いいたします。

◎市長（座喜味一幸君）

市長就任以来、市民ファーストの基本姿勢、市民のための市政運営を常に意識して邁進してまいりまし

た。基本的な、代表的な姿勢だけ、部分を申し上げますと、まず市民所得向上ということをしっかりと訴えましたんで、これまで各世代、各市町村でも多分取り組んだことのない市民所得、稼ぐ力、経済の地域内循環等々の取組等、委員会をはじめ、民間事業者、福祉関係等々の皆さんにいただいて懇話会などを設置して、一つの方向性というものも見えてきました。この細かい検討委員会は、今後とも具体的に課題がまだありますんで、一つの方向性、整理ができたんで、それをより具体的な、例えば農業であれば地力増産で、あるいは年内操業でどれだけの増産を図るかとか、あるいは芋等、その他の作物等についてもそのとおり、それから各福祉施設における賃金の実態等々も含めていろんな面からの取組を有機的につなげていく、生産から加工、販売、サービス等の全体的な取組をぜひともに今後とも進めていけば所得アップの間違いのない官民連携の体制が取れると思っております。

それから、未利用公共施設の活用というのは喫緊の課題、先ほども公園の活用等々の話が出ておりましたけれども、まず旧庁舎のにぎわいの拠点としての整備、ここはクルーズ船のお客さんがある意味では集まるにぎわいの拠点になるのではないか、下地庁舎、旧上野庁舎等々も新たな産業振興センターとしての機能が出てきておりますんで、まず公共用施設の活用というものは今後ともそういうこの事例等を通して活用していかなければならないと思っております。それから、我々官側だけではなくして、平良庁舎の活用においても民間の投資というものをいただきまして事業が進みますんで、そういう民間の活力、資金というものを活用していくという一つのモデルケースもできたかなというふうには思っておりますし、また我が宮古島市、大変入札制度が政治との絡み等々で大変これまでも市民の中でもありましたけれども、一応一般競争入札というようなことでの取組、これも大きな成果だったんではないかなと思っております。

あと、堆肥施設の整備、離島における不利性の解消、児童生徒への難病を抱える方などへの負担の大きい移動コストの低減、誰一人取り残さない社会の構築、ひとり親家庭支援事業の導入、子供の居場所の拡充、市民が抱えている課題に市民目線を持って市民と協働を図りながら様々な取組を進めてきたというふうに思っております。これらの課題が改善されたことは、市民がこの宮古島で豊かさを感じ、暮らしを続けられる持続可能な豊かな島づくりにつながっていくものというふうに思っております。

◎長崎富夫君

次に、農業関連についてお伺いいたします。

市長の公約であったサトウキビ生産農家への生産奨励金は否決されたものの、修正案で肥料や農薬の補助に振り分けられ、加えてサトウキビ生産農家への支援は誠意を持って取り組んできたものと承知しております。

お伺いしますが、農業資材の高騰による肥料及び農業など、生産農家への補助実績についてお答えください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

価格高騰対策の内容としまして、令和４年度の実績はサトウキビ、園芸、葉たばこ、畜産農家が購入する肥料の価格上昇分の支援として２億1,300万円、園芸資材については1,600万円の実績となっております。令和５年度の実績は、園芸資材について542万円となっております。令和６年度においても、原油価格の高騰の影響により農業用被覆資材が高騰していることから、去る11月の臨時会で約1,800万円を予算計上し、現在支援を進めているところでございます。

◎長崎富夫君

分かりました。

次に、畜産業についてお伺いします。牛の配合飼料となる世界の穀物やトウモロコシの生産の約３割はウクライナとロシアが占めていると言われております。しかし、2022年、ウクライナとロシアの紛争により畜産飼料などが高騰し、生産農家が今なお厳しい現状に追い込まれております。加えて、本市においても子牛価格の下落が続いております。畜産は、サトウキビと並び宮古島市の１次産業を牽引していることから、本市でも引き続き生産農家に様々な支援を行っていると理解しております。

お伺いしますが、畜産飼料等の高騰や子牛価格の下落に伴う生産農家への支援について、市長在任中の実績をお伺いいたします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

まず、畜産飼料高騰対策事業についてお答えいたします。

令和４年度の実績が485戸の農家に3,330万円を交付しました。令和５年度の実績は、457戸の農家に3,950万円の交付を行っております。今年度、4,337万4,000円の予算を計上しておりまして、12月９日現在、406戸の農家が申請しておりまして、申請率は68％となっております。

次に、和牛子牛価格安定緊急対策事業の実績でございます。これは、去る８月の臨時会に提案したものでございます。予算額は4,874万円となっております。進捗につきましては、12月９日現在、526戸の農家に対して392戸が申請しております。率にして74％となっております。

◎長崎富夫君

次に、離島の農林水産物流通不利性解消事業の成果についてお伺いします。

この事業は、沖縄と県外の大手市場が遠距離にあるため多額の輸送費の不利性を解消するため、本市では2012年８月１日の出荷分から始まっております。当初、県の事業費は19億5,000万円で、宮古地区には１億5,000万円余の配分を見込んで、農畜産業関連に１億1,383万円、水産業関連に4,268万円となりました。しかし、鹿児島までの輸送費相当額の補助のみで、宮古島―沖縄間の補助がないため、沖縄県に出荷する農畜水産物事業者にはメリットがありません。そこで、離島の振興を図る観点から、沖縄本島間の補助を強く県に申し入れるよう、私は2012年の定例会で求めたことがあります。以来、品目の拡充や輸送費補助の継続した取組がなされていることに対し感謝申し上げております。

お伺いしますが、令和３年から令和６年の実績をお答えください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

農林水産物条件不利性解消事業でございます。令和４年度、これは９月からのスタートとなっておりますが、実績が25品目で出荷量約570トン、補助金額が2,730万円となっております。令和５年度の実績といたしましては、34品目で出荷量が約2,000トン、補助金額が約9,310万円となっております。なお、水産関係、モズク関係に関しましては県のほうが実施しております。

◎長崎富夫君

次に、六次産業化に伴う地産地消の取組の成果についてお伺いします。

市長は、農水産物のブランド化や六次産業化の促進により、加工技術の向上や販路の拡大を図るため機構改革を行い、新たに産業振興局を設置しました。地産地消や六次産業化を目指す取組については、伊良

部漁業協同組合のマグロやＪＡの地元産野菜を取り入れた食材を小中学校の給食に試験導入し、みゃーく食材の日制定など、また地産地消推進会議を設置し、官民が協力して六次産業化への取組を進めてきていることに対しましては評価し、今後も大いに期待しているところであります。

お伺いします。これまで地産地消や六次産業化の成果、実績についてお答えください。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

まず、地産地消の取組についてでございますが、産業振興局が設置された令和３年度に地産地消推進協議会の事務局を農林水産部から引き継ぎ、関係者との情報共有及び意見交換の場の機会づくりを積極的に進めてまいりました。また、令和５年度においては、地産地消コーディネーターを配置し、学校給食を中心に地産食材の利用率向上への取組を進めているところでございます。学校給食においては、使用量が多いにもかかわらず地元産の供給が少なかったこれまでの実績を踏まえ、品目を３つに絞り、生産者、学校栄養士、地産地消コーディネーターなどの関係者が一同に協力し、生産から長期保管、供給までの流れを安定的に構築する仕組みづくりを進めてまいりました。その結果、地産食材の利用率を令和２年度の11.1％から、今年度においては総合計画に示した令和８年度の目標値25％について前倒しで達成する見込みとなってございます。この取組は、これまでの域外からの調達分を地元生産者から調達できたということで、その分の生産者の所得の向上と経済の漏れの対策の一つとして効果的な取組であったと認識しているところでございます。

また、六次産業化の推進に向けては、まずは学校給食へ向けた加工食材の提供実証事業において、冷凍マンゴーやマグロの加工品、枝豆やコロッケ、アロエゼリーのほか、豚肉や紅芋の加工食材を実際に学校給食に提供しております。これらのうち、マグロや枝豆、豚肉、紅芋については実証終了後も学校給食への提供を継続していることに加え、市内の飲食店にも食材の供給を行っておりますが、その中にはこれまで利用されていなかった未利用食材を活用するなど、各事業者のご努力により自走化についても成果を上げているところです。

次に、６次産業化・地産地消支援事業につきましては、今年度で３年目となり、市内で六次産業化や地産地消に取り組む事業者へ加工機材等の導入を支援してまいりました。これまで令和４年度、令和５年度の２年間の実績として、補助金を総額1,560万円支出し、支援を行ってまいりました。その結果、支援前の売上げ5,263万円に対し、支援後の売上額は約２億732万円と約４倍の伸びを示しております。このことは、六次産業化の活性化及び地元農畜水産物の取扱量の向上に寄与するものであり、本事業においては令和４年度から今年度にかけまして毎年平均10事業者が交付を受けている状況もあり、事業者からの継続的な要望もございますので、今後は事業拡大も視野に入れ、検討してまいりたいと考えております。

◎長崎富夫君

そこで、市長、これは市長の強い思い入れで設置した産業振興局だと思っておりますが、市長の見解もお伺いできませんか。

◎市長（座喜味一幸君）

六次産業、生産から加工、販売、商品化等々の流れ、我々宮古島にとって大変重要だと思っておりますし、この産業振興局の取組、学校給食から始まったんですけれども、例えば熊本県山鹿市の友好都市間での学校給食の利用だとか、確実に六次産業化が進んでいる。宮古島商工会議所にも製造業部ができまして、

その辺の地元の農水産物を確保するというような六次化の取組等も進んでおりますから、この地域内の資源というものをぜひともに有効にし、高付加価値化して観光客も併せて拡大していく。願わくばその学校給食から地域内のスーパー、商店街、ひいては県外までいい商品が開発されることを期待しております。

◎長崎富夫君

次に、所得向上、取組についてお伺いします。

市長の公約の一つである市民所得10%向上について、６月定例会で当局は、県が発表する市町村民所得や県民所得を基にしているため、所得データと単純に比較できない、本市では市民所得向上に関する現状を把握する数値として市町村民税の家庭状況から見る所得のデータから１人当たりの所得額を算出、これを補完指標として設定しているとしております。その１人当たりの所得は、給与所得、それから営業所得、農業所得の区分で構成されており、令和２年度と令和５年度を比較しますと全ての区分で所得額が増加している、市民１人当たりの年間所得は2023年、243万6,000円、2020年度の226万1,000円と比べて17万5,000円増加、上昇率を7.7%と当時の副市長はお答えされております。その要因として様々前副市長は述べられておりますが、これまで取り組んできた農家への生産基盤の強化とか、それから災害などに対応する共済への加入促進とか、あとは航空路線の誘致をはじめ、観光振興への取組が功を奏したとか、そういう要因をるる述べられております。

そこで、令和６年度、これ令和７年３月末までの市民所得の向上、この見通しについてはお答えできますか。

◎企画政策部長（久貝順一君）

所得向上に向けた令和６年度末の見通しについてお答えをいたします。

長崎富夫議員が質問の中で言った部分と重複する部分もありますけども、お答えいたします。市民所得向上の取組につきましては、基本指標である１人当たりの市町村民所得の公表数値が当該年度の３年度前の数値となるということから、現時点での状況を把握するため、市が独自で有する市町村税の課税状況から見る所得データを補完指標として設定をしまして現在の状況を把握しております。現時点における補完指標の最新値は、基準年度である令和２年度と比較しますと、率にして7.7%の伸びとなっております。今後の見通しにつきましては、新たな課税状況のデータの更新は来年度となるため、現時点で具体的な数値についてはお示しできません。市としましては、これまでのデータを踏まえますと、市民所得向上に着実な進展が図られていると考えております。今後も市民所得向上懇話会での議論を行うなど、官民が連携を図りながら、市全体で取り組んで継続していきたいと思っております。

◎長崎富夫君

次に、水産業支援の成果についてお伺いします。

令和３年に起きた小笠原諸島の海底火山噴火による軽石被害に対する支援など、水産業においても漁業従事者に対して多くの支援策を講じてきているものと思っております。その実績を示してください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

市では、養殖漁業者に対して網の購入、更新方針に対する支援など、水産業振興に係る支援、海面漁業の漁業者に対してもカツオ漁で使用する餌の確保など、様々な支援を行ってまいりました。令和４年度においては、約530万円の支援を行っております。また、直接漁業者への支援ではありませんが、漁業協同組

合の製氷施設の修繕として令和４年で200万円、令和５年度においても約2,450万円の支援を行っているところでございます。また、今年度、６月定例会と11月臨時会において水産業振興に関する補助金を令和５年度に比べて約1,200万円増額するなど、2,100万円の予算を確保して、今後とも漁業者の経営安定に向けた支援に取り組んでまいります。

◎長崎富夫君

次に、沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減、いわゆる航空運賃離島割還付についてお伺いします。

１点目に、この事業で県は12歳までの航空運賃について軽減措置を小児運賃からさらなる負担軽減を図り、差額に対して還付している。小学校６年生で12歳の誕生日を迎えた児童とそうでない児童との間に、同じ学年でありながら移動負担の軽減を図る行政サービスに格差が出ている。そのことを解消するため、12歳を迎えた時点で打ち切るのではなく、小学校６年生として平等に還付が受けられる仕組みを県に働きかけてほしい、２点目に、仮に県が還付措置できなければ本市のほうで対応することは可能か伺いました。前副市長から、本事業の対象外となっている小学校６年生については引き続き対象枠の拡充を県に要請するとともに、市として速やかな実施に向けて取り組むとのご答弁をいただきました。これまでの成果をお伺いいたします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

令和６年度から、令和５年度まで還付の対象外となっていた当該年度に12歳に達した小学校６年生につきましては、宮古島市小学校６年生離島割引航空運賃助成金として市が独自に還付を行っております。初年度となった今年度は11月末現在で135件の申請があり、金額にして24万6,300円の還付をし、負担軽減を図っているところでございます。

◎長崎富夫君

分かりました。

次に、難病患者への渡航費の助成についてお伺いします。この難病患者の助成数について、令和３年度から令和６年度の実績があればお示しください。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

難病患者への渡航費助成については平成25年度からスタートし、がん患者会との話合いを持ちながら拡充、対応してきております。渡航費支援の実績としましては、延べ人数、執行額の順でお答えいたします。令和３年度、572名、957万7,032円、令和４年度、801名、1,329万7,370円、令和５年度、972名、1,550万7,774円、令和６年度、10月末現在で696名、1,077万96円となっております。

◎長崎富夫君

以上、９点ばかりの項目について実績をお伺いいたしました。お答えいただいた実績等につきましては、また私なりに精査もしながら次回議論させていただきたいと思っております。

次に、都市計画行政についてお伺いします。空き家対策についてであります。令和６年３月定例会で、建設部長は、市営住宅の空き家件数については令和６年末現在、平良地域33戸、城辺地域33戸、伊良部地域６戸、下地地域７戸、上野地域19戸で合計98戸、そのうちの36戸は入居を予定しているとご答弁されました。６月定例会で、この空き家36戸のうち10戸のみについて募集するとご答弁がありましたので、そこで私はあと26戸についてはどうするのか質問させていただきました。

お伺いします。当初10戸の空き家に対して何件の応募があったのか、何件入居しているのか、また26戸の募集についての進捗状況も併せてご説明ください。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の地域対応活用計画において、市営住宅の空き部屋を活用することで定住の促進を目的として、若者を対象とした市営住宅10戸について、９月から入居者の公募を行っております。現在、４戸については入居が決定しており、残り６戸につきましても問合せ等について対応を行っているところで、入居していただけるよう取り組んでおります。また、本年度、空き家待ち募集で申込みがないなどの理由により空き部屋となっている部屋について、11月から常時募集を開始しております。

◎長崎富夫君

建設部長、さきに質問した議員に対して10戸のうち４戸しか入居していないというご答弁があったかなと思っているんですが、この10戸も入っていないという現状についてはこれ要因ってどういうことを考えられますか。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の10戸のうち現在４戸入居しておりますが、対象市営住宅としまして城辺福嶺市営住宅２戸、城辺福嶺第二市営住宅が５戸、城辺新城市営住宅が２戸、上野第二市営住宅が１戸となっております。その中で、城辺福里第二市営住宅に２戸、上野第二市営住宅に１戸、城辺新城市営住宅に１戸が入居しております。残りの６戸につきましても、入居していただけるように現在取り組んでいるところでございます。

◎長崎富夫君

これはもうせっかく市が費用をかけて整備しているわけですから、例えば要件を緩和するなり、そういう対策も取っていただいて、費用対効果が出るようなぜひ取組をやっていただきたい。これは要望としておきます。

次に、教育行政についてお伺いします。本市の当初予算に占める教育費10％以上の予算措置についてでありますが、令和５年度、本市の当初予算に占める教育費の割合は9.4％で、県内他市町村と比べて大変低い水準にありました。この予算には校舎改築、要するにハード事業なども含まれており、子供たちの学びに係る直接的な予算という観点からすれば本当に乏しく、次世代を担う子供たちへの投資は不可欠であることから、私ども与党市議団は令和６年度以降でも教育費予算割合を当初予算の10％まで引き上げる積極的な予算措置を求めてきました。早速要請に応えていただき、令和６年度は10％以上の教育予算を確保することはできたこと、当局には感謝しております。引き続き、令和７年度も当初予算に占める教育費の割合10％以上の予算措置を、その確保をぜひお約束してください。よろしくお願いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

令和６年度当初の一括交付金を含んだ教育関連予算は44億4,700万円、対前年度比約７億3,200万円、増減率19.7％の増、全体の予算に占める割合は10.5％でした。令和７年度予算についてですが、今年度から小中学校の電子黒板の入替えを進めており、令和８年度までに市内全ての学校へ設置予定です。また、各教室の電球のＬＥＤ化、洋式トイレへの変更等も進めているところです。さらに、西辺中学校校舎の改築工事も継続してまいります。ソフト面におきましては、今年度も拡充しました選手派遣費補助、英語検定、漢字検定などの各種検定料補助、修学旅行費補助、海外ホームステイ補助事業や児童生徒交流事業につい

ても継続してまいりたいと考えております。また、宮古馬の乗馬体験等の有料化に向けた宮古馬利活用ステップアップ事業や宮古方言保存継承事業も予定しております。博物館でのデジタルミュージアムの基盤整備事業、電子図書館サービス事業についても引き続き推進してまいります。令和７年度も宮古島市の教育充実、発展のために、本市の総予算に占める教育関連予算の割合が10%以上となるよう予算確保に努めてまいりたいと思います。

◎長崎富夫君

次に、学校給食無償化の取組についてお伺いします。

学校給食費の無償化につきましては、これ全国的に市町村首長に人気の公約でありますが、財源が限られている中で、全ての自治体が最優先課題とするのは難しい状況のようであります。各自治体の担当者は、多額の財源を要することで、自治体の財源で賄うことは難しく、国の責任で負担する制度にするべきだと訴えております。沖縄県は、令和７年度から学校給食の無償化支援事業について、給食無償化への取組の第一歩として、中学生の学校給食の２分の１相当額を助成する方針のようであります。本市にとっては大変ありがたい制度でありますので、本市では令和２年から学校給食完全無償化は実施していると承知しておりますが、この県支援事業も活用しながら、今後も充実した給食無償化を継続的に取り組んでいただきたい。

お伺いしますが、その実績についてお答えください。

◎教育部長（砂川　勤君）

本市では、令和２年度から学校給食費完全無償化を実施しております。ご質問の実績について児童生徒数、金額の順にお答えいたします。

令和３年度、5,118名で約２億4,300万円、令和４年度、5,157名で約２億5,900万円、令和５年度、5,114名で約２億6,500万円であります。令和６年度末には、5,029名で約２億8,300万になると見込んでおります。実績からしますと年々増加傾向にございます。参考までに、現在の給食費は小学校の児童が日額275円、月額5,000円、中学校の生徒が日額297円、月額5,400円と定めております。令和７年度からは、沖縄県学校給食費無償化支援事業も活用しながら、今後も子育て世代の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実が図れるよう給食費完全無償化を継続的に取り組んでまいります。

◎長崎富夫君

次の③、④、⑤の質問項目については、大変申し訳ありません。同僚の池城健議員とダブりますので、会派で調整いたしました。池城健議員からこの項目につきましては質問させていただきます。

次に、公立小中学校教職員住宅の確保などについてお伺いします。私どもの会派新政会は、宮古島市における教職員の職場環境に関するアンケートを実施いたしました。小学校63人、中学校33人から回答をいただいております。住居や生活に関し、島外から赴任される教職員の意見として、東京並みに高過ぎる家賃、住居の物件不足の課題が圧倒的な意見として上がりました。その意見として45件ありましたが、主な意見として、１点目に「公立の宿舎がないため、物件探しに苦労した。住居などのサポートをする制度や相談する機関があるとよい」、２点目、「内示が出てから不動産会社に電話した。キャンセル待ちで30番目ですと言われてショックです。宮古島に赴任できることがうれしかったのに、このような状況では他の人に異動を勧める気持ちになれない。赴任される方のためにも一定数の住居の借り上げ等ができればと思

う」、３点目、「赴任する学校は決まっても不安だった。教員住宅があれば助かる。県立には教員住宅があるのに、小中学校にはなぜないのか」、４点目、「久米島には市町村立職員用の宿舎がある。宮古島にもあったら助かる」、５点目、「異動者が安心して働くには住宅事情は最も基本的なこと。島嶼県として、県、市教育委員会が主導して改善してほしい。高過ぎる家賃、住居不足等大きな社会問題となっている今だからこそ、10年後、50年後の島の人材育成と島の在り方を念頭に、島民が必要とする住宅確保も含めて行政の最優先課題と取り組んでほしい」などの意見がありました。特に今申し上げた５点目の意見は行政や私たち議会への切実な訴えではないかと思っております。

そこでお伺いしますが、公立小中学校教職員の宿舎の確保、これは建築も含めて当局の見解をお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

９月に実施されました教職員の住居に関するアンケート調査の結果を共有していただきまして、ありがとうございます。ここ数年の本市における賃貸住宅の家賃高騰や入居困難な状況により、島外より赴任してくる教職員が住居探しに苦労したり、物件が見つかるまでホテル住まいを強いられたりと、本市への異動に不安を感じていることが伝わる内容でございました。先日も宮古教育事務所とこの問題についても情報共有と意見交換を行っているところでございます。教育委員会としましては、引き続き各学校や宮古教育事務所と連携を図るとともに、関係部局が進めている市営住宅の活用、空き家対策等についても情報収集を行い、また既存の伊良部地区の教職員住宅の改修をし、活用することも視野に進めていきたいと考えております。その際、島外からの赴任教職員への通勤距離に対する意見等も聞きながら、小中学校教職員の住居問題に取り組んでまいります。

◎長崎富夫君

この問題は本当切実な教職員からの意見であります。本当に島外からの優秀な教職員、人材確保の観点からも看過できない問題だと思っております。行政として、議会として真剣に取り組むべき課題であることを指摘しておきたいと思っております。

次に、道路行政についてお伺いします。平良松原市営住宅の坂を下った交差点から久松小学校に至る道路、児童生徒の通学路でもあります。ギンネムの木や雑木等でどこが歩道か分からない。特に農業用給水施設のある交差点付近の状況がひどい。少々の雨でも水たまりができ、歩道を通れない状況であります。これにつきましては、担当にも現場を確認するように申し上げましたが、その水たまりを避けるように歩道を子供たちが歩いている。大変危険でありますので、現状を確認し、早急な対策をお願いしたいと思っております。

◎建設部長（川平陽一君）

長崎富夫議員ご指摘の道路は、市道松原26号線になります。現在、多数の除草要望があるため、ご指摘の路線については12月中、遅くても来年の１月中に対応を行う予定でございます。また、水たまりの箇所につきましては、現場を確認したところ雑草、土砂の堆積が確認されております。雑草の除去、土砂の除去を行い、改善が見られない場合は別の対応策を検討してまいりたいと考えております。

◎長崎富夫君

この件につきましては、先ほどの上地廣敏議員からも下地地域について指摘があったとおり、やはり優

先的には学童、子供たちの安全確保、そして上地廣敏議員がおっしゃった観光道路、メイン道路、この整備を優先的にぜひ進めていただきたい。これ要望としておきます。

次の②につきましては、確認したところ近いうちに工事に入るということでありますので、②はよろしいです。

③の、坂のところに２段になった段差があります。特に坂の上側の段差がひどい。土のうなどで応急処置されていますが、途中に宮古地区トラック事業協同組合がありますよね。そこでダンプの、大型車両の通行が多くて、車に引きずられて土のうも役に立たない。あしたから沖縄製糖株式会社の操業も始まります。大型車両の往来も増えることが予想されます。特に前方段差ありの立て看板あるんだけど、読めない、汚れて。もうあれを理解する頃にはすぐ段差です。その辺を、あの立て看板だけでも読めるようにぜひ指導して、お願い。本当です。もう読めない、全然。あれを理解する頃にはもう段差に入っています、車は。ぜひあれは、その注意喚起の立て看板だけは早急に改善してほしいと思います。よろしくお願いします。お答えください。

◎建設部長（川平陽一君）

長崎富夫議員ご指摘の路線につきましては、A―56号線になります。ご指摘の箇所の段差につきましては、既存道路と改良済み箇所に段差が生じている状況でございます。長崎富夫議員が指摘しておりますように、当初土のうなどで段差の解消をしておりましたが、大型車両などの通行により劣化し、現在は危険な状況になっております。現在、段差の解消に向けて調整しておりまして、早急に長崎富夫議員がご指摘しておりますように立て看板等の対策を行い、交通に支障が出ないように対策をしてまいります。

◎長崎富夫君

ぜひ早急な改善をお願いしたいと思っております。

最後の質問ですが、大型プロジェクト事業についてお伺いします。新総合体育館建設、し尿等処理施設、平良庁舎を活用したにぎわいの拠点事業等々、大型プロジェクト事業が動き出しております。市長の見解と事業遂行に対する決意をお伺いします。

◎市長（座喜味一幸君）

大型プロジェクトの取組についてお答えします。

新総合体育館の整備につきましては、本年度で解体、設計を実施して、年度中に解体工事を着手いたします。また、並行して実施設計に着手し、来年には本体工事を実施、令和９年度中の供用開始に向けて取り組んでまいります。今回整備する総合体育館は、市民、各競技の日常利用に加え、プロスポーツ団体合宿及び各種大会の開催に対応できる施設として整備を進めてまいります。スポーツアイランドとしての拠点になるものと思います。

次に、し尿等処理施設につきましては、現在、工事の終盤を迎えております。令和７年４月に供用開始される見込みとなっております。同施設の総事業費が26億8,600万円、既存の施設よりも機能を増強し、隣接する浄化センターと一体となる共同化を推進するもので、将来にわたって安定したし尿等の処理が行われる計画となっております。今後、宮古島市の環境保全並びに市民生活の衛生面での向上に寄与するものと考えており、さらに増加が見込まれる観光客等にも対応できるものと期待をいたしております。

もう一点の平良庁舎利活用事業につきましては、本事業は本市で初めてとなります民間資金等の活用に

よる公共施設等の整備等を行う事業となります。平良庁舎は平良港からも近く、中心市街地の優れた立地環境であることから、利活用を図ることで観光客や市民、クルーズ船で訪れる外国人観光客など多くの集客により、市街地における新たなにぎわいの拠点の創設につながるものと大変期待をしております。

◎長崎富夫君

私の質問は以上ですが、今年も本日を含めてあと20日を残すのみとなりました。市民の皆様には、令和７年のよい年をお迎えくださるよう祈念申し上げます。来年、宮古島市は合併20周年を迎えます。様々なイベントを企画されていることと思います。小学生から18歳を対象に市制施行20周年記念ロゴマークの募集も10日から始めたと聞いております。そして、年明け早々、１月19日には市長選挙が行われます。第６代宮古島市長が決まります。またこの議場において宮古島市発展のための論戦ができることを楽しみにしております。

これで私の一般質問終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで長崎富夫君の質問は終了しました。

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午後零時01分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

午前に引き続き一般質問を行います。

順次質問の発言を許します。

◎上地堅司君

12月定例会、通告に従って質問したいと思います。当局は愛のある答弁をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

まず建物行政ですけど、県営住宅と市営住宅について、家賃について伺います。家賃はどのように設定されているか伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

公営住宅の家賃につきましては、公営住宅法第16条において、当該入居者の収入及び当該公営住宅の立地条件、規模、建設時からの経過年数、その他事項に応じて、かつ近傍同種の住宅の家賃以下で、政令で定めるところにより事業主体が定めるとされております。家賃の上限額及び下限額につきましても、当該公営住宅の立地条件、規模、建設時からの経過年数、その他の事項に応じて算定が異なることとなります。また、家賃の算定方法につきましては、公営住宅法で定められておりますので、県営住宅、市営住宅とも同様になると思います。

◎上地堅司君

なぜこの質問をしたかというと、先月20代の夫婦から相談がありまして、市営住宅の抽せんに４回落ちて、今年ようやく５度目で当選しまして、夫婦２人喜んでいました。そして、役所のほうに書類を提出に行った際、なぜか２人の収入では入居できませんということがありました。この夫婦から相談あったのは、

その理由が去年の夫の収入と今年の妻の収入だと基準を超えるということで落とされたということです。今話に出た年収、いろいろあると思いますけれども、この夫は今年１月から３月まで体を壊し、３か月間休職していました。そのおかげで、妻はパート職員していたんですけど、やはりしっかりと会社に働かんといけんと６月からちゃんとした会社に入り、現状で働いています。その中で、なぜこの若い20代の夫婦は、今の生活がぎりぎりなのに去年の収入、また今年の妻の収入を加算されないといけないか、これが不思議だと言っていました。それは私もそうだと思います。その基準として、何を根拠にし、この若い20代の夫婦は今子供が１人おります。その中で、今年に入り、アパート代も物価高騰で上がり、４月からは保育代も上がり、いろんな面で今の給料では全然足りないということです。これは誰でも分かるように、今まで夫の給料が、多分去年は残業があったんではないですか。あって高収入だったと思うんですけど、今年になり病気になり、やっとのことで５回目にして市営住宅に当選し、喜んでいた矢先にこういった役所から言われるというショックを受けていました。そして、この20代の若者夫婦から、ぜひ宮古島に若者夫婦や子供の多い家族のために安心して長く住める場所を増やしてほしいという訴えが私にありました。そのことで市長、市長はどうお考えですか、お伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

上地堅司議員がおっしゃっていることもよく理解しますが、市営住宅の入居条件がありまして、特に家賃の基準が、扶養人数により控除した額が15万8,000円以下という基準があります。その基準は国で定めておりますので、そういったいろんな要望があってもこういった基準を超えての入居が困難であると考えております。

◎上地堅司君

これは私も調べて分かります。15万8,000円というのは安過ぎだと思います。今のこの年で、物価高騰、20万円持っても足りないと思っているんです。だから、一応２番目の見直しはできないかと思っているんですけど、本当に最低ライン、最高ライン、上限をつけて、若い人が、若い夫婦が住みやすい市営住宅の仕組みをつくるのがまずは優先だと私は思います。今県から２万円、来年度からまた２万円ですか、補助があるということで、ですけど宮古島市は今若者が減ってきています。若者が減って、子供もつくれない状態。なので子供も増えない。その解消をするためには、要するにできるのは市営住宅の値段を一定の基準において、収入は収入で、今の若い人なんかは２人の収入合わせても多分一定の基準は超えると思います。ですけど、この若い方々が、車を買ったり、子供を保育園に預けたり、紙おむつを買ったり、いろんなもので今借金をして暮らしているんです。蓄えている人は違うと思いますけど、やはりお互い一緒になり、一緒に頑張って暮らしている間、最初のうちは誰でもお金は足りません。その中で、この15万8,000円、今言えば103万円の壁といって、宮古島、この15万8,000円ではなくて、やはりこの若い夫婦が、２年前から市営住宅を申し込んでいるんですけど、４回落ちて、今回ようやく５回目で当選しています。その中を考えたら、本当にこの２年間、やっと子供を産んで１人育てているんですけど、生活は苦しい状態です。それをやはり支援するのが宮古島市かなと私は思っています。なかなかこういった、もう数字を置いておって、そこを、その来ている夫婦の話をちゃんとどういった状況か聞くのも市の役目かなと。その基準もある程度、本当にこれ払えるか。中には払えない人もいるかもしれない。ですけど、この基準というのはやはり若者のためにはなっていないと思います、私は。やはりしっかりとこの基準を変えてもらいたいで

す。

それでは、イの家賃の見直しはできないかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

公営住宅の家賃については､公営住宅法において算定基準が定められているため見直しはできませんが、当該入居者の収入や扶養人数などに変動があった場合などについては、届出による収入の再認定を行い、家賃の算定を行っております。

◎上地堅司君

今言っているように家賃の見直し、設定、やはりなかなかこういった状況だと若者は市営住宅も住めない。今の状況だと本当に若者は宮古島から出ていきます。若者を呼ぶためには、やはりそういった市営住宅、そういったのをもう少し若者向けに、20代、30代、40代も、高齢者のためにも、やはりそういったものを考えていくことが大事だと思っています。ぜひともやはり一人も残さない宮古島、若者が楽しく、本当に宮古島でよかったという、若者の住める宮古島をつくってほしいと思います。ぜひとも改善をお願いします。

続いて、市営住宅の修繕の進捗状況をお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の地域対応計画に係る10戸につきましては、現在４戸の入居を決定しており、残り６戸についても現在問合せ等について対応中となっており、修繕も順次対応しております。その他空き部屋については､11月から常時募集を実施しております｡空き家修繕につきましては､前年度60件でしたが､今年度は10月末時点で52件となっており、申込者の皆様の入居がスムーズに行われるように取り組んでいるところでございます。

◎上地堅司君

今空き部屋あるということで、空いているのに年収、収入の格差で、入りたいけど入れない人がいますよね、多分。だから、スムーズに埋まらない。そういったのを還元して、そのまま空けておくより、要するに中には若い人で入りたい人いっぱいいると思います。その数字の壁があるからこそ、何か待遇が、寄り添って、若者、入居者のために考えてないんではないかと私は思っています。本来でしたら空いているのはみんな埋めて、やはり住めば収入も宮古島市に入るし、空けておくよりか入れてある程度の収入取ったほうが宮古島市のためになると思います。だから、こういった基準はある程度その状況を見て考える必要があるんではないですか。もう一回お伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

空き部屋の修繕につきましては、これまで入居者が決定した後に行っておりましたが、入居までに時間を要していることがありましたので、今年度から空き部屋については入居が決定する前に修繕を行うように変更しております。

◎上地堅司君

ぜひとも空いているのを活用して、若者、高齢者でも市営住宅に住むことができるようにしてください。

続いて、③、公営住宅の管理は何者で行っているかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

公営住宅の管理につきましては、市営住宅、県営住宅についても指定管理者制度での対応となっており、宮古地区においては各１者での管理となっております。修繕については、民間のホテル建設等により、修繕事業者の確保に苦慮していることもありますが、入居に遅れが出ないように対応しているところでございます。

◎上地堅司君

県営住宅も市営住宅も１者で、この１者で指定管理しているということで、１者ではやはり修繕滞りなく、スピーディーに解決できないと私は思っています。こんだけ多い市営住宅、県営住宅があるのに１者で賄っているというのは、そこを下請で多分修繕に入っていると思うんですけど、やはりそういった大きな市営住宅、県営住宅は最低でも２者、３者ぐらいで分けて管理させたほうが修繕のスピードはすぐ解決すると思うんですけど、どうですか、建設部長。

◎建設部長（川平陽一君）

上地堅司議員ご提案の内容の分割管理につきましては､複数の事業者へ分割することにより委託費の増、また修繕は限られた島内業者への発注という形態は分割しても変わらないことから、現在検討しておりませんが、今後、状況等を確認しながら対応してまいりたいと考えております。

◎上地堅司君

考えていないということで、もう一度聞きます。

どうしたらスピーディーな改善はできると思いますか、お伺いします。市営住宅の修繕は。あと52件。

◎建設部長（川平陽一君）

市営住宅の修繕につきましては指定管理者に委託しておりますが、複数の業者から見積りを徴取して、見積りや県の修繕単価等と比較して安価なところに修繕を依頼しております。その件につきましても、修繕は今年度から空き部屋が空いた段階で、入居をする前に修繕はやっていきますけども、このように建築の、島内の施工業者少し形態がありますんで、その辺を今後検討していきたいと思っております。

◎上地堅司君

52件ですか、ぜひとも早めに修繕をし、10件、20件ではなくて、業者が足りないかもしれませんけれども、しかし遊ばせておくのはもったいないですので、どうか早めの対応をお願いします。

続いて、体育館について。総合体育館の進捗状況をお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

総合体育館の解体工事につきましては、現在、契約検査課に入札を依頼しているところで、12月中には落札業者が決定し、来年１月中旬頃には契約を締結する予定で進めております。また、実施設計業務につきましても、受注者も決定しており、これから本格的な詳細設計に入ってまいります。

◎上地堅司君

ちなみに、完成までの年数はどれぐらい、何年度ぐらいに完成予定を考えていますか。

◎建設部長（川平陽一君）

解体工事で少し遅れがございますが、全体の工程を見直しながら、供用開始については令和９年度末を予定しております。

◎上地堅司君

令和９年度には完成して、令和10年度に多分国民スポーツ大会があると思います。それまでにはぜひとも完成をしてほしいなと思いますので、よろしくお願いします。

続いて、今管理している体育館使用についてお伺いします。今総合体育館が使えない状態で、上野体育館、下地体育館、そこを頻繁に多分使用していると思います。その使用状況と現状をお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

体育館の使用状況についてお答えいたします。

現在、メインとなって使用している上野体育館は、一般社団法人宮古島市スポーツ協会による指定管理、また下地体育館は市の直営で管理しているところでございます。利用時間は、いずれも９時から21時30分になっております。専用利用に関しましては、いずれも予約システムから申請していただくことになっており、予約は先着順になっております。また、予約が入っていない時間は、いずれも個人利用が可能となっております。下地体育館につきましては、17時以降は予約が多く、個人利用ができないとの問合せが多かったため、昨秋から毎週火曜、水曜日に個人利用日を設けているところでございます。また、来年４月以降になりますと、下地体育館も宮古島市スポーツ協会による指定管理となる予定のため、上野体育館、下地体育館いずれも連携して効率のよい利用ができるよう努めてまいります。現状、総合体育館が閉館になったことにより、利用者の方々にはご迷惑をおかけしておりますが、新体育館完成までの間ご理解とご協力をお願いいたします。

◎上地堅司君

多数の方から今言っているように体育館が使えないとか、どのように使ったらいいかとか、問合せがよく来ています。本当に今総合体育館が使えないために上野体育館、下地体育館を利用する方が多くなってくると思います。ぜひともみんなが使えるような時間体制、予約なしでもできる、今言ったように、そういった個人の方々にもちゃんとした体育館で運動ができるような環境をつくってほしいなと思います。

続いて、小中学校の体育館の使用について伺います。この体育館ですけど、分かる範囲でいいですから、上野小学校、上野中学校、下地小学校、下地中学校、平良地域の各小学校、中学校体育館、どういった団体が使用しているのか、分かる範囲でいいですので、それもお願いしたいと思います。

◎教育部長（砂川　勤君）

一般のスポーツ団体等が市内小中学校の体育館を借用する際は、施設を管理する学校長と借用代表者が使用目的や使用上の管理方法等について面談を行い、施設使用上の留意点や条件などを確認した後、学校長が使用を許可する手順となっています。一般の利用は、平日おおむね午後８時から10時、休日はおおむね午後７時までをめどに使用を許可していると確認しております。総合体育館の建て替えに伴って、教育委員会としましては学校長宛てに令和６年11月15日付で文書を発出いたしました。内容といたしましては、総合体育館の建て替え工事に伴い、活動場所がその他の公共施設に限定されていることから、スポーツ活動等に興味、関心を持つ小中学生が所属するスポーツクラブ等から施設使用申請があった際には、使用許可について弾力的に対応するよう依頼したところでございます。

教育活動、体育館の使用でございます。例えば市内であれば、平良第一小学校であればバドミントンサークル、琉球國祭り太鼓といったサークル、あとは上野地域であれば上野クラブ、バレーボール、バスケットボール、琉球國祭り太鼓、下地地域におかれましては、サークル名は分からないんですけども、宮古

病院の職員へ貸出しを行っております。城辺地域におきましては、地域のＰＴＡバレーボールといった内容が主になっております。

◎上地堅司君

このように、言っていたように総合体育館が使えない分、多分小中学校の体育館を利用する機会が多くなってくると思います。今言って、もう一度、時間は９時まで、10……

（何事か声あり）

◎上地堅司君

10時。昼ね。午後。10時。夜の10時ね。

◎議長（平良敏夫君）

議長を通してください。

◎上地堅司君

すみません。時間帯は午後10時で。分かりました。ぜひよろしくお願いします。

次に行きたいと思います。④、結の橋学園の体育館に審判台購入することができないか。これは、私は２年前ですか、入っている当時から言っていることなんですけど、前は学校長とも相談しながら、学校長の要請があれば審判台の購入はしていいよという言葉があったと思います。ただし、学校側は審判台よりか学校の備品が欲しいと、それから優先だよと前は答えたと思います。それは当たり前のことで。ですけど、今総合体育館が使えなくなって、宮古島で大きい体育館というのは結の橋学園の体育館が一番大きいです。バレーコートも３面取れるし、バスケットは２面ですか、取れるんですけど、やはりこれから大きな県大会とか地区大会、そういった大会のたびに結の橋学園体育館が使用されます。

それでお伺いします。審判台の購入はできないか。よろしくお願いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

これまで答弁しましたとおり、結の橋学園体育館ではこれまでも様々な大会が開催され、伊良部地域のみならず、本市全体のスポーツ振興に寄与しているものであり、市の総合体育館が建設されるまでの間、結の橋学園体育館の必要性はますます高まっているものと考えております。そのような中で、本市の子供たちも多く参加するバレーボール大会の審判台の代替として跳び箱を使用しているということを現状としてお伺いしております。やはり適当ではないと思いますので、審判台の購入は前向きに考えているところでございます。ただ、結の橋学園において、現状として体育館倉庫に新たな審判台を保管するスペースがございません。適正な保管場所以外に置くことは児童生徒の安全性に関わることから、学校での保管、管理は厳しいとの意見をいただいております。そのため、購入した際には当面、例えば旧佐良浜小学校体育館で保管し、大会の際に旧佐良浜小学校から移動していただいて使用していただくということを想定してございます。

◎上地堅司君

これ購入するということでよろしいですか。ありがとうございます。この審判台ですが、総合体育館にある審判台は大きいです。要するに子供たちが使える、移動できるような、それが安いので、ぜひそれを購入してもらえたらと思います。総合体育館の審判台は移動も大変で、子供たちには到底難しいので、そういった大きいのを考えずに、普通に子供たちが使える審判台を購入してほしいと思いますので、よろし

くお願いします。

◎議長（平良敏夫君）

質問ですか。

◎上地堅司君

すみません。続いて、道路行政についてお伺いします。

街路樹、防風林について。街路樹は、９月定例会の質問で、交通の妨げになっている箇所は10メートル範囲は切っていいというのを述べていました。ですけど、防風林がいまだにそういったのが聞こえていないので、防風林のある交差点は交通の妨げになっているところも結構あります。

その中で聞きます。防風林は、その妨げになっている10メートル、伐採はできないですか、お伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

防風林の伐採についてですけども､防風林はやはり農作物とか農地とかを守るという役割がありまして、補助事業で植栽されております。伐採については、やはり補助金等に係る予算の適正な執行に関する法律を確認しながら進める必要があると思います。まずは交差点部分の下枝などの剪定を行い見通しがよくなるように取り組みながら、特に危険と思われる箇所については道路利用者の安全を最優先に考え、公安委員会とも現場を確認し、カーブミラー等の設置や現場に必要な対策を行っていきたいというふうに考えております。

◎上地堅司君

街路樹に比べて防風林はもう３メートルびっしり生えています。そして、今言っているように、その防風林の横にはサトウキビもできません。野菜も。これはもう現状的に見直したほうがいいと思います。ですから、やはりそこで事故が起きた場合、私も何か所かもう冷や冷やしたところがあります。もうちょっと前に行かないと車が見えません。万が一ここで事故して命を落とされた場合、誰が補償しますか。国ですか、県ですか、市ですか。この防風林のおかげで。見えないおかげで。全然補償しないでしょう、県も国も。そのために、防風林よりも人の命が大事ですか、お答えしてください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

防風林によって見通しが悪くなって、市民や来島者の生命に影響を及ぼすと大きな問題ですので、対策は必要だと考えております。上地堅司議員からご指摘がありましたとおり、農道から県道や市道へ出る際の交差点等で見通しが悪い、防風林のせいで見通しが悪くなっているというところがありますので、見通しがよくなるように剪定作業をまず行っていきたいと。それでもやはり悪いようでありましたら、伐採に向けて話合いを進めていきたいというふうに思っています。今年度においては、上野千代田地区の自衛隊宿舎から上野小学校方面への県道沿いで、県営ウナトウ地区で整備した防風林の剪定作業を行う予定にしております。

◎上地堅司君

ぜひとも見通しがよい道路にしてほしいなと。もう防風林を見ても何十年になる地域ですので、やはりそろそろ見直しが必要ではないかと思いますので、そういった面、やはり安心、安全で暮らせる宮古島にしていきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

続いて、もう一つ道路行政、アスファルト修繕について。上野給油所から宮国公民館までの道路が凹凸が多く、車の運転も支障を来しています。アスファルトの修繕ができないかお伺いしますけど、これ私も毎年これは１年に１回は質問していると思います。本当に年々道路が本当に大変な状態になってきているのが車を運転して分かります。そこでは、何年前ですか、事故もあって、死亡事故も起きています。本当にそれが影響なのか分からないんですけど、やはりハンドルが取られたり、オートバイのあれで段差があったりしたら死亡事故にもなりかねません。ぜひともアスファルトの修繕をしてほしいなと思いますので、よろしくお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

上地堅司議員がご指摘の道路は県道になります。県道を管理する沖縄県土木事務所に確認したところ、「ほかにもアスファルトの修繕を必要とする箇所が複数ある状況であるとなっています」との回答を受けております。「当該箇所のアスファルト補修につきましては、今後、優先度や予算の状況を踏まえ、実施に向けた検討を進めてまいります」という回答をいただいております。

◎上地堅司君

やるかやらないか分からないですけど、ぜひやる方向で進めていってほしいなと思いますので、よろしくお願いします。

続いて、環境行政について。産業廃棄物処理について。現在、産業廃棄物処理はどのように行われているか。ビニール、マルチ、発泡スチロール、タイヤなど、各業者の受入れ場所、受入れ業者並びに、分かる範囲でいいですから、マルチはキロ幾らとか、そういったのが分かるような分かりやすい答弁をできればお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

農業等で排出される廃ビニールなどの廃プラスチックにつきましては、産廃処理業者の機器が故障しているということで、８月頃までは受入れを止めていたところですが、市内の産業廃棄物の処理業者に９月から受入れを再開しております。午前中も上地廣敏議員にお答えしたところですけれども、機械が故障している、でも農家の皆さんも置く場所がないということを受けまして、市の最終処分場の敷地の一角を提供して、仮置場ということで提供しまして一旦仮置きをして、それで10月頃から機器の故障が解消されたのに伴いまして徐々に処分を行っておりますので、10月頃からは堆積しているという困っている状況は徐々に解消されつつあるとの報告を受けているところです。発泡スチロールにつきましては、市内には３業者、処分を行っている事業者がございます。１か所は埋立てによる処分、もう一か所は焼却処分を行っておりまして、１者に関してはもともと溶解、溶融していると。発泡スチロールに熱を加えて小さくしまして、その成形したものを再資源化するような処理方法でもって処理を行っておりました。焼却処分を以前から行っている１者に関しましては、10月から大型の溶融設備を導入したところで、そちらのほうでも発泡スチロールの処理は以前に比べて規模を大きくして行っていると聞いております。事業者名と金額につきましては、民間事業者のことでございますので、議場での答弁は控えさせていただきたいと思います。詳細につきましては、衛生施設課のほうにご連絡をいただくか、宮古保健所のほうにご連絡をいただければご案内をしたいと思います。

廃タイヤにつきましては、市内に産業廃棄物事業者、処理ができる、そちらの中間処理を行っている事

業者は最終処分もしておりますが、普通自動車程度のタイヤであれば受入れをしているとのことです。これは、細かくチップにして埋立てをしているという処理の方法です。大型のタイヤにつきましては受入れをしておりませんので、そちらは沖縄本島のタイヤの処理事業者のほうに海上輸送をして処理を行うという方法になります。上地堅司議員がおっしゃいますように、分かりやすい説明をしてほしいということですが、なかなか事業者名をここで挙げて説明するわけにはいきませんので、そちらに関しましては担当課のほうに、衛生施設課になりますので、一度ご連絡をいただいてお問合せいただきたいと思います。

◎上地堅司君

やはり一般市民は、要するに何か表にビラとかいろんな載れば、広告でも、そこの業者が何々扱っているとか、そういったのを周知すれば持っていくときにも楽かなと思いますので、やはり役所の前でも分かりやすい、どこかチラシでも何かやればちりの回収、今日は燃えないごみとか、そういったふうな感じで、どこどこの産業廃棄物処理会社は何々を受けていますとか、そういったのを周知してもらえれば一般市民も何かあったときには持っていけるかなと思いますので、今後よろしくお願いします。

続いて、前浜海岸の対策について沖縄県、宮古島市はどのように考えているのかお伺いしますけれども、年々、この10年間で前浜ビーチの西側の砂はもう半分以上なくなっているかなと。多分ここにいる皆さんも見ていると思います。もう毎日毎日変化しています、海岸が。だけど、県も市も何ら改善対策をしていないように見えています。全然それが見えていませんので、この質問を入れました。沖縄県も宮古島市もこの問題に対してどのような考えを持っているかお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

前浜海岸の浸食への対策でございます。前浜海岸の浸食に対しましては、宮古島市としましてもこの浸食が始まったときから沖縄県に対して対応策を要請しているところでございます。沖縄県との意見交換も行っているところでございまして、要望書等も出しております。現在の状況でございますが、所管する沖縄県宮古農林水産振興センターに確認したところ、東急ホテル＆リゾーツ南側の浸食部分について、前浜海岸応急対策工事、こちら斜度をつけてえぐるような浸食を止める工事でございますが、こちらを発注しており、12月中旬に着手の予定となっております。当該工事を終えた後、浸食の要因と対応策は別途検討していくということでございます。市といたしましては、応急対策工事終了後、速やかに原因究明を図り、浸食防止対策の本設工事を実施するよう沖縄県へ要望してまいります。

◎上地堅司君

前浜ビーチは東洋一の美しいビーチですので、このビーチをいつまでも残していくためにも、今解決、対策をしないともうあと10年後には前浜からこの美しい砂浜がなくなる可能性も見えてきていますので、ぜひみんなで考えて対策をしていきましょう。

続いて、市長の政治姿勢について。市長は２期目の出馬表明をしましたが、どのようなスタンスで選挙運動を戦っていくのかお伺いします。

◎市長（座喜味一幸君）

どのような選挙戦を戦っていくかということですけど、これは秘密事項ということで、答弁を控えさせていただきたいと思います。ただ、やはりこれまでの実績を含めて私の政治姿勢、これからやろうとする政策、これをしっかりと訴えていくことに尽きると思っております。

◎上地堅司君

市長、今市長の支持者は自衛隊反対派が多く、多くの団体が支持していると思います。その中で市長にお伺いします。市長は、自衛隊反対派多くいますけれども、自衛隊の誘致は賛成と思いますけれども、どのような、この反対派と一緒になって進めていくのか、その気持ちをよろしくお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

保守、革新というような線引きをした在り方というのは、私は基本的にはもう時代遅れだと思っております。私は、保革を超えて地域がしっかりと立ち、地域の課題を地方自治としてどうやっていくかという時代に入ったというふうに思っておりますから、やはり市民ファースト、市民目線、宮古島市として５年、10年、将来をどう豊かな安定した美しい島にしていくかというのが最大の課題と思っています。おっしゃる自衛隊の問題に関しては、私は自衛隊容認であります。ただ、地元の協力を得ない防衛力の強化はない、安全保障はないということもはっきりしております。そういう意味では、しっかりと市民に理解を得ていくということが最も大切だと思っておりますから、その辺において私の宮古市民ファーストの会はある意味ではこれらの課題を、腹７分、８分という部分もありますけれども、乗り越えての選挙戦だというふうに思っております。

◎上地堅司君

自衛隊は容認ということで、ありがとうございます。ですけど、ちまたでは、４年前は青信号でしたけど、今は黄色信号になびいているということで、結構偏った政治姿勢になっているかなと思う点も見えています。ぜひとも今言った点を守ってくれたらありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

最後に、時間もあと11分あります。所見を述べたいと思います。今年、ようやく私が訴えていた南海岸、あずまや展望台の改修が今行われています。本当にありがとうございます。３年間訴えてきたのがようやく実って、そしてまた歩道の車止めとかそういったのもすぐ設置して、今対応してもらっています。本当に道路建設課の皆さん、ありがとうございます。本当に市民は何せすぐ対応することによって安心、安全な暮らしができると思います。ぜひとも予算がない、ないではなくて、要するに県との話合いもやりながら、やはり宮古島のことは宮古島の自分たちが解決するんだと、県の担当者、県ではなくて宮古島、そこをみんなで考えて、来年度は皆さんがよい年を送れるように、また宮古島市が明るい未来で１年間走っていくようにみんなで頑張っていきましょう。本当に１年間ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

◎議長（平良敏夫君）

これで上地堅司君の質問は終了しました。

◎狩俣勝成君

議員番号４番、本日の４番です。狩俣勝成です。通告に従いまして一般質問を始めていきたいと思います。

まず、市長の政治姿勢についてでございます。市職員の育児休業取得について。育児休業取得状況についてお伺いします。できれば男性職員、女性職員分けてお願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

育児休業取得について、令和４年度から令和６年度までの育児休業を取得した人数と割合についてお答

えいたします。

令和４年度は、男性職員育児休業対象者18人のうち２名が取得し、取得率は11.1％、女性職員は14人のうち14人取得し、取得率は100％となっております。令和５年度は、男性職員育児休業対象者17人のうち７人が取得し、取得率は41.2％、女性職員は18人のうち18人取得して取得率は100％となっております。令和６年度、現時点では男性職員育児休業対象者10人のうち３人が育児休業を取得し、取得率は30％となっております。また、女性職員は６人のうち６人が取得し、取得率は100％となっております。

◎狩俣勝成君

女性職員は100％ということであります。

②に行きますけども、育児休業を取得しやすい環境にあるかということなんですけども、これ新聞に明治安田生命が全国のゼロ歳から６歳の子供がいる既婚者を対象にインターネットで実施しております。その中で、550人の男性が答えて、育児休業を取得した割合は33.4％で、平均取得日数は40日だったと言っております。そこで、育休を取得した男性のうち1.6％が「取得後に職場でとても気まずく感じた」と回答した。「気まずく感じた」も16％、「少し気まずく感じた」も23.9％に上り、気まずいと感じた人が合計41.5％でした。気まずさの背景には、同僚の仕事の負担が高まることへの懸念、気兼ねなく育児休業を取得するには人員の拡充や同僚への手当支給が必要だとの声があった。また、気まずいと感じないための必要な制度を聞くと、人員の補充、同僚への応援手当、育児休業取得の義務化が上げられていました。それを踏まえて、市はどういう環境にあるのかお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

男性の育児休業取得者は女性に比べまだ多くありませんが、新採用オリエンテーションなどでも育児休業は性別にかかわらず取得できること、また育児参加に関する特別休暇が取得できることを周知しており、徐々に職員に浸透してきていると感じているところでございます。当市では、これまでに男性職員が育児休業から復職した際、狩俣勝成議員おっしゃっているような気まずい思いをした等の相談は今のところはございませんが、育児休業を理由とするハラスメントが起こることがないよう、必要に応じて研修等を実施し、防止策を講じていきたいというふうに考えております。また、今後も男性も女性と同じように子育てと仕事が両立できるような職場環境を整えていくとともに、これまで同様、制度の周知や取得促進を行ってまいりたいというふうに考えております。

◎狩俣勝成君

特に専門職といいますか、そういった人たちの育休が恐らく取りにくい環境にあるかなと思いますので、その面含めアンケート調査をしたり、いろんなの含めて対応していってほしいなと思います。

次に、ライドシェアについてです。日本版ライドシェア運行が宮古島でも金曜日、土曜日の午後４時から翌午前５時台に運行するほか、クルーズ船寄港の際は入港後１時間から出港前１時間までの運行がスタートしましたが、利用状況についてお伺いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

ライドシェアの本市での運行状況、利用状況についてです。２種免許を保有しなくても有償での旅客運送サービスが可能となる日本版ライドシェアにつきましては、先ほど狩俣勝成議員がおっしゃったとおり、本市では金曜日と土曜日の夕方４時から翌朝の５時までの時間帯とクルーズ船寄港時の時間帯での運行が

国から認められております。10月25日からタクシー事業者が主体となってサービスを開始されておりますけども、乗車実績につきましては、運行主体となるタクシー事業者へ確認をしたところ、12月９日時点で利用件数は６件とのことでありました。

◎狩俣勝成君

６件ということは、そんなにいないのかなと思っております。

これは、②に行きますけども、対応車両３台と乗務員２人で対応とのことでしたが、実際そういう３台、乗務員２人が本当に勤務しているのかというのを聞きたいんですけども、それが要するに６件しかないということは恐らく間に合っているということなのか、本当に需要がないのか、それとも繁忙期、観光シーズンとかそういったときになったらもっと増えてくると認識しているのか、その辺をお伺いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

対応車両３台と乗務員２人の対応ということで、タクシー事業者が国のほうに認可をする際の申請をしたところであります。実際、運行自体は開始したのが11月15日からという形にはなっております。その中で、金曜日と土曜日、あとクルーズ船寄港時という形の中でやっているんですけども、実際運行したのが11月15日のみとなったということで乗車実績が少なくなっております。この理由としましては、ライドシェアの乗務員に関しましてはやはり兼業する方がほとんどということもありまして、いろいろな都合があってこの中での日程が合わなかったということがあって、11月15日のみの乗車実績しかなかったということになっております。

◎狩俣勝成君

では、10月25日から開始したんですけども、11月15日、１日のみだったということでございますね。先日、久貝美奈子議員がおっしゃっていましたように、クルーズ船が寄港した際にタクシーを待つ列があって、何時間かかるだろうという話もされておりました。こういった繁忙期に、私のほうに運転代行事業者のほうから話がありまして、運転代行の活用はどうなのかとの問合せが運転代行事業者からありました。利用待ちの運転代行者が空き地や駐車場で待機しているのをよく見かけます。その空き時間を利用してライドシェアができればタクシー不足の解消につながるし、また運転代行業は運行管理責任者の設置の義務だったり、運転者の適性確認、保険の設置、２種免許が必要でありながら自家用車の運行が認められている、ほとんどライドシェアに近い実態を長年続けております。そしてまた、アプリがなくても現金でも利用できる。運転代行のほうにライドシェアを導入できれば、運転代行の既存のビジネスモデルとして幅広い運行ができるようになりますし、乗務員不足の解消にもつながると考えておりますが、見解をお伺いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

狩俣勝成議員ご質問のライドシェアについて運転代行事業者としてもそのライドシェアに参入できないかという内容かと思っております。日本版ライドシェアの制度につきましては、運行を実施する場合、道路運送法に規定する認可手続が必要となります。現在の法律ではタクシー事業の一環として運送サービスを提供することとなっていることから、運行認可はタクシー事業者に限られているのが現状であります。そのことから、運転代行事業者によるライドシェア運送はできないものとなっております。

◎狩俣勝成君

日本版ライドシェアということで、タクシーが主体となってやっている事業でございます。実は昨夜のニュースで、交通空白解消に向けて国が自治体へ財政支援を行うという話がありました。これを読んでみると、日本版ライドシェアについてはタクシー会社だけでなく、バスや鉄道の事業者の参入を促すため、制度に基づきほかの要件の緩和も検討するということでありますので、そういった運転代行事業者の意見も聞きながら、本当に代行って夜８時ぐらいからしか始まっていないので、そういったクルーズ船が寄港したときの昼間でも対応できればいいかなと思っていますんで、その辺十分検討お願いします。

次に行きます。地域づくり支援事業補助金について。地域づくり支援事業補助金が各地域一律となっている経緯についてお伺いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

地域づくり支援事業補助金は、市町村の合併後、地域の活性化を目的に旧町村区域で自主的に組織された地域づくり協議会の活動を支援するために創設されたものです。この事業は、地域づくり協議会の活動の支援を目的としており、一律で交付されております。これにより、現行の補助金制度の中で創意工夫を凝らした事業展開を実施していただきたいと考えております。また、過去の行政区分に基づき公平性を保つ観点から、現在の一律の補助金配分が維持されているところでございます。

◎狩俣勝成君

今公平性という話がありましたけども、この件に関して私が議員になる前から、合併当初からいろんな、この補助金に対しては各議員が質問しているというのは聞いております。

それで、②、今後も継続していくのか、見直しはないのかお伺いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

地域ごとの人口や面積に差があり、特に城辺地域のように活動規模が大きくなる地域においては負担感が増すことは考えられます。したがって、城辺地域から増額の要望がある場合、その理由と具体的な使途について十分調査し、ほかの地域への影響も考慮した上で慎重に検討を行う必要があると考えています。増額や金額調整を行う場合、その必要性や理由を明確にし、増額分がどのような地域づくり活動に使用されるのか、その効果が他の地域に波及する可能性があるかなどを評価することが重要だと考えています。また、増額を求める地域と他の地域とのバランスを保つために、調整方法について各団体が十分に議論をし、納得のいく形で進めていくことが求められます。市としては、地域づくり支援事業補助金が公正で効果的に活用されるよう、見直しも含め、適切な対応を検討してまいりたいと考えています。

◎狩俣勝成君

私も一応城辺地域づくり協議会の理事としてやっていますけども、少し紹介しますけども、城辺地域づくり協議会では構成団体等活動助成金を予算の範囲内で交付をしております。城辺地域には構成団体が24自治会、ほか10団体、これは各体育協会とか各防犯協会、あとＰＴＡ等があり、全部で34団体が所属しております。それに予算の配分に大変苦慮しているとのことです。先ほど言った人口の規模とかそういった面積ではなく、どの地域を減らしてどの地域を増やしていくとかではなく、これはやはり各地域づくり協議会の代表を集めて話合いをしたほうがいいのかなと思っていますけども、そういった話合いって持てますか。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

今後、意見を聞きながら開催に向けて検討してまいりたいと考えています。

◎狩俣勝成君

できれば速やかにやっていただいて、恐らく新年度に向けてのまた予算づくりに入っていくと思いますので、できれば早めに協議を重ねていってほしいなと思います。

次に、４番目、住居不足についてです。これ９月定例会の一般質問で市長答弁、私への答弁で、公営住宅の枠を地域の現状に合った計画とし、枠を検討していただきたいと申し上げたとおっしゃっていましたけども、その後の進捗はあったかどうかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

宮古島市公営住宅等長寿命化計画に基づき､市営住宅の必要管理戸数につきましては1,460戸となっております。こちらの戸数につきましては、平成29年度に策定しました計画の中で、国が定める算定方法により算出しておりますが、現在の住宅事情に鑑み、計画の見直しで再算定を行うことで必要戸数を再設定することが可能となります。この計画は、本市が策定し、公営住宅整備に係る交付金事業の取得の際に県に提出する計画となることから、必要管理戸数の増減につきましては県の許可を必要とするものではありません。今後、計画の見直しを検討するとともに、公営住宅等の若者が定住できる住宅整備に係る事業費の確保に向け、県に要請を行う予定としております。

◎狩俣勝成君

長寿命化計画の見直しをやればできるというような発言だったと思いますけども、これ県営住宅に関してはどんなですか。要請になりますか。

◎建設部長（川平陽一君）

県営住宅につきましても必要戸数は設定されていると思いますけども、県への要請につきましては、市からですか、県への要請については市に要請があれば県に伝えていきたいと思います。

◎狩俣勝成君

次に行きます。

農畜行政について。１、優良繁殖雌牛更新加速化事業についてお伺いします。恐らくこれ国の事業だと思うんですけども、支援内容についてお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

優良繁殖雌牛更新加速化事業は、沖縄県畜産振興公社が実施し、ＪＡおきなわ宮古地区畜産振興センターが窓口となっております。同事業の内容については、肉用牛の生産基盤の強化を図ることを目的に、高齢の繁殖雌牛を出荷し、増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛を導入、保留した生産者に対し奨励金を交付する事業となっております。交付対象は、畜産クラスター計画に位置づけられた取組主体の構成員となっており、宮古地区畜産振興対策協議会の構成員である畜産農家が対象となります。奨励金の金額は、更新１頭当たり上限15万円または10万円というふうになっております。

◎狩俣勝成君

補助金が１頭当たり上限15万円と10万円。この差はどういった区別をつけているんですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

15万円と10万円の差なんですけども、遺伝的多様性に配慮するためとして、特に希少な父牛に由来する

繁殖雌牛への更新を手厚く支援することとしておりまして、１頭当たり交付金額に差をつけて単価を設定しております。具体的には、福之姫、福之鶴、美津金幸といった全国的に利用の多い種雄牛を父とする場合には上限が10万円、それ以外に美百合や福増鶴といったまだ利用の少ない、種雄牛を父とする場合には上限が15万円というふうになっております。

◎狩俣勝成君

分かりました。今主流となっていた福之姫とか、系統がいいのは結構高めに売れておりますけども、この次の系統はどこだというのをみんな手探りしていると思いますので、またこういったのも宣伝していったらいいかなと思います。

次に、今後導入予定あるかと聞いたんですけども、もう既にＪＡおきなわ宮古地区畜産振興センターが実施していることなので、これの活用状況についてお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

活用状況でございます。今年度、22名の農家が事業に参加しておりまして、奨励金の対象頭数は82頭、総交付予定金額は935万円を予定しているとのことです。

◎狩俣勝成君

最近、特に高齢の繁殖雌牛から出産された子牛について低価格で取引される傾向があることが令和５年度南部家畜市場産地別価格グラフで分かります。同事業は、繁殖雌牛の若返りを図り、また母牛を早めに出荷することにより、種づけして妊娠牛として販売、また若い経産牛として販売することにより商品価値があり、畜産農家の経営支援にもつながるよい事業だと思います。今後も実施予定はあるのかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

今後も実施予定はあるというふうに伺っております。

◎狩俣勝成君

次に、県内の家畜市場開設日程についてどのように決定しているのかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

家畜競り開設日程についてＪＡおきなわ宮古地区本部に確認いたしました。毎年11月頃に県内の各市場間で協議を行い、次年度の競り日程が決定されるとのことでした。

◎狩俣勝成君

今、八重山から始まって、伊江、今帰仁、南部、久米島、宮古、多良間が最後なんですね。そういった開催日が遅いことによって取引価格に影響が出ることは考えられるのかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

開催日が遅いことが影響して競り価格が低くなっていないかということでございますが、近年の各家畜市場の取引状況を比較しましたところ、県内で最も遅い日程で開催されている宮古家畜市場においても県平均を上回る価格で取引されている年度もありまして、一概に競り日程が取引価格に影響しているとは言えないという状況だというふうに認識しております。

◎狩俣勝成君

それでは、②なんですけども、各市場の購買者名と数は把握しているかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

購買者名については個人情報ということで回答をいただくことはできませんでしたが、購買者数については回答をいただきました。今年４月から12月における各市場の参加購買者数でございます。八重山家畜市場で月平均40名から50名程度、今帰仁家畜市場では月平均35名から40名程度、南部家畜市場では月平均50名程度となっております。なお、宮古家畜市場では月平均28名の購買者が参加しているとのことです。

◎狩俣勝成君

なぜこれ確認したかというと、購買者名は公表できないということなんですけども、例えば同じ購買者が全部の市場を回ったときに、最初のほうでいい牛を買って、最後のほうは買い控えをするとか、そういったのがないのかなと思っているのと､あと今言ったように宮古家畜市場は28名と本当に少ないですよね。これに対して、ほかの市場より少ない場合は競争力の低下が懸念されると思います。また、上場頭数が少ないと魅力のない市場と思われ､購買数の減少にもつながるのではないかなという不安の声も聞かれます。また、最近では本当に上場頭数が減ってきておりますので、宮古家畜市場も２か月に１度の開催になるのかなという不安の声も聞こえていますけども、ぜひ農家の皆さんに頑張ってもらいたいと私も思うんですけども、それに対してどのような考えを持っているのか、農林水産部長の考えをお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

畜産振興に向けて、大分今畜産農家厳しい状況が続いております。やはり飼養管理がしっかりされている牛は高く買われていくということでございますので、今飼料高騰事業と和牛子牛の競り価格の緊急支援事業において農家のアンケート等を実施しております。それのデータ分析を進めているところでございます。できるだけ見える化して、経験値だけではなくて、データに基づいた飼養管理をお願いして、質のいい牛を生産して、高く売れるようにしていきたいというふうに、農家と一緒になって取り組んでいきたいと思います。

◎狩俣勝成君

上場頭数を300切らないように、安定した供給ができるように、私も一応農家を回って、畜産農家行くたびに愚痴を言われて、もう本当に大変な思いをしているなというのは分かりますので、ぜひ皆さんで盛り上げて、毎日でも肉を食べるように皆さんお願いします。

次に、３番、農業経営高度化支援事業についてでございます。この事業は、圃場整備事業とセットで採択されて、圃場整備事業が完了時に農地の集積が55％以上に達すると農家負担金に相当するお金が国から補助金として交付されます。それの担い手の定義といいますか、これが緩和されていて、地区内で１ヘクタール程度の畑を所有している、耕作している人がいる、そしてまた地区内で１ヘクタール程度の畑を借りて耕作をしている人、そして地区内でハーベスターでサトウキビ収穫作業を行っている人、こういう方がいればこういった担い手に集積が55％以上やれば戻ってくるという仕組みになっていますけども、今言っているように、地区内にもしサトウキビの圃場が55％あって、そこでハーベスターでみんな今収穫していますので、そういうことであれば本当にほとんどこの事業というのは採択されると思っているんです。

そういう意味で、①に行きますけども、事業実施要綱と要領が改定され、促進費の交付が受けやすくなっていると認識しています。ほぼ達成できるかなと思っていますけども、それについて見解をお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

事業の交付要綱の改正前は、認定農業者が３人以上その集落にいないと集積率に交付金がいただけなかったと。現在は、認定農業者または人・農地プランに記載されている方、またハーベスター所有者、そういう方がいて、55%以上の集積率を達成すれば交付金が受けやすくなっているということで、市としてもこの促進費の交付が受けやすくなっているというふうに認識しております。

◎狩俣勝成君

そうであれば、②に行きますけども、農家の負担金を徴収するのでなく、現物給付ができないかという、この現物給付なんですけども、何年か前に子供の医療費の窓口負担を現物給付するという話がありましたので、この現物給付を使わせていただきましたけども、これは採択されれば促進費が国から宮古島市に交付されます。宮古島市が負担金を納めた人に返還をします。この作業は、受益者からこの負担金を徴収するに当たる経費、そして国から宮古島市に交付された分を返還する経費が要らなくなる。そして、負担金の未納者もいなくなるかなと思うんです。それを踏まえて、そういった現物給付ができないかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

現物給付ですけども、本当にこれができれば職員の負担金徴収業務の軽減とか負担金の未納額の減少につながると考えております。財源確保も必要となってまいりますので、関係課と調整を行った上で、できれば実施していきたいというふうに考えております。

◎狩俣勝成君

農家の皆さんもこれぜひやってほしいという意見が多いです。本当に財政が難しければ何か基金をつくって、そこにある農業基金でもいいし、それから必ず入ってきますから、宮古島市に。ぜひまた検討をお願いします。

次に、４番、農業基盤整備促進事業（竹アラ地区）についてでございます。この件に関して私も緊急質問で質問したり、また今回一般質問でも下地信男議員、砂川和也議員、今日も上地廣敏議員が質問しておりましたので、私からは少し割愛しながら、まだ聞いていない質問等に関して質問していきたいと思います。①、新たに着手する３工区は計画変更かということなんですけども、緊急質問の答弁で、受益面積が10.8ヘクタールへ変更、総事業費が６億3,145万円になったという答弁がございました。これこの促進事業の中での計画変更にはならないのかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

新たに着手した３工区についてですけども、令和５年度に沖縄県と残事業費の調整を行っております。その時点で、受益面積、当初採択面積の10ヘクタールに対して10%以内の増加、事業費につきましても人件費、材料費等の社会情勢の増減を含めない事業費の増加が10%以内となっておりますので、軽微な変更の範囲内であるため、計画変更には当たらないというふうに沖縄県と調整をしております。ただし、畑地かんがい施設工事に当たって費用の増加が予想されますので、令和７年度の計画変更手続を予定しております。

◎狩俣勝成君

私も調べましたところ、土地改良事業計画変更取扱要領の中に、受益面積の増または減が５%以上、た

だし10ヘクタール以上に該当する場合は事業計画の変更が必要となる、そして事業費の増減に関しては10%の変動、労賃または物価変動による事業費を除くに該当する場合には事業計画の変更が必要となるとあります。今、農林水産部長答弁で、この事業費の増に関しては、社会情勢が変わって本当に、今これで言っているように自然増といいますか、そういったのを省いたら10%以内に収まるということでございます。県のほうに伺い書か、そうやって一応、計画書というんですか、一応出して、県からこれは軽微に当たりますよというのがもらえたのかどうかお伺いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時58分）

再開します。

（再開＝午後２時59分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

県とのヒアリングにおいて調整を行ったということでございます。

◎狩俣勝成君

ヒアリングということは、ではもう書面的なものはないということでいいですか。本当に、次、先ほど再質問しようと思ったんですけども、この事業今16%増えました。どんどん使っていくと、これには、総事業費ですから、かんがい排水事業も入っておりますよね。そうなると、かんがい排水事業の予算がなくなるのではないかという懸念があります。今の段階で、先ほども申請していくという話でありますけども、どのぐらいの規模の工事費が足りないのかお伺いしたいと思いますけど、よろしいですか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時00分）

再開します。

（再開＝午後３時00分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

まだ正式ではございませんが、あらあらで１億2,000万円を予定しているということでございます。

◎狩俣勝成君

１億2,000万円ということは、もうとっくに、多分自然増を引いてももう10%をはるかに超えるかなと思っていますので、そうなるとまたこの計画変更届を出して、完成までにまたさらに工期が延長していくんではないかなという不安もありますけども、この件に関していかがですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

今月、換地委員会を開催いたしまして、年明け、１月下旬には一時利用指定の通知を行う予定としております。これにより作付が可能となります。なお、スプリンクラーの設置工事に着手する際には、圃場内に作物が植付けされている場合は、個々の農家と話合いを持ちまして、工事の影響範囲である６メートル幅の作物を補償するか、収穫後に工事を行うのか、どちらがいいのか、農家の意見を確認しながら工事を進めていきたいと考えております。

◎狩俣勝成君

なぜ私がこの計画変更の話をするかというと、先ほど上地堅司議員の答弁の中でも予算の適正化に関する法律の話を農林水産部長はしていましたんで、少し聞いてみたいと思います。

補助金は、幾ら国からの補助と言われても、国民の皆さんから徴収した税金、その他の貴重な財源で賄われるものであることは留意しておいてほしいなと思います。補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の第７条の３番目に「補助事業等の内容の変更をする場合においては、各省各庁の長の承認を受けるべき」とあります。ただし書で「各省各庁の長の定める軽微な変更を除く」とあります。先ほど県とヒアリングでやったとおっしゃいましたけども、これ実際は本当は国に変更を出して、国のほうが、いや、これ軽微だからいいですよという承認を得ないと本当は駄目ではないんですか、お伺いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時03分）

再開します。

（再開＝午後３時04分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

令和５年度に沖縄県と残事業費の調整を行っております。それによって事業費が増になっているということで、令和６年度の交付申請、交付決定をもってこれは認められたというふうになるということでございます。

◎狩俣勝成君

これ本当にそれでいいんですか。では、交付決定通知書が存在するわけですね。それは、では後で拝見したいと思います。いろいろありますけども、次に行きます。

次もちょっとあれなんですけども、環境衛生行政について。宮古島市し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の入札についてでございますけども、これも契約に対して那覇地方検察庁に告発状が提出されているというううわさがあります。それについて市は把握しているかどうかお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の入札につきまして、告発されていることを把握しているかということでございます。狩俣勝成議員ご質問の内容につきましては、那覇地方検察庁において告発状が受理されていることは承知をしております。10月末に検察庁から宮古島市し尿等処理施設整備工事（プラント電気）に関係する書類の提出を任意で求められ、提出しているところでございます。

◎狩俣勝成君

書類提出を任意で求められて、書類のほうは、ではもう提出されているということですね。そういった本当に竹アラ地区の問題、またこの問題ですね、いろんなことが起きておりますけども、それに対して市長の見解をお伺いしたいと思います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

入札についてお答えいたします。

宮古島市し尿等処理施設整備工事（プラント電気）の入札につきましては、昨年11月に入札を終了して

おります。そして、12月定例会での議会議決を経て契約に至っております。適正な入札執行がなされたものというふうに考えているところでございます。今後とも那覇地方検察庁からの照会等については真摯に対応しまして、協力するように努めてまいります。

◎狩俣勝成君

私は市長に聞いたんですけども、市長は答えるつもりはないですね。

（何事か声あり）

◎狩俣勝成君

一緒。分かりました。そういう件が相次いでいるように見えますので、慎重な行政運営をお願いしたいと思います。

４番、スポーツ施設について。１、城辺総合公園について。今後の活用方法について見解をお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

城辺総合公園の今後の活用方法についてでございます。城辺総合公園に関しましては、施設が老朽化しており、利用頻度が低く、うまく活用できていない状況となっていることから、現在、民間活力による公園全体の利活用について検討しています。

◎狩俣勝成君

②に行きますけども、今年度も韓国の高校野球チームがキャンプを予定しているとのことです。今後の整備の予定はあるかお伺いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

来年からのキャンプになりますが、城辺球場に関しましては、先ほども申し上げましたが、施設が老朽化していることもあり、また伊良部野球場が供用開始後は城辺球場でのキャンプは受け入れないという方針でございました。しかしながら、令和５年度に入り、今年２月から韓国の高校等から問合せがあり、当該施設の現状をご理解いただいた上で、令和５年度に１チームを受け入れ、令和６年度、来年２月には２チームの予約が入っております。今後に関しましては、キャンプ利用者の意向も参考にしながら公園全体の再整備について検討してまいります。

◎狩俣勝成君

確かにキャンプは１か月か２か月程度の利用だと思うんですけども、私は使用料の問題ではなく宮古島の経済に与える効果はある一定程度はあるのかなと思いまして、利用していただいているチームを毎年来てくれるように要望等も、先ほど言っていましたけども、聞いてみたらいいかなと思っています。また、今度来るチームは万全な状況でないのを理解して来てくれるそうです。昨日、実は城辺球場を見に行くと、ボランティアの方が内部、内野の整備を行っておりました。もう少し予算があれば土をもう少し搬入して、内野は万全に近い状態にはできますよという話をしておりました。外野は少し凸凹がありましたけども、それに対して予算の増額を要望しますけども、これに対して答弁できますか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

現在のスポーツ施設の整備に関しましては、キャンプ受入れのための整備等を行っているところでございまして、特に城辺球場、当初はこのキャンプを受け入れるための整備というのは予定しておりませんで

した。現在、既決予算等で対応しているところでございますので、どれぐらいの規模の予算がかかるのかというところも聞きながら、既決予算で対応できる部分、予算の範囲内で対応できるようにやっていきたいと思っております。

◎狩俣勝成君

ぜひ増額を要望したいと思います。

次に、５番の教育行政についてです。１、コミュニティ・スクールについて。①、地域学校協働活動の推進団体として子ども会を位置づけております。これ先日、第57回全国子ども会中央育成会議・研究大会に参加してきました。そこで宮古島市から石原順子氏が活動歴26年という長年にわたる育成者の活動が認められ、個人賞を受賞されました。教育長にも報告されました。その他表彰された皆さんを見ると、活動歴が20年から45年と大変長く活動されているんです。そして、文部科学省の資料にコミュニティースクールの各地域学校協働活動団体の中に、前回なかったかなと思うんですけども、これは子供会が位置づけされております。その中には、保護者であったり、地域住民、ＰＴＡ、民生委員とか地域の方々の団体が入っております。その中でも、ＰＴＡとか保護者は自分たちの子供が卒業したらもう学校を離れていくという状況になっていると思います。私も長年というか、ＰＴＡ活動をして、日本ＰＴＡ賞までもらったんですけども、そのときもまだ８年ぐらいしかなくて、ＰＴＡという賞をもらうのは大体８年から15年ぐらいの方だったんですけども、この子供育成者の方を見ると本当に20年から45年という長い年月をかけてやっております。それには地域の子供は地域で育てるというのが念頭にあって、自分の子供がいなくても地域の子供たちを大事にして育てる、そういう思いがすごい方たちがいっぱいいるので。

この質問に入りますけども、ここに全国コミュニティ・スクール連絡協議会の学校教師が担う業務の３分類ということで、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導、運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について中央教育審議会が提言されております。これによると、登下校に関する対応であったり、放課後から夜間などにおける見回りであったり、児童生徒の休み時間における対応、校内清掃、部活動、給食時の対応、支援が必要な児童生徒、家庭への対応に全て全国子ども会連合会のメンバーが入っております。そういう意味込めて、宮古島地域でも地域コミュニティースクールの子供会の位置づけをどういうふうに捉えているか、見解をお伺いします。

◎教育長（大城裕子君）

先日は宮古島市子ども会育成連絡協議会の野原雅也会長、そして役員の皆様、そしてこのたび受賞された石原様にお越しいただき、受賞の報告をいただきました。石原様には改めてお祝い申し上げますとともに、日頃から本市の子供たちの健全育成にご尽力いただいている子供会の皆さんに心より感謝申し上げます。狩俣勝成議員ご質問の子供会の位置づけという点でございます。学校運営協議会、コミュニティースクールのことですけれども、学校運営協議会の協議会委員については、宮古島市学校運営協議会規則の中で、校長の申出により教育委員会が委嘱または任命することとなっております。その協議会委員に子供会の育成者あるいは代表者を選出することについては、学校が必要と判断した場合は可能となります。コミュニティースクールの導入のためには、併せて地域と学校が連携、協働して学校の活動を行う地域学校協働活動との一体的な推進が不可欠となります。また、コミュニティースクール、その地域学校協働活動を推進するために、宮古島市教育委員会は地域学校協働活動推進員、地域コーディネーターを委嘱し、活動

していただいているところです。現在、６名委嘱しております。地域学校協働活動には、ＰＴＡ、放課後子ども教室、多様な学校への教育活動があり、全国的にも子供会もその活動に関わっていると聞いております。宮古島市においては、まだそのような関わりあるいは体制が構築されておりませんが、ぜひとも今後、全国と同様に子供会もその活動に関わっていただき、共に地域学校協働活動に取り組んでいただけたらと考えているところです。この地域学校協働活動とコミュニティースクールは、地域と学校が一体して教育活動を行う両輪となりますので、共に進めていきたいと考えております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

◎狩俣勝成君

この受賞された石原氏も、旧城辺町の時代から育成者の会長をなされて、いまだに本当にやっているということです。恐らく各旧市町村の中には今までずっと育成者として頑張っておられる方まだまだいると思いますので、そういった人材の活用も検討していってほしいなと思います。

次、②ですけども、宮古島市子ども会育成連絡協議会と宮古島市教育委員会の連携についてですけども、これも私は２日目の第７分科会、「子ども会の目的を考える～目的の共有と具現化のための方策について～」に参加してまいりました。そこでは鹿児島県の鹿屋市教育委員会の取組が発表されました。まさに先ほど教育長言ったように両輪ということでやっておりました。しかしながら、教育委員会が何で子供会に関係してきたかということでありますけども、これはもう非常に、鹿屋市の子供会の加入率が令和元年にもう６割を切ってしまった。関係者の危機感が高まり、その後も加入率がどんどん進み、令和３年度にはもう50％を切ってしまったと。そういう状況を踏まえて、手助けしたいという思いで、コンセプトに全員参加、100％加入の参加したくなる子供会を目指す、全員参加型の方策、また子供会活動の再構築を図り、やっているということでございます。いろんなプロジェクトを準備して、スーパーな広報とかスーパーな企画、スーパーな検証と常に子供が先頭に立ってリーダーシップ持っていくような、やっています。今ではほとんど、各子供会も大人がリードしていくような感じでございます。私が子供のときはやはり、小学６年生のときは部落の子供たちを集めて、大人は多分近くにいなかったかなと思って、夏休みのラジオ体操も家からラジオ持ってきて本当に、顔洗ったか、歯磨いたかという感じで丸をつけたりやっていったような覚えがありますので、こういった子供会主体にしてやっていければいいかなと思いますので。

そこでお伺いしますけども、宮古島市子ども会育成連絡協議会と宮古島市教育委員会がどのような連携ができるのかお伺いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

現在、宮古島市では、市の子供たちの健やかな成長を願い、よりよい子供会活動環境を整えるため、宮古島市子ども会育成連絡協議会に対し宮古島市社会教育団体等育成補助金事業を行うとともに、宮古島市子ども会育成連絡協議会主催イベントを共催として支えるなどを行っております。どのような連携が取れるのかということですが、子供会の活性化や認知度の向上のためにまずは意見交換を行っていきたいと考えております。

◎狩俣勝成君

これで終わりますけども、年の瀬を迎え各地でイルミネーションが点灯されるのをよく見かけます。私も防犯協会の一員として、先月末、宮古島警察署員と一緒になって、交番前に防犯パトロール中という看

板を立てながら作成をしました。そして、12月２日には座喜味一幸市長を交え、来賓の方々に点灯式を行ってもらって、今すばらしく点灯しております。特に年末は飲む機会が多いと思います。また、イーザトに行って飲んで暴れて、帰るときにはぜひ立ち寄って、一目このイルミネーションを見て心を落ち着かせてから帰路につくようにお願いします。

それでは、また皆さん方によい年が来ますように願いまして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで狩俣勝成君の質問は終了しました。

お諮りします。本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議はこれにて延会します。

（延会＝午後３時23分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月13日（金）　　６日目

（一　般　質　問）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第６号

令和６年１２月１３日（金）午前１０時開議

日程第 １　 一般質問

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１３日（金）

（開議＝午前10時00分）

（延会＝午後３時14分）

◎出席議員（２２名）

議長	（２３番）	平良敏夫	君	議員	（１１番）	上地堅司	君
副議長	（１８〃）	長崎富夫	〃	〃	（１２〃）	仲間誉人	〃
議員	（１ 〃）	久貝美奈子	〃	〃	（１３〃）	平良和彦	〃
〃	（２ 〃）	下地茜	〃	〃	（１４〃）	下地信広	〃
〃	（３ 〃）	砂川和也	〃	〃	（１５〃）	我如古三雄	〃
〃	（４ 〃）	狩俣勝成	〃	〃	（１６〃）	欠員	
〃	（５ 〃）	富浜靖雄	〃	〃	（１７〃）	西里芳明	〃
〃	（６ 〃）	下地信男	〃	〃	（１９〃）	友利光徳	〃
〃	（７ 〃）	欠員		〃	（２０〃）	上里樹	〃
〃	（８ 〃）	狩俣政作	〃	〃	（２１〃）	粟国恒広	〃
〃	（９ 〃）	山下誠	〃	〃	（２２〃）	上地廣敏	〃
〃	（１０〃）	池城健	〃	〃	（２４〃）	山里雅彦	〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸	君	会計管理者	下地美明	君
企画政策部長	久貝順一	〃	水道部長	下地貴之	〃
総務部長	與那覇勝重	〃	消防長	上地一史	〃
福祉部長	守武大	〃	企画調整課長	前原敦	〃
市民生活部長	狩俣博幸	〃	総務課長	豊見山徹	〃
農林水産部長	石川博幸	〃	財政課長	国仲英樹	〃
建設部長	川平陽一	〃	教育長	大城裕子	〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗	〃	教育部長	砂川勤	〃
産業振興局長	下里盛雄	〃	生涯学習部長	天久珠江	〃
こども家庭局長	幸地幹夫	〃	選挙管理委員会委員長	仲間正人	〃
環境衛生局長	下地睦子	〃	選挙管理委員会事務局長	狩俣智紀	〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦	君	次長補佐	与那嶺彰成	君
次長	仲間清人	〃	議事係長	国吉たかよ	〃

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第６号のとおりであります。

この際、日程第１、一般質問について、昨日に引き続き質問を行います。

本日は、上里樹君からであります。

これより順次質問の発言を許します。

◎上里　樹君

日本共産党の上里樹です。質問に入る前に、一言所見を述べさせていただきます。去る総選挙、ここで自民公明政権に対して国民の歴史的な審判が下りました。その歴史的審判をつくり出す上で、日本共産党としんぶん赤旗が裏金問題をスクープし、追及し、大きく貢献したことを誇りに思います。国民が下した審判は、裏金問題への怒りであり、同時に国民を襲っている暮らしの困難への無為無策、大軍拡には巨額の税金を投入するのに、福祉や教育、暮らしの予算を切り詰めるなど、自民党政治の全体に対する不信や怒りがあります。国民が自民党政治に代わる新しい政治を模索し、探求する新しい政治プロセスの始まりを国民と共に前に動かすために奮闘する決意です。とりわけ総選挙直後戦われます宮古島市が誕生して20周年を迎える節目に行われる宮古島市長選挙で、座喜味一幸市長を先頭に市民ファーストの市政継続に向け、市民と共に力を合わせ奮闘する決意を表明して質問に入ります。

まず、市庁舎についてです。この問題、１年以上取り上げ、繰り返し質問をしてまいりました。市庁舎の管理についてです。市保健センターそばの駐車場で高齢者が転倒し、頭部を打撲して救急車で運ばれる事故がありました。再発防止のために滑り止めの対策を講じるよう継続して質問してまいりました。転倒した場所は、保健センターそばの障害者専用駐車場のあるスペースです。そこは、路盤がへこみ、水がたまり、コケが生え、施工ミスではないか、指摘してきたところであります。業者の責任による改修を進めるよう要求してまいりました。その後工事らしきものが行われ、刻みが入れられました。しかし、路盤材そのものが滑る材質のため、相変わらず滑ります。転倒する人が後を絶ちません。私は、その部分は工事ではなく、具体的に全体的な滑り止め対策を提案してきました。

そこで伺います。市庁舎外構工事に関係する駐車場通路や庁舎周辺通路に使われた素材が、雨の日に滑りやすくなっています。その滑り止め対策について伺います。

◎総務部長（與那覇勝重君）

市庁舎の管理についてお答えいたします。

上里樹議員ご指摘の庁舎周辺の白い舗装部につきましては、雨が降った後、コケが発生し、滑りやすい状態になる箇所がございます。現在は、洗浄作業により市民出入口側のコケは除去しているところでございます。バス停留所付近等、特に歩行者の転倒の危険性が高い場所につきましては、早急に滑り止め対策工事を実施してまいります。他の部分につきましても定期的に洗浄作業を実施しまして、歩行者の安全確保に努めていきたいというふうに考えております。また、必要に応じまして滑り止め対策工事を検討してまいりたいというふうに考えております。

◎**上里　樹君**

対策を講じていくということですが、早急な対応が必要だと思うんです。私自身も滑りました。議員も何人か経験していると思いますけども、まず骨折事故もこの間起きているんです。ですから、そういうことを放置していること自体がおかしいと考えますので、早急な対応をよろしくお願いします。

次に、税の徴収について伺います。税の滞納処分についてですが、給与の差押えをした件数について伺います。

◎**総務部長（與那覇勝重君）**

給与の差押えした件数につきまして、令和５年度で件数をお答えします。令和５年度の給与差押実績につきましては、件数で139件、人数で53人の執行となっております。

◎**上里　樹君**

大変な人数だと思います。

次に、預貯金の差押えをした件数について伺います。

◎**総務部長（與那覇勝重君）**

預貯金の差押件数につきましても、令和５年度の実績をお答えいたします。令和５年度の預貯金の差押実績につきましては、件数で525件、人数で346人の執行となっております。

◎**上里　樹君**

想定を超える人数に驚いています。いわゆる預貯金という場合、これは現在は給料が振込になっていますから、通帳からの差押えもありかと思います。その際に全額引き落とされたというようなケースもあります。私は、預貯金、それは振込専用の給料が振り込まれる通帳ですから、給料だという認識ですので、１番の質問であった給与の差押えと同様のことを行うべきだと考えるからあえて質問しているんですけども、全て差し押さえた事例ありますか。ゼロにしたというケース。

◎**議長（平良敏夫君）**

休憩します。

（休憩＝午前10時07分）

再開します。

（再開＝午前10時08分）

◎**総務部長（與那覇勝重君）**

ご指摘の事例はございます。ただ、当然差押えする際にまず市としまして、まず納税者から例えば納期内に納付できないための分割納付をしたいというふうな申出があった場合、収支状況を聞きながら猶予申請をしてもらい、分納、納付を行ってもらっております。分納での約束をしたが守らない場合や、納付する資力がありながら納付しない方につきまして、電話催告、文書催告をしても納付しない場合、地方税法、国税徴収法に基づき差押執行も行っております。前もって調査をした上で差押えをしており、差押えすることにより生活困窮になるおそれがある案件につきましては差押えを執行していないということでございます。

◎**上里　樹君**

ケースがあるということですけども、これ件数にして何件になるかは。お答えできれば。

◎総務部長（與那覇勝重君）

すみません。今何件、そういった事例があるかというのは把握しておりませんので、少し資料作成して報告したいと思います。

◎上里　樹君

預貯金の差押え、これは私が相談を受けた事例で申しますと、給料とか年金が振り込まれた即座に落とされているのです。ですから、狙い撃ちと言ってもいいぐらいのやり方でした。ですから、このような専用の振込口座からの引き落としというのは、要するに給料の差押えと私は理解します。いわゆる預貯金という扱いにしたらおかしいと考えるんです。生活できなくなるようなケースについては差押えはしていないというんですけども、私が相談を受けた方からは、もうその給料のみの収入しかなくて、給料日を楽しみに引き落としに行ったらゼロになっていたというケースです。ですから、こういった、理由があるようですけども、給料が振り込まれたら預貯金に変わるということなんですけども、私の理解としては給料に変わりがないということで、ぜひ状況をしっかりつかんで預貯金の差押え、これは慎重に行ってほしいと思います。ご答弁を求めます。

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、税の公平性の原則というのがございまして、それぞれ資力に合わせて税金が課されているものと思います。その中でしっかりと納税していただいている方もたくさんおりますので、それは当然ですが、まず税の未納につきましては市民それぞれに様々な理由等があり、それぞれの案件ごとに、今後も丁寧な対応を心がけてまいりたいというふうに考えております。

◎上里　樹君

次に、生活保護世帯からの国保税滞納金の徴収について伺います。生活保護世帯から分納による滞納金を徴収している件数について伺います。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

令和６年11月末現在で生活保護世帯で、滞納している国民健康保険税を分納で納めている世帯は８件になります。

◎上里　樹君

この差押えというか、滞納していて生活保護受給に至った。それを引き続き滞納金の回収をする。これは、守られるべき立場の保護世帯から、そういうやり方というのはやめるべきだと考えますけども、ご見解を求めます。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

国民健康保険加入世帯が生活保護開始になった場合、保護開始と同時に国民健康保険税の資格喪失となり、その後国民健康保険税が課税されることはありません。しかし、生活保護受給前の国保税に滞納があった場合、保険税の納付は猶予されますが、納付義務がなくなったわけではございません。本人に納付する意思がある場合に限り納付していただいているものと理解しております。

なお、日常生活に支障を来すような状況など、納付困難となった場合は担当窓口に相談していただければと考えております。

◎上里　樹君

確かに課税されなくなり、猶予されますけども、納税の意思があるという場合というんですけども、窓口に呼んで、１万円払えないかと具体的に金額を言われたケースがあります。その金額は重過ぎるということで、肩身の狭い思いをしていますから、滞納金があるということは。それゆえに、5,000円ならということで泣く泣くという表現をあえて使わせていただきますけども、苦しい中から分納して５万4,000円を支払ったというケースがあります。納付の意思がある、なし、それを生活保護の実態を見て、今の物価高騰の中で、そのような対応をすること自体が、私は考えられません。生活保護費が３年連続で削減されて暮らしていけないと、全国でいのちのとりで裁判が行われています。15の訴えで勝訴しています。

そこで、私は文教社会委員会の行政視察、これを少し報告させていただきます。滋賀県の野洲市のくらし支えあい条例を視察しました。野洲市では、税の滞納は市民からのＳＯＳとして捉え、税金を滞納している市民に手を差し伸べ、市長自ら滞納を市民の生活支援のきっかけにする、ようこそ滞納いただきましたと発信し、納税相談などを行い、市民の自立支援を促しています。それは、いわゆる債権、滞納金は市民生活を支えるための財源であり、市民生活を壊してまでは回収しない。滞納を市民生活支援のきっかけにするということです。取組として、野洲市独自の地方自治法、同法施行令にない２つの規定を設けています。１つは、生活困窮を理由に徴収猶予をする規定です。もう一つは、生活困窮を理由に債権放棄、いわゆる滞納金の回収をしないと、それができるとうたっています。それは、生活困窮者からの債権回収は、一時的に市の収入確保となったとしても、その市民の生活破壊はやがて生活保護、その他の支援が必要になるからです。一方、生活再建を行って、やがて納税者になっていただく。長期的に見てどちらを選ぶかということです。税金の滞納差押えによる一時的な徴収よりも、生活再建を経て納税していただくほうが納税額が大きいという生活再建優先の考え方で対応しています。くらし支えあい条例では、市はその組織及び機能の全てを挙げて生活困窮者等の発見に努め、発見した後は諸課題の解決及び生活再建を図るための相談に応じ、情報提供と助言、その他の支援を行うと規定しています。市民の生命を守るのが私たち公務員の仕事。市民からＳＯＳに気づいた人が生活支援課に情報を入れることが当たり前になっている。誇らしげに語る市職員の言葉に、行政のあるべき姿を見る思いがしました。同時に、野洲市役所の庁内の一丸となった、縦割りをなくした対応にも驚きました。市民に寄り添う行政があるから、全国的にコロナ禍の下、生活保護世帯数が増加傾向にあるのに、野洲市では減少しているという、そのことにも反映していると考えます。生活に困窮している市民をいかにして自立を促し、将来の納税者になっていただくか、この野洲市の取組を宮古島市でもぜひ生かしてほしいと思います。

次に、緊急保護施設についてですが、緊急保護施設の確保について伺います。生活に困難を抱え、保護が必要なのに現在住む場所を失ったりという通告になっていますけども、住む家がなかったりに置き換えます。住居を失うおそれがある方を対象にした保護施設の確保が緊急に必要です。例えば家賃滞納による強制退去が迫っている方、生活が大変ということです。家庭内トラブルにより出ざるを得ないんですけども、様々な理由で空き住宅がないということもあって、出ていくことができないと、そういう状況もあります。それらに対応する緊急の対応施設が必要だと考えますけども、ご見解を伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

緊急保護施設についてお答えいたします。

住居のない生活困窮者に対して、一時的に一定期間、宿泊所を提供する宮古島市生活困窮者一時生活支

援事業があります。この事業は、住居を持たない生活困窮者に対し衣食住を提供し、その間に転居先の確保を行うなど、自立を支援する制度となっております。現在本事業にて提供できる施設は２施設を確保しておりますが、提供できる施設が少ない状況でありますので、今後は新たな施設を増やす必要があると考えております。また、上里樹議員ご指摘の家賃の滞納や家賃の高騰等、諸事情により住居を失うおそれのある市民に対して、安定的な住居を提供し支援する施設は本市にはございませんので、不動産業者や関係部署、課と課題の共有を図りながら、どのような支援が可能か模索する必要があると考えております。

◎上里　樹君

国の制度による一時生活支援があることは存じています。緊急対応の施設も私が要求し、ＤＶ対応の施設の確保をしていただきました。実際にその事業が宮古島市で運用できていない、これを問題にしているわけです。いわゆる安価な空き部屋がありません。いわゆる緊急対応しようにも、一時生活支援をしようにも、空き部屋がないというハードルがあります。ですから、本市では制度に基づく運用もままならない実態があります。いわゆるそういった意味で、待ったなしの対応だと考えます。まさに住まいは権利、緊急の住まいの確保が求められます。取りあえず私は仮設住宅でもよいと考えます。市長、対応していただけますか。

◎福祉部長（守武　大君）

住宅確保要配慮者につきましては、低所得者だけではなく、高齢者、障害者、子育て世帯と、多くの問題を抱えている状況でありますので、今、市が空いている市有地や空いている施設の利活用なども含めて、あとはグループホームや福祉ホームなどの既存のサービスや委託の状況などの検討をしながら、福祉部局だけではなく、建設部や不動産事業者、民間関係部署と連携して対応してまいりたいと思っております。

◎上里　樹君

まさに緊急の要求ですので、ぜひそれにふさわしい対応を求めます。

次に、生活保護世帯で家賃の値上げによって生活保護費、いわゆる住宅扶助費があると思いますけども、その上限を上回っている世帯は何件あるでしょうか。

◎福祉部長（守武　大君）

令和６年12月５日時点における生活保護世帯数は805世帯、うち住宅扶助を支給されている世帯が470世帯あり、家賃が住宅扶助を上回っている世帯は149世帯あります。生活保護制度の住宅扶助限度額は、居住面積及び世帯人数で定められており、居住面積15平方メートル以上で単身世帯の場合は月３万2,000円が基準額となります。そのため、先ほどの149世帯全てが家賃の値上げによるものではなく、居住面積が15平方メートル未満の場合、家賃が扶助額を上回ることがあります。また、４月から12月の間で生活保護受給者の中で住宅扶助を受けている世帯のうち、家賃が値上げされた世帯を12世帯把握しております。この場合、より低価な家賃の住居に転居を促すことになりますが、中には転居することで通院や買物等が不便になるとの理由から、生活自立を維持するために転居が困難となるケースもあるため、各種福祉サービス等の利用を模索し、世帯の意向を聞き取りながら転居を検討していくことになります。

◎上里　樹君

この問題も、結局家賃を上げるから出ていけというケースも聞いています。ですから、そういう中で、生活扶助費の加算、これは行っているんでしょうか。

◎福祉部長（守武　大君）

現在家賃が住宅扶助を上回る世帯へ市独自の支援がない状況になります。

◎上里　樹君

独自の支援がないと聞いて驚きました。この間の物価上昇は並みのものではありません。さきにも申し上げたとおり、物価上昇に見合う保護費になっていない。そればかりか、家賃高騰という宮古島には特異な事例があります。ですから、それは制度の横出し、上乗せが自治体としてできるはずです。通常の普通の人々の自立している人々に対しても支援が行われている中で、こういった保護されるべき人たちに対応がされていない。これは問題だと考えます。いわゆる国の給付金の制度も緊急のあるにはあるんですが、宮古島という、全国的な対応ではなくて、宮古島に特化した家賃高騰に見合う対策が必要かと考えますけども、ご見解を求めます。

◎福祉部長（守武　大君）

生活保護法における住宅費について、地域、世帯人数及び住居面積に応じて住宅扶助の限度額が設けられています。原則この限度額に基づき住宅扶助は支給することになります。しかし、車椅子を利用することにより広めの居室が必要となる場合や、公営住宅も含め地域に限度額内で賃貸している物件がない等、やむを得ない事情がある場合に特別基準額を適用することになります。特別基準額の適用については慎重に検討していく必要があるとは思っております。

◎上里　樹君

いわゆる住宅扶助費を上回るわけですよね。だから、それは３万2,000円という上限がありますけども、その上限をもうはるかに上回っている。要するに宮古島の家賃高騰というのは、２倍、３倍です、ケースによっては。ですから、そういう状況にある保護世帯、これは３万2,000円を上回る金額については、もう生活保護費から回さなければなりませんから、その分生活を切り詰めることになります。市として、最低生活を営めるように独自の扶助費の加算が必要だと考えます。あわせて、県や国に対しても物価高騰に対応した支給額の引上げを求めるべきです。見解を伺います。

◎市長（座喜味一幸君）

宮古島市、今、家賃高騰等による様々な分野での課題が非常に出てきておりますので、上里樹議員おっしゃる件についてもしっかりと検討させていただきたいと思います。

◎上里　樹君

市長の答弁にありがたく思いますけども、ぜひこれは横出し、上乗せ、自治体独自に可能ですから、それを積極的に行っていただきたい。改めて要求します。

次に、水道行政について伺います。これまで繰り返し質問してまいりました。９月定例会で質問したばかりですが、９月定例会の終了後、10月初めに水道水質検査結果が市水道ホームページ上で公開され、それを受けて地下水研究会の講演が開催され、宮古島地下水研究会の友利医学博士が、宮古島市が年４回の水道水質検査に令和６年から新たに加えたクロチアニジン、ジノテフラン濃度の精密検査を追加している。その結果について見解を表明しています。その詳細は省略しますが、結果は13か所全ての水道水源でクロチアニジン、ジノテフランが検出され、高野水源原水のクロチアニジンは、180ナノグラムパーリットル、加治道水源原水ジノテフランは110から137ナノグラムパーリットル、ＥＵ基準の100ナノグラムパーリット

ルを大幅に超過しています。平均濃度は２年間で倍加していると指摘しています。白川田水源では89ナノグラムパーリットルと、ＥＵ基準に迫っていること、東添道水源及び底原水源原水中のジノテフランは180ナノグラムパーリットル、140ナノグラムパーリットルと、ＥＵ基準の100ナノグラムを大幅に超過し、平均濃度は２年間で８倍と急増しており、取水を停止すべきと強く指摘しています。そのことについてご見解を伺います。

◎水道部長（下地貴之君）

年４回の精密定期検査におきましては、そのうち２回今公表しております。ただ、日本が定める水道水質管理目標値を大きく下回っておりますので、まずはモニタリング調査を継続しながら、数値の推移を見守っていきたいと考えております。

◎上里　樹君

日本の目標値といいますけども、この目標値なるものは、50キロの体重の大人を基準にして、１日の許容摂取それを定めているものです。けれども、これは60年前に定められた基準であって、現在の状況に当てはめて何よりも危惧するのは、胎児もしくは赤ちゃん、そういった幼児に対してそれを対応するというのもいかがなものかと考えるんです。

そこで伺いますけども、ＰＦＡＳやネオニコチノイド系農薬等の化学物質低減、除去のために、高機能活性炭浄水処理設備等高度浄水処理施設を緊急の対応として各浄水場に設置すべきだと考えますけども、ご見解を伺います。

◎水道部長（下地貴之君）

本市における浄水処理施設は、袖山浄水場と加治道浄水場の２か所あります。仮に高度浄水処理施設を設置する場合は、この２か所と考えております。対象施設から供給を行っている浄水３か所と水源地13か所、先ほど答弁したように微量ながら検出されておりますけれども、管理目標値を大きく下回っております。このことから、しばらくはモニタリングの調査結果、これを注視してまいりたいと考えております。その上で、今後濃度が上昇していく傾向が見られる場合は、設置については検討してまいりたいと考えております。

◎上里　樹君

今後濃度が上昇していくような状況になれば設置を検討するというんですけども、先ほど指摘したとおり、東添道水源、底原水源原水では、既にＥＵ基準の100ナノグラム、あえてＥＵ基準を出していますけども、超過しているという現実。平均濃度は２年間で８倍に増加している、急増しているという実態は、これはもう増加傾向を表していると思うんです。だから、緊急の対応が必要だと要求しているわけですけども。いわゆる宮古島地下水研究会の友利医学博士は、フィプロニル、いわゆるプリンスベイトと呼ばれる農薬ですけども、これには慢性暴露で発がんリスクがあると。中国では2009年、ＥＵでは2017年に使用禁止にしていると。内閣府も、食品安全委員会は発がん性を考慮して１日摂取許容量を農薬の中でも最も厳しく設定していると指摘しています。市民は、水道水を介して発がんリスクのあるフィプロニル、プリンスベイトと発達毒性のあるネオニコチノイド、クロチアニジン、ダントツ、これに暴露されているわけです。くどいようですけども、医薬品は長い期間を経て、人体による試験結果を重ねて安全性を確保しますが、農薬は人体での試験ができません。ですから、モルモットによる試験の結果を基にしています。国基

準をもって大人と胎児、幼児を一緒にしてはならない、このように指摘しています。９月定例会でも指摘しましたけども、複合汚染の警鐘を鳴らした「沈黙の春」、また水俣病の教訓、これを生かすべきだと考えます。要するに予防原則です。その立場からの対応が求められます。ですから、市の不作為を問われることがないように、賢明な対応を強く要望します。

次に、陸上自衛隊宮古島駐屯地についてです。陸上自衛隊宮古島駐屯地内の御嶽についてですが、駐屯地のフェンスで囲い込まれてしまって、自由に出入りができなくなっています。もともとあった里道を確保し、通ることができるようにすべきだと考えます。見解を伺います。

◎企画政策部長（久貝順一君）

陸上自衛隊宮古島駐屯地内の御嶽についてお答えをいたします。

上里樹議員ご質問の御嶽、カーンミ拝所といいますけども、陸上自衛隊宮古島駐屯地内にあります。千代田自治会のツンマー支部の住民とツンマー支部にゆかりのある方々が参拝される御嶽であると聞いております。御嶽への参拝につきましては、千代田自治会ツンマー支部の方々と陸上自衛隊宮古島駐屯地の間で協議がなされておりまして、双方納得した上で参拝ルールが設けられているとのことであります。千代田地区ツンマー支部の方々の参拝に支障がないように配慮しているとのことであります。

◎上里　樹君

このツンマー支部、いわゆるこの御嶽はカーンミ拝所と呼びますけども、駐屯地の西側にももう一か所拝所があります、同じような。そこは自衛隊が用地買収をしようとして、管理している方から断られたと。断った理由は、いわゆるその責任者と呼ばれるサスですけども、その方が他人の畑を無断で渡る、それは袋地については通行権があるんですけども、それをあえて自身が買い取ったと言います。買い取って通路を確保したと。ですから、それぐらい思い入れのある御嶽。そこを２つも渡すわけにはいかないということで、お断りしたと聞いています。ツンマーの支部と陸上自衛隊が協議して納得しているといいますけども、私が隣近所に聞いた限り、納得していません。そのサスの方は中に入れませんから、外から拝んでいるということでした。どのような協議をして納得の上、どのような形態で入れるようにしているんですか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時41分）

再開します。

（再開＝午前10時41分）

◎企画政策部長（久貝順一君）

カーンミ拝所は、あの部分の中でツンマー支部の24世帯の方々、また併せてツンマー支部に住んでおられます千代田宿舎の住民、また隊員とその家族、また全国のツンマー支部にゆかりのある方のみ参拝されているということを聞いております。駐屯地内のあの中に入る際は、前日の午前中までに申込みをしていただいて、その後で身分証明書等をご持参いただきまして、隊員が同行しながら参拝をするという流れとなっておりまして、また足腰が不自由な方につきましては事前に駐屯地司令室のほうに連絡をいただければ、拝所の横の外柵のほうに設置された通用門から入門してもらえるような形となっております。そういう形で、駐屯地とツンマー支部の皆さんとそういった形の立入りの要領というルールをお互いで納得した

上で決めて、それでカーンミ拝所のほうに入る際にはそういった流れの中で入って参拝をしているということとなっております。

◎上里　樹君

私は、何を根拠にそんなルールを設けているのか疑問です。これは、空港の中にある御嶽になります。いわゆる滑走路近くです。ですから、そこに進入路を設けてフェンスを除外してあるんです、御嶽に入れるまで。かなりの距離です。管制塔がありますけども、その脇から入ります。そういう対応をしているわけです。いわゆる民法第210条の第１項で、他の土地に囲まれて公道に通じない土地の所有者は、公道に至るために、その土地を含んでいる土地を通行する権利がある、そういう条項があります。この条項に照らしても、今自衛隊が御嶽をこうやって、もともとの里道が途中で途切れまして、さらに柵を設けて道路を造り、そこにはフェンスで囲うと、こんなことを何を根拠にやっているのか伺います。

◎企画政策部長（久貝順一君）

当該御嶽の土地につきましては、陸上自衛隊宮古島駐屯地の建設の際に防衛省が取得していると聞いております。そういうことですので、現在陸上自衛隊宮古島駐屯地が管理していることとなっております。

上里樹議員ご質問のフェンスの設置といいますか、そういった形で自由に入れるような形にできないかという質問があったと思います。それに対して、陸上自衛隊宮古島駐屯地に対しまして、千代田自治会のツンマー支部の方の参拝につきましては最大限配慮していただくよう求めてまいりたいと思っています。また、上里樹議員が先ほど提案しておりました宮古空港の拝所のフェンスの設置につきましては、参考として情報提供したいと考えておりまして、今後防衛省において前向きに検討いただければと考えております。

◎上里　樹君

ただいまお聞きした、私の聞き違いでなければいいんですけども、陸上自衛隊が用地取得したと。御嶽をですか。それは、どういう経緯で用地取得したんですか。ここは、千代田集落住民の共有地ではなかったんですか。ましてや御嶽をまた取得するという、その神経を疑います。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時46分）

再開します。

（再開＝午前10時46分）

◎企画政策部長（久貝順一君）

このカーンミ拝所に関しましては、この周辺一帯の陸上自衛隊の駐屯地の土地を所有していた方の所有していた土地ということもありまして、その所有者が陸上自衛隊、防衛省のほうに土地のほうを提供したということになっております。

◎上里　樹君

個人有地で、自衛隊が用地取得したということになっていますけども、御嶽を管理する人は、冒頭に紹介したとおり、御嶽を利用するための進入路を確保する土地まで購入しているんです。そういう先祖代々使ってきた御嶽が個人の所有だったということも不思議なんですけども、意外に感じました。それでも、

そういう関係者にとってみれば、長年拝んできた場所、これが自由に入れないというのは歯がゆい、そのように聞いています。挙げ句の果てに、もう用地を取得したということは、これは御嶽ではないということになるんでしょうか、扱いは。こんなことは宮古島の文化を否定するもんだと思いますけども。あわせて、御嶽の東側は参拝できないんです。東側には建物も建てられないことになっています、宮古島の風習では。ましてや北側に11人のヘリ墜落事故の犠牲者を弔うような、そういったものも設置してはならないはずです。ですから、こういう長年の宮古島の風習に基づく文化、これを自衛隊がどのように理解しているのか、甚だ疑問だということを指摘して、次に移ります。

弾薬庫の火災標識についてですが、千代田の弾薬庫は、弾薬庫は造らないという議会に対する説明、それがあったにもかかわらず、市民に対する説明もあったにもかかわらず、弾薬が配備されていました。それを当時の岩屋毅防衛大臣が2019年に千代田の弾薬庫は弾薬は撤去したと表明しましたけども、いまだに弾薬庫の前には自衛隊の「達」にある危険な弾薬を示す一群、この黄色いマークなんですけども、これが入り口の部分に設置されています。この一群のマーク、標識、これが火災発生時の対応について規定していますけども、幾度か私はこの場で指摘していますけども、消火が不可能と判断すれば、弾薬庫から600メートル離れること、このように通知しています。このことは、周辺住民に伝えられていません。拝所のことで取材して分かりましたけども、この千代田駐屯地の最も危険な弾薬庫、これは撤去すべきということで私はずっと要求してまいりました。

そこで伺います。千代田の宮古島駐屯地弾薬庫火災標識の撤去と設置、私が撤去要求したら、後で見に行くとありませんから、撤去されたものだと思っていたところ、また設置されています。その理由について伺います。

◎企画政策部長（久貝順一君）

火災標識の撤去と設置の繰り返しについてのご質問に対してお答えいたします。

上里樹議員ご質問の陸上自衛隊宮古島駐屯地内火薬庫の標識につきましては、宮古島駐屯地に問い合わせたところ、同標識につきましては台風、竜巻、暴風雨、突風などにより飛散する可能性がある場合には、その都度取り外しをしているとのことであります。11月中旬に接近した台風25号への対応処置であったのではないかとのことでありました。

◎上里　樹君

かなりの長い期間でした、いつからいつまでってここで今示せませんけども。ですから、空白があまりにも空き過ぎるんで、どんな基準に基づいてやっているのかが気になったわけです。

次に、陸上自衛隊の宮古島駐屯地についてですが、電子戦部隊の施設建設と隊員の配備について伺います。市長と市議会の説明会開催の要請を無視して、電磁波を利用したレーダーや無線通信を介した戦闘で妨害や傍受を担う新たな電子戦部隊基地建設と部隊配備が進められています。説明のない配備は容認できません。市の説明会開催要求に対する防衛省の回答について伺います。

◎企画政策部長（久貝順一君）

電子戦部隊についてお答えいたします。

自衛隊の部隊配備や訓練実施等の自衛隊活動については、防衛省が主体的に地域住民への丁寧な説明を行い、理解を得た上で実施することが望ましいと考えております。市としましては、宮古島駐屯地への電

子戦部隊の配備に関しましては、防衛省に対し市民へ丁寧に説明を行うよう文書にて要望しているところです。本年、去る10月２日ではあるんですけども、２日に開催しました地域連絡会において、防衛省は「地域連絡会において説明を行っており、改めて説明会を開催する予定はない」としておりました。防衛省の対応は市として納得できるものではないため、改めてこの10月２日の地域連絡会において、防衛省に対して丁寧な説明と適切な対応を求めたところです。

◎上里　樹君

近隣住民との良好な関係を築くと決意表明までして配備された駐屯地です。なのに、市議会、市長の再三にわたる要求を受け入れない。いかがなもんでしょうか。

次に移ります。自衛隊の訓練についてです。自衛隊の施設外訓練について、住民が大嶽城址公園で戦闘服姿の自衛隊員が訓練しているところを昼間目の当たりにして驚き、市に問い合わせたところ、同公園だけではなく、別の敷地外でも訓練が行われていたことが明らかになりました。その訓練について宮古島市にどのような説明があったのか、経緯と訓練の内容について伺います。

◎企画政策部長（久貝順一君）

自衛隊の施設外訓練についてということです。市への訓練実施の説明については、11月５日午後に陸上自衛隊宮古島駐屯地の担当者より、11月18日から22日までの間に市内14か所において災害時における通信手段の確保のための電波地誌調査訓練を実施するとの説明を受けているところです。市としましては、住民の生活に影響があってはならないこと、また訓練実施の際には住民に配慮が必要であること、施設の使用については適切に手続をすることを市の意見として伝えていたところです。

◎上里　樹君

時間がありませんので急ぎますけども、まずこの14か所のうち大嶽城址公園については、宮古島市には通知がなかったと理解していますけども、そのとおりでしょうか。

◎企画政策部長（久貝順一君）

大嶽城址公園については、市の許可を得ずに訓練をしたこととなっております。11月21日、午前中なんですけども、宮古島駐屯地司令の職務室担当者より、本市の秘書広報課、都市計画課に対して説明と謝罪がございました。

◎上里　樹君

謝罪して済む問題ではないと思うんです。再三再四、この施設敷地外訓練はしないと、約束を守れと、この場で要求してきたところです。徹底していただきたいと思います。

次に、総合体育館建設について伺います。地下施設の屋内駐車場と一時避難所について。現在防衛省予算を活用して、総額84億円を投入して総合体育館建設が進められています。その基本設計では、地下施設に屋内駐車場を整備し、一時避難所として利用する計画です。

そこで伺います。新たに内閣官房の予算を活用して整備する計画を進めることになっていますけども、その予算総額は幾らになりますでしょうか。

◎建設部長（川平陽一君）

基本設計業務の中で、高齢者、障害のある方、子供連れなどの多様な方々が利用しやすい施設とすることを目的に屋内駐車場を整備し、またその屋内駐車場を災害時に一時避難が可能な施設として整備するこ

とが上げられております。現在、実施設計業務の受注者も決まり、本格的に詳細の設計を進めてまいりますが、特定臨時避難施設の予算に関しましてはその業務の中で十分に検討し、作成するものとしております。

◎上里　樹君

現段階では総額幾らになるか分からない。いわゆる内閣官房が今補助メニュー整理しているところだと思います。しかし、基本設計の一時避難所としての整備、それと内閣官房の規定する特定臨時避難施設、いわゆるシェルターと呼ばれていますけども、その整備とは内容が違ってくると思います。これは、武力攻撃を想定した避難施設、シェルターの確保に係る関係府省連絡会議幹事会第１回で配付された資料、この３―１によりますと、一定期間避難可能で堅牢な避難施設としております。よって、一時避難所とはかなり違ってくると思います。加えて、完成後の維持管理費も大変な額になると考えます。時間もありませんから、武力攻撃を想定した避難施設を私は造る必要はないと考えています。そこで、あえて答弁は求めませんけども、いわゆるこの資料によると、特定臨時避難施設、米印がついて新設となっています。武力攻撃災害から人の生命及び身体を保護するために必要な機能を備えた一定期間避難可能で堅牢な避難施設、括弧して先島諸島の５市町村、与那国町、竹富町、石垣市、多良間村及び宮古島市で整備予定としております。

最後に所見を述べますけども、憲法を変えることなしに戦争ができる国造り、これに向けてこれまで数々の法律が強行されてきました。近いところでは防衛生産基盤強化法、社会主義国ではありませんよね、まで成立して、憲法が形骸化しています。宮古島市ではこの間、抑止力の名の下に陸上自衛隊のミサイル部隊が配備され、新たに電子戦部隊の基地建設と部隊が配備されようとしています。そして、国民保護の名の下に、九州への、いわゆる宮崎県への避難受入れが表明されました。そして、地下シェルターの建設が予定されています。先ほど行われた軍事演習キーン・ソード25、これが総選挙の真っ最中に強行されました。これまでは中国、北朝鮮への抑止力と言ってきましたけども、今度の軍事演習は抑止力が破れたことを想定したものでした。アメリカの戦略に基づくもので、演習内容は避難計画、オスプレイでけがをした自衛隊員を運ぶ、米軍の戦闘力を維持する、米軍作戦がスムーズにいくようにするものでした。今進められているのは、アメリカに協力する戦争体制づくりです。

（何事か声あり）

◎上里　樹君

戦争の準備ではなく、平和の準備を。そのためには、人間が人間を支配するような権力関係がなくなるような社会を実現することだと考えます。22日、米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める沖縄県民大会が開催されます。沖縄では、女性の尊厳をじゅうりんする悲惨な事件事故が繰り返し起きています。賛同団体が100に迫っていると聞いています。県民が最大結集できる一致点での団結を大事にして、県民が要望している人権尊重の立場から、日米地位協定の改定の実現、そして本当の意味でのジェンダー平等の社会の実現に大会の成功を祈念して質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで上里樹君の質問は終了しました。

◎友利光徳君

まず、質問に入る前に、市長との関わりについて少し昔の話をします。宮古土地改良区の総代会で現市長から声をかけられて、「ゾオカリウラマンナ」という声をもらいました。要するに元気ですかという意味です。県庁地下の食堂で「ンミヤードゥウラマイナ」と、いらっしゃっているかという声をかけられましたけども、当時は返事を返す勇気も気力もありませんでした。大変すみませんでした。しかし、縁がありまして、出来の悪いこの私も市政刷新の一人として認めていただき、誠に感謝し、自分の行動に誤りがなかったと誇りに思っております。誤っていないというのは、市民の目線に立つという表現の言動であろうと、私はこのように理解しておりますけども、市民の目線というのは、私は４人の首長とこれまでお付き合いをさせていただきましたけれども、４年間ご自身の車で出勤する姿勢こそ市民の目線であろうと私は理解しております。同世代の人間としていつまでも大切にしていきたい格言というのがありまして、麦の穂は実れば実るほど上を向くと。米の穂は実れば実るほど下を向くと。要するに頭を下げる意味でしょう。人間形成の言葉でありますので、私も市長と同様に米の穂のように頑張っていきたいと、意を強くしているところであります。そして、福里保育所の件で４人の関係する議員が要請行動しました。保良の下地茜議員、福里の西里芳明議員、そして私、加治道の上里樹議員、これ城辺学区と福嶺学区の議員ですけども、これこそが地域の市民目線と捉えてください。

以上申し上げ、質問に入ります。まず、農業振興からですけども、沖縄県農業共済組合と市の関わり方について答弁を求めます。

◎農林水産部長（石川博幸君）

沖縄県農業共済組合に対しては、事業の運営負担金、そして各共済の掛金について市も補助しております。宮古島市の令和５年度の実績は、次のとおりとなっております。さとうきび共済につきましては、有資格戸数4,658戸に対し、1,799戸の加入で加入率が38.6%、園芸施設共済が有資格戸数426戸に対し、276戸で加入率が64.8%、収入保険については有資格者戸数401戸に対して、121戸で加入率30.2%、家畜共済保険は有資格戸数556戸に対し、524戸で加入率94.24%の実績となっております。

◎友利光徳君

前政権から変わって収入保険を手厚く、農家を救済しているというのか、やっていると思うんだけども、どれぐらい伸びたのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

災害等が多発する中で、事後の支援より事前の備えということで、大分手厚くしております。沖縄県農業共済組合員は、北部支所、中南部支所、八重山支所、そして宮古支所の４支所あります。

各支所の保険の加入率で順位でいきますと、さとうきび共済でトップは宮古支所の38.6%、施設園芸共済では宮古支所がトップで64.8%、収入保険共済でも宮古支所がトップで30.2%、家畜共済保険でも宮古支所がトップで94.24%（　　部分は239頁に発言訂正あり）と、以上宮古支所が４種の保険加入率はトップとなっております。

◎友利光徳君

共済組合が吸収合併されたところは、たしか平成24年かと記憶しているんですけども、12年が経過しまして、共済組合の総代会が沖縄の那覇の南部のほうでいつも開催されております。参考ですけど、県下で沖縄県で105名の総代がいて、北部支所が20名、中南部支所が40名。これは、中南部支所というのは24市町

村を加えます。宮古支所が30名、八重山支所が15名であります。しかしながら、合併12年がたって、まだ宮古島のほうで総代会が開催されていません。これ総代会を宮古島で開催できないか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

総代会の宮古島開催ですけども、県内の総代数が105名となっておりまして、役員と事務職員10名程度おります。これらの旅費がやはり高額になることがネックとなって、離島開催は厳しいということでございますが、しかしながら総代会の開催は厳しいんですけども、役員会、理事会を離島で宮古島で開催することは検討したいとのことでございました。

◎友利光徳君

これまでの総代会の那覇での開催ですけど、大体が書面決議によって、宮古島のほうは地元から那覇に出るのが大体５名ぐらいです。11月７日に工藤俊一組合長と下地、与那覇出身の長間忍参事が市長を表敬しておりますけども、その辺についての考え方があれば答弁を求めます。

◎市長（座喜味一幸君）

おいでいただきまして、いろいろと話合いをさせていただきました。私ども先ほど農林水産部長から答弁があったように、災害後の救助より、ぜひともに保険、事前の備えをということで、多分全県の中でも共済には取り組んでいるところでございまして、今度全国共済会からも宮古島市、連続３年の感謝状を頂くことに今なっておりますが、賞をもらうというよりも、ぜひ共済をしっかりと行政としてもサポートして、いざというときの災害に備えておく、経営の安定化を図っていくということにおいて、しっかりと共済のほうも丁寧な共済の重要性を説明し、加入を促進してください、連携していきましょうという話合い等やったところです。

◎友利光徳君

ぜひとも市長、やはり宮古島は第一次産業が主体ですので、ぜひ農業振興のためにも頑張ってくれるようにお願いしておきます。

次は、浦底ダムの利活用についてでありますけども、今回で２回目かなと思うんだけども、質問します。このダムは1955年、昭和30年に工事が開始をして、当時こっちで工事をしていた若い青年が事故に遭いまして、やはりそれを風化させてはいかんではないかなという関係者からの意見を酌み取りまして質問を繰り返すんだけれども、私の子供の頃は水稲が水田で盛んでありました。どうでしょうか。米の値段が上がって非常に厳しい生活が強いられています。米の普及のために考えることはできないですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

浦底ダムを活用して、田んぼとして活用できないかということでございますが、やはり整備実施するためには整備の費用対効果、農作物の生産量、収入、また担い手の確保など様々な課題があります。ということで、現在のところは整備の計画はございません。

◎友利光徳君

それでは、陸稲、陸で米を作るということですけども、マイコス米というのがあって、これは水を張らないで米を生産するという方式らしいですけども、石垣市にみやぎ米屋というのがあるんだけども、荒廃した土地を耕運機で耕して、これを普及に力入れています。どうでしょう、宮古島のほうで普及することできないでしょうか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

陸稲ですけども、過去に、以前宮古島でも栽培されていたということでございますが、田んぼの米と違って収量があまり多くないようでございます。味もあっさりしていて、食味もちょっと落ちるということで、加工米として使用することが望ましいということでございます。現在の畑や荒廃地等の土地を利活用して、実験的に栽培するということは始めてもいいのかなと思います。ただ、普及に当たって栽培方法の確立と販路拡大が課題となりますので、その辺のハードルはまだ高いのかなというふうに認識しております。

◎友利光徳君

２番目の衛生行政についてお尋ねします。

令和元年８月１日から令和２年３月31日までの間、申請者から市の担当部局に提出した書類についてお尋ねをします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

今回友利光徳議員からご質問のありました内容に関しましては、友利光徳議員おっしゃっております申請者から提訴を受け、最高裁判所まで係争を行い、終了している……

（議員の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時15分）

再開します。

（再開＝午前11時15分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

市の顧問弁護士と内容を相談しまして、確認を行った内容で答弁させていただきます。

申請者は、令和２年度宮古島市一般廃棄物家庭ごみ収集運搬業務委託契約に係る要綱、同受託審査申請書の添付資料に基づきまして、印鑑証明書、現在事項全部証明書、市税完納証明書、役員等の身分証明書、運転手、助手の健康保険被保険者証写し、収集運搬車両の車両書写し、収集運搬車両の任意保険証券写し、一般廃棄物実務関係者講習等修了証写し、作業従事者の運転免許証写し、申請車両の写真を提出しております。加えて、その他市長が必要と認める書類といたしまして、定款、組合員名簿、平成30年度の決算報告書、令和２年３月14日に開催されたとされる理事会の議事録、同月17日に開催されたとされる臨時総会の議事録、組合員の同意を示す書面等の提出を求めたところ、申請者はこれらの書面を本市に提出しております。

◎友利光徳君

この業者が７月いっぱいでごみ収集をやめたときには、この入札参加依頼を出している業者に藁に縋る思いでお願いしているんです、受託業者がいなくなったもんですから。しかしながら、今環境衛生局長が読み上げたこの書類というのは、普通は出さないですよね、収集運搬業務申請書類の中にはないですよね。そうですよね。ではお尋ねしますけども、この書類は、どのような方法でどのように外部に出たんですか、外に。ちゃんと答えてください。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時18分）

再開します。

（再開＝午前11時18分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

先ほどもお答えいたしましたが、その他市長が必要と認める書類として提出を求めたところ、申請者はこれらの書面を本市に提出しております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時19分）

再開します。

（再開＝午前11時20分）

◎友利光徳君

普通は、この業者というのは、入札参加願を出しているから自動的にごみ収集できますよね、環境衛生局長。この書類を持ち出した人は元組合員で、この書類がどこにあるというのはみんな知っているんですよね、鍵がどこにあるということも。ですから、組合の方が、宮古島市環境清掃事業協同組合理事長の許可を得て出させたかということを聞いているんです。答えてください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

友利光徳議員のご質問の件ですけれども、この件につきましては那覇地方裁判所、これは令和２年度に原告申請者対宮古島市損害賠償請求事件における裁判及び福岡高等裁判所那覇支部、これは令和４年損害賠償請求控訴事件における裁判により、事実認定及び関係法令の解釈の下に市の対応は相当であり、違法ではないとの判断が下されております。さらに、上告審、これは最高裁判所の第２小法廷において、令和６年、４月26日の上告棄却決定が確定したことによりまして、これらの件につきましては市の対応には違法性はなく、相当であったとの結論で司法では決着がついているところでございます。

（「議長、休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時22分）

再開します。

（再開＝午前11時22分）

◎環境衛生局長（下地睦子君）

持ち出したというお話を友利光徳議員はされているところですけれども、市のほうには提出されたということになっておりますので、持ち出した相手が誰かというお話は、それは私のほうでは分からないところです。

◎友利光徳君

それでは、この審査不合格通知を私は示しています。この書類を持ち出させた目的というのがあるんです。業者が変更されているんです。それが目的なんです。その目的を答えてください。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

先ほどから申し上げていることと重複いたしますが、目的、これは審査のための必要な書類ということで要求をしているものですので、目的は審査のためのものであると考えております。

◎友利光徳君

それでは、担当職員としてそのときの事務を見ていた方がいるんです。これは、要するに委託業者に対して必要としない書類の提出を求めることは業務を逸脱しているんではないですか､この行動というのは。越権行為です、地位の悪利用です。これは、業者との癒着があるんです。業者を替えられるんです、そのときに。

（何事か声あり）

◎友利光徳君

この質問通告されていますよ、それに対してどうですか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

友利光徳議員のご質問で、越権行為ではないかと。申請者と市との間の損害賠償請求事件において、那覇地方裁判所、福岡高等裁判所那覇支部、最高裁判所、ともに市の対応には合理的理由があり、違法ではないとの判決文で明確に、いずれも判決を確定しております。したがいまして、市といたしましては、当時の担当者の対応は適法、相当であり、権利の行使において越権があるとか地位を悪利用したということにはならないと判断しております。

◎友利光徳君

それでは、これは上司からの指示だったというふうに受け止めてよろしいですか。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

申請者に対する一連の対応は、主に当時の担当課の職員が対応しておりまして、当然上司からの指示に基づくものです。

◎友利光徳君

選手派遣費についてお尋ねしますけども、事業開始から現在まで、高校生に対する支払いですけども、少し私も関係者がいるので、例年３回から４回ぐらい沖縄本島に行きます。駅伝に２回、陸上に２回ぐらいです。その保護者から、非常に助かっていると、当局に対するお礼の言葉がありましたので、これ一番大事な問題ではないかなというふうな気持ちであります。事業開始から現在まで、高校生に対する選手派遣費についてのお尋ねをします。

◎教育部長（砂川　勤君）

令和５年度から県立学校の生徒の選手派遣費、補助の対象としてございます。県立学校への補助としましては、令和５年度は県内外合わせて200件、延べ人数は1,369人となっており、支給額が1,408万3,000円となっております。令和６年度、11月末現在で件数90件、延べ人数は704人、支給額が合計841万円となってございます。

◎友利光徳君

これは、たしか山下誠議員が質問して実現したんではないかなと思っております。やはりスポーツ振興と人材育成というのは一体的でありますので、今後とも大いにその補助を出してくれるようにお願いします。

次は、２番目の旧城辺中学校に寄贈されたピアノの件についてでありますけども、これ教育部長、まずは確認からしますけども、意見から述べさせてください。質問に入る前に、創立40周年記念誌から、沖縄県議会議員初代同窓会会長である福里一郎県議からお祝いの言葉が述べられています。創立当時は学校の校舎もなく、勉強する教科書も学用品も少なく、小学校の校舎を借りて勉強したものでありますと。そして、先輩はこう述べています。学区民は、総出で校舎造りに汗や涙や血をにじませて学校づくりに貢献をしました。それに比べ、学校統廃合時の特別職は、何一つそれに関しては貢献度をゼロに等しいと思います。

そこで質問しますけども、これピアノが廃棄された年月日いつですか、正確に答えてください、読まないで。ないならないでいいです。

◎教育部長（砂川　勤君）

ご指摘のグランドピアノにつきましては、９月定例会でもご質問いただきまして、その後、別の関係者からも情報を得ることができました。少し経過をお話しさせていただきたいと……

（議員の声あり）

◎教育部長（砂川　勤君）

いろいろ経過がございまして、こちらとしましては処分したというのが令和４年４月１日になるだろうということで。処分された日です、４月１日ということになろうかと推測しております。

（「何年のですか。何年の何月何日ですか」の声あり）

◎教育部長（砂川　勤君）

令和４年４月１日です。

◎友利光徳君

城辺中学校の第73回の卒業式で、私は見ました、ピアノ。それから、卒業生も証言しているんです、ピアノがあったというのを。では、教育部長、この前の廃棄したという答弁は間違いですか。間違っているなら間違っているとちゃんと言ってください。

◎教育部長（砂川　勤君）

これについても、やはり経過を少しお話しさせてください。

（議員の声あり）

◎教育部長（砂川　勤君）

９月定例会以降、別の関係者から情報によりますと、当該ピアノは台風被害後、修理しながら使い続けていたという情報がございます。ただ、経年劣化により、台風被害を受ける前から調子が悪く、さらに台風の影響による破損もあり、修理してもなかなか調律し切れなかったがそのまま使っていたと伺っております。また、宝塚医療大学に建物を譲渡した際にも、体育館内にグランドピアノが設置されたことも確認してございます。城辺の４中学校統廃合の際、城東中学校をはじめ、市内の各学校に必要な備品の所管換えを行っておりますが、当該ピアノは修理調律しても使用するのは厳しいということで、どの学校も受け

取らなかったものと推測されます。また、その後、同大学において処分していたただいたものと考えているところでございます。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時33分）

再開します。

（再開＝午前11時33分）

◎教育部長（砂川　勤君）

９月定例会では台風の影響で廃棄したという答弁いたしましたけども、訂正をさせていただきたいというのは、新しい情報が入りまして、台風直後、台風以後も使用していた。また、旧城辺中学校から実際宝塚医療大学に譲渡した後もピアノが存在することは確認されております。

ということで、前回９月のときは廃棄されたとお話ししましたけれども、その後もあったという。現物はあったということでございます。

◎友利光徳君

この件について、教育部長に詳しいことを話しましたよね。そうしたら、教育部長は鳥肌が立っていると言ったよね。私がいろいろ話をしたとき、この理由について。では、今はどこで保管されているんですか。

◎教育部長（砂川　勤君）

これも９月定例会で少し述べましたけども、２台あるうちの１台、平良第一小学校に存在しています。もう一台は、４月１日時点で処分されたものと考えてございます。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時35分）

再開します。

（再開＝午前11時36分）

◎友利光徳君

この旧城辺中学校の体育館にあった、私が見た体育館にあったピアノ、今どこにあるの。ありますか。正確に答えてください。

◎教育部長（砂川　勤君）

この後の、エのグランドピアノの廃棄されたかという部分に当てはまるかと思うんですけども、建物とともに譲渡された宝塚医療大学に、そのまま建物と一緒にグランドピアノも譲渡されています。同大学がどのように処分したのかという詳細は把握しておりませんけども、民間事業者に引き取ってもらう形で処分したと聞いてございます。

◎友利光徳君

次は、消防行政について通告してあるんだけども、まずは要望だけ今回はしておきます。若い青年が消防士を目指すということは、非常に私はありがたいなと思っております。しかしながら、今の宮古島市の

消防士の数は、条例数に少し足りないので、やはり。徐々に増えてはきているんだけども、まだ達していません。やはり条例数に近づけるように努力をしてほしいということを申し上げて、次に移ります。

これは、３世帯の、この近くで世帯を持つ場合に、移住する場合に、南城市の瑞慶覧長敏前市長がこれに対して補助金を出しています。これについて、本市もまねと言ったらあれだけど、実施できないのか。これ前市長にも質問したときあるんだけども、答弁をもらえませんでしたので、どのように考えているのか。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

３世代同近居世帯への支援は、高齢者世代と子育て世代が共に支え合いながら生活することで子育て支援、高齢者支援、地域のつながりの強化にも寄与する制度であり、現在住宅不足にも一定程度の効果が期待できると認識しております。市としましては、地域コミュニティー活性化に関する支援制度として何ができるのか、財源の確保や制度設計含め、関係機関や他市町村の状況も確認しながら調査研究、検討してまいります。

◎友利光徳君

次は、沖縄県等、いわゆる出先機関等の協力の連携の強化についてでありますけども、宮古島市には沖縄県の出先機関とか銀行関係、それから気象台関係、学校関係であります。やはり居住する場所が足りないというのは、こういった方等、こういった機関との連携は必要ではないかなと思います。というのは、宮古高校は教員住宅があったり、それから沖縄銀行は社宅があったりいろいろ、教員住宅もあるんだけども、そういったのがあります。どうでしょう、こういうのに連携を強める考えはないのか。

◎建設部長（川平陽一君）

県職員の住宅問題につきましての提案、ありがとうございます。この問題の内容につきましては、実現可能か、今後検討していきたいと考えております。

◎友利光徳君

次は、選挙、その線引きについて、選挙管理委員会、公職選挙法で。簡単にどういうふうに、積極性と消極性があればというのを簡単に説明お願いします。

◎選挙管理委員会委員長（仲間正人君）

公職選挙法における積極的な選挙運動と消極的な選挙運動の線引きについてお答えします。

公職にある者の選挙運動は、公職選挙法のほか、国家公務員法、地方公務員法等によって禁止もしくは規制されております。一般に規制の対象となる積極的な選挙運動としては、演説、街頭でのビラまき、寄附行為のほか、職務上の地位を利用しての選挙運動が挙げられますが、その線引きについてはケース・バイ・ケースで、目的、内容、態様など、様々な要素を総合的に判断する必要があると考えております。

◎友利光徳君

７番目の畜産振興についてお尋ねしますけども、これ事業導入件数についてはよろしいです。事業執行の適正化については、９月定例会で答弁していたように、連絡が取れない、指導できない、63頭規模だったけども、牛はいない。これでこのようにして確認して理解してよろしいですか。これだけ。そうなのかどうか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

10月11日に本事業主体と面談することができました。面談によって、畜産に対する意欲があり、畜産事業を行っていくということを約束しており、事業に対する意思を再度確認できております。

◎友利光徳君

令和２年から令和６年９月まで、全く効果はありませんでしたよね。10月11日に再開するという言葉をもらったというのだけれども、これは担保できますか、その答えは。答弁お願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

本事業者、畜産事業に対する意欲があることは表明しております。ここ数年、畜産経営に対する状況は厳しいものがありますので、状況の回復等が見られれば順次再開していきたいというふうに意思表示をしておりますので、市としましても事業の目的に即して執行していくように、関係機関と指導を行っていきます。

◎友利光徳君

ということは、廃業届を出したり、補助金返還を促したり、そういうことはないというふうに理解してよろしいですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

補助金返還につきましては、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の中の第４章、補助金等の返還等で決定の取消し、第17条で補助金等の他の用途への使用した場合に補助金の交付決定を取り消すことができるとあります。しかし、本事業者にはその要件が当てはまらないため、補助金返還には該当しないということでございます。

◎友利光徳君

では、４番と５番は大体一致するかなと思うんだけども、本市だけが実施していると思う事業、畜産農家に対する事業、これがあると思うのだけれども、これ説明できますか。大体４と５は一緒かなと思います。緊急優良母牛更新事業と肥料高騰に対する補助は、皆さん長くやっているのがあるんでは……

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時46分）

再開します。

（再開＝午前11時46分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

宮古島市が行っている事業、他市町村でも実施しております。飼料高騰対策事業につきましてはうるま市と宜野湾市が、競り価格の補助については与那国町が実施しております。

◎友利光徳君

それでは、指定管理について、宮古島市体験滞在交流施設について、①番目の交代の在り方についてでありますけども、事業報告書を見た場合に、前の指定管理者は移転のために掃除をして移転したと。また次からやる人は、その前の方の掃除が終わらない、引っ越しが終わらないと、そういうふうな事務報告していますよね。これ、どれが正しいかだけで結構です、時間がないので。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

これは、前指定管理者と新しく指定管理者になる方との交代の在り方だと思っております。我々のほう、担当のほうとしましては、指定管理者、新たに指定管理者となる方からの事業報告を受けてのみ判断しておりますので、その作業、やった作業の内容しか報告を受けておりません。前管理者のほうに関しましては、ちゃんと引継ぎをしたという報告は受けておりませんので、書面で受けておりませんので、現管理者の分のみで判断しているところです。

◎友利光徳君

私は開示請求をしまして、いろいろ書類を見る機会がありました。確かに書類上はきれいに整理されているのだけども、双方の意見が違うということは、皆さんは現場で立会いはしていないということになります。現場確認をしたか、そして立会いしたか、これだけで結構ですので。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

当時の担当者に確認したところ、確認月日まで覚えていないとのことでございましたが、現場確認と立会いは実施したとのことでございました。

◎友利光徳君

時間がないのでこれだけに今回しますけども、文化財の現状についてでありますが、千代田のカーンミ拝所の出入りについてでありますけども、おととい現場の方と現場の近くの方と市長と話をする機会がありました。中に入るのが面倒くさいから、もう外で手を合わせていると。御嶽というのは年に大体十五、六回ぐらいはあるんではないかなと思うんだけども、これ先ほど上里樹議員から話があったように、出入りの手続をもう少し緩和できるような方法はできないのかお尋ねします。これだけで結構ですので。できないか、できるかだけ。

◎企画政策部長（久貝順一君）

カーンミ拝所の出入りの簡素化につきましては、質問の内容について駐屯地のほうと調整をしてみたいと、のほうにも投げかけたいと思っております。

◎友利光徳君

なぜこの質問をしているかというと、関係者が観光地をもちろん歴史や文化等をＰＲしたいと、宮古島を盛り上げたいと、それから宮古島には集落ごとに方言があると、そういうことをマスコミで流していたもんだから、前回は方言の質問をしたし、今回は歴史と文化について質問しているんだけども、ちょっと抜粋して、時間がないので。質問をしますけども、３番目、下南のニスニャガーというのがありますよね。これ今朝書類上げていますので、久貝係長に。分かると思うんだけども、これ登録できないですか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

合併後に開催した文化財保護審議会では、旧市町村で指定候補としていた文化財の整理を行っております。現在はそのときに作成された指定候補のリストを基に順次調査、審議を進めているところです。ニスニャガーについては、旧城辺町の文化財保護審議会にて審議されておりますが、指定には至らず、かつ合併後に整理された指定候補に含まれていないことから、現在指定に向けた作業を行う予定はございません。

◎友利光徳君

これは、2002年度にぐすくべを訪ねるというちょっと薄めの本を出しているんだけど、旧城辺町教育委員会が。これは、一番下のほうにありますよね、町指定候補だよと。ぜひ頑張ってください。

いっぱい聞きたいんだけども、ちょっと衛生問題で時間取り過ぎて。次はスポーツ振興についてお尋ねしますけども、そのうちの３番目から行きます。沖縄県高等学校駅伝競走大会について、宮古島開催について。これも少し、11月１日に沖縄県で第42回だったか、女子は駅伝大会がありました。10月26日の夜インフルエンザにかかった方が、１区に起用されていたんだけども、出られなかった、行けなかったと。要するに30日に宮古島を出ているもんだから、ちょうど５日になるわけです。31日にどうしても、今帰仁村まで行かなければならないけれど、時間がないと。そういうことで行けなかったもんだから、その質問しているんだけども、宮古島では平成13年だったと思うんだけども、平成13年全九州高等学校駅伝競走大会を開催していますよね。そのときには今帰仁村と誘致活動して、宮古島のほうに、開催が決まったという例があります。どうでしょう、要請行動は可能ではないですか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

沖縄県高等学校体育連盟へ要請実施の可否を問い合わせたところ、特に制限はないとのことでしたが、令和４年に宮古島で開催予定だった際、大会開催の主管となる高体連宮古支部において人員確保が困難という理由により開催を辞退した経緯があることや、昨年には有志の方々から宮古島開催の要望、相談があった際にも開催は困難と高体連宮古支部で判断していること等を踏まえると、市からの要請は現状ではできないと考えております。

◎友利光徳君

市長と教育長、答弁は求めませんけども、人間形成とスポーツ振興は一体的でありますので、ぜひともこれは要請行動をしてください。皆さんが行かなければ、私が行きましょう。

次は、１番の②、離島甲子園の城辺球場の活用についてお尋ねします。この前聞き取りをしたときに、スポーツ振興課長はフェンスが腐食していると、そういうことだったので、３日前かな、ちょっと現場を確認しました。皆さんは下地の球場を使うんだけども、下地には少年野球チームは今ありません。城辺には城辺小学校と西城小学校の城東エンジェルスというチームを結成して頑張っています。まだ５年生が一番上級生なので、まだ一勝もしていないのだけども、これ子供たちに夢を与えるために城辺球場の活用はできないですか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

城辺球場の活用ということでございますが、離島甲子園で城辺球場の活用については、友利光徳議員がおっしゃっているとおり、現在考えていないところです。城辺球場はフェンス等の老朽化が著しく、大会に適した球場にするためには大規模な改修が必要となるというふうに認識しております。今回、次年度、全国離島甲子園の大会運営では４つの球場が必要となるということで、伊良部球場、市民球場、下地球場、市営球場での大会が開催可能であるということから、城辺球場の活用は予定しておりませんが、城辺地区に少年野球があるということと今回の開催ということでつなげて考えているということではございませんので、そこら辺についてはちゃんと使える球場を活用したいというふうに考えております。

◎友利光徳君

次は、離島甲子園の①の宿泊等業務委託についてですけども、下地の津嘉山荘というところが少年野球大会を開催しており、スポンサーです。たしか16回目かな、17回目かな、宮古島の子供たちのスポーツ振興に大きく役に立っています。今月そこを訪ねて話をしたんだけども、どうしてこういうふうにして気を

遣っているかといったら、自分も少年の頃、少年野球をやっていたと。ちょうど建設部長と一緒らしいです。宮古高校が沖縄本島に行って野球する場合に、宮古テレビで宮古高校の試合の状況を放映しますよね、津嘉山荘が。ですから、こういった少年の野球、スポーツ振興に役に立っている関係者を優先的に宿泊施設に推薦できないかということで答弁を求めます。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

地元、郡部等にある民宿等も宿泊場所として優先して依頼することは可能かというようなご質問だったと思います。この離島甲子園につきましては、参加自治体の負担金が一律で定められておりまして、参加チームの宿泊施設につきましては同レベルでのサービスが提供できることや、ある程度の人数が宿泊できることなど、一定程度の平等性が求められているところでございます。本市の宿泊施設はチーム単位で宿泊できる民宿の数は限られておりまして、宿泊施設は主にビジネスホテルなど、御飯が出るようなホテルが中心になるかなというふうに想定しております。しかしながら、友利光徳議員ご指摘の民宿の積極的な活用、利用につきましては、参加チームの関係者等、保護者や関係者など多くの方が来島されますので、そういった方々へ積極的な活用ができないかというふうに検討してまいりたいと考えております。

◎友利光徳君

観光商工スポーツ部長、検討しないで、どうぞ遠慮は要りませんので。

では、時間がないので、島の変貌についてお尋ねします。宮古島市に今住所登録していない方の実態調査についてでありますけども、宮古島に移り住んで47年になる友人と偶然会いまして、自分が来た頃、昔は宮古島のおばあたちがおいしいそばを安くして提供していたと、今はそうではないと、もう高くて入れないと、島外の方がやっていると、残念そうに話をしていました。その中にごみの問題の話をしていました、ごみ収集の問題を、みんなに迷惑かけているんではないかなと。それと、水道の問題の話をしていました。その件について実態調査をする予定はないのか。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

住民基本台帳に登録されていない者についての実態調査につきましては、実施してはおりません。理由としましては、調査するには申出とか依頼等がない限り情報が得られないということもありまして、調査することは物理的に難しいと考えております。ただ、来年国勢調査があるということを聞いております。そういう実態を把握する、一つの国勢調査というのがいろんな基礎データに使われますので、その数字が実態であるという認識でいます。

◎友利光徳君

次は、環境保全について、開発行為について。辺野古新基地建設に宮城島から土砂が搬入されると。そのついでに、文書で宮古島や八重山というのがありました。宮古島で今開発されているほうが下南地区のほうで、山が約20メートルか、掘削というのか、あります。そういった地域をもう少し、法縛りではなくていいからやっていかないといけないんではないかなというふうな思いからこれ質問していますけども、どうでしょう。この問題についてどのように考えているのか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後零時03分）

再開します。

（再開＝午後零時04分）

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

鉱業法に関することだと理解しております。鉱業法に定める鉱山の開発、鉱業権でございますが、それにつきましてはそういった環境等に配慮した計画が出されて、区画が決定されるところでございます。また、区画が決定、鉱山区域が決定されたとしても、また土砂の形質変更等を伴っての搬出等、掘削等をする場合には、また別の法律等もございますので、そこら辺については法律の範囲内で対応していくのかなというふうに考えております。

◎友利光徳君

残った分はこの次にしますけども、議員が質問している間に横入りをする、これはどうも私は不愉快に思います。ということは、議場は聖域であるということは、私は誰よりも知っています。旧城辺町時代から議場で質問しています。一番旧城辺町議会で強硬派は私です。それは横入りということだと思います。だけど、これちゃんと情報取って質問しているのであって、臭いものに蓋をかぶせるような考えでは、宮古島はよくならないです。お互いに気をつけて頑張りましょう。ありがとうございます。

◎農林水産部長（石川博幸君）

先ほど沖縄県農業共済組合の４支所の中の順位の中で、家畜共済保険、宮古支所142.7％の加入率と申し上げましたが、正確には94.24％でトップでございます。訂正いたします。すみませんでした。94.24％に訂正です。

◎議長（平良敏夫君）

これで友利光徳君の質問は終了しました。

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午後零時07分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

午前に引き続き一般質問を行います。

順次質問の発言を許します。

◎池城　健君

議員番号10番、新政会、池城健です。通告書に従って質問いたします。当局におかれましては、市民に分かりやすい、丁寧な説明をよろしくお願いいたします。

座喜味市政になってから１期目の４か年を終えようとしています。その在任期間、座喜味一幸市長においては大城裕子教育長と共に、宮古島市の教育課題の解決に向けて強い指導力を発揮していただいたと感謝しております。特に今年度の予算においては、総予算の10％を超える教育予算が措置されて、宮古島市の子供たちの未来のために活用されています。そこで、その活用状況について伺います。

最初に、特別教室等へのクーラーの設置についてですが、昨年、令和５年の夏も非常に暑い夏でした。そこで、昨年９月定例会で、子供たちのために早急に特別教室にクーラーを設置してほしいとの私の質問

に、教育部長は３年ないし５年以内で特別教室に設置できればという方向で取り組んでいるとの答弁でした。私は、子供たちの健康のため、そして学習意欲の向上のために早急な設置をお願いしました。

そこでお伺いします。今年度のクーラー設置の予算総額についてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

いずれも令和６年度から令和11年度の６年間のリース契約でございますけども、小学校年額5,916万9,000円、合わせて３億5,501万4,000円。中学校が１年間で4,327万4,000円、トータルで２億5,964万4,000円。合計いたしまして６億1,465万8,000円となってございます。

◎池城　健君

年、小学校で5,000万円余り、中学校に4,000万円余りの予算を使ってということですが、これ今年度に設置した台数は幾らですか。もし今年度で設置していないんだったら、次年度についても設置予定はありますか。

◎教育部長（砂川　勤君）

今年度設置台数は469台でございます。今年度で全ての普通教室、特別教室にクーラー設置完了いたしますので、次年度設置予定はございません。

◎池城　健君

ありがとうございます。教育部長が昨年の答弁で３年ないし５年で設置するという答弁していたのですが、市長の児童生徒のためにという強い決断力で今年度で実施できたということだと評価しています。来年夏、子供たちは涼しい快適な教室、教育環境で勉学に励むことができるものと期待しています。

続いて、選手派遣費の補助金についてお伺いします。座喜味一幸市長が就任してから児童生徒への選手派遣費も拡充していると聞いております。令和５年度からは、補助対象外であった県立高校の生徒へも補助が拡充されました。また今年度は、県内の派遣補助費が拡充されたと聞いています。

①、今年度の補助金の総予算額と前年度対比についてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

池城健議員おっしゃるとおり、選手派遣に係る補助金は、令和５年度から県立学校生徒へも対象を拡充いたしました。令和５年度当初予算編成時におきましては学校からの実績がありませんので、学校からの聞き取りにより概算で見積りをしております。単純に比較できませんので、補正予算を含んだ数値でお答えいたしたいと思います。令和５年度予算総額5,498万4,000円、令和６年度5,829万5,000円で、331万1,000円の増額となります。

◎池城　健君

この補助金を給付した児童生徒の延べ人数についてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

延べ人数です。令和５年度の補助金支給を受けました児童生徒実績は4,587人、令和６年度11月末時点では2,051人となってございます。

◎池城　健君

令和５年で4,500人余の児童生徒が補助を受けて、島外のいろんな大会に参加し、自己実現を図っているものと思います。市民の皆さんからも選手派遣に関して、経済的に厳しくて島外への遠征に参加できない

児童生徒がいなくなるので大変助かっているとの好意的な意見が聞こえています。また、これまでコンビニなどに設置されていた募金箱やタオルやそうめんの販売がなくなっているとの指摘がありました。宮古島市の人材育成に大いに役立っていると評価しております。

続いて、検定料補助金についてですが、宮古島市内の小中学校においては、児童生徒に学習への意欲づけと確かな学力の向上を図るため、各種検定の受検を推奨していると聞いています。市としても児童生徒の意欲向上のために、英語検定、数学算数検定、漢字検定等へ補助金を給付しています。

そこで、検定料の補助金についてお伺いします。今年度の検定料補助金の総額と前年度の違いについてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

検定料補助金の予算総額は、前年度230万円、本年度は669万3,000円となっております。今年度の予算総額が前年度より増加した理由としましては、補助率を40％から100％へ拡充したこと、また各種検定へそれぞれ年１回補助金交付に加えて、年度内に合格した検定の上位の級を受検する場合も補助対象としたことの２点が挙げられます。

◎池城　健君

非常に増額していて、この補助金を給付した児童生徒、令和５年度と令和６年度、延べ人数を教えていただけますか。

◎教育部長（砂川　勤君）

検定料補助金を給付した児童生徒の人数は、令和５年度で1,891名、令和６年度、現時点で1,207名となります。参考までに、また一つの要因でありました年度内に合格した検定の上位の級を受検する形での補助金給付、先ほど述べました1,207名のうち78名が受検してございます。

◎池城　健君

これまでの40％、４割補助が全額補助になったということは、児童生徒の意欲向上や保護者への経済的支援として非常に有効だと評価しています。宮古島市の児童生徒の学ぶ意欲の向上、学力向上に大いに寄与するものと期待します。

続いて、修学旅行補助金についてです。私が現職の頃、修学旅行は子供たちにとって本当に楽しみな一大行事でした。多分今でも心わくわくする行事だと思います。当時中学校の修学旅行費は、12万円程度だったかなと覚えてます。その約半分の６万円の補助金を出してもらいました。ところが、その自己負担分の六、七万円の負担が大きいと、保護者からの声が多かったです。今年度、修学旅行の補助金も拡充されていると聞いています。

そこでお伺いします。補助金の総額と前年度との違いについてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

令和６年度から、修学旅行に係る補助を補助対象経費の全額といたしました。これは、令和４年度まで小学生２万5,000円、中学生６万円の補助。令和５年度には物価高騰による航空運賃等の値上がりに対応するため、小学校２万9,000円、中学校７万2,000円と増額対応を行ったところです。今後の社会情勢等も踏まえ、対象経費全額補助となった経緯がございます。補助対象経費を全額補助したことで、先ほど池城健議員もおっしゃるとおり、保護者の経済的負担が軽減されたとのことで、ありがとうなど感謝の言葉が届

いてございます。総額については、しばらくお待ちください……。

◎池城　健君

では、総額については後で教えてください。

それでは２番目、補助金を給付した児童生徒数、令和６年度の児童生徒数、現在のところの人数が分かれば教えてください。

◎教育部長（砂川　勤君）

児童生徒数、あとは支給実績も併せてお答えしたいと思います。

令和６年度修学旅行参加児童生徒は、小学生545人、中学生493人、総人数1,038人でございます。支給実績につきましては、小学校で約2,790万円、中学校で約5,160万円、合計約7,950万円となります。あと、狩俣政作議員の提言がございました､加えまして特別支援学校の児童生徒21名の86万6,000円を支払い予定となってございます。

◎池城　健君

クーラーの設置、選手派遣費補助、検定料補助、修学旅行費補助そして学校給食無償化など、座喜味市政になってから、宮古島の未来を担う児童生徒が安全、安心して学校生活が送れるよう、教育環境がかなり改善されています。

そこで、市長、教育振興に対する市長の思いをお聞かせください。

◎市長（座喜味一幸君）

いろんな面で離島のハンデはあったと思っております。特に子供たちの将来にとって、これからの社会を担う子供たちを大きく育てること、これは大変重要。これまで離島の教育費負担というのは、遠征費を含めていろんな面で保護者の負担は大きかったものと思いますが、今回このような形で人づくり、教育環境を整備するということ、これは将来の人材を育てるということ。それから、ひとしく教育を受ける条件を整備した子育てしやすい条件の整備、長い目で見ての定住化にとっても大変効果があるということで、しっかりと今後とも予算を確保することが重要だと思っております。

◎池城　健君

市長、私も５人の子供を育てましたが、この制度がもうちょっと早くあればよかったなと今さらながらに思っています。これからの宮古島市の子育て世代にとって非常に助かる施策だと思っておりますので、今後も継続をよろしくお願いします。

続いて、教育相談室の拡充についてお伺いします。この庁舎内、この議会棟の反対側、本市の教育相談室は設置されています。先日そこを訪れて感じたのですが、室内の窓際に教育相談員お二人の机が置かれ、中央に大きな丸テーブルが置かれて、学校になかなかなじめない児童生徒はそこに通って学習したり相談したりできるスペースとなっています。ところが、１人の児童生徒が学習していたら、別の相談者が来室しても、その同じスペースになるのでなかなか相談しにくい、相談員との話ができにくいという状況になっています。本年11月４日の琉球新報によると、沖縄県の小中高の不登校生は8,240名、11年連続増加で、小中学校では過去最多、割合は小中高とも全国平均を上回っているとの報道があります。宮古島市でも増加傾向にあると思います。そうした中で、相談機能の強化は当然とても大切だと思いますが、現状では厳しい環境にあります。

そこで、パーティション等を活用して、相談室の外側、ちょうど袋小路になっていますよね。あそこをパーティションで区切って、この相談室を増設することは可能かお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

教育相談室は、幼児、児童生徒の悩みや問題を解決するために、家庭、学校、地域、関係機関、団体と連携しながら助言や支援を行い、健全な育成を図ることを目的として設置しております。相談者に対しましては、意向を傾聴すること、ニーズに合った相談、プライバシー保護など、心の触れ合いを大切にしながら業務が行われておりますが、多様で複雑な相談も増加している現状です。そこで、現状を鑑み、現在単数で実施している相談対応の強化としまして、相談室の外に相談コーナーを設置し、複数の相談を同時に可能とすることを考えております。相談コーナーの設置については、関係課に以前からお願いしているところでございます。

◎池城　健君

教育部長、実はこの相談室をお伺いしたときに、入り口の横にパーティションらしきものが置いてあるんです。これ何って聞いたら、１年前に部屋をつくるといって持ってきたけど、１年間置きっ放しよという話を伺ったんです。これ、いつできる予定ですか。

◎教育部長（砂川　勤君）

私のほうも何度か相談しております。ただ、パーティションは専門的な技術が必要らしくて、職員で簡単にできるようなものではないということを伺っています。関係課のほうといたしましては、業者と相談しているものと理解しております。

◎池城　健君

教育部長、期日を決めましょう。よろしくお願いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

できれば年内にお願いしたいと思います。

◎池城　健君

本当に相談員の皆さん、非常に真摯に子供たちと向き合っている様子があります。せっかく相談に来られても、スペースがないと、今待ってねと待たされてしまう場合もありますので、ぜひ早急な対応をよろしくお願いしたいと思います。

続きまして、学校給食材費高騰への対応についてお伺いします。昨年から今年にかけて、食品の値上げが続いています。2025年も小麦粉の値上げにより、パンを含め多数の食品の値上げが予想されています。庁内においてはそろそろ次年度の予算編成に向けて取り組んでいることと思いますが、学校給食材費高騰への対応を伺います。

◎教育部長（砂川　勤君）

近年物価の高騰により、学校給食で使用する食材についても値上がりが生じております。今後の安定的な給食提供に課題が生じている状況にございます。各学校給食共同調理場では、栄養士による献立の工夫、物資選定による食材費の抑制など、様々な努力により給食提供をしているところでございます。ただ、次年度においても、主食費、牛乳費、あとはおかずといった副食費の価格高騰が続くと考えております。児童生徒に栄養バランスの取れた安定的な給食提供を行うために、物価高騰の動向を見据えて給食費改定を

検討せざるを得ないと考えてございます。

◎池城　健君

子供たちに必要なカロリー、例えば小学生でいうと３、４年生で660キロカロリー、中学生で850キロカロリーと言われています。この必要なカロリーを満たすべく、栄養士の皆さんは日々努力をしているんです。これは、このように食材が高騰してしまうと、非常に今苦労しているんです。子供たちにとって給食は学校生活の大切な一部です。すごく大きな存在です。だから、給食が楽しい、おいしいから学校が楽しいという児童生徒もいると思います。児童生徒の給食の質が落ちないよう、また栄養士の皆さんが献立に困らないよう、次年度の予算獲得を、食材高騰への対応をぜひよろしくお願いします。

次へ行きます。次の質問、昨日、次年度の教職員のアパートへの対応ですが、昨日長崎富夫議員からも質問がありました。これ新政会で行ったアンケート、これ島外から赴任した教職員96名から回答をもらいました。ということは、教育長、今宮古島では100人前後が毎年島外から赴任してこないと、宮古島市の小中学校の教育は回らないんですよね。ところが、赴任してきた皆さんの話を聞いたら、昨日私、教育長と教育部長にもアンケートの結果をお渡ししたと思いますが、その具体的な言葉もまとめてあります。これにもあるように、もう宮古島赴任したくないと。沖縄本島の先生方の間では、もう来たくない、行きたくないという声もだんだん出てきているということを聞いているんです。だから、ぜひ宮古島、いいところだよと、子供たちもいいし、環境もいいよ、ぜひ来てくださいと言えるような環境をつくっていただきたいんです。

実は、このアンケートに関する結果を新聞でも報道してもらったところ、ある方から連絡がありまして、城辺のほうで実家使っていないのでリフォームします。シェアハウスを造ります。どうか来年３月には完成するから、先生方使ってもらえませんかという申出があったんです。やはり情報を発信することによって、いろんなそういう反応も出てくると思うんです。ですから、教育委員会としてもそういういろんな情報を出しながら、赴任してくる先生方に安心して生活できる環境をぜひつくっていただきたいなと思います。教育長の見解を伺います。

◎教育長（大城裕子君）

このたび宮古島市外から赴任している教職員を対象に住居に関するアンケート調査を実施していただき、ありがとうございました。本市に異動が決まった教職員が本市への異動に大変不安を感じているということ、また実際に入居した後も経済的な負担が大きいということは大変憂慮すべき状況だと捉えております。私も、先月宮古教育事務所に赴いた際に、担当職員とこの件について意見交換を行いました。より綿密に情報交換、意見交換を重ねながらこの問題の解決、改善に努めていきましょうと確認をしたところです。教育委員会としても、既存の施設の改修について具体的な検討を進めるなど、教職員の住環境の整備に努めてまいりたいと思います。また、先ほど池城健議員がおっしゃったように、このような状況にあるということを市民にも広く周知して、ご協力いただけるよう情報の発信にも努めてまいります。

◎池城　健君

もう12月ですので、教員の人事も今動いていることだと思います。来年２月に内示が出るんですね。それから、もうわっと宮古島のほうに内示が出た皆さんから連絡が来て、そこで部屋探し、アパート探しになると思うんですけど、ぜひそれまでにある程度の情報が発信できて、先生方が安心して宮古島で働ける

環境、ぜひ教育委員会としてもつくっていただくよう要望いたします。よろしくお願いします。

続きまして、中央公民館で購入したピアノの使用状況についてですが、令和５年６月定例会において、未来創造センターの多目的ホールのピアノを買い換えてほしいとの私の質問に、大城裕子教育長は、子供たちの情操教育のためにも、そして市民の音楽活動の普及のためにも買換えに向けて予算化に努めてまいりたいと思いますと答弁していただきました。今年度新しい立派なピアノを購入したよと、市内の音楽関係者がうれしそうに連絡してきました。ご尽力いただいた教育長や関係職員に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

そこでお伺いしますが、まず購入したのはいつか、それから使用はしているのか、使用回数についてお伺いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

ピアノの購入については、納入期限を令和６年12月10日とした売買契約を締結しております。令和６年10月18日にピアノは搬入されておりますが、使用は行っておりません。

◎池城　健君

この使用していない要因は何ですか、お伺いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

グランドピアノは、足を外して縦にした状態で搬入され、搬入後は組み立てたピアノを一定期間安定させた後、調律を行い、設置が完了となります。現在調律まで終了しているところですので、納品に関する関係書類が調い次第、使用を開始したいと考えております。

◎池城　健君

この供用開始はいつ頃を予定しているのか、具体的に教えていただけますか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

納品に関する関係書類の提出後に検査を行い契約が完了となりますので、準備が整い次第、速やかに供用を開始したいと考えております。

◎池城　健君

私、このピアノ納入業者と連絡を取ったんです。話を伺ったら、このピアノはもう弾ける状態だと、できたら素人の方が弾く前にプロの方に３日ほど弾いてもらって、ならしてから使わせたほうがいいんではないかという助言をしていました。ところが、この未来創造センターの多目的ホールの裏に、ピアノ倉庫に入れてあるんです。そこの出入口が、今議場と同じように１センチほどの突起があるんです。これはまずいと。これでピアノ移動するときにがったんがったんしたら、もうすぐ駄目になりますよと。これを取っ払わないと、移動しないほうがいいですよということなんです。実は、このピアノ庫のこの１センチほどは、多目的ホールに入る側にもあるんです。だから、２回あるんです。この２つを取らないと、せっかくこのピアノ。楽器は、しっかり管理すれば50年、100年使えます。ただ、これを使うたびにがたんがたんしていたら、すぐ駄目になりますよと、これから取ったほうがいいんではないですかという話を私は聞いたんですが、生涯学習部長はその辺認識していますか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

池城健議員ご指摘の点については、職員のほうから報告を受けております。ピアノを移動する際の段差

を解消するためのスロープで対応する予定だと聞いております。

◎池城　健君

ピアノ、私現物を見ていないので分からないんですが、大体250キロから400キロぐらいの重さがあるんです。ですから、それをスロープにするよりは、私あんまり建築のこと分からないので、できるかどうか分かんないけど、この突起を取り外したほうが、ピアノにとっても運ぶ人にとっても非常にいいんです。ですから、できたらピアノのためには、スロープよりは。取っ払っていいのかどうか、私も分からないんですけど、その辺の検討も含めてぜひお願いしたいなと。市内の音楽関係者の皆さん、非常に喜んでいて、いつ使えるのかなと心わくわくしているんです。ですから、その心わくわくを早めに実現していただきたいなと希望しておきます。よろしくお願いします。

次行きます。先日、宮古島地下水研究会の勉強会に参加してきました。宮古島地下水研究会では、宮古島市の地下水、水道水は汚染が進んでいるとの認識でした。

そこでお伺いします。地下水の農薬汚染についての当局の認識及び対応を伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

環境保全課では、地下水保全条例第30条の規定に基づきまして、これまで水道水源保全地域以外の水道水モニタリング調査を行っており、水質項目に加え、土壌害虫殺虫剤の農薬類に関する調査を実施してまいりました。また、議会へ請願のあるネオニコチノイド系農薬類に関する地下水モニタリング調査も令和５年度から実施しているところです。ネオニコチノイド系農薬の調査に関しましては、14項目17地点で年４回実施しております。直近10月の値では、最大値は山川湧水でクロチアニジン及びクロラントラニリプロールが0.000110ミリグラムパーリットル､ナノグラムに直しますと110ナノグラムパーリットル検出されております。この値は、それぞれ国の定める水質汚濁に係る農薬登録基準の2,000分の１以下、6,000分の１以下で、微量であると認識しております。今後は、農薬使用量の状況を注視するとともに、引き続きモニタリング調査を継続して、市民の安全安心の判断材料として調査結果を市ホームページで公表してまいります。

◎池城　健君

続いて、水道水への農薬濃度が高くなっていることへの認識及び対応を伺います。

◎水道部長（下地貴之君）

水道水及び原水における農薬濃度でありますけれども、今のところ検出されても微量であり、国が定める水質管理目標値を大きく下回っていることから、健康に影響はないという認識であります。また、水源地や農薬の種類により増減にもばらつきが見られ、はっきりした傾向がつかめていないというのが正直なところであります。対応としましては、今後もモニタリング調査を継続し、データを蓄積しながら濃度の増減傾向を探ってまいります。仮に一部水源で顕著な増加が見られる場合は、水源の切替え等で対応していくことも想定しております。中長期的な視点で考えますと、今後のモニタリング調査により、農薬濃度の増加が認められ、国の目標値に迫る数値が観測されるようであれば、高度浄水処理施設の導入も視野に入れていく必要があると考えております。いずれにしましても、当面はモニタリング調査の継続により推移を注視してまいります。

◎池城　健君

次に、宮古島市の農薬使用料についての今後の方針を伺います。

◎農林水産部長（石川博幸君）

令和６年度の施政方針でも示しておりますとおり、国のみどりの食料システム戦略で掲げる化学農薬使用量を2050年までに50％削減する目標と連動した取組を進めております。その一つに、毎年度実施しておりますさとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業の補助率を30％から25％に減額する形で事業を進めています。農薬の適正使用については、毎年度６月１日から８月31日までの期間に実施される農薬危害防止運動の一環として、広報誌にて農薬の適正使用等に向けた周知活動を実施するとともに、令和６年度はサトウキビ生産農家が参加する要件審査時、これは８月22日から29日に行われたものでございます。その要件審査時において、農薬の適正使用に係るパンフレットを配布し、周知活動を行っております。引き続き関係機関と連携を図り、適正使用、適正量の推進について、生産農家へ普及啓発に努めていきたいと考えております。

◎池城　健君

今、水の問題について、環境衛生局長、水道部長、農林水産部長の３人から答弁いただきました。これは、私やはり地下水の問題というのは１つの部局だけの問題ではないと思っているんです。ですから、宮古島市役所全庁で情報共有しながら対応すべき問題だと認識しています。平成30年３月30日に発出したエコアイランド宮古島宣言において、その一番最初にこういう文言があります。「私たち市民は、島の生活を支えるかけがえのない地下水を守ります」と宣言しているんです。１番目の項目です。私たちの生命を育んでくれる地下水を、子や孫のために継続可能な島とするためにしっかり守っていってほしいと。そのためにも、全庁体制で地下水への対応、今後ともぜひ丁寧な対応をよろしくお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

最後に、福祉行政についてですが、介護保険における住宅改修の補助金申請についてお伺いします。宮古島市では、介護保険における福祉用具購入費及び住宅改修費の支給方法について、令和４年４月１日から受領委任払い制度を導入しました。これは、これまで最初に高齢者が住宅改修費を全額施工業者に支払い、工事終了後、市から約９割の給付を受ける償還払いだけであったのが、高齢者が最初に１割程度負担し、工事後に業者に残りが給付される受領委任払いが導入されたことにより、住宅改修がしやすくなったとの高齢者の感謝の言葉が聞こえてきます。そこで、令和４年度と５年度の補助金申請の件数について伺います。

◎福祉部長（守武　大君）

介護保険制度による住宅改修費の申請件数についてお答えいたします。

令和４年度の申請件数は、要介護者が70件、要支援者が67件で、合計137件となっております。令和５年度におきましては、要介護者が93件、要支援者が42件で、合計135件となっております。

◎池城　健君

少し増えるのかなと思ったら、あんまり増えていないですね。今年の８月25日付の宮古毎日新聞に、宮古島市の65歳以上の高齢者、2024年３月現在で１万5,555人となり、総人口に占める割合は28.3％となっていると報道がありました。今後も高齢者の割合は増えるものと予測されます。室内で転倒したりして寝たきりにならないように、介護保険による住宅改修事業の周知をしっかりとして、今後も適切な対応をお願

いします。特に非常に次年度に向けても、約８割から９割補助金が出るよという周知をしっかりやっていただければ、改修を思いとどまっている皆さんにもぜひ周知をしていただいて、室内での事故が減っていくような取組をよろしくお願いしたいと思います。

ちょっと早いですが、これで私の質問を終わりたいと思います。2024年、もうそろそろ年の瀬を迎えて終わりに近づいてきております。来年2025年が市民の皆様にとっても、そしてお互いにとっても、健康で実りある１年になることを願って、私の質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで池城健君の質問は終了しました。

◎富浜靖雄君

本日最後の登壇となります。議員番号５番、公明党の富浜靖雄です。一般質問の前に一言申し述べたいと思います。平良中学校前の浸透施設設置工事が今始まっております。私も一般質問で取り上げております。大雨のたびに冠水していまして、私なりに対策も考えてまいりましたが、今回対策が講じられたことについてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、通告に従い一般質問を行います。よろしくお願いいたします。初めに、市政運営についてです。カスタマーハラスメントについてお伺いいたします。最近の報道で、自治体職員に対する悪質な暴言やクレーム、いわゆるカスタマーハラスメント、略してカスハラと呼ばれております。この迷惑行為についてですけど、各自治体が条例を制定するなどして対策を行っております。調べたところ、確認できるだけで75団体、76条例があります。

そこで、当局として何か対策を行っているのかお伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

カスタマーハラスメントについてお答えいたします。富浜靖雄議員ご指摘のように、カスタマーハラスメントが民間、公共団体を問わず全国的な問題となっており、ニュースなどでもよく耳にしているところでございます。残念ながら本市においてもそのような来庁者や電話をしてくる方がいると聞いているところでございます。速やかに対策を講じる必要があるというふうに考えております。今後の本市の対策としまして、まず初めに、来年２月に講師を招いて、ハードクレーム対応研修を職員向けに実施予定となっております。加えて、規定やマニュアルの作成などの取組を実施していく予定であり、カスハラから職員を守っていくよう努めてまいります。

◎富浜靖雄君

研修とマニュアル作成、必要だと思います。私も職員時代に同じような、そのときはまだカスタマーハラスメントなんていう言葉はなかったので、自分も、そういう来訪した方から暴言みたいなことをやられたことがあるんですけど、そのときには、私はもう職員になって結構たっていたので、普通に職員としての対応でできたんですけど、若い人が、職員になったばかりの方が本当にこの同じような暴言を言われたら大変ではないかなというのをすごく危惧しております。

次の質問行きます。窓口に来庁した人物が対応した職員の名札を勝手に撮影してＳＮＳに投稿したトラブルがきっかけになって、職員の名札を名字だけにする、名字だけに切り替える対策を行っている自治体があります。当局として、名札の対策についてお考えがあるのかお伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

富浜靖雄議員ご指摘の自治体職員の名札の記載の在り方に関しましては、来庁者がスマートフォンなどで職員の名札の情報を無許可で撮影し、ＳＮＳに掲載するぞと職員を脅すなど、職員がトラブルに巻き込まれるといった社会問題が背景にあり、それらに対応するため、名札には名字のみを記載するなどといった対策を講じている自治体が増えてきているというふうには認識しているところでございます。

本市の現状を申し上げますと、職員の顔写真と漢字フルネームが記載された首から提げるタイプの職員カードと、フルネームが記載された名札の２種類を作成し配付しているところでございます。一部の部署におきましては、課の方針としまして名字のみが掲載された名札を作成しまして活用しているところもございますが、市役所全体として統一の運用はございませんので、今後カスハラ対策の一環として窓口対応の多い部署から順番に、名字のみを表記した名札が配付できないか検討してまいります。

◎富浜靖雄君

ぜひともよろしくお願いします。名札の名字だけのところもあるということなんですけど、実際市民対応とか、本当に外部からのお客さんの対応する方々、窓口とか特にだと思うんですけど、そういうところは特にそうかなと思います。なので、順を追って対策していくような形が取れたらいいんではないかなと思っております。

職員証、本当に名前フルネームと課名と顔写真があるのも知っております。フルネームが書いてあるので、フルネームだとネット検索で、その個人が何かつぶやいていたり、何かやった、やっていたという情報がネット上にあれば、本当にこの個人を特定することが可能になっちゃうので、ぜひともそういう職員に対して不利益のないように、もう取りあえずその対策をしっかり考えていただいて、やっていただきたいと思いますので、ぜひともよろしくお願いいたします。

では、次に行きます。地域雇用活性化推進事業について伺います。10月10日の新聞報道で厚生労働省の2024年度地域雇用活性化推進事業に採択されたとの報道がありました。各地域の雇用創造協議会が提案した事業構想の中からコンテスト方式で選抜されたとの記事の内容でした。

そこで、提案した事業構想について、どのようなものだったのかお伺いいたします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

本市雇用創造協議会が提案した事業構想でございます。８月に行われました事業の採択地域を決定するためのプロポーザルにおいて、本市雇用創造協議会が提案された事業は、食材の機能性を軸とした地域産業連携プロジェクトでございます。プロジェクトの内容は、地域資源の活用と企業間連携の促進を２つの大きなテーマに掲げており、地域の食材が持つ機能性を生かした高付加価値の商品開発を行い、企業間連携の強化による六次産業化を促進する計画となっております。

◎富浜靖雄君

食材利用と企業間の連携ということなんですけど、この地域雇用創造協議会というのはあるのか。この協議会があっての提案というふうに聞いているんですけど、そういうことなんですか。合っているということでよろしいですか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

地域雇用創造協議会という団体が存在しております。

◎富浜靖雄君

ちなみに、別に名称はいいんですけど、どのような方々がそれに参加しているのか、市からは誰が参加しているのかというの、分かれば教えてもらっていいですか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

地域雇用創造協議会の会長は本市の副市長がなるということになるんですが､現在不在となりますので、会長代行という形で務めているところでございます。

◎富浜靖雄君

不在というのをお聞きして、代行ということなんですけど、代行は誰がやっているんですか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時22分）

再開します。

（再開＝午後２時22分）

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

失礼しました。宮古島観光協会の平山専務理事がやっております。

◎富浜靖雄君

宮古島観光協会の専務理事、平山さんということで。平山さんであれば、いろんな状況、宮古島の状況もご存じなので、大丈夫だと思いますので。

次の質問です。採択通知を交付した沖縄労働局の職業安定部長が市雇用創造協議会の各種取組が円滑に推進されるよう、ハローワーク宮古と共に支援するとの記事でございました。その支援というのはどういうものなのかお伺いいたします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

本事業を採択されたことに伴っての国の支援でございます。本事業は、地域の雇用が不足している地域において魅力ある雇用や人材の維持確保を図るための取組を支援する、厚生労働省の委託事業でございます。全国の雇用が不足している地域から企画提案のコンテストを行い、選抜された地域雇用創造協議会には事業に係る経費、人件費などに対して、３年間で約１億2,000万円の委託事業が発注されることになります。

◎富浜靖雄君

３年間で１億2,000万円ということなんですけど､新聞では何か目標とかもちらっと書かれていたんですけど、３年間でこの１億2,000万円かけて、やりました。その後というのは、それが何か続いていくのか、それとも規模が縮小して継続するのか、それが３年間で終わっちゃうというふうな形になっているのか、そこら辺を教えていただいてよろしいですか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

まずこの事業、先ほどもご説明申し上げましたが、雇用機会が不足している地域や過疎地域で過疎化が進んでいる地域等に地域の特性を生かした魅力ある雇用、それを担う人材維持、確保を図るための創意工夫ある取組を支援する事業となっておりまして、本市が提案した事業の中におきましては、雇用創出、３

年間の合計で88人を目標にしているということで提案しているところでございます。本市といたしましても、この事業の終了後も、こういった企業間の連携と雇用者のマッチングに対して情報を連携しながらフォローしていきたいというふうに考えております。

◎富浜靖雄君

フォローしていくということなので、継続するかしないかは、ちょっとまたその３年後、その目標が達成できたらいいなと思いますので、ぜひとも頑張っていただきたいと思います。

次の質問に行きます。島の経済循環「見える化」調査について伺います。市は地産地消による地域経済循環システムの構築に向けて取組を行っているとのことですが、調査結果を踏まえて何を行っていくのかお伺いいたします。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

ちょっと長くなりますけど、ご了承いただきたいと思います。

現在調査中の島の経済循環「見える化」調査、これは食に限定したものでございますが、これ一括交付金を活用した、地産地消による経済循環システム構築事業の一環で実施しているものでございます。内容といたしましては、地産地消による経済循環の効果を数値や数量において把握、可視化するものでございます。今回の調査では、令和４年、５年に実施した産業連関表の分析では解明できなかった消費から流通、生産までの３段階の流れを遡って調査し、その結果を見える化するもので、その３段階を遡って調査は、お金の行き先を３巡目まで追いかけることで地域内で循環する金額のかなりの割合を把握することが可能ということでございます。

では、この調査で何が分かってどういったことを行うのかということですが、調査の対象期間は令和５年１月から12月、もしくは直近の会計期間１年間が対象期間となります。まず、１段階目の消費側の飲食店やホテルなどの調査では、食材の品目ごとの仕入れ額、仕入れ品目、仕入先、品目ごとの地元産品利用率などが分かります。次に、２段階目に、流通側の卸、小売業においては飲食店などに対しての販売品目、販売額、販売先のほか、地元産品の取扱い品目などが分かります。３段階目は、生産側の農畜水産業より総出荷額、出荷品目、必要資材の品目、資材購入額、購入先などが分かります。これらをまとめますと、最終的に域内調達と域外調達における細かな取扱品目の取引や金額などが明らかとなります。その結果を可視化することで、どの費目が域内調達をしているのか、逆に域外から調達している品目は何かなどの品目ごとの取引が明らかとなります。このことは、本市の課題である食材をはじめとした域外依存による経済の漏れ穴を的確に捉えることができ、そこに対処することで域内に資金をとどめることができます。そのとどまった資金が事業者の収入となり、その事業者の従業員へ給与として分配され、その給与がまた域内消費へ回ることでお金の循環が生まれ、全体の所得向上につながるという流れとなります。

これらの取組結果を踏まえて、地産地消がもたらす経済循環の効果を根拠として、現在実施している地産地消の事業を一過性ではなく継続的な取組とすることで、政策推進の仕組みづくりにつなげることを目指すこととしております。加えて、官民一体となって経済循環を高めていくため、今年度スタートしているみやこ経済循環円卓会議を継続的に開催し、調査結果のデータを民間事業者や市民の皆様と共有し、具体的な取組の方向性を検討する機会を設けながら取り組んでまいりたいと考えております。

◎富浜靖雄君

すごく何か難しそうな感じなんですけど、ただ調査の内容を見ていて、ホテルとか、流通とか、集荷のものとか、可視化して見えるような形にして、それが、ではどこにお金が止まっている動いているというのが分かれば、それを利用して市の経済のほうを官民一体でやっていこうというところだと思います。本当に結果がもうどういうふうな形で出て、それが本当に流れていくか分からないんですけど、先ほどこの調査結果を公表していくというふうに聞こえたんですけど、公表していくのかお伺いします。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

本調査の結果につきましては、各事業体の調査結果を統合し分析して、個別事業者の情報は明記せず公表する予定となっております。なお、今年度は調査票の収集と取りまとめを実施し、分析や分析結果については来年夏頃をめどに市のホームページなどで公表する予定となってございます。

◎富浜靖雄君

来年夏頃に公表していきますということなので、ぜひ。今調査が終わった後にその結果を公表しました。できたら結果の公表と、この結果についてこういうふうに取り組みますとか、この結果についてはこういうふうに動いていきますとか、何かそういうふうな具体的な公表もその調査の後にぜひやっていただいて、情報を市民に分かりやすく提供していただければなと思いますので、ぜひともそこら辺はよろしくお願いいたします。

次の質問に行きます。嘉数登前副市長が10月30日に退職されました。下地信広議員も質問しておりましたが、座喜味一幸市長の任期中に２人の副市長が辞職するのは異例だと感じております。嘉数登前副市長は各協議会や検討委員会の、先ほども出ていましたけど、会長や委員長を務めておられました。精力的に市政運営に取り組んでいたと認識しております。その後、嘉数登前副市長が辞任後、市政運営に影響が出ていると思われるんですけど、当局の見解をお伺いいたします。

◎市長（座喜味一幸君）

嘉数登前副市長にはこれまで私のサポート役並びに宮古島市の抱える様々な課題の解決に向けて、市職員と一丸となって取り組んでいただいたことに大変感謝しているところであります。副市長不在となった現在は、各部局との調整や各種委員会等の委員長が不在になるなど、公務においては影響が出ていることは否めません。そこは各部局長には負担となりますが、調整しながらしっかりと対応しておりますので、公務に支障が出ているということはないものというふうに認識しております。

◎富浜靖雄君

再質問させていただきます。過去に市長任期中に副市長が２人も辞職したという例はあるのか、お伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

本市におきまして、市町村合併後、市長任期中に副市長が辞職した事例はほかにはございません。

◎富浜靖雄君

再々質問です。嘉数登前副市長が在任中に新たに立ち上がった協議会とか検討委員会、分かれば教えてください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

嘉数登氏の在職中に新設された会議体としましては、市民所得向上プロジェクト推進本部会議及び同懇

話会、人口対策検討委員会、中小企業振興基本条例策定検討委員会などがございます。

◎富浜靖雄君

では、新たに立ち上がった協議会とか検討委員会なんですけど、誰の発案で立ち上がったのかお伺いいたします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

宮古島市の抱える課題解決や政策推進に向けて、市長からの指示の下、副市長と各部局長での検討の上、立ち上げたものというふうに理解をしております。

◎富浜靖雄君

市長の指示と部局長の調整で立ち上げたということなんですけど、では市長がこういうのをやっていこうというふうな話をして、副市長が、ではこういうふうにしていきましょうと。そこで、市長が会長とかではなく、委員長とかではなく、副市長が表立ってやっていたと思います。自分も新聞報道で見たときにはそういうふうな形だなと思っているので、こういうことかというふうな理解はしているんですけど、ちょっと不思議というか、個人的に思うんですけど、嘉数登前副市長がちゃんとやっていただいたと、市長をサポートしていただいたということなので、であれば、副市長を辞めるときに市長が嘉数登前副市長を引き止めたか、あなた優秀なので、ぜひとも私と一緒にやりましょうというふうにやったのか、そういうことがあったのか、市長、お聞きしたいと思います。

◎市長（座喜味一幸君）

宮古島市の市勢発展のためのお互いの連携はよく取れておりました。彼も、一つ宮古島の将来、地域発展のために頑張りたいという熱い情熱はずっと継続しておりましたから、私の政策も大分理解すること、また彼のアイデアもお互いに連携しながら進めてきております。ただ、彼の場合は、一つの自分のライフワークとしての、人生プランの中での、どうしても市長として思い切って宮古島を主体となって発展させたいという思いが、報告を受けまして、辞任という形を取らせていただきましたが、一つは彼の大きな宮古島市を中心と、主役となってリードしたいという熱い思い、そういうのがあって辞任という形になったと理解しております。

◎富浜靖雄君

退職する職員が辞表を持っていって、退職させてくださいとお願いした場合、やはり上司が受理するかしないかだと思うんです。なので、そのときに、ちょっと質問の仕方変えますけど、前副市長から辞表をもらって、その辞表ってちょっと待ってくれと、あなたの力が必要だから、もうちょっと頑張ってもらえないかというふうな話をしたかどうかというのを聞いています。そこはありましたか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時39分）

再開します。

（再開＝午後２時39分）

◎市長（座喜味一幸君）

もちろん大変大きな仕事が、取り組み始めておりますし、所得アップの話から、人口の問題、定住化の

問題、ありましたんで、本人の意思表示は早めにありましたが、少し決裁まで間がありました。そういう話し合う調整の時間は持ったと。

◎富浜靖雄君

当然だなと思います。私ももし市長の立場であれば、優秀な職員、もしくは副市長であったり右腕になって頑張っている人がいて、優秀であれば引き止めます。その引き止めて、引き止めるからこそ、逆に言うとその人がいないと駄目だというふうな形で引き止めると思うんですけど、この引き止めようとしたけど嘉数登前副市長の意思が固かったので、嘉数登前副市長の意思を尊重したという形でよろしいですか。

◎市長（座喜味一幸君）

はい、そのとおりです。もう10月いっぱいだったと思うんですが、その間に一応いろんな形での、政治、市長選への出馬の動きは、もう彼は途中から動いておりましたから、そういう間はあって、本人の意思が固かったということ。

◎富浜靖雄君

では、最後に１点、今の市長の、嘉数登前副市長が市長選出馬の意思が固かったということなんですけど、座喜味一幸市長はいつ頃からそれをご存じでしたか。最後にお聞きします。

◎市長（座喜味一幸君）

確かではありませんが、割と周辺の情報では早めのうちから、早めといっても、もう月までは分かりませんが、やや早いうちに市長選には出たい意向は友人等に漏らしていたということは知っています。

◎富浜靖雄君

来年１月19日の投開票の市長選の動きについてはいろんな情報があって、市民もよく分かっていないところもあります。大変なところもあります。ただ、私がちょっとずっと引っかかっているのは、市長がもう絶対この人だとくどいて、くどき落として来ていただいた副市長が２名辞めるというのが、自分も本当に今まで聞いたことがないので、ここら辺がすごく引っかかっていたので質問させていただきました。

では、次の質問に移ります。建設行政についてです。宮古島市景観計画に関する意識、意向調査について伺います。調査の内容についてお伺いいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

景観計画の見直しの検討に当たり、市民や事業者の意向を把握するアンケートを12月６日から12月22日までの期間において、市民及び事業者、高校生、観光客を対象に実施しております。アンケートの内容につきましては、本市の景観に対する満足度、景観計画の取組の必要性、高さ制限の必要性などについて意見を伺う内容となっております。

◎富浜靖雄君

今建設部長の答弁、アンケート、観光客にもやると今おっしゃったと思うんですけど、観光客にはどんな感じでアンケートをやるんですか。調査の方法ですけど。

◎建設部長（川平陽一君）

観光客ではなくて、事業者です。これアンケートの手法としましては、市民アンケートについては住民台帳システムからお住まいの地域、年齢を基にランダムに抽出し、紙媒体により郵送し、回答方法は返信封筒により郵送回答、ＱＲコードを読み取り、ウェブにて回答する手法を実施しております。また、事業

者のアンケートにつきましては、観光協会に登録されている観光関連事業者を対象として、手法については市民アンケートと同様となっております。

◎富浜靖雄君

観光客ではないですよね。取れませんよね。

（議員の声あり）

◎富浜靖雄君

すみません。では続いて、次の質問です。調査のスケジュールについて、先ほど12月６日から12月22日までで調査をしますよというふうなことなんですけど、その調査結果が出ます。その後のスケジュール感が分かれば教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

観光客もアンケートを実施します。

ご質問に回答します。意向調査アンケートを12月６日から12月22日までの間に実施しております。その後、市民アンケートの結果の内容を基に景観審議会において専門部会を開催し、検討します。その後、関係民間団体の説明を行いますが、予定しておりますアンケートの結果次第でアンケートスケジュールも違いますので、その辺は、スケジュールについては、現在のところは立てておりません。

◎富浜靖雄君

すみません、観光客にもアンケート調査を実施するということですか。もしするのであれば……いいですか。観光客も実施する。であれば、観光客にアンケートを実施する理由、なぜ観光客にやるのかというところを教えてもらっていいですか、やるのであれば。やらないんですか。

◎建設部長（川平陽一君）

観光客のアンケートにつきましては、宮古空港や下地島空港内において、観光客を対象にウェブにて回答する手法で実施をいたします。

◎富浜靖雄君

休憩お願いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時47分）

再開します。

（再開＝午後２時47分）

◎建設部長（川平陽一君）

観光客のアンケートにつきましては、やはり幅広く意見を取るために必要だと考えております。

◎富浜靖雄君

幅広く意見を取るために観光客からも取ると。いいと思います。やはり住んでいる島民というよりも、その方の意見も必要ですし、島外から来た人の意見も私は必要だと思うので、観光客から取るのもいいなと思います。私ちょっと要綱を見たときに、観光客でなかったような気がしたので、あれっと思って今質問、確認させていただきました。いいことだと思いますので、よろしくお願いします。

次に、続いて、調査の結果を踏まえて建物の高さ制限を検討するというのを今ちらっとお聞きしたんですけど、見直すという形でいいのか、それともその結果を基に、審議会に諮って、これは変更する可能性もあるかどうか。

◎建設部長（川平陽一君）

市民意向調査の結果を踏まえて、高さ制限の検討を今後行ってまいります。

◎富浜靖雄君

高さ制限の検討をするということなんですけど、どういう形であれば、分かりやすく言うと、そのアンケートの中で意見が８割方、７割方あるから、もうこれは検討しなきゃいけないという話になるのか、それともただの文言で、高層ビルというんですか、ちょっと高いほうが景観も見れるからいいんではないというふうなのか、何かその検討をするときにはどのような内容があれば検討するのかというのが分かれば教えてください。

◎建設部長（川平陽一君）

やはり重要なことは、市民のアンケートがとても重要だと思います。その結果を踏まえて、景観審議会の専門部会を開催して、この中で検討してまいります。その結果次第で、また今後の方向性は決定していくと思います。

◎富浜靖雄君

アンケート次第というのが分かったので、高さ制限も、条例、法令もそうなんですけど、やはり時代の移り変わりで検討していく、随時検討していくというのは必要になると思うので、そういうところの目線はもうぜひ持っていていただきたいと思います。

次の質問に行きます。根間公園整備事業について伺います。令和７年度に着工と聞いておりますが、今定例会でも仲間誉人議員とか久貝美奈子議員も、関連した質問をしておりました。建設部長の答弁で、西里大通り商店街振興組合と２回ぐらい話合いを持っていますよというのがあったんですけど、具体的にどのようなスケジュールで進めていくのかというのを教えていただけますか。

◎建設部長（川平陽一君）

根間公園の進捗状況につきましては、全地権者と土地売買契約を締結し、所有権移転登記まで完了しております。公園の整備につきましては令和７年度を予定しており、整備概要について、屋台、ステージ設置のスペース、イベント広場、ベンチ兼用花壇等を設置することで概算工事費が約6,700万円で予定しております。市民との話合いの場については、西里大通り商店街振興組合などと令和６年８月と11月、２回実施しており、要望、意見としてイベント等で使用できる給水施設、電気設備の整備を行ってほしいという意見がございました。また、健康器具等の設置ができないか検討していただきたいという意見もございましたので、今後公園整備に反映できないか検討してまいります。

◎富浜靖雄君

その西里大通り商店街振興組合の意見交換会ですか、トイレについてのお話はあったかどうか、意見交換の中であったか、お伺いしてもいいですか。

◎建設部長（川平陽一君）

この意見交換会の中では、給水施設、電気設備の要望はありましたが、トイレについての要望はなかっ

たと聞いております。

◎富浜靖雄君

私も西里大通り商店街振興組合の一員なんですけど、トイレの話がある会合で先輩方と話したときに出ていまして、公園だから設置しなきゃいけないんではないのという意見と、トイレを設置しちゃうと、何か若い人がもうたむろったり、逆に言うと管理がずさんになれば、もう汚れて、いろんな人が夜中に壊したりなんかするものの温床になっちゃうんではないかとか、いろいろあったんです。私は、そのときに言ったのは、では移動式のトイレができるような形でやればいいんではないのと、移動式のトイレというのは、下水道も西里通りは通っているので、パイプを引いておいて、イベントのときだけトイレ設置して、イベントが終われば撤去するというのもありなのかなと思っています。

もう一つ、あそこにはエコハウスがあるので、エコハウスの利用も公園全体の面として考えていただきたいなと思います。実施計画、実施設計とかに入っていくときに、そういう意見を全部うまく吸い上げていただいて、完成した後にあれをすればよかった、これをすればよかったではなくて、地域の人、できたら西里大通り商店街振興組合のメンバーとかが納得するような形で整備できたらというのをずっと思っているので、そこら辺もぜひ注視してやっていただきたいなと思いますので。令和７年度から工事スタートするのであれば、もう時間が私は足りないと思うので、もしもそういうのがあれば、ちょっと延ばすぐらいは私はいいと思います。取りあえず地域住民の話を聞いて、いい施設、いい公園にしていただきたいというのが私の要望ですので、ぜひともよろしくお願いします。

では、次に行きます。空き家バンク制度についてお伺いいたします。自治体が空き家情報を提供する制度ですが、県のホームページには全国版の外部リンクとか、石垣市、久米島町、粟国村の外部リンクが掲載されておりました。

そこで、当局において導入の考えはあるかお伺いいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

現在空き家バンクについてのお問合せがある場合は、宮古島市空家等対策計画に基づき、全国版空き家バンクの活用をご提案しております。本市においては、現在空き家バンクの導入は行っておりませんが、全国版への自治体への登録及びホームページでの全国版へのリンク登録を検討します。

◎富浜靖雄君

では、全国版の空き家バンクに登録してくださいというのを勧めているということなんですけど、この制度のメリットとデメリットというのを把握していれば教えていただけますか。

◎建設部長（川平陽一君）

空き家バンクのメリットにつきましては、主に自治体または自治体等からの委託を受けた団体によって運営、サポートされていることで安心、一般の不動産流通に乗りにくい物件が掲載されている等があります。デメリットとしましては、利用者、空き家オーナー、双方に空き家の修繕等を自費で行う必要や、トラブルの対応についても独自で行わなければならないことがあります。

◎富浜靖雄君

この質問をしたのは、あるものを利用できればなというのが私の中でずっとありまして、私も独り暮らしの高齢者の方からよく相談があるんですけど、最近あったのが、アパートの解体を理由に、前回の一般

質問でもあったのとまた別です。アパートの解体を理由に、退去してほしいと、アパート出ていってほしいとのことです。この方は、仕事はしていますが、普通に仕事を退職して、アルバイトみたいな形で仕事をしながら年金暮らしです。新しいアパートを探すんだけど、やはりもう無理なんです。その方の働く給料と年金だけではもう私では借りられないと。では、安い物件、古いところでもいいからっていって探すんだけど、まずないと。そういうことなので、こういう空き家とかの対策をうまくやっていただきたいというのと、私が前から言っているのは、独り暮らしの単身の高齢者です。単身の高齢者が、前も言いましたけど、元気なんです。働くこともできるけど、収入が少ない。そういう方をどうやってフォローしていくかというのは、もう今から考えないといけないかなと思います。上里樹議員も言っていたように、仮設住宅でもいいと思うんです。その高齢者の方も言っていたんです。今住んでいるアパートの間取りは結構広いんですけど、１人なのでそんなに要らないと。六畳一間でちゃんと風呂、トイレがあれば全然いいですと。いずれは宮古島から離れようと思っているんだけど、今暮らすところに困っているからという相談なので。高齢者の独り暮らしです。アパートが古くなって、そのアパートの持ち主も、この人が住んでいたら解体できない。ということは、住んでいても、もしかしたら倒壊、本当に古いアパートなので、もうコンクリートも剥離して、住めるような状態ではない。持ち主は解体したい、出ていってほしい。でも、この高齢者が出ていったときに、どこに行けばいいのか分からないということなんですけど、市長、これについてどうお考えですか。高齢者の独り暮らしです。

◎福祉部長（守武　大君）

富浜靖雄議員おっしゃるとおり、単身の高齢者の住宅問題については、今後ますます増えていくことが見込まれますので、検討していく必要があると思っています。今富浜靖雄議員がおっしゃったような状況、今公営の団地に、もともと家族で住まわれていたけども、１人になってしまって、今住めるからいいんですけども、でも１人だと広過ぎるというような状況もあったりもしますので、そこら辺のミスマッチが多くなっているのかなというのもございます。ここら辺、ちょっと先ほども答弁しましたけども、建設部と連携して、民間と、空き家とか、仮設住宅とか、ああいうのも含めて検討していけたらなと思っております。

◎富浜靖雄君

仮設住宅みたいなのもありだと私は思いますので、ぜひとも本当にこの高齢者の方だけではなくて、アパート経営している方、その持ち主の方もそうなんです。出ていってほしいんだけど、もう心苦しいんです。住むところないでしょう。だから、もうどうしますと言われても、どこも紹介できない状況。ということは、高齢者がいるんであれば、もう出ていけとも言いづらいとか、本当にそういう問題になってくると思いますので、ぜひとも考えていっていただきたいと思います。

次に行きます。道路行政について。ＬＩＮＥによる道路緊急ダイヤル、いわゆる＃9910についてお伺いいたします。この＃9910は、全国の道路の異状や車両の故障など、緊急事態を道路管理者に通報するための道路緊急ダイヤルで、固定電話や携帯電話からも無料で利用できます。また、スマートフォンのアプリ、ＬＩＮＥで国土交通省道路緊急ダイヤル＃9910というのがあるんですけど、それを友達登録してもらうと通報ができるようにもなっています。

そこで、この＃9910、内容を把握しているのかお伺いいたします。

◎建設部長（川平陽一君）

当該ＬＩＮＥ公式アプリは、国土交通省が運用しており、道路の破損等、道路の異状を発見した際に、24時間通報が可能となっております。また、緊急を要する場合は、道路緊急ダイヤル、全国共通電話番号の＃9910で道路の異状を通報することが可能となっております。宮古島市管理道路においては、当該ＬＩＮＥ及び緊急ダイヤルによる通報があった場合は、県宮古土木事務所を経由し、メールで連絡があります。連絡により把握している内容については、管理者、日時、分類、事象、詳細、位置情報を把握しております。

◎富浜靖雄君

次の当局の対応についてお伺いしますというのも答弁していただいたので。メールが来て、それで対応していますよということで。これ先ほど言った、これ国のＬＩＮＥなので、国土交通省のＬＩＮＥなので、国土交通省に来た場合、それをメールで自治体、市町村が、県もそうです、受け取って対応していますよということなんですけど、それ以外にも何かありますか、当局の対応として。

◎建設部長（川平陽一君）

先ほども答弁しましたが、当該ＬＩＮＥアプリ、道路緊急ダイヤルによる通報及び道路建設課へ直接電話の通報があった場合は、現場を確認し、職員で修繕が可能な箇所については応急的に対応しております。

◎富浜靖雄君

今年の３月定例会で、沖縄市が運用している通報アプリの質問をさせていただいたんですけど、建設部長の答弁で、今のところ導入する予定はありませんが、今後県内の先進地運用方法、必要な導入費用、アプリ使用料などを確認して、メリット、デメリットを精査した上で総合的に検討してまいりますとあったんですけど、このアプリでいいんではないかなと私はちょっと思っています。その後、国土交通省がやっているこのアプリなんですけど、これは令和６年、今年の３月22日に報道がありました。私がこれを見つけたのはちょうど９月ぐらいなんです。９月24日にこれを見つけて、あらと。こういう通報するシステムがあるではないかということで、ちょうどそこに市民相談がありまして、雑草で歩けなくなった歩道がありますと、この後雑草で車が擦れ違うことができない道路がありますという、この２件があったので、早速このアプリを使ってみました。早速このアプリを使ってみたら、何とすぐその相談があった方から連絡があって、きれいになっているよ、ありがとうと。私がやった瞬間、２日後か３日後ぐらいでした。あれ、すぐに対応してくれたなと思って、これはちゃんと来ているんだろうなと、ちゃんとその２か所は県道と市道だったので、県も対応してくれていたし、市の方も対応してくれていました。なので、この通報でいけているのかなというふうに思ったので、この質問をさせていただいております。もしもこの通報で今のようにメールで来て対応ができるのであれば、沖縄市と一緒で、別に返信する必要もないですし、ただこの現場を把握するにはいいものだとずっと思っていますので、もしこれが使えるのであれば、市民に何か広報したりお知らせしたほうがいいんではないかなと思うんですけど、それについてお考え、お願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

当該ＬＩＮＥアプリ及び道路緊急ダイヤル＃9910の市民への通知につきましては、今後広報誌及び市のホームページ等で周知できないか、方法を検討してまいります。

◎富浜靖雄君

ぜひやっていただきたいと思います。いいアプリだと私も思います。使ったので分かるんですけど、簡単です。選んで写真撮って送るだけです。写真にも位置情報が乗れば、これ国に行くんですけど、国の人はシステムで、これどこの市町村だなとか県だなというのを把握して送ります。県に送った場合は、県道か市道か分かりづらいところも、県の人が把握して市に持ってくるとか、県で対応するかとかってやっているそうなので、これ国土交通省の担当の方に電話で確認したので、ぜひ使ってもらっていいんではないかなと思いますのでよろしくお願いします。

次の質問に行きます、福祉行政についてです。こども誰でも通園制度について伺います。この制度は、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労の有無や利用目的を問わず、０歳から２歳の子供が時間単位等で柔軟に保育施設に通える新たな制度です。実施の可能性についてお伺いいたします。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

こども誰でも通園制度の実施の可能性はあるかという質問についてお答えいたします。

富浜靖雄議員もお話しされたように、こども誰でも通園制度は現行の幼児教育、保育給付に加え、満３歳未満で保育所等に通っていない子供を対象に、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付制度で、令和７年度に制度化され、令和８年度から全国の自治体において実施される事業となります。実施方法は、在園児と一緒に保育を行う方法と、専用スペースで保育を行う方法の一般型と、利用定員に達しない施設で定員の範囲内で受け入れる方法の余裕活用型があり、実施場所としては保育所、認定こども園等での実施が想定されております。現在全国で公募により８月末時点で118か所の自治体が本格的実施を見据えた試行的事業を実施しておりますが、宮古島市においては今年度及び令和７年度においても試行的事業の実施は行わず、令和８年度からの実施を予定としております。

◎富浜靖雄君

この制度は、こども家庭局長言ったように、令和８年度から本格的にスタートします。県内では那覇市と浦添市が先行的に取り組んでおります。先月、狩俣政作議員と一緒に浦添市を訪問して、担当職員からもお話を伺いました。そこで感じたのは、この制度を実施するには保育園等の施設の側の協力がまず必要で、調査するにも時間がかかりますし、労力も相当かかると感じました。

そこで、令和８年度からやりますよという形なんですけど、早めに取り組まないと、これ令和８年度からスタートはできないかなとちょっと思っているので、市としての今後の考え、取組についてお伺いします。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

令和８年度の本格的実施からのスタートになると難しいのではないかというご質問に対してお答えさせていただきます。

現在令和８年度の本格的実施に向けて、国において制度を利用するためのシステムの構築や検討会が行われており、試行的事業の実績や課題を基に、令和７年度中に制度の運用に関するガイドライン等も適時通知される予定となっておりますので、実施施設や利用者に混乱が生じないよう、制度についての周知に努め、令和８年度からの本格的な実施に向けて取り組んでまいります。

◎富浜靖雄君

本当に大変だと思いますので、ぜひとも進めていただきたいと思います。

最後に、帯状疱疹ワクチンについてです。定期接種の、国でもうすぐやりますよというような情報も入っていますので、この定期接種が決定した場合の対応についてお伺いいたします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

厚生労働省は、2025年度より接種費用を公費で補助する定期接種に含めるという方針を聞いております。市としましては、国の方針が決まり次第対応していくことになります。乾燥組換え帯状疱疹ワクチンは、１回当たり２万円から３万円程度を２回接種することになります。接種費用に係る市の補助額につきましては、国からの補助額の有無とか県内11市の助成額も参考にしながら決定していくということになると考えています。実施については、宮古地区医師会との調整を図りながら取り組んでまいります。

◎富浜靖雄君

速やかな実施をお願いしまして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで富浜靖雄君の質問は終了しました。

休憩します。

（休憩＝午後３時13分）

再開します。

（再開＝午後３時14分）

お諮りします。本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議はこれにて延会します。

（延会＝午後３時14分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月16日（月）　　７日目

（一　般　質　問）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第７号

令和６年１２月１６日（月）午前１０時開議

日程第 １　 一般質問

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１６日（月）

（開議＝午前10時00分）

◎出席議員（２２名）　　（散会＝午後３時29分）

議長（２３番）	平良敏夫君	議員（１１番）	上地堅司君
副議長（１８〃）	長崎富夫〃	〃（１２〃）	仲間誉人〃
議員（１〃）	久貝美奈子〃	〃（１３〃）	平良和彦〃
〃（２〃）	下地茜〃	〃（１４〃）	下地信広〃
〃（３〃）	砂川和也〃	〃（１５〃）	我如古三雄〃
〃（４〃）	狩俣勝成〃	〃（１６〃）	欠員
〃（５〃）	富浜靖雄〃	〃（１７〃）	西里芳明〃
〃（６〃）	下地信男〃	〃（１９〃）	友利光徳〃
〃（７〃）	欠員	〃（２０〃）	上里樹〃
〃（８〃）	狩俣政作〃	〃（２１〃）	粟国恒広〃
〃（９〃）	山下誠〃	〃（２２〃）	上地廣敏〃
〃（１０〃）	池城健〃	〃（２４〃）	山里雅彦〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸君	会計管理者	下地美明君
企画政策部長	久貝順一〃	水道部長	下地貴之〃
総務部長	與那覇勝重〃	消防長	上地一史〃
福祉部長	守武大〃	企画調整課長	前原敦〃
市民生活部長	狩俣博幸〃	総務課長	豊見山徹〃
農林水産部長	石川博幸〃	財政課長	国仲英樹〃
建設部長	川平陽一〃	教育長	大城裕子〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗〃	教育部長	砂川勤〃
産業振興局長	下里盛雄〃	生涯学習部長	天久珠江〃
こども家庭局長	幸地幹夫〃	農業委員会会長	長濱国博〃
環境衛生局長	下地睦子〃	農業委員会事務局長	上地明弘〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦君	次長補佐	与那嶺彰成君
次長	仲間清人〃	議事係長	国吉たかよ〃

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）諸般の報告書

令和６年１２月１６日（月）

１２月１６日	本日開議前に議会運営委員会が開催され、「沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）課税対象外とすること等に関する意見書」の取扱いについて諮問したところ、同意見書は同委員会から提案し、１２月１７日の最終本会議において処理することと決した。 以上

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第７号のとおりであります。

この際、諸般の報告をします。

事務局長から報告させます。

◎事務局長（友利毅彦君）

議長の命により、諸般の報告をいたします。

本日、会議前に議会運営委員会が開催され、沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税の課税対象外とすること等に関する意見書の取扱いについて諮問したところ、同意見書は同委員会から提案し、12月17日の最終本会議において処理することと決しました。

諸般の報告は以上です。

◎議長（平良敏夫君）

これより日程第１、一般質問について、先日に引き続き質問を行います。

本日は、山下誠君からであります。

これより順次質問の発言を許します。

◎山下　誠君

早速質問を始めさせていただきます。先ほどの報告であった法定外目的税、宿泊税についてからお伺いしていきます。

観光商工スポーツ部長、この宿泊税導入に向けた進捗については、もう下地信男議員の説明で分かりましたので、これは省きます。

課税対象について当局の考えを伺うとありますが、これも説明はあったと思うんですけど、いま一度市の考え方を述べていただけますか。よろしくお願いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

宿泊税、法定外目的税の課税対象についての当局の考えということでございます。あわせて県の考え方についてもご説明申し上げます。

県民の課税免除につきましては、税の公平性の観点から、法の下の平等の例外に相当するかというところが論点となっているところでございます。免除するためには総務省の同意を得ることが必要となっておりますが、現段階ではまだ総務省の同意を得るための理論を整理するに至らなかったことから、県としても制度導入３年後の見直しに向けて議論を深めていくこととなっております。また、県に対しましては、宿泊税導入の際に、宮古島など離島住民への負担が生じることへの配慮について要望しております。引き続き県との意見交換の中において、一旦税として徴収はするものの、例えば子供たちの大会派遣に関する補助を実施しているような形で何らかの形で助成を行い、負担を軽減していけるよう要望してまいりたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

観光商工スポーツ部長、市の考え方として、現状宮古島市民を、離島の住民を課税対象から外すというような要望を宮古島市として県にやったことはありますか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

市として県に対する要望でございますが、書面として要望していることはございません。ただ、意見交換会を何度か行っておりますので、その中で宮古島市としてはやはり離島住民ということで、負担を軽減する策を講じてほしいということは意見として申し上げているところでございます。

◎山下　誠君

負担軽減という要望はしているけれども、課税対象から外すべきだという要望はしていないという理解でいいですね。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

税の導入に関しましては、県税として導入する部分もございますので、県と歩調を合わせる必要がございます。また、総務省の同意がやはり先ほども申し上げたように必要になってきますことから、県と市と方向性が違ってくるとなると総務省の同意を得ることが厳しいのかなと思っておりますので、足並みとしては県と歩調を合わせながら、今後市、県としてどういった形で負担が軽減できるか、そういったことは議論してまいりたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

分かりました。ありがとうございます。

続いて、教育行政についてお伺いします。教職員の働く環境についてです。これ長崎富夫議員、それから池城健議員もそれぞれ質問をされていましたが、重複する部分もあろうかと思いますが、少し角度を変えて質問をさせていただきたいなと思います。

このアンケート、我々の会派で取りましたけれども、これ何も教職員に限るものではなくて、住居問題ってもう多分宮古島市全体の問題だとは思っていますが、今回何で教職員をターゲットにしたかということ、やはり絞りやすかったんです。教職員組合と連動した、あと学校長の理解もあって、非常にスムーズにアンケートを取ることができました。課題解決の入り口としてはというような調査であったと考えています。調査結果は、もうおおむね想定どおりだったんですけれども、ひどい状況が見える化されたという点についてもよかったなと思っています。現状この教職員の皆さんに取ったアンケートの結果、内容は、池城健議員から皆さんにも行っていると思うんですが、まず教育委員会としてこのアンケート結果に対する受け止めをお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

共有していただきました教職員の住居に関するアンケート調査の結果にもありましたように、ここ数年の本市における賃貸住宅家賃高騰や入居困難な状況により、島外より赴任してくる教職員が物件探しに苦労したり、物件が見つかるまでホテル住まいを強いられたりと、本市への異動に不安を感じている状況がうかがえます。このことにつきましては、教育委員会としても憂慮すべき状況だと捉えているところでございます。

◎山下　誠君

それで、教育部長、アンケートの中で自由欄に多かったのが、例えば物件が決まっても、入居するまで

に時間がかかって、４月以降赴任してもホテル暮らしをしていた。新学期の準備もあって、職場のことと家のことなどどちらも慌ただしい状況だったとあって、赴任時にどの不動産にも断られたと言っているんです。これ毎日朝から晩まで電話をしたと。それでも、あなたは予約を入れられませんと。空いたときにぽこっと入れるという感じだというふうに聞いて、本当不安な日々を過ごしたということでした。教育委員会などでアパートなどを把握して、情報を提供してほしいであったり、赴任が決定したら住居など、何かサポートする制度、そういう機関があるといいというような意見が結構出ているんです。相談先が全くなかったということで、教育委員会に対して対処を求めている声があったんです。これについてそういう、できることは何かといったらサポートする機関、相談窓口みたいなものを設置することはすぐにでもできると思うんですけども、その辺り、今教育委員会として何をしていて、今後何をどうしていくのかについてお伺いします。

◎教育部長（砂川　勤君）

教育委員会の、まず宮古島市教職員住宅の設置及び規定におきましては、教育委員会は教職員の住環境の整備に努め、福利厚生の充実を促進するために教員住宅を設置すると記されています。先日の長崎富夫議員の答弁と一部重なりますけれども、教育委員会としましては引き続き各学校や宮古教育事務所と連携を図ります。その際、内示が出次第すぐ関係教育事務所、あるいは赴任の教職員と連絡を取り合いながら住居問題の解決に努めてまいります。また、関係部局が進めている市営住宅の活用、空き家対策等についても情報収集を行い、既存の伊良部地区の教職員住宅の改修をし、活用することも視野に進めていきたいと考えております。その際は島外からの赴任教職員の通勤距離に対する意見等も聞きながら、小中学校教職員の住環境の改善に努めてまいりたいと思います。

◎山下　誠君

教育部長、恐らくしばらくこの問題は続くと思っていて、さっき私が言った相談窓口であったり、市の教育委員会の窓口、何かそういうサポートセンターみたいなもの、これ人は配置しなきゃいけないから、結構簡単ではないと思うんだけども、そこら辺の検討はいかがですか。

◎教育部長（砂川　勤君）

教育委員会としましては、学校との連携ということで校務支援システムというものがございます。それを活用して学校からの情報、あるいはこちらからの発信等を行いながら相談は受けて対応していきたいと考えております。

◎山下　誠君

何とかシステムか何か分かんないけど、それは先生方の間で共有しているものではないの、赴任している先生が。例えば赴任しようとする先生が相談しようとするとき、そのシステムって利用できるんですか。できないでしょう。

◎教育部長（砂川　勤君）

校務支援システムについては赴任後、正式に赴任した後に利用ができる状況です。その前に学校のほうと連携して情報を共有していただいて、教育委員会とも連携を図っていくという流れにしたいと思います。

◎山下　誠君

教育部長、私言っているのは例えば赴任しようとするときに、不動産に電話しても断られるんだ、何度

やっても。もう朝から晩までずっと電話し続けていると話していた。だから、そこを解消するために、市もそこにかんでくれんかというお願いなんだ。だから、例えば困っているときに教育委員会に電話をして、サポートで探す作業を一緒にできないかということを言っているわけ。もちろん物件が少ないから、難しいかもしれないけど、そういう相談の窓口をどこか設定してあげたほうが赴任する先生方が少しでも心理的負担軽くなるんではないかという要望。

◎教育長（大城裕子君）

アンケートの記述欄から赴任した、異動が決まった教職員の切実な状況が本当に伝わってまいりました。この喫緊の課題の解決に向けて、教育委員会も宮古教育事務所と連携を図りながら取り組んでいこうと話し合っているところです。ただ、窓口としては県職員ということで、宮古教育事務所がよいのか、それとも教育委員会がいいのかというところは今後教育事務所とも連携しなければいけませんが、私としては市教育委員会も学校教育課に相談できるような窓口を設けて取り組んでいきたいと思っていますので、今後これに向けてはまだ調整しておりませんので、担当課と検討してまいりながら住環境に対する問題を解決していきたいと思います。それによって、先生方もまた新年度安心して子供たちにしっかり向き合えると思いますので、学習環境、教育環境の整備という観点からもしっかり取り組んでまいります。

◎山下　誠君

ぜひとも窓口というと職員を張りつけるのは大変かもしれないけれども、大変本当困っているということなので、ぜひともこれはやってあげてほしいなと思います。この件について池城健議員のところの教職員組合は大変情報を多く持っておられるので、彼らとも情報交換しながら、どういう対応を取れば彼らの心理的負担が軽くなるということを念頭に置いて取り組んでいただきたいなと。今みたいに県がどうだ、市がどうだではなくて、市立の学校に勤務するわけだから、皆さんも主体性を持って取り組んでいただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

それで次、教職員の休職についてなんですけど、これどこかの報道で見たんだけど、沖縄県内の先生方の休職者が230人余いて、全教員に占める割合が約1.5%、５年連続全国ワーストという報道に触れることがありました。現在宮古島市内における先生方の休職者の数というのはどれほどなのかお答えください。

◎教育部長（砂川　勤君）

現在宮古島市立の学校教職員の休職者は、メンタル不調による休職者が５名、身体疾患による休職者は１名となってございます。

◎山下　誠君

教育部長、それは県内の他市と比べると割と数字的には低いほうでしょうか。

◎教育部長（砂川　勤君）

県の割合は恐らく２％前後だったと思うんですけども、宮古島市立の全教職員数570名から換算しますと割合は約1.05%となっております。

◎山下　誠君

そういった先生方の対応というか、対策は何か講じられておられるんですか。お答えください。

◎教育部長（砂川　勤君）

メンタル不調による休職者に対しましては、病気休職者が安心して療養し、万全の体制で復帰できるよ

う、復帰支援プログラムの利用の呼びかけを行っております。メンタルヘルス対策としまして、年１回のストレスチェックの実施、産業医面接や保健師への相談の呼びかけ、メンタルヘルス研修会の実施、オンラインメンタルヘルス相談の呼びかけなどを行い、学校や保健師、産業医と連携し、未然防止や早期発見に努めております。また、教員の業務を支援するスクールサポートスタッフ、児童の安全面や生活の支援を行う特別支援教育支援員、学習支援や教育相談を行う学習支援員、登校支援を行う校内自立支援室支援員を配置しております。今後も教職員の負担軽減が図られるよう事業を展開してまいります。

◎山下　誠君

分かりました。

続いて、スポーツ振興についてお伺いさせていただきます。新総合体育館の建設についてですけども、建設部長、これ総合体育館を建設するに当たって敷地が少し広がるとは思うんですけども、それに伴ってお隣に学びの森っていって、あそこに遊歩道があるんですけども、そこに係る影響とか、そういうのがあるのかどうか、まずお答え願えますか。

◎建設部長（川平陽一君）

新総合体育館基本設計業務で検討され、作成された計画では、既設の総合体育館の敷地面積が約１万796平方メートルを約１万4,306平方メートルにし、約3,510平方メートル拡大する計画となっております。場所としましては、正面出入口の東側斜面と北側の学びの森側に敷地を拡張する予定としております。基本設計業務では学びの森の遊歩道までは計画敷地に入っておりませんが、今後実施設計業務を進める中で学びの森及び遊歩道の利用につきましては、不便がないように配慮した設計で進めてまいります。

◎山下　誠君

今の質問と関連して、キャンプ誘致について伺いたいと思うんですけど、これクロスカントリー場の整備について伺うって書いています。クロスカントリー場の整備についてですが、もう過去の歴代部長にさんざんお願いしてきているけど、なかなか前を見ない答弁が続いて、下地信広議員共々落胆を続けている毎日ですけれども、これクロスカントリー場を何で要求するかというと、先ほどの大学駅伝の話がありましたけど、大学駅伝で新しく来る大学に補助をするという話が観光商工スポーツ部長からありましたけれども、本当大学生の皆さんって多分宮古島にトレーニングを目的で来ると思うんで、もちろん大会に出ることもトレーニングの一環だと思うんだけども、クロスカントリー場はないかということは常日頃から言っていて、そこで練習をすることによって、本当に脚力を鍛えるという点ではクロスカントリー場ってとてもいい場所なんです。私もあまり詳しくないんだけど、地面が柔らかいために足にかかる負担が少ないと。道路を走っていると、どうしてもその反動で着地にかかる衝撃が大きくて、やはり故障につながってしまう。だから、クロスカントリー場で走らせてくれということを言っていて、世界陸上で有名になった田中希実氏もよく学びの森走っている。あれやはりそこが柔らかいから、そこで走っていると思うんだけども、そういうところを整備することによって、逆に呼び込みにつながると思うんです。前回この件に関して考えていきたいとは言っていたけれども、観光商工スポーツ部長、今日こそぜひとも前向きなご答弁を得られるものだと確信しておりますので、答弁のほどよろしくお願いします。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

クロスカントリー場の整備についてでございます。クロスカントリー場の整備につきましては、これま

でも山下誠議員もおっしゃっているとおりご質問いただいているところでございます。市が合宿誘致をしていく中において、これまで実際に合宿をしている団体、チーム個人などからもクロスカントリー場の要望が多いことから、本市でも整備に向けての検討をしているところでございます。整備に当たっては、陸上競技場や野球場など、スポーツ設備が整った既存施設近隣に整備することが様々な競技との連動につながり、利便性が高くなると考えておりますので、実際に宮古島で合宿をしているチームなどの意見を聞きながら、整備に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

進んでいるような、進んでないような答弁ではありますけども、観光商工スポーツ部長、本当に具体的に場所の選定も含めていろいろやってほしいなと思っていて、本当にこれやると多くの陸上関係者が訪れると思うし、市民の方々も本当利用すると思うんです。学びの森、本当に多くの人が利用していて、私は最近利用できていないんだけど、本当に走っている人も歩いている人もたくさんいるんです。それができると本当にいい観光誘致剤になると思いますので、ぜひともこれはご検討願いたいなと思っています。

市長、これは市長にもお答え願いたいんですけど、先日市長が政策発表された中にもクロスカントリー場の整備は入っていなかったけども、ぜひともクロスカントリー場整備については前向きに検討していただきたいので、そろそろ市長にもお答えいただきたいなと思います。どうぞよろしくお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

クロスカントリー場の必要性についてはこれまでも度々出ていると思います。うちのいろんな場所にはクロスカントリー場としての場所は結構あるんではないかというふうには思っておりますので、そういう施設をどこがベストなのかというのを含めて、少なくともクロスカントリーに必要な距離の表示だとか、そうお金はかからないのではないかというふうに思っておりますので、場所の選定をいろんなプロの皆さんからも聞きながらやっていきたいと思います。

◎山下　誠君

観光商工スポーツ部長、クロスカントリー場については視察も含めて私も同行しますので、ぜひ一緒にいろんなとこに視察に行って、その必要性を肌で感じていただきたいなと思いますので、日程はこちらで組みますので、一緒に行きましょう。よろしくお願いします。

それでは、続きまして行政サービスの充実について、ごめんなさい。これちょっと後回し。先に市政運営についてお伺いします。市政の評価についてとありますが、市長が六次産業化の推進を掲げていますが、市が2023年度に実施した地域内経済循環分析というのがありまして、これの中で域外、つまり島の外に出ているお金が860億円余りですか、こうした経済のバケツの漏れ穴という現状が広くもう市民に知れ渡っているとは思います。こういった現状の改善に向けて、この漏れ穴を防ぐ手だてとして市長が六次産業化の推進に取り組んでいますが、これは地域の経済状況を見える化した上で必要な手だてを講ずるという手法は市民にとって大変分かりやすく、理にかなっていると考えます。この六次産業化の推進における市長自身の評価についてお伺いしたいと思います。域内経済の向上にどのような役割を果たしてきたのか、市長ご自身の言葉でお答えください。

◎市長（座喜味一幸君）

六次産業化の推進について、六次産業化や地産地消の推進については、まず学校給食における地産食材

の利用率が就任前の令和２年度には約11％だったと思っておりますが、これまでの取組によって、令和５年度で23.5％と大幅に増加することができました。今後の見込みについても総合計画の目標値でありました25％をクリアして、28％台を達成する見込みとなっております。このほか４年間で地産地消の様々な取組としてワークショップ、研修会、フォーラムなどを展開しましたが、延べ約2,000人の事業関係者や市民の皆様の参画を得て、行政、事業者、市民が一体となった情報の共有と意見交換及び実践的な活動が展開されております。また、六次産業化に係る事業として機材の導入の支援を行いましたけど、延べ31件への補助と新規３件の開業支援を行い、売上げも導入前のおおむね４倍の実績を上げております。その他、マグロ、枝豆、豚肉、紅芋などの未利用食材を加工し、学校給食や市内飲食店へ提供するなど、現在では自走、自ら運営しておりまして、売上げを伸ばしている状況にあります。加えてマグロ加工品については、熊本県山鹿市において、友好都市ですが、11月６日の学校給食に宮古島産マグロのフライを提供し、物産交流にも貢献しております。新年度においては、宮古島市地産地消振興センターの供用開始が予定されており、各入居事業者において新たな事業化の展開が加わり、さらなる推進が図られるものと期待をしております。

◎山下　誠君

市長、続けてまいりたいんですけども、市長就任１期目の総括についてお伺いしますとありますが、この４年でどのようなことをご自身で総括されているかお答えください。

◎市長（座喜味一幸君）

項目ごとに説明します。

学校給食、地産地消食材の利用率について、令和２年度11％、令和５年度23.5％へアップ、令和６年度28％台を達成の見込み。

それから、各種ワークショップ、研修会、フォーラム等開催、延べ約2,000人の事業関係者、市民の参画。地産地消、六次産業化への啓発活動展開、波及効果の足がかりとなっております。

機材導入支援は、支援件数延べ31件、新規３件、支援前より売上げが４倍に伸びているという結果。未利用食材の活用、マグロ、枝豆、豚肉、紅芋など、使用先が学校給食、市内飲食店、友好都市となっておりますが、これについては今後量販店も含めて域外、沖縄本島への展開が図られればというふうに思っております。

５番目に、宮古島市地産地消振興センターの供用開始予定といたしまして、７事業者、ゼロエミッション型の植物工場の入居が今動いております。初年度の売上げ目標が１億2,300万円を予定しておりまして、軌道に乗れば非常に大きな波及効果があるというふうに期待しております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時30分）

再開します。

（再開＝午前10時30分）

◎市長（座喜味一幸君）

市長就任１期目の総括についてということを答弁させていただきます。

私は、令和３年１月に第５代宮古島市長に就任してからの４年間、市民ファースト、市民のための市政を基本姿勢として市民の所得向上、誰一人取り残さない社会の構築など、掲げた公約の着実な推進と宮古島の振興、発展に向けて邁進してまいりました。

市民所得については、農畜水産業と観光産業の結びつきによる六次産業化の推進、地産地消の促進として六次産業化に取り組む事業者への加工機材等導入への支援、学校給食における地産食材の積極的活用、生産、加工、流通の一体的な振興を図るための拠点施設となる上野庁舎を活用した地産地消振興センターの整備など、域内で経済の好循環を生み出す取組を行ってまいりました。

農家の所得向上の土台となる良質な土作りのため、効率的で持続性の高い堆肥施設の整備を進めるとともに、輸送コスト低減への支援として沖縄県が実施してきた農林水産物条件不利性解消事業については県との連携により、沖縄本島までの輸送区間や品目について対象の拡大に取り組み、農水産物の出荷の安定化を図りました。また、飼料高騰や競り価格低迷の影響を受ける畜産農家の経営安定化への支援として飼料高騰対策事業や和牛子牛価格安定緊急対策事業を実施するなど、基幹産業である農畜水産業の活性化に努めてまいりました。

誰一人取り残さない社会づくりの構築について、中学校卒業までの通院、入院に係る医療費の完全無償化、妊婦と児童に給付金を支給する出産・子育て応援給付金の実施、ひとり親世帯の自立支援等を行うひとり親家庭生活支援事業の導入など、安心して子育てができる環境づくりに取り組むとともに、中高生の通学に係るバス回数券の購入補助の拡充、高齢者の外出、社会参加促進への支援となるシニアカーの購入補助の新設など、幅広い世代への支援を進めてまいりました。

離島の不利性解消として、島外への児童生徒の選手派遣費の上限額を拡充するとともに、高校生など県立学校の児童生徒を補助対象に追加いたしました。あわせて難病を抱えている方や障害を持っている方が本市以外での医療関係で治療を行うための渡航費支援の拡充も実施するなど、地理的な事情から生ずる移動に係る負担軽減を図ってまいりました。これらに加えて市民から強く望まれていた老朽化した総合体育館の建て替え、中心市街地の新たなにぎわいを生み出す拠点としての平良庁舎の利活用など、これまで懸案であった課題を解消する振興、発展へ向けたプロジェクトにも着手してまいりました。

これらの様々な取組を実行するための予算確保として、将来にわたって健全な財政状況を継続するための財源が重要であることから、ふるさと納税寄附額の増額等をはじめ、自主財源確保に取り組み、自主財源比率は平成28年度から令和元年度までの４年間の平均である24.9％から、令和２年度から令和５年度の４年間で平均30％へと5.1ポイント増加しております。これらのことから、私が市民のための取組に邁進してきた４年間は着実に成果が表れているものだと考えております。

◎山下　誠君

市長、今の話の中で、これ農林水産部長答弁なのか。和牛子牛価格安定緊急対策事業というのがあって、これ下地信男議員の質問のときに１年間しか支援がないのか、継続はできないのかという質問がありましたけども、これについて明確な答弁がなかったように聞いております。農林水産部長、これ継続はできないのかどうかお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

競り価格の低迷の状況、12月の競り価格が先月より４万7,000円ほど上がっております。１月のご祝儀相

場を除いて、２月、３月の動向を見ながら検討させていただきたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

１月はご祝儀がかかるから、どうしても参考にはならないと思いますけども、しっかりとサポートしてください。

続きまして、選手派遣費補助事業の実績について説明を求めるとありますが、これについては、これも我如古三雄議員の質問でお答えになっているので、割愛させていただきます。

この次の支援枠拡充って書いていますけども、この事業については拡充を求める市民の声に応える形で上限を引き上げて、１万円でしたよね。１万円に引き上げて、補助の対象枠を高校生まで引き上げたと。これは、本当大変評価すべきことだと思います。先日も友利光徳議員が述べていたように、やはり市民の皆さんから大変好評で、特に高校生の保護者には喜ばれていると思っています。負担軽減をしっかりと望む市民の声に応えているなというふうに大変高く評価しておりますが、仮にこの事業、大変市民の皆様から評価されているので、さらなる拡充というところも検討していただきたいんですけれども、例えばこれ今往復実費航空運賃の県内派遣の場合が90％、県外派遣の場合が70％、楽器輸送費が５万円以内と設定されているんですけども、これらの補助額を引き上げるという手法もあるのはあるんだけども、補助対象となる大会等の見直し、こういったものを求めたいなと思っていて、実は以前県立学校の先生から相談があったんですけど、美術分野の絵画コンクールで入賞して、県外で行われた展示会と表彰式に参加するということで補助申請したんだけど、下りなかったという話をいただきました。県外派遣の規定に上位大会の出場資格を獲得して派遣される場合というふうな規定がありますので、この規定に沿えば確かに難しいだろうなとは思っていますが、保護者、学校の先生方も大変残念がっていました。つきましてはこの辺りも何とかできないかなということで、拡充の考えがあるのかどうか教育委員会の見解を求めます。

◎教育部長（砂川　勤君）

宮古島市の選手派遣費補助金は、航空運賃を補助の対象としております。毎年度見直しを行い、適正かつ効率的な支援に取り組んでおります。令和６年度は県内派遣補助率10分の５から10分の９、上限１万円といたしました。今上がっている要望といたしまして、県外鉄道運賃等の補助、あるいは県外フリーエントリー制の導入がございました。補助金交付の狙いは、児童生徒及びその指導者の派遣に係る費用の保護者負担を軽減するためでございます。今後も児童生徒が意欲を持ってスポーツ分野、文化分野で様々なジャンルに挑戦できるよう、要綱見直しに向けて調整、協議してまいります。

◎山下　誠君

特に教育部長、文化系のものに関して補助をやるときに、少し規定にいっぱいかかるものがあるというふうにお伺いしていますので、文化系大会補助のところの規定を少し緩めるなり、あるいは特例というか、その他市長が認める者であったり、教育長が認める者であったりということを追加しながら、多くの保護者の皆さんに補助をお願いしたいなと思っています。よろしくお願いします。

続きまして、農業振興について、地産地消についてお伺いします。産業振興局長、前回９月の定例会のときは大変失礼しました。質問しながら答弁の機会を与えることができませんでした。すみません。同じ質問になりますけれども、地域内経済循環システム構築事業について概要と、それから成果についてお答えください。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

本事業は、地域内の経済循環のシステムや仕組みづくりを目的として、令和４年度から令和８年度までの５年間の事業として一括交付金を活用し、３つの事業を進めているところです。地域内での経済循環のシステム構築の必要性についてはこれまでも何度か説明してまいりましたが、本市は令和４年度の調査時点で863億円の経済の漏れが明らかとなっております。この課題を解決するためには事業者、個人全てにおいてお金の使い方を改めて考え直す必要があると考えております。また、この調査においては、域外へどれだけのものを販売したのかを示す移輸出額と域外からの調達、購入を示す移輸入額についても取りまとめており、その額は域外へ販売した移輸出額が令和２年度時点で年約630億円、域外から購入した移輸入額（＿＿部分は292頁に発言訂正あり）が約2,154億円となっており、販売以上に域外へ資金を使っている状況となってございます。このことを踏まえ、まずお金の地域外への流出を抑制し、地元の事業者の収入を増やし、従業員にその分を還元する地域内循環の仕組みをつくることが肝要であると考えております。こうした地産地消による地域内経済循環の取組を行うことで所得向上の効果を可視化するため、データの収集や分析を行う仕組みづくりと市民への啓発活動を展開することが地域内経済循環推進事業となっております。

また、地域内の経済循環を促すための実践的な取組を行ったのが学校給食への地元食材の提供事業でございます。生産から学校現場までの定時、定量、定品質で提供できる仕組みづくりに取り組み、結果、地元食材の利用状況などを具体的な数字として成果をお示しできております。この地産地消を実現する新たな流通の仕組みづくりを行う取組が地産地消コーディネート機能構築事業ということでございます。

さらに、本事業の意義を市民と共有することも重要でございますので、市民を中心としたコミュニティーを組織し、「島産にしましょう」の合い言葉を広めていく活動を支援する制度を今年度試験的に立ち上げるなど、イベントの企画、運営や仕組みづくりを進めているのが地産地消ブランド化推進事業となります。

これらの取組は、地域経済の漏れ穴のうち、最も大きい要因が食料品であることが明らかとなっておりますので、こうした根拠に基づいて地産地消を推進し、六次産業化の成長を促すための取組を進めているところでございます。さらに具体的な事業の効果を可視化することで、一過性ではなく、持続的に施策を継続する仕組みづくりを目指しているところでございます。

◎山下　誠君

続けて、地産地消振興センター設置事業の進捗についても、これももう答弁いただいているので、割愛させていただきます。

次の基幹作物についてですが、生産状況見込み調査の結果が33万3,300トン余りですか、我如古三雄議員の答弁で分かりましたけれども、夏植えが12万に対して株出しが19万ということで、もう大きく逆転をしているということが答弁で分かりましたけれども、非常に偏りが顕著に現れていますが、作型について行政としての仲介が新植夏植えに係る補助事業だと思うんですけど、支援策の中身について、農林水産部長、説明お願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

去る９月定例会において、サトウキビ農家の生産コスト増化に伴う支援として新植夏植え促進事業の拡

充の実施について答弁したところでございますけども、やはり株出しが６割を超えているという状況で、なかなか反収が上がっていかないという現状があります。それは、もう２期目、３期目と重ねていって、なかなか反収が上がらない。優良な夏植えを促進しないことにはやはり農家の反収、収入増加も増えていかないという現状がございますので、新植の夏植えの促進をやろうというふうに考えて、制度設計について県やＪＡサトウキビ対策室、製糖工場の関係者と調整会議を実施しております。その中にはやはり夏植えを促進するためには受託組織の植付機械、ビレットプランターが不足している状況があるという指摘があります。支援を拡充するというふうになった場合でも、やはり受託組織が対応できないという状況があると十分な効果を発揮することが難しいという課題があると。また、夏植えにするのにも優良な苗の確保も重要という意見もございまして、優良種苗の確保事業の制度の見直しについてもやらなければならないというような課題も出ております。こういった関係機関との結論として、すぐに大幅な支援拡充を行うのではなく、植付機械の導入促進や生産農家の優良な苗の確保に対する支援等を行って、徐々に支援拡充を進めたほうがいいということで、少しずつビレットプランター等の機械の導入とか、そういうふうな支援を令和７年度においてやっていきたいというふうに考えているところでございます。

◎山下　誠君

農林水産部長、理解が深まらなかったんだけど、農林水産部長は９月定例会で12月補正予算で対応したいというお話がありましたが、現状今ない。今聞いたら関係機関と話を進めると、どうも補助の制度設計が難しいという話なんだけども、今の話はビレットプランターに対して補助を手厚くしていく、それとも機材の導入について補助を手厚くしていくと、どっちを考えているんですか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

現在補助の対象は、ビレットプランターを活用した新植夏植えの受託作業に対する補助ということで、今現行10アール当たり3,500円というふうになっております。その補助を今関係部署に要求中でございますが、大幅に引き上げていきたいというふうに考えているところでございます。

◎山下　誠君

そうすると、ビレットプランターを活用して夏植えを行う人に補助をするということなんだけども、ビレットプランターというのは今台数がそんなにないですよね。だから、この台数の導入、ビレットプランターが市内に十分行き渡るまではこの補助事業はスタートできないということになるのか。それを待ってからということになるのか。

◎農林水産部長（石川博幸君）

ビレットプランターの導入を令和７年度の当初予算で、この支援額の一部引上げを考えておりまして、機械の普及も併せて徐々に夏植えを更新を進めていくという考えでございます。長期的なスパンを持って進めていきたい。短期的に、全て来年、再来年度で一気に夏植えを促進するというのが厳しい状況でございますので、長期的な視野で株出しを２期、３期というふうなところで、次は新植の夏植えに切り替えていきたいというふうに考えています。

◎山下　誠君

農林水産部長、今、全茎式の夏植えプランターには補助をしていますよね。やっていましたよね。そこの部分の手当てではなくて、ビレットプランターに限定してやっていくという考えだとは思うんだけど、

ビレットプランターって苗をどばっとボックスに入れて巻くやつですよね。あのことですよね。新植夏植えの全茎式プランターに対する補助は継続しながら、一方でビレットプランターのほうも図ると。

では、もう一点は10アール当たり3,500円というところを大幅にって言っていますけど、どれぐらい引き上げようと考えているんですか、今のビレットプランターの部分は。

◎農林水産部長（石川博幸君）

金額は２倍に引き上げたいということで、関係部署と調整しております。7,000円です。3,500円から7,000円。

◎山下　誠君

もう生産者の高齢化もあって、機械化は避けて通れないとは思うんですけど、ビレットプランター入れてどういう状況になるのか私はよく分からないんですけど、その規模の、面積の大きさにもよると思って、南大東島なんかではビレットプランターばんばんやっていると思うんだけど、宮古島市でそれできるのかなという不安もあるけど、そういう補助があるなら進めていってください。

次に、６番目の自治体ＤＸについてお伺いします。まず、デジタル化事業について、地元新聞２紙の紙面デジタルアーカイブ事業についてなんですけれども、これについて進捗状況ご説明お願いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

地元発行新聞を長期的に保存するためのデジタルアーカイブ化事業については、昨年度より類似事業を実施している図書館の情報収集を行い、地元新聞社２社との意見交換も実施いたしました。現在沖縄振興特別推進市町村交付金の活用に向け、調整を行っているところです。

◎山下　誠君

デジタルアーカイブ化をやると、図書館の中で地元新聞の過去のデータも引っ張り出して見れるということだと思うんだけども、その事業に今大体概算でどれぐらいのお金が必要となるのかというのは分かりますか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

現在約２億円程度を予定しております。

◎山下　誠君

それほどのお金を投じるということは､多分いろいろ国との調整が大変になってくると思うんですけど、今例えばその調整の中で新聞２社に対して求められていること、多分あれ、例えば公共性ということを考えたら図書館だけではなくて、いろんなところでデータを引っ張り出せる環境ができれば一番いいとは思うんですけど、ただそうすると新聞社も利益があるんで、それはもう購読料が要らなくなっちゃうということもありますので、そうもできないと思うんですけど、交渉が結構難航すると思うんです。その辺り今どういう調整が進められていますか。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

地元新聞社２社との調整については、デジタル化事業については了承を得ております。年代の範囲についても創刊から2000年頃までということで了承を得ておりまして、先ほど山下誠議員ご指摘のとおり公開範囲についてはインターネット上に公開するのはやめてほしいとの回答をいただいております。公開範囲を限定した、図書館に実際に来館されている方という限定した回答になっておりますので、その点に関し

ては今後も調整をしていく必要があるのかなと考えております。

◎山下　誠君

難しい交渉になるとは思いますけども、ただ過去のデータ引っ張れるというのはとてもいい事業だと思いますので、ぜひ取組を進めてください。

もう一点、この公文書のデジタル化事業なんですけども、これも遅々として進まない現状があるかと思いますが、総務部長でしたか、お答えください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

去る令和６年３月定例会で令和６年度中に取り組みたいというふうに申し上げました。ただ、令和６年取り組む中で、まず電子化について事業化に向けて検討してきたところですが、費用が多額であることから、令和７年度当初予算への計上を見送ったところでございます。現在予算規模の縮減を全庁的に取り組んでおり、単独事業で多額の予算を組むことが難しい状況でございます。財源予算に課題がございます。現時点では見送っておりますが、行政文書は市民共有の財産と考えておりますので、時期については現時点では明確に申し上げることはできませんが、取り組んでまいりたいというふうに考えております。一般財源の負担軽減のための補助金等の財源の確保、電子化する対象文書の詳細な数量の把握、導入済団体の聞き取り等も含め、調査をしっかり行ってまいりたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

当初予算へ見送り決定と今初めて聞いたんだけど、これ令和６年度内でも補正でも組みたいという話があったと思うんだけども、見送りって、それ聞いていない、まだ。これどっちにしたって総務部長、進めていかなきゃいけない事業だと思うんです、公文書のデジタル化って絶対に。だから、それはどの道ここから財政が好転していくというのはなかなか考えにくいことを考えると、何としてでも入れ込むということを財政当局としっかり交渉して、やはり少しでもつけていく努力をしないと、これ遅々として本当進まないと思うんです。そこら辺含めてもう一度答弁お願いできますか。見送りは初めて聞きました。

◎総務部長（與那覇勝重君）

改めて業者に書庫を確認していただきまして、見積りをいただきましたが、約２億5,000万円かかるということでございます。内訳としまして、書庫収納文書の15％が約10年以上の長期保存と想定しまして、想定冊数が１万5,000冊というふうになってございます。今ご指摘がございましたように、一括交付金も含めまして、その他の補助金の活用も視野に入れまして早めの取組をしていきたいというふうに考えております。

◎山下　誠君

総務部長、それこそこういうものは市制施行20年ですか、その記念事業にも位置づけてでもやっていただきたいなと提案をしたいと思います。どの道、紙は腐れていきますので、使えなくなる前に早めにデジタル化して貴重な資料、財産を残していただきたいなと思っていますので、市長、このデジタル化については市長のお考えもお聞かせ願えますか。新聞も含めてよろしくお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

公文書館含めて、公文書の保存ということは長年の課題だったかなというふうに思っておりますが、その必要性をもう少し整理し、課題、経費等含めて、やはり早めのうちにしっかりとした方針、デジタル化

の効果、そういうものをしっかりと押さえながら、できるだけ早めの検討を進めていきたいと思います。

◎山下　誠君

やはりどうしても必要だと思いますので、どうぞ市長部局におかれましてはデジタル化についてはしっかりと予算確保に尽力していただきたいなと思います。それと、やはりいきなり今日はびっくりしましたけど、令和７年度見送ったというのは今日初めて聞きましたけど、簡単に見送るんではなくて、少し努力を重ねて、幾らかでもつけるような工夫をして、やる気をぜひ見せていただきたかったなと思いますので、引き続き検討のほどよろしくお願いします。

それでは、一般質問終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで山下誠君の質問は終了しました。

◎狩俣政作君

早速質問に入ります。教育行政ですけども、質問の前に今回特別支援学校の修学旅行に対して決めていただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。年明けには富浜靖雄議員と一緒に文部科学省のほうに行って、高度僻地の要綱の改定と修学旅行費の負担が減るようにまた要請してまいります。よろしくお願いします。

それでは、質問に入ります。全国的に増加傾向にあるいじめについてですけども、文部科学省の調査を話したいと思います。2024年の文部科学省調査によると、いじめの認知件数、発生件数、これが73万2,568件で前年度比の7.4％増、５万620件の増になっております。学校種別では小学校が58万8,930件、中学校が12万2,703件、高校が１万7,611件、特別支援学校が3,324件なんですけども、ちなみに令和５年度の児童生徒数で当てはめますと小学校が605万人でいじめ件数が58万8,930件なので、発生率が実に9.7％なんです。これ1,000人当たり97人のいじめがあります。ちなみに、10年前は1,000人当たり18人でした。実に５倍以上の増なんです。中学生が317万8,000人中、いじめ件数が12万2,000件なので、発生率は3.8％、1,000人当たりにすると38人です。10年前は15人。高校生が291万9,000人でいじめ件数が１万7,611件、発生率が0.6％、1,000人当たり６人です。これほど伸びがすごいんですけども、特に小学校に関しては急激な伸びです。宮古島市の直近と10年前のいじめ認知件数、発生件数をお伺いします。

◎教育長（大城裕子君）

本市小中学校のいじめ認知件数は、令和５年度、小学校406件、中学校96件でした。10年前の平成26年度の認知件数は、小学校３件、中学校は５件でした。ちなみに、今年度10月時点の各学校からの報告によりますと、小学校314件、中学校は54件となっております。

◎狩俣政作君

令和５年度が406件、小学校、中学校が96件、10年前は小学校３件、中学校５件、これもう５倍どころではないです。この要因が分かればお答えください。

◎教育長（大城裕子君）

10年前と比較しますと大幅な増加ではありますが、その背景として、平成25年に成立したいじめ防止対策推進法におけるいじめの定義やいじめの積極的な認知に対する理解が広がったこと、小中学校が実施するアンケートや教育相談などによる早期発見、早期対応の取組があると考えています。大きな要因として

は、いじめの定義が変わってきたということによるものも大変大きいかと捉えています。

◎狩俣政作君

そうだと思います。私の小学校時代って結構前なんですけど、普通にいじめというか、いじられている子はいて、後ろから蹴られたりとか、スリッパ投げられたりとか、それをやっている側は全然何も思ってなくて、やられているほうがすごくずっと覚えていたんです。私たちが30歳のときの同窓会のときに、あるいじめられていた生徒が私に言ったんです、政作はいじめなかったねって。びっくりして、えって話になったんですけど、周りにいる人も私もいじめなかったよって言った人に対して、女子があなたはいじめていたよと言うんです。当時は多分そういう認識だったと思うんです。それをちゃんと定義してやったらこれだけいるんですということになっているんですけども、それに対して今度どのように対応するのかお聞かせください。

◎教育長（大城裕子君）

本市教育委員会といたしましては、いじめは相手の人間性と尊厳を踏みにじる人権侵害行為であるということを各学校と共通認識を持ちながら取り組んでいるところですが、引き続きいじめ防止対策推進法や各学校において策定されているいじめ防止基本方針を踏まえ、いじめ防止対策に関して学校をはじめ、関係機関と現状や課題を共有し、取組の充実を図ってまいります。

◎狩俣政作君

ぜひよろしくお願いします。

次の質問に参ります。２番、全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数の増加の状況についてお聞きしたいんですけど、これもこども家庭庁において作成された令和４年度中の全国232か所の児童相談所が児童虐待相談対応件数は21万4,843件と発表しております。前年度比で3.5％の増で、7,183件の増です。主な傾向としては心理的虐待の相談件数が一番多いんですけども、あと警察署からの通告が11万2,311件と２番目に多いんです。ちなみに、10年前は６万6,701件だったんです。でも、この３倍以上の増なんですが、本市の直近と10年前の相談件数、対応件数を伺います。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

令和５年度と令和４年度及び10年前の平成26年度の本市の相談件数についてお答えをいたします。

令和５年度、宮古島市家庭保健課における児童に関する相談件数は1,895件で、令和４年度2,857件に比べ、962件の減となっております。そのうち虐待相談件数は、令和５年度実人数で32名で、延べ184回、令和４年度38名で、延べ272回の相談がありました。また、10年前の平成26年度の虐待相談件数は38名で、延べ473回となっております。

◎狩俣政作君

市のこども家庭局の相談窓口の相談数は減っているという状況なんですけど、減っている要因が分かれば教えてください。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

令和４年度と令和５年度の比較についてお答えをさせていただきます。

令和３年度、令和４年度はコロナの影響による保育園休園や外出自粛等が多かったんですが、令和５年度はコロナの流行も落ち着き、それらの規制が緩和され、家庭での子育て負担が軽減されたことなども要

因の一つかと思われます。また、令和５年度にこども家庭局が設置され、母子保健と児童福祉機能が一体化した家庭保健課が新設されたことにより、両機能の連携が取れ、妊娠期や乳幼児期等の早い段階から支援が必要と思われる方の早期把握、早期介入が可能となったこと、また児童福祉においては児童虐待対策部門と子供の貧困対策部門が同じ係となったことで、学校や各居場所などとの就学児童の情報共有、支援体制の構築等ができたことなど相談支援窓口が増えたことも要因かと思われます。

◎狩俣政作君

こども家庭局長、市の相談窓口と児童相談所、県ですけども、これ県の分室になると思うんですが、この件数、お互いの件数というか相談は共有されているのかお伺いします。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

市の相談窓口と県の児童相談所宮古分室で相談件数は共有されているかということでございますけれども、県の件数とは、かなり緊急度の高い状況などについては県の宮古分室で相談するなどというふうに相談振り分けられているんですけれども、実際県の件数というのが把握ができておりません。県のほうは市町村ごとの件数を公表しておりませんので、そこの件数の共用はできていない状況ではあります。ただ、相談体制は共有しております。

◎狩俣政作君

ということは件数は共有していないけども、相談内容に対しては共有しているということですね。ありがとうございます。

私が心配するのは、先ほどのいじめに関しても、虐待に関しても、学校でいじめに遭って、家に帰ってきて虐待される。最悪の場合ヤングケアラーとして、いろんなまた弊害が出てくる子たちをどう救うのか、どう保護するのかというのがこれ喫緊の課題かなと思っているんですけども、その辺の考えをお聞かせください。

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

今後の対応ということでお答えをさせていただきます。

本市の児童虐待への取組として、これまでに家庭児童相談員や虐待支援専門員を配置し、虐待の相談等があった場合には訪問、来所、電話等で継続的に対応するとともに、宮古島市要保護児童対策地域協議会を中心に県児童相談所宮古分室及び教育、医療機関等と連携、支援を行ってまいりました。令和５年度には本市の相談支援体制を強化するため、母子保健と児童福祉を一体化した家庭保健課を新設、令和６年度にはこども家庭センターを設置、母子保健と児童福祉をまとめる統括支援員を配置し、妊娠期からの支援や乳幼児発達状況のチェックなどを課内で情報共有し、早期支援につなげ、虐待の予防に取り組んでおります。今後も相談支援体制の充実、児童相談所等関係機関との連携を密にするとともに、虐待対応ホットライン189、いちはやくや親子のための相談ＬＩＮＥ等の周知に努めていきたいと考えております。

◎狩俣政作君

では、学校現場のほうとして、教育長の見解もお伺いします。

◎教育長（大城裕子君）

支援を要する児童生徒の状況については学校より適宜報告を受け、スクールソーシャルワーカーにより現状確認や支援の有効性の検証を行っています。また、緊急を要する対応が発生した場合はケース会議の

開催やこども家庭局へ宮古島市要保護児童対策協議会の開催を依頼し、対象児童生徒の実態に即した支援方針や方法を協議するなどの取組を行っています。本市教育委員会は、引き続き福祉関係、保健、医療、刑事、司法関係など、支援を要する児童生徒を包括的に支援するネットワークを活用した取組を推進し、児童生徒の自立支援体制の充実を図る考えです。

◎狩俣政作君

９月定例会も一般質問したんですが、いろんなことを率先してやっている自治体があります。学校に窓口をつくるとか、ヤングケアラーの相談のＬＩＮＥを開設するとか、そういった取組も率先しながら、ぜひとも早めの対策をよろしくお願いいたします。

次に行きます。３番、横断歩道と標識の設置ですけども、まてぃだ通りのａｕ　Ｓｔｙｌｅみやこじま中央の前に横断歩道ができないかということなんですけど、ほかのサンエーショッピングタウン宮古郵便局のところです。あそこの真ん中ぐらいにちょうどこのａｕショップがあって、その向かいに新しい道路ができているんです。そこ行くと宮古島市未来創造センターがあるんです。児童生徒が、平良中学校とか宮古高校に行くときにその道を渡るんですけど、とても交通量が多いんです。私毎日子供の送迎をするんですけど、大体その時間には生徒が立っています。でも、交通量が多いので、渡れなくて困っているので、そこに横断歩道ができないのかなと。できれば押しボタン式の信号がいいんですけど、それも多分朝の登校時間と帰りの下校時間しか使わないと思うんですけど、その辺の見解をよろしくお願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

横断歩道につきましては、公安委員会が設置していることから、窓口である宮古島警察署に確認したところ、同所については要望がないので検討していないが、要望があれば交通量や交通規制の基準などに基づき、検討していくとの回答を得ております。

◎狩俣政作君

建設部長、要望します。というのは、私が運転している車で大通りに出る前に、待つのです。そうすると、優しい人は止まってくれるんです、渡ってください、どうぞって。でも、止まっている車を後方の車は分かんないんです、何で止まっているか。それ追い越すんです。びっくりして走っていくんです、生徒が。そういう危険な状態を見たので、ぜひとも横断歩道を設置していただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。

まてぃだ通りから、また平良中学校の裏門に行く道があるんですけど、そこにも新しく交差点ができています、郵便局に抜ける道と平良中学校に行く道。そこも私２回見ているんです、交通事故が起きたの、送迎中に。それで、そのとき気づかなかったんですけど、いろんな方からそういう相談が来て、標識をつけるとか、何か注意喚起できませんかって言われて、そうだなと思って写真撮りに行ったんです。そしたら、私自身が事故に遭う寸前だったんです。まてぃだ通りから平良中学校に行くところが厄介で、右側にある民家の花壇というか、ガーデニングがあって見づらい。左側にレンタカーショップがあって、ロングバンがあるんです。見えないんです。右側しか見えないので、右注意して行くんですけど、車来ました、止まった、行こうかな、ぶんと来るんです。どっちが優先か分かんないから、みんな自由にというか、それぞれが優先と思っているので、それを行って、また昨日改めて写真撮りに行ったら、昨日はレンタカーも全部撤去されていて、道路の交差点４方に徐行って書いてある看板があったんです。多分やったのかな

と思うんですけど、何かもう看板３つ倒れていました、風で。直したけど。なので、標識やカーブミラーの設置ができないかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

狩俣政作議員ご指摘の交差点は、竹原地区区画整理事業の区画道路が交差する道路となっております。停止線及びカーブミラーの設置につきましては、今年度実施予定の出来形測量の完了後、沖縄県公安委員会と早急に設置できるように検討してまいります。

◎狩俣政作君

ぜひよろしくお願いします。

それで、４番の学校周辺のカラー横断歩道を３月定例会だったか質問したんですけども、その後の取組状況を伺います。

◎建設部長（川平陽一君）

カラー横断歩道につきましては、宮古島警察署に協議したところ、既設の横断歩道を強調するためや道路管理者として白色以外での指導横断歩道は警察署と協議し、設置可能であるとの回答を得ております。そのことから、新年度において予算を要求し、交通量の多い路線から対応していきたいと考えております。

◎狩俣政作君

次の質問に行きます。

２の市民生活、福祉行政についてですけども、こども誰でも通園制度に関してですが、先日富浜靖雄議員の質問に対してもこども家庭局長が、市では試行的事業の実施は行わず、令和８年度からの予定をしていると。制度を利用するためのシステムの構築の検討会が行われており、試行的事業の実績や課題を基に、令和７年度中に制度の運用に関するガイドラインなども適時通用される予定になっていると。実施施設や利用者に混乱が生じないよう制度の周知に努め、本格的な実施に持っていくと答弁しておりましたけども、この制度の検討会はこれまで何回ほど行われて、それに施設側は参加していたのかお伺いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時23分）

再開します。

（再開＝午前11時23分）

◎狩俣政作君

先月、富浜靖雄議員と２人で浦添市のほう行ってきたんですけど、視察をして。２人の職員が担当していたんですけど、まず浦添市はエントリーをして、１月に内示をもらったと。その前からある程度の施設とか園に対して事業所を探して準備しておきましたと。様々な課題があるとお話ししていました。一番大切なのは、施設長、園長先生だけではなくて、保育士全体の意向を聞かないといけないと。保育士の思いが一番大事なんですという話をしておりました。ある保育園の園長先生が、大変だけど、親御さんに感謝されることが大事なんでと手を挙げたと話してくださり、それがテレビのニュースにも乗って、新聞にも掲載されて各自治体や関連施設からも視察が来ているとのことでした。１つ目の園が７月に開始されて、10月からは４つの園が事業を行っていますと。

一番大切なことは、この事業が待機児童対策ではないということです。基本的な保育に基づき、お子さんの家庭以外の場所での保育の保障がされる事業ということなんです。こども家庭局長も答弁しておりましたけども、実施方法としては在園児と一緒に保育する方法、専用のスペースをつくる方法、これ一般的に。また、定員数達していない、そこに入れる方法なんですけども、浦添市の職員によると在園児と一緒に保育を行う方法はかなりハードルが高いそうです。ふだんいる園児に対して、たまにしか来ない園児が来ると、たまにしか行かない園児はとても気を遣って入り込めない。なので、専用スペースをつくるんですという話をしていたんです。専用スペースつくるのにも整備費がかかります。これも国が４分の２か、出して、市が４分の１、施設側が４分の１。こういった改修しないとできないということなので、これを令和８年度に開始したら利用者に混乱が生じないのかなと思うんですけど､その辺の対処をお伺いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時26分）

再開します。

（再開＝午前11時26分）

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

狩俣政作議員お話しされたとおりでございまして、令和８年度の本格的実施に向けて、本市としては実施に向けて検討しているというところではございます。これは、国の令和７年度の保育関係予算概算要求では、就学前教育・保育施設整備交付金にこども誰でも通園制度実施に係る費用についても対象となることやＩＣＴ推進化事業でシステム改修や導入費用についての補助メニューがあることから、ＩＣＴ導入や改修、施設整備など支援しながら、本格的な実施に向けて取り組んでまいりたいと考えており、これは令和７年度からの活用が可能だということですので、令和７年度中に周知等、実施してまいりたいというふうに考えております。

◎狩俣政作君

では、令和７年度中に周知して、そういった専用スペースをやりたい、設けたい施設は手を挙げてくれればということですよね。分かりました。

では、そもそもこの質問するときにいろんな方に聞いたんですけど、宮古島市、保育士足りているのって言われたんですけど、足りてなければできない制度でありまして、今現在宮古島市、保育士は足りているのかどうか教えてください。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前11時28分）

再開します。

（再開＝午前11時28分）

◎こども家庭局長（幸地幹夫君）

先日の下地茜議員にもお答えはさせていただきましたが、国の配置基準を変更するということで、今現在国の定めている配置基準については保育士が不足しているといった状況はないものというふうに考えて

います。

◎狩俣政作君

そうであればいいんですけど、何か先日ある保育士からゼロ歳児を見る人がいないので、受け入れていませんというお話も聞いたので、心配しておりました。この制度、保護者の就労のある、ないにかかわらず、子供の保育を保障するための制度なので、ぜひとも混乱が起きないようによろしくお願いします。

次の質問に行きます。２番、乳がん患者の会、ぴんく・ぱんさぁ、まんま宮古の活動についてですけども、去る11月24日に乳がんに関する講座がありました。40人ほど参加していますけど、数年前までは50人に１人だった乳がんの患者が今では９人に１人となっていて、30代から50代が一番多くて、また女性の一番多いがんは乳がんとのことです。しかし、治療成績、早期で完治するというのもまた乳がんらしいので、早期発見がとても大切なんですということ訴えていたので、その重要性として市の取組状況をお伺いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

本市の乳がん検診の状況について、令和５年度の実績に基づいてお答えいたします。

まず、乳がん、これはエコーでございます。検査受診率20.5％、マンモグラフィー検査受診率23.5％、そのうち要精査、要するにもう一回検査を受けるということです。要精査率は9.6％となっております。本市では毎年１月に集団婦人がん検診を実施しております。がん検診の告知方法としましては、市のＬＩＮＥ、ホームページ、広報誌、ラジオ放送、新聞、チラシ等を活用して受診勧奨を行っているところです。そのほかピンクリボン、ぴんく・ぱんさぁとかまんま宮古がＰＲをしておりますけれども、ピンクリボン啓発用ポケットティッシュを購入して配布しているところです。がん検診は、個別、集団検診とも土曜日に受診が可能で、また対象者の利便性を考慮し、県内の医療機関で受診可能となるよう調整を図り、受診率向上に取り組んでいるところでございます。

◎狩俣政作君

市民生活部長、これ実は宮古島、検診の受診率は結構高いそうなんですけど、心配するのが再検査でもうがんになっているというのも高いんです。これ聞くと、特定健診が40歳以上なんです、無料なのは。一番多いのは30代からなんだそうなんです。なので、例えばこれ30代の方が自分で検査する場合には宮古病院にしか行けないんです。でも、宮古病院ってもう患者を優先しているので、なかなか空きがないという話も聞いておりますので、どうにかそれができないのか。例えば30代から40代までの間の方に乳がん検診クーポンとか作っていただいて、ほかの人とは違って優先的に受診できるような、検査できるようなことできないかお伺いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

今狩俣政作議員からご提案ありました件については、関係機関と調整を図りながら検討させていただきたいと思います。

◎狩俣政作君

ぜひよろしくお願いします。

次の質問に行きますけども、３番のＢ型肝炎についてですけども、10月５日にＢ型肝炎原告団が宮古島市で講演会を行いました。その方から７月に連絡が来て、Ｂ型肝炎の集中広報について相談を受けました。

その際に市民生活部長をはじめ職員の皆さんと、おかげをもちまして、ポスターの掲示や周知、検査のポケットティッシュの配布もさせていただきました。ありがとうございました。この担当の方も実は19歳の頃に足をけがして病院に行ったところ、Ｂ型肝炎に感染していることが分かったんです。それを話すと周りの友人もびっくりして、検査をしたら５人いたそうです、感染者が、Ｂ型肝炎の。調べると、県内に4,700人いると言われているんです。宮古島市にも潜在的患者は186人いると言われています。Ｂ型肝炎の検査の方法や市の取組状況が分かれば教えてください。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

本市の状況でございます。沖縄県では肝炎対策基本法に基づき、肝炎治療、肝炎ウイルス検査、普及啓発を目的に、毎年７月、肝臓に関するパネル展を市役所ロビーで行っているところでございます。本市では、肝炎ウイルス陽性者、Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎ですけれども、の早期発見及び早期治療につなげるため、市が実施する集団検診、個別検診において検査を実施しておりますので、詳しいことについては担当課の健康増進課までお問合せいただければと思います。また、沖縄県では宮古保健所において、肝炎ウイルス検査を実施しており、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図っているということでございます。

◎狩俣政作君

このポケットティッシュも「ＯＮＥ　ＰＩＥＣＥ」のキャラクターのチョッパーというキャラクターが載っていました。これは、「ＯＮＥ　ＰＩＥＣＥ」の作者の方が無償で載せていいですよということで載っているんです。講演会の患者からも話を聞いたんですけども、やはりＢ型肝炎になって、差別を感じるというのが一番多かったんです。うわさが広まるから相談しにくいと。相談方法が分からないという。離島においては専門的な医者がいないと。でも、しかし対策として、相談会を地元紙や市の広報、ＬＩＮＥに掲載して、診断書作成も診察に係の担当員が同行することもできると。県で月１回の報告会で、福岡や東京からも弁護士が来て勉強会をしているので、宮古島市に来て行うことができますよと話をしていたので、ぜひとも今後とも一緒になって取り組んでください。よろしくお願いします。

次に行きます。４番、訪問入浴についてですけども、これ令和４年９月定例会でも質問いたしました。そのときに訪問入浴がなくなった経緯として、サービスをしている福祉協議会の保有する車のボイラーが故障をして、それから、平成30年９月からサービスが提供できないと。その間に訪問入浴サービスの指定が取り消されているということで再開できていませんけども、そのとき大切な、重要なサービスなので、今後いろんな調整をして検討したいとお話ししておりましたけども、その後どのような検討されているかお伺いします。

◎福祉部長（守武　大君）

訪問入浴の実施につきましては、指定訪問入浴介護事業者において、入浴介護に使用する専用の車両や浴槽などの設備が必要となります。また、看護師や准看護師を含む職員を少なくとも３名以上配置することになっているため、コスト面や人材不足が課題となり、事業再開には至っていない状況です。現在入浴介護を希望される方については、訪問介護や通所介護での入浴を利用していただき、身体の清潔保持、心身機能の維持を図っているところです。また、重度の身体障害を持つ方に対しましては簡易浴槽を給付しておりますので、在宅での入浴介護で利用していただきたいと思っております。

◎狩俣政作君

福祉部長、いろいろ調べると、この車両自体がそんなに高いわけではないと私は思うんです、車両が。新車でも300万円ちょっと。長いバンに浴槽を入れて、ボイラーを入れて、３人ぐらいで行くんですけど、重度心身障害者に対してやるマットみたいな、ベッドにマットを敷いて、それを膨らませるとそれが浴槽になりますよね。なので、軽の入浴車両もあるんです。それだとそれも入るのかなと思っていて、そういったことでできないのかなとは思っているんですけど、根本的な問題として、これは車両の云々ではなくて、私の中では車両は市ができれば買っていただいて貸す、リースするというのが一番いいと思うんですけど、その問題ではなくて、人材不足というものがあるのかどうかお聞かせください。

◎福祉部長（守武　大君）

狩俣政作議員おっしゃるとおり課題としては車両の問題よりも、人材不足が問題と感じております。ただ、事業所が今後訪問入浴を実施したいという申出がありましたら、市といたしましてもサービス実施に向けて、できる対応を検討していきたいと思います。

◎狩俣政作君

福祉部長、訪問入浴再開を求める声がとても多いので、ぜひともいろんな事業所に応援というか、やってくださいとかはおかしいけど、そういうふうな取組もよろしくお願いします。

次に進みます。５番、市営住宅の階段の手すりの設置状況ですけども、これは城辺西城市営住宅の８棟と９棟です。この８棟と９棟だけに手すりないんです。私３年前にも荷川取行ったときに、平良荷川取市営住宅もなかったんです。それで、それ話をしたら、すぐ平良荷川取市営住宅はできたんですけども、そのときにいろんな市営住宅見ていただければできたかなと思うんですけど、ここ実は最上階に住んでいる方が体調が悪い方もいて、もう手すりはないので、塀を伝って上るんだけど、塀を伝って内側を歩くと曲がるときにもう塀がないです。つかめないから、たまたま左側に配管があるんです、露出の。これを使って歩いているんですけど、これ早めに手すりができないかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

城辺西城市営住宅の８棟と９棟の各階段の手すりにつきましては、狩俣政作議員ご指摘のとおり現在設置されておりませんが、早急な設置に向けて指定管理者と調整を進めておりますので、今年度で設置をしたいと考えております。

◎狩俣政作君

今年度中に。ありがとうございます。よろしくお願いします。

次の質問に行きます。６番です。盛加農村公園前の道路の雑草ですけども、抜け道になっていて交通量も多くて、道幅が狭いんだけど、雑草がすごく生い茂って危ないですという相談があったので、一般質問でやりますと言ったら、見てきたらきれいになっておりました。除草剤まいてあって。ありがとうございます。なので、定期的に清掃を行うようによろしくお願いします。これはこれでいいです。

７番に行きます。Ａ１号線の手登根ブロック工場前の私道についてですけども、その後地主とどのような協議を行ったかということですけども、これ６月定例会でも質問しました。45年にも長きにわたって、私道でありながら北中学校の生徒、保護者、先生方の通学路として使用しております。また、私道でありながら下水道の排管が無断で埋設されていると。北中学校のプールの排水も、これも非常に流れております。車の往来もあって危険だし、壁がない場所があって、そこが崖になっていて、そこから生徒も落ちて

けがをしたということも話しました、一般質問で。その後地主と協議しているのかなと思って聞いたら、何も話していませんよというのがあったので、その後の状況をお伺いします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

私からは、下水道管についてお答えさせていただきます。

ご質問の件につきましては、６月定例会に狩俣政作議員から教育委員会のほうに質問があったことで状況を把握した次第です。下水道管が埋設されております私道の地主の方との協議につきましては、狩俣政作議員からご質問のあった後３回ほど自宅を訪ねておりますが､まだお会いできていない状況にあります。この下水道管は、A―１号線、これ北中学校の正門前の道路の件ですけれども、の本管から北中学校裏通り側に向け接続しております枝線に、さらに接続している状況でございまして、民有地のうち約25メートル程度に埋設されていることを確認しております。当該箇所の下水道管の布設工事につきましては、下水道課で工事を行ったなどの資料等がなく、当時の在職職員に確認しても認識していなかったことから、経緯など詳細については把握できていない状況でございます。そうは申しましても、地主の方や周辺の住民の皆様へご迷惑とご不安をおかけしている状況ではございます。今後さらに足を運び、早急にお会いし、話合いを進めてまいりたいと思います。

◎狩俣政作君

よろしくお願いします。多分今日これ見ているので、今度行ったら会えると思います。

次に行きます。８番、城辺線の街灯ですけども、９月定例会の途中でとても暗いですという話が来て、行ってみたら本当に暗かったんです、城辺線。街灯がオレンジのやつは全然明るいんですけど、何か所かＬＥＤに替わっていて、そこがとても暗く感じました。時間帯によって、７時頃通ると車の往来で明るく見えるんですけども、車がない９時ぐらいに通ると真っ暗なんです。これいつＬＥＤに替わったのか、それとも前からそうなのか、その辺をお伺いします。

◎市民生活部長（狩俣博幸君）

狩俣政作議員ご指摘の県道平良城辺線の第３給油所から大和電工付近の道路が暗いということでございます。市でも現場を確認しております。確かにご指摘の箇所の道路は、少し暗いことが確認できました。その原因といいますか、そもそも街灯自体の本数が足りないように感じましたので、市としましては道路を管理する宮古土木事務所に市民の声など現状を説明して、対策を講じるよう要望してまいります。いつＬＥＤに替わったかというのは把握しておりません。すみません。

◎狩俣政作君

第３給油所から空港までの道あるんですけど、結構長い、暗いので、ただ要所要所の交差点にはオレンジの街灯なので、明るいんですけど、その間が真っ暗なんです。街灯増やすようによろしくお願いします。

次に行きます。９番、下地農村改善センター駐車場にある資材についてですけども、もともとの老人福祉センターがあった場所です。この周辺一帯は下地地域の方々は教育振興の地域として、改善センターとか様々な施設が存在すると。その施設を利用する際に駐車場として利用できるよう、10年ほど前に公的予算を計上して整備して、駐車場として利用していたと聞きました。ここが民間会社の資材置場になっていて車が駐車できなくて、その周辺の道路、周辺の施設でイベントがある際に、もう駐車場がないので、道路に駐車して、それが市営住宅のほうまで行くと話もしておりました。つまりイベントがあるときに、こ

の地域住民の人たちは違法駐車をしているんです。これはどうなのか。民間にいつから貸しているのかお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、ご指摘の場所が資材置場で使用されているということに関しましては、しっかりと財政のほうで引き継ぐときにそこら辺がされていなかったという部分もありますので、そこはおわび申し上げたいと思います。

ご指摘の資材置場につきましては、廃止された旧下地老人福祉センター跡地で、現在は普通財産として財政課の所管となっているところでございます。民間事業者から資材置場及び事務所用地として活用したい旨の申請がございまして、賃貸借契約を締結しておりますが、農村改善センターでイベントが開催される際は契約面積の空きスペースを駐車場として利用できるよう、確認、合意を今取ったところでございます。また、農村改善センター裏の旧下地公民館前にも駐車スペースがありますので、そちらも活用いただければと思います。あと、ご指摘の駐車場部分につきましては、令和６年４月１日から契約をしているところでございます。

◎狩俣政作君

令和６年７月からと言いましたか。４月から契約している。旧老人福祉センターのところは去年の９月からではないですか。去年の９月からやっていて、新たに今年、この改善センターのところの駐車場を４月からということですか。

◎議長（平良敏夫君）

質問。

◎総務部長（與那覇勝重君）

今狩俣政作議員からございましたとおり、老人福祉センター施設跡地は令和５年９月１日から契約しているところでございます。駐車場部分は新たに使用したい旨、事業所側からございましたので、令和６年４月からの契約となっております。

◎狩俣政作君

ちなみに、この賃貸料金はお幾らですか。老人福祉センター跡地、改善センターの駐車場含めて総額で。

◎総務部長（與那覇勝重君）

両方合わせますと、84万1,000円となっております。

◎狩俣政作君

これが安いか高いか分かんないんですけど、資材置場として使っているんですけど、例えば駐車場として使った場合に何台入るのかなって私の目視で計算したら、多分50台は入るんです、あそこ、50台以上。宮古島市の多分職員の駐車場も１台4,000円ぐらいですよね。安くても3,000円かなと思うんですけど、だとすれば単純に考えて3,000円でも150万円、月100万円以上はするんではないのかなという。それは別にいいとして、多分積算根拠としたら財産のことを考えてやったと思うんですけど、これが例えば民間事業者に貸すのが妥当なのかという部分が私一番問題になると思うんです。では、ちょうどいいところにあるから、貸してくださいと言って貸していいのか。それで地元の住民から弊害が来ている。駐車場ですから。それをほかの民間会社も手挙げたらできるのかという部分と、ほかにこういうような市が所有している土

地に対して資材置場として貸している例はあるのかお答えください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、事業者から賃貸借の申出があった場合、その土地が今後各部局におきまして利用計画があるかどうかというものを関係部局に流しまして確認を取りまして、ない場合のみ賃貸するということでございます。また、同様に資材置場として現在使用させている件については、今のところはこの１件となっております。

◎狩俣政作君

そうだと思います。ほかの多分民間会社とかは、自分たちで何とかして資材置場を借りる、つくると思うんです。この会社は、結構宮古島市に対してもずっと関連の事業をやっている会社で、何かとても特別感が、私はいつも思うんです。ここに資材を持ってきた理由に関しても、指定管理を終わるので、どうしようかなという部分と、大きな事業を抱えているので、その事業の資材も置かなきゃいけない。本来であれば別のとこに持っていくはずだったけども、そこの事業は取れなかったので、持ってきたのかなと言わざるを得ないような状況になっていると私は思っております。それは、下地の住民も思っております。そういったことを思われないようなことをしないと、ましてこんな破格の値段で貸せるなんて、多分ほかの事業者も手挙げたら、では私100万円で借りますよという人はいると思います。なので、今後しっかりと精査をしていくことを要望します。

次の質問に行きます。市長の市政行政についてですけども、まず２番からお伺いします。想定浸水深が１メートルの場所に２つの重要な施設、し尿処理施設と下水処理施設があるんですけども、①、この施設の耐震等級について伺います。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

下水道施設の耐震診断につきましては、平成30年、令和３年、令和４年に実施をしております。実施した耐震診断の結果においてですけれども、管理棟、汚泥処理棟が耐震等級１、着水井１系オキシデーションディッチ、用水棟、消毒タンクが耐震等級２となっております。

◎狩俣政作君

等級が１以上あるので、耐震は保たれていると思いますけども、それでは②の津波対策についてはどうなのかお伺いします。

◎環境衛生局長（下地睦子君）

津波対策ということですので、防潮堤の設置につきましてです。防潮堤の設置につきましては、さきの６月定例会でも答弁させていただいたところですけれども、建設部との協議を行った結果、港湾施設として防潮堤の整備ができないとのことですので、その後下水道課において宮古島市浄化センターの耐震、耐津波の調査業務を行っておりまして、その中で様々な案の比較検討を行うとお答えしたところです。現時点で申し上げますと、その時点の状況と特に変わりはございませんが、今後の予定といたしましては既に完了しております浄化センターの調査、診断に加え、今年度発注しております荷川取中継ポンプ場の調査、診断の結果及び並行して進めておりますストックマネジメント計画により、設備更新と一体施工を図る必要がございます。それらの調査結果等を踏まえ、方針を決定していくことになります。現状の進捗状況で申し上げますと、令和８年度以降になるものと見込んでおります。

◎狩俣政作君

大変厳しいと思います。これ、令和４年６月に定例会のとき市長が言ったんですけども、ＯＤ槽を含めた下水の計画、一体型の整備というものが極めて効率的だし、経費的にも安い、市民のコスト軽減につながると答弁しておりました。この一体型とか共同化を市長はとても豪語しておりますけども、それでこの事業を変更されました。そもそも一体型とか共同化というのは都市部とか陸続きの自治体でないとできない話なんです、リスク分散のために。離島であるこの宮古島において、市長が言ってきた一体型、共同化というのはとてもリスクが高いんです、災害時において。災害時にリスクを分散するために、わざわざ下水道とし尿を分けてやったんですけども、それはもういいです、もう完成間近なので。なので、私は早めに防潮堤の設置を設けてやらないと、これ市長が説明する責任があると思います。今年の４月にもし３メートルの津波が来たら、間違いなく終わっていました。今後下水もし尿も宮古島は、災害でその施設が災害を受けた場合には海に流すんですか、観光立市の宮古島で。いかに新し尿処理施設が7.5メートル上にあったとしても、そこはもう避難所として使うんですけど、ＯＤ槽が下にあるんです、２台。３台目、まだできておりません。本当は３台目ができると約束したから、わざわざここに移動したのに。市長、その辺の見解をお話しください。どう思っているか、防潮堤の建設について。

◎市長（座喜味一幸君）

し尿処理に関する共同化というのは大変重要だと私は思っております。ＯＤ槽３基目を多分計画として進めて、12月完成ですんで、し尿処理とＯＤ槽を一体的に供用開始、予定どおり進んでいると思っておりますので、下水含めたし尿処理についてはしっかりとした将来に向けての対応ができるものと思っております。

（「休憩」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後零時02分）

再開します。

（再開＝午後零時02分）

◎市長（座喜味一幸君）

いずれにしても防潮堤、大きな津波の場合における我々のインフラ、港湾も含めてのインフラの脆弱性というのは認めるところです。今後そういう課題に関してどのような対応が取れるか、しっかりと検討していくべきだと思っております。

◎狩俣政作君

市長、ぜひとも早め早めに防潮堤の建設をお願いします。これ調べると結構お高いんです、防潮堤って。福島のあの防潮堤１兆円です。一番安いのを調べたら、それでも静岡で高さも制限されて、短くても70億円しました。なので、本当に予算がかかることなので、ぜひとも市長、率先して国に行って、防衛省と何度もしっかり協議をして造ってください。よろしくお願います。

以上で質問終わります。ありがとうございました。

（「議長、答弁訂正」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

山下誠君に対して産業振興局長から訂正ですか。

（「はい、そうです」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

許します。

◎産業振興局長（下里盛雄君）

答弁の訂正をさせていただきます。

先ほど山下誠議員の答弁で、域外からの購入額を移輸出額と答弁いたしましたが、正しくは移輸入額でございます。訂正させていただきます。

◎議長（平良敏夫君）

これで狩俣政作君の質問を終了しました。

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午後零時04分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

午前に引き続き一般質問を行います。

順次質問の発言を許します。

◎粟国恒広君

一般質問も今日で最後ということで、２人を残すところです。最後までお付き合いお願いいたします。いつも定例会になると、私見を述べたり、そして要望を述べたり、この議場で活発な議論が繰り広げられたと思っています。当局の皆さんにおかれましては、私の質問というのは提案をしながら、そして要望を交えて質問していきたいと思いますので、誠意ある答弁をよろしくお願いいたします。

それでは、通告に従って一般質問を行います。まず、教育行政についてですが、来間島の小中学校利活用について、去る９月定例会では、教育長の話では自治会との調整がうまくいっていないと。そして、４月に津波が発生して、津波発生時に運動場の跡地に住民が避難した経緯があり、そして運動場の跡地について防災面でいろいろ配慮した計画の見直しが必要だという答弁した。その後の見解についてお伺いいたします。

◎教育部長（砂川　勤君）

旧来間小中学校の利活用事業につきましては、これまで来間部落会へ手続に必要な書類、協定書等について提出を求めてきたところでございます。先月11月に来間部落会長より事業計画の内容を変更し、事業を進めていきたい旨の相談があったところです。ただ、現時点では来間部落会から従前のゆいまるプロジェクトとの協働事業の取りやめに関する正式な文書はございません。また、新たな事業者に関する計画書等の提出もございません。

◎粟国恒広君

教育部長、この答弁によると動きがないという答弁で理解できるんですけど、３月定例会まで、念入り

に取り組んできた。脱炭素地域に指定されて、議会でも教育財産の無償譲渡という感じで議会に提案されたのに、これが進まないというのはどこに原因があると思いますか。その辺について、教育長答えたほうがいいと思います。

◎教育長（大城裕子君）

旧来間小中学校の利活用事業については、これまでも地域の皆様の意見を大切にしながらというところで進めてまいった経緯がございます。そもそも公募という段階で、もうそれを控えた時点で、改めて地域の皆さんから地域として利活用を進めたいという旨のご相談があり、公募を取りやめたという経緯があります。教育委員会としては、地域の皆さんの希望に沿うような形での利活用を進めていきたいということでいろいろ調整をしてまいりました。当該事業者との調整の中で、それが来間部落会と事業者との間で認識の相違といいますか、そういうものもあったように感じています。その後は私も６月に実際に来間島に出向きまして、部落会長、そして副会長、事務局の皆さんの意見も伺ってまいりました。その際いろいろと計画が、今確たるものになっていないようなお話の内容でした。それで、本当にこの後進めるに当たっては、協定書などの正式な文書の提出を求めてきたというところです。それが11月、先月、部落会長より事業計画の内容を変更し、事業を進めていきたいという相談があったので、これに対してはきちんと来間部落会で、また臨時総会などでちゃんと同意を得た上で教育委員会のほうには相談に来ていただきたい、また改めて私たちもその辺りの情報に関しては来間部落会に問い合わせていきたいと思っているところです。

◎粟国恒広君

教育長、これ自治会からの要望で公募を取りやめたという事業の進め方という答弁されているんですけど、これは自治会が主体で、教育委員会は教育財産の無償譲渡という感じで議会に示してきたわけです。今聞くと、この認識の相違があると、互いに。当初の計画見直しだということで、本来なら３月定例会でしっかり議会に提案して、その経緯というのはしっかり説明するべきなんです。やはり来間島の皆さんがこれだけ来間島の利活用と学校跡地の利活用を望んで、自治会挙げて提案してきた中で、我々も目に見えない補助金の行方だとか、今宮古島未来エネルギーという会社が実際宮古島市に存在しながらも、形が見えない。次年度、宮古島市エコアイランドＰＲ館の指定管理も別の会社に指定すると。この会社がどういったもので、本当にこの事業を進めていきたいのかというのが見えないんです。そんな感じで教育長、教育長の任期は来年３月31日ですよね。ということは、もう議会には次の３月定例会に提案するということですか。その方向性だけをお答えください。

◎教育長（大城裕子君）

今、来間部落会の会長お一人が相談に来られたという状況ですので、今後来間部落会のほかの役員の皆さんにもいろいろお話を聞いた上で、来間部落会の意見を取りまとめながら、しっかり聞きながら進めていきたいと考えているところです。

◎粟国恒広君

もちろん来間自治会との緻密な連携が必要かなと思います。私は、この事業に対しては、ある方が先導してやってきたという情報もいただいています。そういう中で自治会に無償譲渡するという議案を議会に上げてしっかり精査して、利活用という感じで上げてもらえればなと思っています。今答弁の中で、自治

会長１人。自治会は、自治会長１人ではないんです。自治会の部落民がいる。総意なんです、相談も今現在では会長の１人というのは、この事業は本当に暗礁に乗り上げたかなという感じをしております。ぜひ早めに解決に向けて、頑張ってほしいなと思っております。

次に、学びの基礎力アップ事業について。本年度予算で学びの基礎力アップ事業に取り組んでいます。確かな学力の向上のために、読書活動の推進、学ぶ意欲を高める漢字検定、英語検定、数学検定等の検定科目を全額支援するという重点的取組だと理解しています。その実施が行われたが、その結果分析等について答弁お願いします。

◎教育長（大城裕子君）

今年度からスタートいたしました学びの基礎力アップ事業は、次の２本の柱で取組を推進しているところです。１、幼児教育と小学校教育の円滑な接続による低学年の学力保障、２、読書活動の推進です。

まず、１つ目の取組ですが、本市の児童生徒の学びの現状は、学習の基礎となる低学年から既に課題が見られており、その後中学年以降の学力差に影響していることがうかがえます。そこで、平一幼稚園と平良第一小学校を研究校として、低学年の基礎学力の定着を図ることを目的に研究を推進しているところです。今年度の具体的成果として、平良第一小学校の１、２年生に実施したアンケート結果から子供たちの語彙数が伸びていることや書く力が向上し、表現力が高まっていることが分かっています。また、幼稚園から小学校へのスムーズな接続は、不登校児童減少へとつながり、安心して学べる環境となっています。さらに、平一幼稚園においては新たなカリキュラムを作成し、充実した保育を実施したことで園児に共同性の高まりや探究心を持って活動する子が増えてきていることが分かっています。来年１月には沖縄県教育委員会と共に、県内小中学校教諭を対象とした研究指定校の公開授業並びにこれまでの研究報告が実施されます。今後は平良第一小学校での研究内容や成果を他校にも共有し、横展開を図ることでさらに質の高い教育の推進、低学年における基礎学力の定着につなげていきたいと考えています。

次に、読書活動の推進に関しては、今年度琉球大学教授を招聘し、学校図書館司書を対象とした研修会を４回開催、充実した図書館運営の在り方や児童生徒の読書意欲向上に向けた具体的取組について研修を行いました。その結果、本に親しみ、読書への興味、関心、意欲の高まりが見られている児童が少しずつ増えてきていることや、アンケートにより子供たちの語彙力が豊かになっていることなど成果が見られてきています。次年度以降もさらに読書活動の充実を図ることで、学習の基礎となる言語能力の育成を目指し、取り組んでまいります。今後も本事業の２本の柱を通して子供たちの基礎学力を定着させることで、確かな学力を保障し、宮古島の未来の担い手として、時代に対応できる人材育成を目指し、取組推進を図ってまいります。

◎粟国恒広君

教育長の答弁を聞くと、すばらしい事業かなと思って、何か子供たちがしっかり学んでいるかなという感じを受けますけど､私はやはり英語検定と数学検定という項目が今回主な施策でうたわれているんです。その件に関してやはりどういった実施が行われて、結果分析として教育委員会としてどう感じているかということを簡単でいいですから、述べてください。

◎教育長（大城裕子君）

教育委員会としては、児童生徒の学びの意欲を高めるための事業として、各種検定への検定費の全額補

助を行っているところです。これは、英語検定、数学検定、漢字検定それぞれ１回ずつ全額補助で受験できるんですが、さらに合格した場合、次に挑戦したいとなったときにまた再度全額補助で支援をして、子供たちの学びを支えている事業です。これに対しては受験者数も増えてきております。全額補助にしたことで子供たちが挑戦の機会を得て、学びを高めるために日々努力していることはうかがえますので、来年度以降徐々に結果は出てくるものと期待しているところです。

◎粟国恒広君

結果の分析としては、引き続き来年度以降も経過報告という感じで、議会でもぜひお示しいただければなと思っております。

続きまして、健康の保持増進と体力向上についてですが、本市の各小学校で朝の登校時に、自家用車で学校の正門まで送迎してくる多くの保護者が見受けられます。その件に関して教育長の考えをお聞かせください。

◎教育長（大城裕子君）

本市教育委員会は、健康の保持増進と体力向上について、日常的に運動に親しむ習慣、健康づくりや基本的な生活習慣の確立など、第３次宮古島市教育ビジョンに施策として掲げ、取組を推進しています。また、沖縄県教育委員会が設置する沖縄県児童生徒体力向上推進委員会の報告では、体力向上に関して家庭、学校、地域ができることをまとめ、その中には徒歩通学することが推奨されています。本市教育委員会としては、その内容を踏まえ、各学校に周知しており、本市の一部小学校においてくてく登校と称し、徒歩通学することを保護者の理解を得ながら学校経営方針に盛り込み、実践している学校もあります。徒歩通学することは、体力の向上や健康の保持増進につながる取組の一つであると考えますが、徒歩通学の義務化については各学校の方針や児童生徒の理解、保護者、地域の協力も不可欠であることから、一律に実施を求めるのは難しい状況ではありますが、教育委員会としては体力向上や健康の保持増進の取組の指針として今後推奨していくことを検討しているところです。

◎粟国恒広君

朝の徒歩登校、昔は自分の足で、自力で登校していました。最近は時代の流れというか、本当に校門先まで児童生徒を学校の前で送り、これは逆にいいのか悪いのか。もし災害とか、そういう場では自力で行かなきゃいけないです。今教育長が言ったてくてく登校ですか、そういった取組でとにかく自分の足で登校する。登校する間に人間って、やはり朝の１校時が始まる前、新陳代謝の活力が湧いてくるという大学の先生の研究発表もありますので、できるだけ教育委員会として、朝は徒歩登校するように、これをぜひ推奨してもらいたいなと思っています。各小学校見ると、校門の前、朝大渋滞です。ですから、教育長におかれましてはしっかりその辺を学校長と連携をしながら、週１回でもいいです。あるいは月２回でもいいです。そういった推奨してほしいなと思っています。

次、食についてですが、新聞報道で食の推進ということで、結の橋学園で週１回ほど、要は玄米を提供するという感じで、子供たちの肥満対策について官民連携でやっていくという新聞の記事がありました。その中でやはり教育委員会として、今結の橋学園で行われている学校給食に対する玄米、そのデータというよりも、やはり子供たちの肥満というのは普通運動嫌いや食生活の影響が強いと思うんです。今いろんなファストフードもすぐ手に入る時代だし、子供たちの肥満というのは健康障害も多く見受けられると思

っています。この食の推進についてどう考えかお聞かせください。

◎教育長（大城裕子君）

本市教育委員会は、第３次宮古島市教育ビジョンに施策として早寝、早起き、朝ごはんをはじめとした基本的な生活習慣の確立、各学校における食育、生活習慣学習教材の積極的活用を掲げ、食育を通して健やかな体の育成を図ることを推進しています。先ほど粟国恒広議員がおっしゃった宮古島次世代エイドという事業なんですけれども、今年度は宮古地区医師会や公益財団法人医食同源生薬研究財団、東洋ライス、沖縄食料と包括連携協定を締結し、肥満傾向児童生徒の解消を目指す取組の一つとして伊良部島小学校、中学校及び保護者の理解の下、食物繊維やビタミンが豊富で、かつ動物性脂肪の摂取欲求を抑制するとされる成分が含まれるローカット玄米を学校給食へ導入する取組を行っています。現在週２回提供しています。今後学校健診や体力測定データを解析して、玄米食導入の効果の検証等を行うこととなっており、健康増進に向けたモデルケースとなるよう取組を推進していく考えです。

また、本市教育委員会では、養護教諭や保健体育科教諭を対象に、児童生徒の体位や体格の現状確認、健康課題解決に向けた指導方法の工夫、改善に関する研修会を実施しております。さらに、宮古地区医師会のご協力により、市内小中学校児童生徒を対象とした健康講話を実施していただいているところです。その上で、栄養のバランスや規則正しい食生活、食と健康に関する情報などを学校や保護者へ提供し、共有しながら食育の推進に努めてまいります。

◎粟国恒広君

教育長、本当に答弁されているとおりだと思います。ただ、新聞の記事と一緒のような答弁をしているんです。なので、私は教育長が本当に考えている、学校食というものをどういうふうに考えているかなということを本当は聞きたかったんです。伊良部島で実証やっていくと。やはりこれは、あと２年後ぐらいにしか結果出ないということですけど、本市の児童生徒の肥満というのはやはり私は喫緊の課題だと思うんです。そこら辺をしっかりやはり学校関係者も含めて、どうすればそういった子供たちの肥満解消できるかということを取り組んでほしいなと思っています。

教育関係はこれだけにして、次に行きたいと思います。次に、公園管理についてお伺いいたします。市が管理する公園等、あるいは休憩施設において、ロープ等で立入禁止措置が取られている施設の対応についてお伺いします。これ画像を見てほしいんですけど、これは海空すこやか公園近くパイナガマビーチの西側にある公園です。これもうかなり前からこういった状況で、腐食が進んで危険な状態です。これは風力です。宮古島市が推奨しておるエコ、そういった……また、これ久松漁港の五勇士の下の休憩所です。こういったトラロープで立入禁止措置がされている。これずっと、もう１年以上放置している、トゥリバーに関しては。それを知っているのか知らないのか。措置をしているから、知っていると思うんです。なぜ対策が遅いのか、その件に関して建設部長、答弁お願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

建設部が管理している公園は、都市計画課と港湾課が管理している公園があります。そのうち都市計画が管理している公園は24か所で、そのうち７か所につきましては補助事業で沖縄振興公共投資交付金、公園事業として、公園施設長寿命化事業に基づき、公園の改修、改築を行っております。粟国恒広議員ご指摘の港湾課が管理している公園は４か所ございます。そのうち下里船だまり背後地のパイパイパークの休

憩施設の利用制限を行っております。この施設は、平成２年に下里船だまりを整備に伴い……

（「私は、この事業を説明してというか、この事業を、何で修繕できないかということを聞いているんですよ。ですから、こうやって１年も立入禁止が取られた措置に対して、なぜそれが早急に対応できないかということを聞いているんです。その辺を答弁してください」の声あり）

◎建設部長（川平陽一君）

修繕につきましては、現場を一応確認しておりますが、予算が確保できておりませんけど、これ次年度で予算確保して修繕を行っていきたいと考えております。

◎農林水産部長（石川博幸君）

久松漁港内に設置された休憩所ですけども、テーブルが11月28日に破損を確認しております。それ以前は破損がなかったと、見られなかったという情報を得ております。この施設、平成14年に造られておりますけども、それから20年余り経過していますので、経年劣化等も考えられますので、施設を点検いたしまして、年度内には修繕を予定しております。

◎粟国恒広君

農林水産部長、久松漁港に関しては確かに11月の初めだったと思います。予兆があって、ひびが入っているよということで、地域住民の方がこれ壊れるなということで、既に前もって危険除去という感じで措置を取られたというふうに伺っております。

あと、先ほど言った平良、海空すこやか公園のあずまや、これ１年も前からやっているんです。予算がないというんであれば、民生安定補助事業として公園修繕のための事業を導入している自治体があるんです、浦添市が。これは防衛省予算です。宮古島市には航空自衛隊、陸上自衛隊が配備され、防衛施設周辺工事環境整備法に基づく民生安定補助事業等があるのです。そういった予算活用して、早急に、もう崩すなら崩す、建て替えなら建て替え、そういったことをやっていかないと、これロープももうかなり劣化して、もう本当に間違って誰かが入って、上からコンクリートの剥がれたのが当たるとすると本当に大変なことになるんで、予算が難しいというんではなくて、そういった事業があるので、しっかりそこら辺を活用して、早急に対応してもらいたいなと思っております。

続きまして、農林水産業についてお伺いします。下地の竹アラ地区の土地改良事業、この件に関してはもう同僚議員も質問しております。私は、もうはっきりこの事業に関しては損害賠償という感じで訴訟が提起された。そこへ向けて、やはり市民と行政が訴訟を起こすんではなく、しっかり連携を持って、市長が言っている連携です、市民との。お互い和解に向けた協議をする必要があると思うんですけど、市長の見解をお伺いします。

◎市長（座喜味一幸君）

裁判になるということは、行政を預かる者としては大変申し訳ない思いがあります。いろいろと立場は違えども、話合いをして協議を進めていくというのは大変重要だというふうには思っております。今後とも補償を含めた丁寧な、速やかな執行をして、やはり営農しっかりとできるような状況をつくっていくこ

とが大事だと思っております。

◎粟国恒広君

何度も丁寧な説明という感じで答弁しているけど、市長は現段階で和解に向けての提案というか、市長が、当局が考えている、例えば住民税、市民税、いわゆる県民税含めて減免措置とか、営農に対する補助もやりますと言いつつまだ実施されていない。市長は、現在考えている和解案というのは考えありますか。その辺を答弁。

◎市長（座喜味一幸君）

農林水産部で進めております営農資材等の支援を通して、営農が速やかにできる、そして効果が出ていくということを今進めておりますので、それを速やかに執行していきたいと思います。

◎粟国恒広君

市長、やはり農家のみんな、受益者の農家は、営農支援だけで物足りないから、法廷に打って出ているんです。そこをしっかり考えて、本当に形だけではなくて真摯に受け止めて、裁判ではなく、法廷紛争ではなく、本当に受益者のことを考えて、何が必要なのかという聞き取り等市長自らやるべきだと思います。３年間も４年間も作付できない状況、その件に関して市長、もう一回答弁お願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

私も状況というものがまだ十分につかめていない面があると思いますんで、農家の思い、そういうものをしっかりと話合いをしてみたいなと思います。その中から一つの解決策も見いだせるのかなと思っています。

◎粟国恒広君

多分今日も法廷では両方の討論が行われていると、法廷で争われていると思います。一日も早く和解に向けた策をしっかり考えて、農家の皆さんとしっかり向き合って、対処してもらいたいなと思っております。

次に、製糖工場からの副産物資源を活用した有機質肥料を圃場へ散布等を行う地域環境型製造施設の構築事業について、これ狩俣地区で行われています。今回3,100万円ぐらいの予算をつけてやっているんですけど、これ実施がされていない。聞き取り調査によりますと、年内に土間を打つんだという感じで考えているという答弁、聞き取り調査の中でありました。農林水産部長、これ土間を打つというと3,100万円の予算はどういう扱いで整備していくのか、その辺の見解をお聞かせください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

本事業でございますが、令和６年度においては土間の整備を進めております。そして、今現在事業を担う組織の構築を進めておりまして、12月13日から来年の１月までの期間において公募を行うこととなっております。3,100万円の工事の内容ですけども、土間コンクリート工事、堆肥置場の簡易舗装、堆肥攪拌処理工事といたしまして、南側の仮置場から北側の仮置場で攪拌しながら運搬を行う費用、排水処理工事を行う費用を、整備工事を予定しております。

◎粟国恒広君

農林水産部長、これを狩俣自治会が行うんですか。こういった工事を自治会の皆さんが私はできるわけないと思います。自治会の皆さんが土間打つんですか。これ3,100万円の予算もつけているんです。私、先

日自治会の会合に出ました。公募をかけるものに対しては、みんな不安がっています。本当にこの事業は、すばらしい事業だと思います。しかし、この取り組み方、自治会の土木経験がない人が土間を打ちます。これ3,600平方メートル。仮に15センチ打ちます。500立米使います、これ。自治会の皆さんができるわけありません。予算措置をするんであれば、しっかり入札にかけたり、今後の見通しについて、しっかり協議するべきです。市長は、地力アップのために狩俣でやりましょうと。では、3,100万円つけます。そういった思いつきの予算だと私は思います。その辺を指摘しておきます。答弁はいいです。入札をするか否か、かけるか、その辺だけを見解だけを答弁してください。

◎農林水産部長（石川博幸君）

本事業ですけども、狩俣自治会が主体となりまして、市から狩俣自治会へ補助金を交付し、自治会が事業者を選定して整備する流れというふうになっております。

◎粟国恒広君

ですから、農林水産部長、これだけの3,100万円のお金を、自治会に補助します。しかし、もらった自治会もこれ困ります。私が言いたいのは、計画性がないということです。自治会も困っています。散布までやるんです、この事業。散布の機械どこから持ってきますか。こういった事業の進め方というのは本当にいかがなものかなと指摘して、次の質問に行きたいと思います。

続いて、モズク養殖業の支援についてお伺いいたします。これも市長、農業関係の予算では、市長就任以来、農業生産力アップ、所得アップ、そして農業者の意欲低下を懸念、農業の基本である土作りに関わる経費等現金支給、これ令和４年から令和５年に対して約４億2,000万円。それも単費です。基金から全部繰り出した。これだけのものを農業支援にしていながらモズク2,100万円。もう桁が違います。宮古島の第１次産業。今漁業協同組合におかれましては、高野漁業協同組合、エビ養殖場も今再開のめどが立っていない。漁業協同組合の運営というのは養殖業にかかっているんです。そういった中で、あまりにも私は格差が大きいと思います。漁業に対する支援、私たち９月定例会で砂の除去についての決議を可決しました。しかし、何ら動きは見られません。担当の方が漁港の船着場に来て、どういった状況なのと。ただそれだけです。その辺も含めて市長、均等ある予算の配分ですよ。今言ったように狩俣地区で3,100万円、モズクを営む業者、今年度補正組んで2,100万円。これ誰が見てもおかしいと思います。予算権限者である市長、その辺について市長の答弁をお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

物価高騰等々の件については、農畜水産含めてしっかりと支援してきているというふうに思っております。額にして水産関係の額が少ないんではないかというようなご指摘かと思いますが、やはり水産についても本当に抜本的に漁業としてなりわいが成り立つような支援、これを思い切ってやりたい。今後陸上養殖等も含めて新たな技術も導入をしながら、水産振興というのはぜひともに本気で取り組んでみたい大きな戦略産業だと思っております。

◎粟国恒広君

もう漁業関係者がいつもなぜ農家に対してはこれだけ手厚い補助金がついて、単費でやりながら、なぜ漁業に対しては目を向けてくれないのかという必死の思いが伝わってくるんです。今宮古島漁業協同組合、そして伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合、氷に対する補助金もありました。でも、それも足りない

んです。漁業協同組合の一番の収益というのはやはり養殖業なんです。そういう意味ではしっかり市長、農林水産部長含めて漁業者の皆さんの意向をしっかり酌み取って、ぜひ来年度予算には、今１人当たり伊良部漁業協同組合では600枚から700枚の、今ちょうど網を張り出している。今回モズク網の購入補助額約60枚分です、１人当たり。丸が違います。ぜひその辺はしっかり漁業者の思いを酌み取って、来年度予算には当初予算にしっかりと組み込んでほしいなと思っています。農林水産部長、その件に対して答弁お願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

去る６月定例会におきまして､モズク網の購入支援事業として640万円の補助事業を実施しておりますけども､そのときにも申し上げましたが､この事業は令和８年度まで３年間継続する予定となっております。モズクの網の対象拡大に関しては、漁業者及び漁業協同組合に聞き取りを行ったところ、モズク網の耐用年数は３年から５年であることから、現在使用しているモズク網の一括更新は考えていないという回答を得ております。過去４年間の購入実績を確認し、必要量及び予算規模を設定したところでございます。３年間の継続事業となっておりますので、その中で網の更新に努めてまいりたいというふうに考えております。

◎粟国恒広君

農林水産部長、３年間というのは分かります。ただ、３年間、今年は50％です。次年度から30％なんです。だんだん､だんだん補助率が下がってくる。ですから､私が言っているのは１人当たり600枚から700枚の網をこれ３年ぐらいでずっと使って、モズク養殖では網が破れるとけばというのが出て、これが不純物だということで買い入れ価格が制限されてきているんです。ですから、農業者の皆さんにはサトウキビ収穫だ､500円だとこれだけやっているのに､漁業者の皆さんにも１人当たり本当に何百枚単位で補助をやらないと、これ３年やっているの分かります。分かっているうちに、もっと支援が欲しいということを訴えているんです。ぜひその辺を把握して、来年度予算にはしっかり予算編成をしてください。よろしくお願いいたします。

続きまして、過疎対策事業についてお伺いいたします。過疎地域持続的発展計画について、本市が取り組んでいる過疎債についてソフト事業、ハード事業があれば答弁をお願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

過疎地域持続的発展計画におけるハード、ソフト事業の取組についてお答えをいたします。

当市では、令和３年度に過疎地域持続的発展計画の策定を行い、過疎対策事業に取り組んでいるところでございます。同計画に伴い過疎債を充当した事業につきましては、元利償還金の70％が普通交付税措置となる優位な起債となっております。

まず、令和６年度で過疎債の充当を行っている事業をお答えいたします。まず、ソフト事業で、１つ目としまして地域づくり支援補助金、２つ目に生活バス路線確保対策事業、３つ目にサトウキビ病害虫防除用農薬購入補助金、４つ目に教育支援システム使用料、５つ目にスクールバス運行管理等委託業務、６つ目に地域福祉計画推進事業の計６事業で１億9,820万円の充当を予定しているところでございます。

ハード事業につきましては、Ａ―56号線、来間大橋等の道路整備事業が10事業、し尿等処理施設整備事業、小規模多機能型居宅介護事業所の移転事業、合わせて12事業で８億470万円となっております。

ソフト、ハードを合計しますと10億290万円の予算額というふうになっております。

◎粟国恒広君

総務部長、やはりハード事業、そしてソフト事業でもかなり過疎債が生かされているのかなと思っています。この事業は令和７年度までの区切りかなと思っていますので、ぜひこれからもこういった過疎債の事業をどんどん導入してもらいたいなと思っております。この事業に関しては、市民の皆さんの生活向上に大分寄与しているものだと感じております。

続きまして、令和３年度から令和４年度までの、これも答弁しているんではないか、この過疎債の起債については、事業費の総額については。令和３年から令和６年までの過疎債の総額、あるいは市債に対する割合どれくらいなのか、その辺をお答えください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

令和３年度における起債総額は23億3,460万円で、うち過疎債は４億2,480万円で割合は18.2％となっております。令和４年度の起債総額は16億760万円で、うち過疎債は３億4,330万円で割合は約21.4％となっております。令和５年度の起債総額は15億5,460万円で、うち過疎債は５億円で割合は約32.2％となっております。

◎粟国恒広君

その件に関して起債される金額というか、令和７年まで起債できる金額は、およそ幾らぐらいになるんですか。

◎総務部長（與那覇勝重君）

令和７年度に関しましては現在予算編成中となっておりますので、数字は今のところお答えはできません。

（議員の声あり）

◎総務部長（與那覇勝重君）

まだ予算編成中なので、今お答えできません。

◎粟国恒広君

分かりました。

次に、財政についてお伺いしたいと思います。本年12月定例会までで各基金からの繰入金の総額について見解をお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

繰入金の総額についてお答えいたします。

令和６年度の基金からの繰入金についてお答えいたします。令和６年度の当初予算では８つの基金から合計約32億9,000万円の繰入れをし、422億円の当初予算を編成しております。その後の補正予算で財政調整積立基金、城辺地区児童生徒人材育成基金、庁舎等建設基金、ふるさとまちづくり応援基金の４つの基金繰入金の予算措置を行い、補正予算における基金繰入金の合計は約５億円となっております。したがいまして、当初予算と12月補正予算までの繰入額の合計額は約37億9,000万円となっております。

◎粟国恒広君

繰入金で予算措置するというのは、私あまり好ましくないのかなと思っているんです。そういう意味で

は本市の庁舎等建設基金、そして財政調整積立基金、今ふるさとまちづくり応援基金という大きな３つの柱あると思うんですけど、やはり基金から繰り入れるというのは悪いことではないと思うんです。しかしながら、その抑制に関しては、しっかりできれば基金は基金で残しながら予算編成をしていくのが本来の行政運営ではないかなというふうに思っていますけど、その件に関して答弁をお願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

財政調整基金につきましては、収支不足を補うため繰入れを行っているところですが、粟国恒広議員おっしゃるとおりなるべく基金を取り崩すことがない予算編成を目指すべきというふうに考えているところでございます。今後も歳入の増加、歳出の削減の両面から適切な予算編成を行っていきたいというふうに考えております。

◎粟国恒広君

ぜひ来年度予算も、私来年度の予算編成についてという形で質問するけど、多分令和７年度の予算編成も作業中だと思います。現時点で各部局から予算についての内容審査を行っていると思っていますが、やはり歳出に対する一般財源不足ということから、基金の繰入れというのはもう致し方ないかなというふうに思いますけど、来年度予算に対しては、これもう今予算編成していて、切り崩しは分からないですね。見通しがつかないということですね。分かりました。自主財源となる伸び率も伸びてきているし、しっかりそういった財源の繰入れがないような予算編成をしてもらいたいなと思っています。

次に、市政運営について、時間がないので、行きます。市長在任中に副市長が、私あえて離職という文言を入れました。この事態に対する市長の見解は、離職していく副市長を引きとめられないという答弁でしたけど、改めて市長、２人の副市長が離職していくことに対して市長としてどう思っているのか、その辺を答弁お願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

伊川秀樹、嘉数登両氏とも私をしっかりとサポートしていただき、市の抱える課題解決に積極的に取り組んでいただきました。ご本人たちの意向により辞職となりました。辞職に至った経緯といたしましては、政策的な判断と個人的な理由での辞職となっており、任命責任の話だと思うんですが、任命の責任は私はないというふうに判断しております。ただ、副市長が不在となって、公務において様々な面で影響が出ていることは否めませんが、各部局長に負担はかかりますが、しっかりと連携を図りながら、公務執行に努めているというのが現状でございます。

◎粟国恒広君

やはり市長は任命権もあるんです、人事に対する。２人の方を、これ部外から招聘しているんです。それに対して引きとめないと、去る者は追わずというような感覚で行政運営を進めていく。私は、本来だったら我々議会に対しても、市民に対しても丁寧な説明と、謝罪があってもいいと思います。こういった言葉の中で、これ行政が停滞していると思うんです、各部局におかれても。その辺は本当に宮古島市の行政があり得ないんです。ぜひこのことを強く指摘しておきたいと思います。

次に、宮古島市の防災訓練の実施についてお伺いいたします。石垣市でも去る12月の初めに陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、そして米軍の部隊も含めた防災訓練が行われました。先日の平良和彦議員の一般質問の中で、総務部長が防災の実施要綱は作成していないという答弁がありました。この件に関して、

本市の要綱に対してしっかりこれ作成をして、万が一に備えて訓練というのは実施するべきだと思うんですけど、その件に関してお伺いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

石垣市のような市民防災訓練ができないかという質問かというふうに理解しております。まず、本市では市民向け防災訓練への今後の取組としまして、現在実施しております各種訓練とのバランスや市民が参加しやすいように訓練の内容、時期なども含め、他自治体の事例も参考にしながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

◎粟国恒広君

総務部長、我々の宮古島市にはやはり島外からもいろんな観光客が訪れています。そういった意味で訓練というのは大事なんです。何も市民だけではなくて、島外から訪れている観光客も含めて、万が一の避難訓練というのは、石垣市は本当にもう米軍もという感じで医療部隊も全部、医療体制までもしっかりやっているんです。そういったものをしっかり本市でも取り組んでほしいなと思っています。時間がないので、農業委員会に関しては後で、また事務局のほうで質問したいと思いますので、よろしくお願いします。

最後に、私見を述べたいと思います。宮古島市市長選挙がいよいよ来月に迫ってきました。12月定例会は、現在の座喜味市政の総括議会だと私は感じております。振り返りますと４年間、市長が掲げた公約達成、新規事業への取組などどうだったでしょう。コロナ禍から始まり、ＰＣＲ検査のコロナ陽性証明、し尿等処理施設の問題、農業委員会の選定問題、そして農業部門においては竹アラ地区の圃場整備の問題等々、枚挙にいとまがないと言わざるを得ません。この４年間で第１次産業、第２次産業、第３次産業、座喜味市政における新たな成果が見えず、新規事業の立ち上げなどの少なさを見ても、問題ばかりが浮き彫りになったこの４年間だったと私は感じております。特に大きな問題として捉えているのが副市長の２人の交代です。伊川秀樹氏、嘉数登氏、４年足らずの間に２人の副市長が替わったということはどのように捉えているのでしょうか。２人とも外部から招聘してきた人材です。各部局長との連帯がなければスムーズな行政運営ができなかったことは明らかです。結局招聘した本人、市長が部局長と副市長との関係についてしっかり目配りをしておけば、辞職、交代となることはなかったと考えられます。

４年前、市長選挙のとき、市長は保革を超えた支持母体がありました。それも今解体したようです。副市長をはじめ、市長の周りにいた人がどんどん離れていく。そのことによって行政運営が滞り、市民生活の影響は計り知れないものだと私は感じております。今回12月定例会を最後に、座喜味一幸市長とこの議場で論戦は最後になるかもしれません。あるかもしれません。今年も残り僅かになりましたが、来る令和７年が市民の皆さんにとって活力あふれる、希望に満ちた１年になりますよう祈念申し上げ、粟国恒広の一般質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで粟国恒広君の質問は終了しました。

◎山里雅彦君

私も質問の前に私見を述べようと思っていたら、粟国恒広議員とかぶっておりますので、ご理解いただきたいと思います。昨日の宮古新報なんですが、来年１月の市長選についての記事が載っている。紹介したいと思います。来年１月19日投開票の宮古島市長選挙で保守系統の一本化を目指していた下地康教、新

里匠両県議が那覇市内で会見し、先月から調整を進めていたが、不調に終わり、一本化を断念した。自主投票するということでありました。同席した沖縄４区の西銘恒三郎衆議院議員、代議士が両県議を通して一本化を何とかならないかと模索したが、結果として候補者それぞれが宮古島市を思う高い志で懸命に走っている姿を見て、保守中道で一本化ができなかったと説明。厳しいけれども、どこかが飛び抜けてほしい。そして、下地康教県議です。現職の座喜味一幸市長は、保革一緒になって選挙を戦い、先ほど粟国恒広議員からもありましたが、当選したが、この４年間を見ると非常に中途半端な政治スタンス。今は保革のワンチームが崩れ、革新色が強まっている。これからの選挙戦は、革新と保守にはっきりと分かれてくる。るるありますが、さて新里匠県議。座喜味市政でどういった成果を得られたかについて、３月まで市議をやってきて、成果がないと思っている。市民は、それをしっかりと見て判断する。るるありますが、成果が出る保守政治をやると訴えて、市民に伝えていきたいということでありました。そういう意味では今回の選挙、非常に宮古島市の将来において大事な選挙になること間違いありません。しっかりと市民に判断していただきたいというふうに思っております。

一般質問を行います。順番を変えて、２番、農業振興についてからいきたいと思います。圃場整備事業、西原第４地区整備事業について､まず基盤整備工事がスタートした令和４年度と令和５年度の整備事業費、それと整備面積についてお伺いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

県営西原第４圃場整備事業の令和４年度の整備面積からお答えいたします。

整備面積が13.5ヘクタール、事業費が６億4,713万円、うち工事費が５億6,682万円、委託費が約8,000万円となっております。工事費のうち４億7,836万円が令和５年度へ繰り越しております。

続きまして、令和５年度です。整備面積が3.1ヘクタール、事業費が１億7,174万円で、うち工事費が１億3,146万円、委託費が約4,000万円となっております。工事費のうち7,942万円を令和６年度へ繰り越しております。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時34分）

再開します。

（再開＝午後２時35分）

◎山里雅彦君

令和５年度、令和４年度と比較すると、令和６年度は1.2ヘクタールですか、しかありません。もう大幅な事業の削減なんです。考えられないような状況が今続いておる。その理由として、本市に対する県の農業関係予算が５年前は約50億円、そして本年、令和６年度は19億円。市長の就任前には約50億円ありました。今現在、本年度19億円。これは、本市に対する、県営事業の圃場整備を含む農業関係予算の本市の状況なんです、市長。今の県営事業の本市に対する県の農業関係予算、予算減額の状況について聞かせてもらえませんか。よろしくお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

事業費の減について県に確認いたしましたところ、令和４年度で発注した工事が事故繰越工事となった

ことと、令和５年度発注工事も１件繰越工事となったということでございます。令和６年度の発注工事も合わせると４件の工事が同時に進んでいたことから、令和６年度の工事発注を１件のみとしたということでございます。令和７年度は工事１件に加え、令和６年度繰越予算を活用し、工事を１件発注する予定になっているということでございます。

◎山里雅彦君

農林水産部長、私も推進員の一人ですから、結構集まるんです。県の推進員に対する説明、これ全く違うんです。この辺はこれからやっていきたいと思いますが、要するに今まで十一、二町歩平均やっていた、年度ごとに。今年は一、二町歩なんです。この状況は、今定例会も多くの議員の皆さん方が下地地域の竹アラ地区の話をしておりましたが、竹アラ地区の農家の皆さんは三、四年収入がないということで、訴訟云々の話もありました。西原第４地区もそれ以上になる可能性があるんです。基盤整備工事は、令和８年から令和９年で終わる予定でした。しかしながら、この間の説明では令和15年度ぐらい、畑かんすると令和17、18年度になるんです。そしたら、もう10年ぐらい延びる形になるんです。農家の皆さんが今年やるんだと思って、去年、一昨年、もう通知が来たので、サトウキビは植えないで待ってください、株も駄目ですよって言いながら通知をいただいて、そのまま放置している畑がたくさんあるんです。この状況があるんです。そして、不便なところだから、２年後にやるということで、２年だったら待ちましょうかということで、もう放置してある状況の畑が結構あるんです。そういう状況は、竹アラ地区とはニュアンス違いますが、農業関係の本当に予算というのは大事なことだと思っております。下地信男議員でしたか、本市の事業でこういった途中で予算が切れるということはないですかって、本市にはそういう事例ありませんという話をしております。そういうことなんです。県の１年１年の予算獲得状況、これ注視していかなきゃいけないんです、市長。

国の概算要求が各省庁でありましたが､新年度で国の農水関係の事業費概算要求､工事費が前年度18.1%伸びているんです。その中での県が本市に対する農業関係予算、減額しているんです。これ市長が県議時代にいつも言っていた。県がしっかりとこの予算確保に対応していないから、取組が足りない状況があるからだと私は思っております。市長の県議時代、市長になる前です。令和元年度の県の定例会動画を昨日見ました。玉城デニー知事の政治姿勢について、市長は令和２年度、県の概算要求3,500億円が3,190億円に査定された。市町村の要望が反映されていない。知事に厳しくこの見解を求めていました。その中で、市長は知事に対し、予算に関して心配している。基地問題では声高らかに叫ぶが、東京、国会議場に入ると発言の場がない。交渉力、政治力がない。県政と政府の信頼関係がない。膝詰めで交渉する体制にない。経済界も心配している。影響が出ている。離島振興は何なんだ。予算について無頓着である。これもっとあるんですが、これだけ入れました。力強くただしておりました。その頃の県議時代の市長には、私も離島振興頑張れとエールを送っていた時期もありました。新年度予算、沖縄振興予算、内閣府は概算要求額が2,820億円であります。財務省との今月ですか、折衝を経て、もう発表しましたか、総務部長。まだですよね。時間がありますので、市長、最後に少し確認させてください。市長が支援する県政の沖縄振興予算４年連続3,000億円を下回り、新年度概算要求額が2,820億円であります。５年前とはもうかなり、300億円ぐらいですか。この予算に対する知事の対応といいますか、振興予算に対するそういう対応は、市長、どう考えているのか少し聞かせてもらえませんか。

◎市長（座喜味一幸君）

沖縄振興予算、一括交付金も含めて、沖縄県の経済は、観光を含めて大きなチャンスを迎えているというふうに思っております。復帰以来の社会インフラの整備というのは急速に進んできたというふうに思っておりますが、やはり一括交付金、ソフト交付金、公共投資交付金含めると、やはり市町村のソフト交付金と公共投資交付金の大幅な減額というのは大変な影響があるということは、もう事実であります。そういう意味では党利党略を超えて、経済界含めた一体的な予算の確保、それは大変重要というふうに思っております。

宮古島の農業基盤整備事業におきましては、沖縄県全体予算の農業基盤整備等に係る予算というのは安定して３割５分程度いただいていたと思いますし、他地域の予算の不用等に関しても宮古島で受け入れていたというようなことで、大変事業量、事業費を確保してきたというふうに思っております。今新規事業を含めて、県営事業の芽出しが非常に落ちているということにおいては、やはりいろんな条件があるにせよ、地元としっかりと膝詰めで事業を起こしていくという体制が少し弱くなったなと。その件に関しては、我々市の基盤整備に関しては落ち込みはそんなにないんだけれども、県営事業のほう落ち込んでいるという部分において、市、県連携しながらの新規事業の芽出しというものは喫緊の課題ではないのかなという思いも持っております。

◎山里雅彦君

市長、一度事業がこのスパンで、事業計画も含めて何度も何度も農家にも説明して、このスパンでやりますよと、この年はここですよというのをやっているんです。それを途中でこうやって予算がないから、10分の１しか工事ができないというのは、本当にこれあっていいのかなというふうな思いをしております。これは、県も我々も市も予算確保対応が足りないのかなというふうに思っておりますので、これについては市長は６月定例会でしたか、しっかりチェックして対応していきたい旨の答弁がありましたので、であればしっかり対応していただきたいというふうに思っております。

次に移ります。道路行政について。富名腰８号線についてでありますが、この富名腰８号線は庁舎近く、シーサー給油所とドラッグストアモリの間の裏の通りです。県道に抜けるこの通りであります。庁舎周辺整備計画事業でまず事業整備できないかお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

山里雅彦議員ご質問の路線は富名腰８号線です。本路線は道幅が狭く、交通に支障があることは認識しておりますが、道路事業での本路線の整備計画は現在のところありません。本市が管理する路線延長は、ほかの市町村と比べて非常に長く、多くの整備要請があります。令和６年度現在、道路整備を実施している路線が８路線、今後計画している路線が６路線となっており、１路線の事業期間は平均して５年から７年を要する状況でございます。富名腰８号線の整備につきましては、計画路線などの進捗状況を踏まえ、検討していきたいと考えております。

◎山里雅彦君

建設部長が答弁しておりますが、この路線は庁舎移転によりかなりの車の通行量増えております。どちらかが止まらないと車が交差できない状況なんです。今日も通ってきました。そのとおりでした。多くの整備路線があるということでありますが、緊急性を加味しないといけないんです、建設部長、まちづくり

の面では。建設部長が言うまちづくり計画の道路、多くの整備箇所があるという、要請があるということでありますが、宮古島市の総合計画の中で皆さんは都市計画マスタープランつくりますよね。各分野で基本的な方向性、方針を示していくことが都市計画マスタープランだと思いますが、各地域のまちづくりの方針を示しながらも、道路の整備とかライフライン等についてはこういった状況の変化に応じて対応を見直していくことが行政のスピーディーな役割だと私は思っております。新庁舎に移ったことにより、急激に増えているんです。その面で富名腰８号線について、庁舎周辺まちづくり計画等の中で対応どうなのか、もう一度お願いします。

◎建設部長（川平陽一君）

山里雅彦議員がご指摘のように、私もこの路線はよく通りますので、交通量が多いのは認識しております。現在国有地の利活用について検討しておりますが、この中では道路整備については国有地の検討委員会の中では含まれていませんので、これ道路事業で取り組むことが可能でありますので、今後富名腰８号線の整備につきましては計画路線などの進捗状況を踏まえ、検討していきたいと考えております。

◎山里雅彦君

建設部長、現時点ではそうかもしれませんが、今日も通りましたが、アパートとか建物が道路が狭い中で建っております。警察署の後ろのほうも、私も近くに十何年ぐらい住んでいましたから、分かりますが、だんだんと民家が建って、何十軒もあります。その市民の皆さんが毎日利用している道路が車が交差できないような今状況であります。ぜひ、国有地もあります。道路整備はしっかりと計画を立ててやっていただきたいというふうに思っております。これは、これからの将来のこの地域のまちづくりについても富名腰８号線は整備していただきたいというふうに思っております。この件では次回以降もやっていきたいと思いますので、対応のほうよろしくお願いいたします。

戻りまして、市政運営について。多くの議員も取り上げておりますが、私も平良庁舎利活用について。今定例会に平良庁舎の利活用に対し、事業権を民間事業者へ移行する公共施設等運営権の設定について議決議案として上程されていますが、その前に我々議会や市民に対して事業内容、運営計画等説明すべきだと私は思っておりますが、当局の見解を聞かせてください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

平良庁舎利活用事業の事業計画等の公表につきましては、令和５年11月の事業者選定後に市ホームページにて事業内容や各フロアにおける事業計画等を記載した企画提案の概要を公表しておりますので、その内容につきましてはマスコミ各社からも報道されているところでございます。山里雅彦議員の今定例会での関係議案の上程前に議会や市民に対し説明すべきではないかというご指摘についてですが、選定事業者が提出しております事業計画書やアイデア等はその事業者の知的財産でありますので、議会前に公にすることは控えることとしたところでございます。まずは議員の皆様への説明を優先とし、議案説明時に事業計画の概要について説明を行い、その後関係資料の提出をさせていただいたところでございます。

◎山里雅彦君

この件については、全員協議会の中でも下地信男議員がこの紙切れ１枚、本当にこれでいいのかということで、しっかり議会に資料提出してということで後に提出したということであります。私は、どこに行ったか、見ておりませんが、総務部長、今回の議決議案は公共施設の運営権の設定に対する議決議案です

よね。庁舎の利活用事業、この中身、内容についてはないんです。これまで旧庁舎利活用については、宮古島市の一丁目一番地ということで、中心市街地の核として、これまで行政といいますか、やってきた地域であります。事業、中身、ＰＦＩ事業はそういうシステムかもしれませんが、やはりこの事業に関してみんなというか、これまでも市長は就任した当初から、これはもうしっかりやらなきゃいけないということで、もう４年たちましたが、まだ今からという感じであります。事業というのはそんなに、１、２の３ではできないのは理解しておりますが、やはりこういう大事なといいますか、事業はしっかりと議決議案として中身についても議論すべきだと思いますが、さっき話した点も分かりますが、その辺は少しどうなのか、簡単に説明お願いします。

◎総務部長（與那覇勝重君）

山里雅彦議員ご指摘がございました。今後はそういうことを言われないように、しっかり準備して、説明をしていきたいと思います。また、今定例会で審議していただいた議決議案につきましては、選定事業者のほうから実施計画書の中で、改修工事が始まる前に近隣住民や近隣施設に対して周知を行うことというふうに定めてございますので、適切な時期に周知が図られるということになろうかというふうに考えております。

◎山里雅彦君

そういうシステムだということでありますので。

次に②です。民間事業者に運営権が任されることになりますが、市として事業者の運営、業務状況等しっかりと把握して、事業体制等チェックした上で、必要に応じて事業者に指導すべきだと思いますが、まず見解を聞かせてください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

平良庁舎利活用事業では、改修工事完了後に市が選定事業者に平良庁舎の運営権を設定しますと、選定事業者は運営権者となり、施設の運営を行っていくことになります。市では実施契約書の中で、事業年度開始前には年度運営・維持管理業務計画書及び年度収支計画書の提出、また年度終了後には運営、維持管理業務の履行状況について、財務書類等含めた業務報告を市に提出するよう義務づけているところでございます。市は、その業務報告書により、業務の実施状況、施設の管理状況、収支状況等を毎年度確認し、運営権者が適切かつ確実に履行しているかモニタリングをしていくことになります。また、資金融資をしております金融機関も同様にモニタリングをしていくというふうに思いますので、市と金融機関で事業管理等を注視していきたいというふうに考えております。

◎山里雅彦君

この件については、全員協議会での質疑の中で上里樹議員も公共施設は住民の利益が重要であり、その時々の状況把握を想定し、対応すべきであると。私も同感であります。例を挙げると、できなかった部分が下地川満のコーラル・ベジタブル株式会社、アロエと特産品加工施設です。上野野原にあるトロピカルフルーツパーク、蝶々園があった施設と、そして今定例会に出ております伊良部佐和田のてぃだの郷700万円余の未収金等があります。この各施設が施設設置当初の目的に達しておりません。それがなぜかというと、私が思うには行政のチェック機能が機能していない。行政の体制等も組織がていをなしていないからと私は思っております。

そこで、もう一度平良庁舎利活用事業について、民間事業者の健全経営のためにもぜひ業務状況、業務体制等、チェック、指導を行って、市として今後のリスク管理私はするべきだと思いますが、この点当局の考えを少し聞かせてください。

◎総務部長（與那覇勝重君）

事業者が経営悪化、経営不振になった場合という想定というのも、先ほどの答弁と重なりますが、まず平良庁舎の利活用事業では事業年度ごとに運営、維持管理業務の履行状況について財務書類等を含め、業務報告書の提出を義務づけているところでございます。市は、その業務報告書により業務の実施状況、施設の管理状況、収支状況等を確認し、運営権者が適切かつ確実に履行しているか、しっかりとモニタリングをしていきたいというふうに考えております。

◎山里雅彦君

事業というのはいつ、また年ごとにどうなるか分かりませんので、やはりリスク管理はしっかりやっていただきたいというふうに思っております。

次に移ります。次に、国民保護計画について。①、政府が有事に備え、全国各地の空港や港を特定利用空港、港湾に指定し、整備拡充を進める中で、６月末に、平良和彦議員からもありましたが、内閣官房など政府職員の方々が本市を訪れ、県管理の宮古空港、下地島空港、そして市の管理する平良港の特定利用空港、港湾の指定に向け検討していると説明があったとしていますが、そこでその点について当局の見解を聞かせてください。

◎建設部長（川平陽一君）

今年６月26日に内閣官房など政府関係者が本市を訪れ、特定利用空港、港湾について説明と意見交換を行いました。内容としましては、空港、港湾に関する公共インフラ整備の取組の基本的な考え方について説明がありました。また、宮古空港や下地島空港の利用のニーズや住民避難に係る下地島空港の利活用についても意見が交わされております。市としましては、指定を受けるに当たって、平良港にどのような影響があるかしっかりと見極める必要があることから、今後も意見交換を継続しながら情報収集に努めていきたいと考えております。

◎山里雅彦君

建設部長、これはそれを踏まえて私は質問しているんです。今のままだと議論のための議論にしかならないです。結論出すために議論しないといけないです。この件について、市長は３年前の今の時期か、年末だと思いますが、マスコミに対して有事の際、島民保護に懸念を国に持っている。宮古島市には有事の際の国民保護計画はあるものの、具体的な内容ではない。国民保護法に基づく国と地方自治体が協力する避難要領の策定と国民保護共同訓練の実施が必要だと話しております。

そこで、少し市長に確認しますが、市民の安心、安全のためには有事を含め、自然災害等、あらゆる場面、状況等を考えて想定して、国に対して国民保護計画の中で輸送手段等何が必要で、何を検討し、どういったものを要請すべきかと。いろんなものを要請すべきだと私は思っておりますが、その点少し市長の考えも聞かせて、確認させてもらえますか。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時04分）

再開します。

（再開＝午後３時05分）

◎建設部長（川平陽一君）

平良港に関して答弁します。

平良港は、人流、物流を支える重要な港である民間港なので、自衛隊、海上保安庁の訓練等において民間港としての機能を阻害されることにならないかと考えていることから、指定するに当たってはどのような影響が生じるのかしっかりと見極める必要があると考えております。今後も意見交換を継続しながら、民間港としての経済活動に影響が出ないよう、情報収集に取り組んでいきたいと考えております。

◎総務部長（與那覇勝重君）

まず、令和８年度に実施されます沖縄県国民保護共同訓練に向けまして、今、国、県、先島市町村、関係機関によりまして避難実施要領や要配慮者避難の具体化について様々な意見交換会を重ねているところでございます。また、先日石垣空港で実施された住民避難訓練もございます。本市としましても、時期であるとか規模含めて今国、県と調整しているところでございますので、しっかりと今後も対応をしていきたいというふうに考えております。

◎山里雅彦君

総務部長、令和８年度で間違いないですか。令和７年度ではないですか。大丈夫。その件についても、そういった面においても、県議時代市長は、先ほど言った令和元年９月定例会の中で、宮古島、八重山住民の安心を担保する上で、県は国民保護法に基づく訓練などの備えが必要ではないか、知事に質問しています。ぜひ市長、市民の安心、安全のためには今回の国民保護法に基づく空港、港湾の指定整備に向けて、積極的に働きかけていただきたい。その上でこの訓練もできるんです。何もしないで訓練やりましょう、できていないからやりません。これではいけないんです。これ議論のための議論しか、先ほども言いましたが、なりません。結論出すための議論をしましょう。答弁しますか。いいですか。ぜひ国、県に特定利用空港、港湾指定に向けて、市長の考えを少しこの辺、港湾指定に向けて、よろしくお願いします。

◎市長（座喜味一幸君）

空港、港湾特定利用の指定については、極めて私ども単純な意見交換、質疑をしておりますけど、特に港湾の話に絞って言いますと、この特定港湾に指定することによって、どういう避難訓練、あるいは利用がなされるものなのか、今までの港湾条例等々でできている現状の防災訓練等々に加えて、特定港湾に指定することによって、どういう訓練が追加されてくるのかというような、少なくとも経済港湾としての機能をそがないようなことで、何がどう変わっていくかというようなこと等の意見交換をして、このことをやはり市民に対しても説明しなければ、行政の責務だと思っておりますんで、その辺の意見交換をしております。もちろん国民保護による島外避難等々の国の方向性がどんどんと動いておりますが、私どもも一応国民保護計画に基づく避難訓練等々については、国、県との連携の下でやるのは当然であるというふうには思っておりますが、特定港湾に指定することによって、ある一部の人では港湾のインフラが早急に整備できるのではないか等々の指摘もありますが、宮古島においては今の港湾計画は、現状まだ大きな予算を必要とするプロジェクトは今のところありませんで、年々当初の計画に基づく予算の執行、予算額の確

保というのが現状となっております。

◎山里雅彦君

この質問すると、平良和彦議員とかぶるのかなと思ったらほぼかぶりました。市長、多分そのとおりだというふうに思っております。メリットはあっても、デメリットがないというのが空港、港湾整備だと私は思っております。総務部長も答弁しておりましたが、災害時の物資の搬入も含めて、インフラ整備されれば経済振興につながるということで、ぜひ空港、港湾、この特定利用指定に向けては積極的に働きかけていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に移ります。ふるさと納税についてであります。企業版ふるさと納税の目標と達成率についてまず聞かせてください。よろしくお願いします。

◎企画政策部長（久貝順一君）

山里雅彦議員の企業版ふるさと納税の目標と達成率についてということです。まず、企業版ふるさと納税の受入れについては、目標金額等は特に設定はしておりません。受入れを開始した令和４年度からの実績で報告をしたいと思います。令和４年度の実績としましては、令和４年度が２件で1,990万円、令和５年度は３件で4,500万円、令和６年度は６件で9,800万円となっておりまして、合計で11件、１億6,290万円となっております。

◎山里雅彦君

次に、この企業版ふるさと納税の過去３か年、この利活用状況、どういうことにどういうふうに使ったか、主な事業あれば少し聞かせてください。

◎企画政策部長（久貝順一君）

これまで寄附のあった主な事業につきまして、年度ごとに申し上げたいと思います。

令和４年度では、伊良部地区におけるデマンド交通の導入可能性を検証する新たな公共交通検討事業に990万円を使っております。令和５年度では、防犯のために市街地を中心として防犯灯の設置等を行う防犯対策費に994万円、令和６年度、今年度でありますけども、夏まつりにおける花火の打ち上げ等に補助を行った宮古島夏まつり助成事業に675万円などとなっております。

◎山里雅彦君

企業版ふるさと納税は、個人版と違って返礼品等はないんです。では、なぜ納税するかというと、少し調べてみました。企業が寄附を行うことで税の９割軽減もそうですが、企業としてのＰＲ効果といいますか、それも含め、また各公共施設といいますか、自治体とのつながりも含め、そして企業が提案するような地域資源などを生かした事業展開、企業にメリットがあると思うんです。その中で本市においても、自治体においても、地方創生事業として様々な取組ができると私は考えております。企業版ふるさと納税を生かした取組等、本市において事業計画等があればその辺聞かせてください。よろしくお願いします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後３時15分）

再開します。

（再開＝午後３時15分）

◎企画政策部長（久貝順一君）

事業計画につきましては、令和４年３月に企業版ふるさと納税につきましては、市町村が作成した地域再生計画というものに基づいて、国が認定したものの中で受入れが可能となる制度となっております。この地域再生計画の中に様々なメニューを入れておりまして、これが令和４年３月末から令和６年度末までの３年間の期間で地域再生計画の認定を受けております。

◎山里雅彦君

企画政策部長、ほかの自治体もう既に始めているんです。皆さん国が認定する地方再生、いろんな取組について話しておりますが、私も調べました。企業が寄附を行うことで、奨学金ありますよね。これを支援して、我々地方の人口減少対策、少子化対策、これに貢献している事業もあるんです。それ以外にも災害等への復興対応、交通インフラ整備等、企業がしっかりとアイデアやいろんなものを出すことによって事業をしているところもあるんです。私さっき言ったように、地域特産を生かしたプロジェクトの立ち上げ、ほかの地域では始まっているんです。調べてみてください、すぐ出てきますから。企業版ふるさと納税は今年で切れます。四、五年延長になると思いますが、我々はせっかくの、これまでも道路の清掃が観光地としてはふさわしくないとか、いろんな細かいところたくさんあります。そういうのも含めて企業版ふるさと納税、個人版も含めて得ることによって、様々な多角的な事業ができます。固定したものに対してではなくて、もう少し範囲を広げて、砂川和也議員みたいにフットワークを軽くやったほうがいいのかなというふうに思っておりますので、ぜひ本市における地方創生といいますか、事業にもしっかり生かしていただきたいというふうに思っております。

次に移ります。次の②は割愛します。

次に、宮古島市市制施行20周年記念事業についてでありますが、本市の市制施行20周年を記念して、宮古サッカー協会50周年記念やびじ交流サッカー宮古島大会が行われますが、その事業内容等聞かせてください。よろしくお願いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

宮古島市市制施行20周年記念事業について、教育委員会、生涯学習部ではスポーツ協会や文化協会などの社会教育団体に対して事業提案を募ったところ、スポーツ協会よりやびじ交流サッカー宮古島大会が提案され、これを採用しております。やびじ交流サッカー宮古島大会は、平成９年から宮古サッカー協会が実施しているものですが、今回は市制20周年記念大会と位置づけ、対象者をこれまで小学生以下であったものを高校生以下まで拡大して実施する予定です。島内外43チームの参加が見込まれております。大会は宮古島市スポーツ協会が主催、宮古サッカー協会創立50周年記念実行委員会と宮古サッカー協会が主管となって行われるもので、来年３月29日、30日に陸上競技場などで開催される予定となっております。

◎山里雅彦君

生涯学習部長、陸上競技場などでという話をした。20周年記念事業ということで、サッカー協会50周年。その実施場所は、陸上競技場だけではないですよね。ほかにあれば聞かせてください。よろしくお願いします。

◎生涯学習部長（天久珠江君）

宮古島市陸上競技場、前福多目的運動場、伊良部カントリーパークを予定しております。

◎山里雅彦君

競技場、前福多目的運動場、そして仲間誉人議員も取り上げておりましたが、伊良部カントリーパークの中のサッカーができるスペース、非常に厳しい状況にあるということを聞いております。せっかくこういうふうに来年やりますので、間に合わないかもしれませんが、しっかりとサッカーができるスポーツ環境を整えること、私は大事だと思うんです。その点どうですか。

◎観光商工スポーツ部長（砂川　朗君）

スポーツ施設の管理の観点からでございますが、サッカー大会に合わせて、大会運営に向けては主催者、また関係機関と意見を交換しながら、大会運営に支障がないように、整備に向けては取り組んでいくところでございます。また、引き続きキャンプ受入れとか、そういった大会の開催に向けての整備についてもしっかりやってまいります。

◎山里雅彦君

サッカー場建設については、下地地域で県の予定している県営公園の中でも私も取り上げたことがあります。２面ほどやるという話をしておりましたが、いつになるか分かりません。山下誠議員からもクロスカントリーができるような、この周辺をやってくれということで、私も宮古島スポーツ協会関係者から聞いたことありまして、質問したことがあります。周辺をそういうクロスカントリーができるような状況をぜひやりたいという話も質問の中で受けました。市長、やはりしっかりと、せっかくサッカーができる、サッカーは子供から幅広い、シニアまであると、人口もあるということありますので、ぜひ市長、石垣はもう運動公園ありますから、Ｊリーグもキャンプしたり、サッカーしています。宮古島市にもぜひそういった環境整備、最低でも今言った部分のところは、競技場と伊良部カントリーパーク、そして前福多目的運動場、この３か所だけはしっかりとサッカーができる環境を、子供たち結構やっています、前福多目的運動場なんか。ただ、見るとやはり芝があまりよくない。環境がよくないということありますので、ぜひサッカー場整備に向けて、宮古島市のスポーツキャンプ地宮古島も含めて、市長、少し聞かせてください。

◎市長（座喜味一幸君）

合併20周年記念事業で、せっかくメニューが上がってくるわけでございます。大会成功に向けてはいろんな条件整備も要ると思っておりますので、今言ったサッカー場の整備をどうして、どのレベルまで持っていくのか、クロスカントリー場との併設はできないか等々含めて、この記念事業完了後も、終了後もそれらの施設がスポーツアイランドとしてふさわしい施設として持続、利用されていくというのが大変重要かなと思いますんで、その辺も含めてしっかりと対応していきたいと思います。

◎山里雅彦君

市長、ぜひサッカーできる環境をしっかり取り組んでいただきたいというふうに思っております。これも今後も引き続きやっていきたいというふうに思っております。

次に、最後にその他の市制施行20周年記念事業、イベント等があればどうなのか聞かせてください。

◎企画政策部長（久貝順一君）

市制施行20周年記念事業の実施につきまして、市の魅力を発現し、また郷土への愛着をより深めることのできる取組、また市民が関われるもの、また何らかの形で市民に還元されるもの等を基本方針としまして、令和７年１月から12月にかけて様々な事業を予定しております。事業の全体の詳細につきましては次

年度の当初予算案がまとまり次第お伝えすることとなりますが、現在のところ48の事業案が検討されているところです。事業の主な実施は令和７年度になるんですけども、それに先立ちまして市制施行20周年を広く発信すること等を目的としまして、中学生、高校生を対象にした20周年記念のロゴマークのデザイン公募を今月10日からスタートしております。また、各事業においても市民の皆様と共にお祝いをし、盛り上げていくことを念頭に置きながら、市制20周年記念の機運を市全体で高めていきたいと考えております。

◎山里雅彦君

いずれにしてもやびじ交流サッカー宮古島大会、市制施行20周年事業の最初の取組であります。しっかりこの対応していただきたいというふうに思っております。

これで質問を終わりますが、各部局の担当職員の皆さんにおいては、今年１年間市民のサービス、様々な面での市民のニーズに対応すべく建設的な議論をいただき、ご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。もう残すところ今年もあと僅かとなりました。２週間ちょっとです。市民の皆様におかれましては、来る新しい年が幸多い年になりますように祈念し、質問を終わります。ありがとうございました。

◎議長（平良敏夫君）

これで山里雅彦君の質問は終了しました。

これをもちまして一般質問を終わります。

これで本日の日程は全部終了しました。

よって、本日の会議はこれにて散会します。

（散会＝午後３時29分）

令 和 ６ 年

第８回宮古島市議会(定例会)会議録

12月17日（火）　　最終日

（委員長報告、質疑、討論、表決）

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）議事日程第８号

令和６年１２月１７日（火）午前１０時開議

日程第 １	議案第 ８１ 号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について（委員長報告）
〃 第 ２	〃 第 ８２ 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について（ 〃 ）
〃 第 ３	〃 第 ８３ 号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ４	〃 第 ８４ 号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ５	〃 第 ８５ 号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ６	〃 第 ８６ 号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ７	〃 第 ８７ 号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ８	〃 第 ８８ 号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について（ 〃 ）
〃 第 ９	〃 第 ７４ 号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）（ 〃 ）
〃 第１０	〃 第 ７５ 号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）（ 〃 ）
〃 第１１	〃 第 ７６ 号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）（ 〃 ）
〃 第１２	〃 第 ７７ 号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）（ 〃 ）
〃 第１３	〃 第 ７８ 号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）（ 〃 ）
〃 第１４	〃 第 ７９ 号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）（ 〃 ）
〃 第１５	〃 第 ８０ 号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）（ 〃 ）
〃 第１６	〃 第 ８９ 号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について（ 〃 ）
〃 第１７	〃 第 ９０ 号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について（ 〃 ）
〃 第１８	〃 第 ９１ 号	公共施設等運営権の設定について（ 〃 ）
〃 第１９	〃 第 ９２ 号	字の区域の変更について（ 〃 ）
〃 第２０	〃 第 ９３ 号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について

（委員長報告）

日程第２１	議案第　９４　号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２２	〃　第　９５　号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２３	〃　第　９６　号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２４	〃　第　９７　号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２５	〃　第　９８　号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２６	〃　第　９９　号	保良泉プール指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２７	〃　第１００号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２８	〃　第１０１号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２９	〃　第１０２号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３０	〃　第１０３号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３１	〃　第１０４号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３２	〃　第１０５号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３３	〃　第１０６号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３４	陳情書第　７　号	下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情	（　〃　）
〃　第３５	〃　第　８　号	次世代型コロナワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知等を求める陳情書	（　〃　）
〃　第３６	〃　第　９　号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情	（　〃　）
〃　第３７	〃　第　１０　号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情	（　〃　）
〃　第３８	〃　第　１１　号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情	（　〃　）
〃　第３９	〃　第　１２　号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	（　〃　）
〃　第４０	請願書第　３　号	「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書	（　〃　）
〃　第４１	同意案第　２３　号	農業委員会委員の罷免について	（市長提出）
〃　第４２	〃　第　２４　号	農業委員会委員の任命について	（　〃　）
〃　第４３	発議第　１　号	宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	（議会運営委員会提出）
〃　第４４	意見書案第　１０　号	沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書	（　〃　）

日程第４５　意見書案第　１１　号　加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書
（文教社会委員会提出）
〃　第４６　〃　第　１２　号　物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書
（　〃　）
〃　第４７　〃　第　１３　号　若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書
（　〃　）
〃　第４８　〃　第　１４　号　宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書
（議員提出）
〃　第４９　決議案第　５　号　宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議　（　〃　）
〃　第５０　派遣第　４　号　議員の派遣について

◎会議に付した事件
日程第　１　議案第　８１　号　宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について　（委員長報告）
〃　第　２　〃　第　８２　号　刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について　（　〃　）
〃　第　３　〃　第　８３　号　宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　４　〃　第　８４　号　宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　５　〃　第　８５　号　宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　６　〃　第　８６　号　宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　７　〃　第　８７　号　宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　８　〃　第　８８　号　宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について　（　〃　）
〃　第　９　〃　第　７４　号　令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）　（　〃　）
〃　第１０　〃　第　７５　号　令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）　（　〃　）
〃　第１１　〃　第　７６　号　令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）　（　〃　）
〃　第１２　〃　第　７７　号　令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）　（　〃　）
〃　第１３　〃　第　７８　号　令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）

（委員長報告）

日程第１４	議案第　７９　号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）	（　〃　）
〃　第１５	〃　第　８０　号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）	（　〃　）
〃　第１６	〃　第　８９　号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について	（　〃　）
〃　第１７	〃　第　９０　号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について	（　〃　）
〃　第１８	〃　第　９１　号	公共施設等運営権の設定について	（　〃　）
〃　第１９	〃　第　９２　号	字の区域の変更について	（　〃　）
〃　第２０	〃　第　９３　号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２１	〃　第　９４　号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２２	〃　第　９５　号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２３	〃　第　９６　号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２４	〃　第　９７　号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２５	〃　第　９８　号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２６	〃　第　９９　号	保良泉プール指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２７	〃　第１００号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２８	〃　第１０１号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第２９	〃　第１０２号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３０	〃　第１０３号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３１	〃　第１０４号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	（　〃　）
〃　第３２	〃　第１０５号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３３	〃　第１０６号	議決内容の一部変更について	（　〃　）
〃　第３４	陳情書第　７　号	下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情	（　〃　）
〃　第３５	〃　第　８　号	次世代型コロナワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知等を求める陳情書	（　〃　）
〃　第３６	〃　第　９　号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情	（　〃　）
〃　第３７	〃　第　１０　号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情	（　〃　）
〃　第３８	〃　第　１１　号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情	（　〃　）
〃　第３９	〃　第　１２　号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防	

			止するための法整備等を求める意見書提出の陳情　　（委員長報告）
日程第４０	請願書第	３ 号	「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書 （ 〃 ）
〃 第４１	同意案第	２３ 号	農業委員会委員の罷免について　　（市長提出）
〃 第４２	〃 第	２４ 号	農業委員会委員の任命について　　（ 〃 ）
追加日程第１			第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問
〃 第２			公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件についての緊急質問
日程第４３	発議第	１ 号	宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について （議会運営委員会提出）
〃 第４４	意見書案第	１０ 号	沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書　　（ 〃 ）
〃 第４５	〃 第	１１ 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書 （文教社会委員会提出）
〃 第４６	〃 第	１２ 号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書 （ 〃 ）
〃 第４７	〃 第	１３ 号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書 （ 〃 ）
〃 第４８	〃 第	１４ 号	宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書 （議員提出）
〃 第４９	決議案第	５ 号	宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議　　（ 〃 ）
〃 第５０	派遣第	４ 号	議員の派遣について

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

総務財政委員会
委員長　下　地　　茜

委員会審査結果報告書

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第１０９条の規定により報告します。

記

議案番号	件　　名	結　　果
議案第７４号	令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）	原案可決
議案第８１号	宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第８２号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	〃
議案第８３号	宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	〃
議案第８４号	宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について	〃
議案第８５号	宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第８８号	宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
議案第８９号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について	〃
議案第９０号	宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について	〃
議案第９１号	公共施設等運営権の設定について	〃

議案番号	件　　名	結　　果
議案 第９３号	宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について	原案可決
議案 第９４号	宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について	〃
議案 第９９号	保良泉プール指定管理者の指定について	〃
議案 第100号	吉野海岸利便施設指定管理者の指定について	〃
議案 第101号	宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について	〃
議案 第102号	宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について	〃
議案 第103号	伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について	〃
議案 第104号	宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について	〃

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

総務財政委員会
委員長　下　地　　茜

陳情書審査結果報告書

本委員会は、付託された陳情書を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第１４２条の規定により報告します。

記

議案番号	件　　名	結　　果	措　　置
陳情書 第７号	下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情	採択すべきもの	

◎採択の理由

陳情書第７号については、陳情書の趣旨を了とし、全員異議なく採択すべきものと決した。

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

文教社会委員会
委員長　池　城　　健

委 員 会 審 査 結 果 報 告 書

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第１０９条の規定により報告します。

記

議案番号	件　　名	結　　果
議案第７５号	令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第７７号	令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）	〃
議案第８０号	令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）	〃
議案第８６号	宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第８７号	宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
議案第９５号	平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃
議案第９６号	鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃
議案第９７号	久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について	〃
議案第９８号	腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について	〃
議案第105号	議決内容の一部変更について	〃

議案番号	件　　名	結　　果
議案 第106号	議決内容の一部変更について	原案可決

◎議案第８６号

議案第８６号について、「この条例の一部改正はマイナンバーカード導入に伴うもので、沖縄県内での利用率が７％という状況で国が拙速に推し進めた結果、全国で混乱が起きている。紙の保険証を継続すべきとの立場から反対」との反対意見があった。採決の結果、賛成多数で可決された。

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

文教社会委員会
委員長　池　城　　健

陳情書審査結果報告書

本委員会は、付託された陳情書を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第１４２条の規定により報告します。

記

議案番号	件　　名	結　　果	措　　置
陳情書第８号	次世代型コロナワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知等を求める陳情書	不採択とすべきもの	
陳情書第９号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情	採択すべきもの	
陳情書第１０号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情	〃	
陳情書第１１号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情	〃	
陳情書第１２号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	不採択とすべきもの	

◎採択の理由

陳情書第９号、１０号、１１号については、陳情書の趣旨を了とし、全員異議なく採択すべきものと決した。

◎不採択の理由

陳情書第８号については、「健康被害の周知への取組や、相談窓口の設置などを求める内容となっておりふさわしいと思うが、併せて提出されている資料の中身がとても危険な文言で記載されており、医療機関や店舗に被害が出ているとの話も聞いているため反対」との意見があった。採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決した。

陳情書第１２号については、「中国における臓器移植という文言がある。私たち委員が中国のことをとやかく言うことはできない、ましてや日本で実際に被害が出ているわけではない中で、この陳情書に賛成することはできない」との反対意見があった。採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決した。

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

経済工務委員会
委員長　狩　俣　勝　成

委 員 会 審 査 結 果 報 告 書

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第１０９条の規定により報告します。

記

議案番号	件　　名	結　　果
議案 第７６号	令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案 第７８号	令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	〃
議案 第７９号	令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）	〃
議案 第９２号	字の区域の変更について	〃

令和６年１２月１７日

宮古島市議会
議長　平　良　敏　夫　殿

経済工務委員会
委員長　狩　俣　勝　成

閉会中、継続審査の申し出について

本委員会は、下記の事件について、閉会中もなお審査を要するものと決定したので、会議規則第１１０条の規定により申し出ます。

記

１　件　名

議案番号	件　　名
請願書 第　３　号	「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書

２　理　由

請願書第３号については、閉会中も慎重審査を要する。

令和６年第８回宮古島市議会定例会（１２月）会議録

令和６年１２月１７日（火）

（開議＝午前10時00分）

◎出席議員（２２名）　　（閉会＝午後２時56分）

議長	（２３番）	平良敏夫	君	議員	（１１番）	上地堅司	君
副議長	（１８〃）	長崎富夫	〃	〃	（１２〃）	仲間誉人	〃
議員	（１　〃）	久貝美奈子	〃	〃	（１３〃）	平良和彦	〃
〃	（２　〃）	下地茜	〃	〃	（１４〃）	下地信広	〃
〃	（３　〃）	砂川和也	〃	〃	（１５〃）	我如古三雄	〃
〃	（４　〃）	狩俣勝成	〃	〃	（１６〃）	欠員	
〃	（５　〃）	富浜靖雄	〃	〃	（１７〃）	西里芳明	〃
〃	（６　〃）	下地信男	〃	〃	（１９〃）	友利光徳	〃
〃	（７　〃）	欠員		〃	（２０〃）	上里樹	〃
〃	（８　〃）	狩俣政作	〃	〃	（２１〃）	粟国恒広	〃
〃	（９　〃）	山下誠	〃	〃	（２２〃）	上地廣敏	〃
〃	（１０〃）	池城健	〃	〃	（２４〃）	山里雅彦	〃

◎欠席議員（０名）

◎説　明　員

市長	座喜味一幸	君	環境衛生局長	下地睦子	君
企画政策部長	久貝順一	〃	会計管理者	下地美明	〃
総務部長	與那覇勝重	〃	水道部長	下地貴之	〃
福祉部長	守武大	〃	消防長	上地一史	〃
市民生活部長	狩俣博幸	〃	企画調整課長	前原敦	〃
農林水産部長	石川博幸	〃	総務課長	豊見山徹	〃
建設部長	川平陽一	〃	財政課長	国仲英樹	〃
観光商工スポーツ部長	砂川朗	〃	教育長	大城裕子	〃
産業振興局長	下里盛雄	〃	教育部長	砂川勤	〃
こども家庭局長	幸地幹夫	〃	生涯学習部長	天久珠江	〃

◎議会事務局職員出席者

事務局長	友利毅彦	君	次長補佐	与那嶺彰成	君
次長	仲間清人	〃	議事係長	国吉たかよ	〃

◎議長（平良敏夫君）

これより本日の会議を開きます。

（開議＝午前10時00分）

本日の出席議員は22名で、在職する議員全員出席であります。

本日の日程は、議事日程第８号のとおりであります。

この際、日程第１、議案第81号から日程第40、請願書第３号までの計40件を一括議題とし、各所管委員長から審査結果報告を求めます。

◎総務財政委員会委員長（下地　茜君）

委員会審査結果報告書。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。総務財政委員会委員長、下地茜。

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案第74号、令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）、原案可決。

議案第81号、宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定について、原案可決。

議案第82号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について、原案可決。

議案第83号、宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について、原案可決。

議案第84号、宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正について、原案可決。

議案第85号、宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正について、原案可決。

議案第88号、宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、原案可決。

議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更について、原案可決。

議案第90号、宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更について、原案可決。

議案第91号、公共施設等運営権の設定について、原案可決。

議案第93号、宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定について、原案可決。

議案第94号、宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定について、原案可決。

議案第99号、保良泉プール指定管理者の指定について、原案可決。

議案第100号、吉野海岸利便施設指定管理者の指定について、原案可決。

議案第101号、宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定について、原案可決。

議案第102号、宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定について、原案可決。

議案第103号、伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定について、原案可決。

議案第104号、宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定について、原案可決。

陳情書審査結果報告書。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。総務財政委員会委員長、下地茜。

本委員会は、付託された陳情書を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第142条の規定により報告します。

陳情書第７号、下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情、採択すべきもの。

採択の理由。陳情書第７号については、陳情書の趣旨を了とし、全員異議なく採択すべきものと決した。

◎文教社会委員会委員長（池城　健君）

委員会審査結果報告書。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。文教社会委員会委員長、池城健。

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案第75号、令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）、原案可決。

議案第77号、令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）、原案可決。

議案第80号、令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）、原案可決。

議案第86号、宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正について、原案可決。

議案第87号、宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正について、原案可決。

議案第95号、平一放課後児童クラブ指定管理者の指定について、原案可決。

議案第96号、鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定について、原案可決。

議案第97号、久松放課後児童クラブ指定管理者の指定について、原案可決。

議案第98号、腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定について、原案可決。

議案第105号、議決内容の一部変更について、原案可決。

議案第106号、議決内容の一部変更について、原案可決。

議案第86号については、「この条例の一部改正はマイナンバーカード導入に伴うもので、沖縄県内での利用率が７％という状況で国が拙速に推し進めた結果、全国で混乱が起きている。紙の保険証を継続すべきとの立場から反対」との反対意見があった。採決の結果、賛成多数で可決された。

陳情書審査結果報告書。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。文教社会委員会委員長、池城健。

本委員会は、付託された陳情書を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第142条の規定により報告します。

陳情書第８号、次世代型コロナワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知等を求める陳情書、不採択とすべきもの。

陳情書第９号、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情、採択すべきもの。

陳情書第10号、物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情、採択すべきもの。

陳情書第11号、若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情、採択すべきもの。

陳情書第12号、臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情、不採択とすべきもの。

採択の理由。陳情書第９号、10号、11号については、陳情書の趣旨を了とし、全員異議なく採択すべきものと決した。

不採択の理由。陳情書第８号については、「健康被害の周知への取組や、相談窓口の設置などを求める内容となっておりふさわしいと思うが、併せて提出されている資料の中身がとても危険な文言で記載されており、医療機関や店舗に被害が出ているとの話も聞いているため反対」との意見があった。採決の結果、

全会一致で不採択とすべきものと決した。

陳情書第12号については、「中国における臓器移植という文言がある。私たち委員が中国の事をとやかく言うことはできない、ましてや日本で実際に被害が出ているわけではない中で、この陳情書に賛成することはできない」との反対意見があった。採択の結果、全会一致で不採択とすべきものと決した。

◎経済工務委員会委員長（狩俣勝成君）

委員会審査結果報告書。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。経済工務委員会委員長、狩俣勝成。

本委員会は、付託された事件を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案第76号、令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）、原案可決。

議案第78号、令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）、原案可決。

議案第79号、令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）、原案可決。

議案第92号、字の区域の変更について、原案可決。

閉会中、継続審査の申し出について。

宮古島市議会議長、平良敏夫殿。経済工務委員会委員長、狩俣勝成。

本委員会は、下記の事件について、閉会中もなお審査を要するものと決定したので、会議規則第110条の規定により申し出ます。

請願書第３号、「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書。

理由。請願書第３号については、閉会中も慎重審査を要する。

◎議長（平良敏夫君）

これで委員長報告は終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

まず、日程第１、議案第81号、宮古島市地産地消用保冷施設の設置及び管理に関する条例の制定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第81号を採決します。

本件に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第81号は可決されました。

次に、日程第２、議案第82号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第82号を採決します。

本件に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第82号は可決されました。

次に、日程第３、議案第83号、宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

◎上里　樹君

ただいまの議案第83号、宮古島市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について、職員の定員適正化などの関係で疑問を感じますので、採決に加わらず、退席させていただきます。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時14分）

（上里　樹君、退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時14分）

これにて討論を終結します。

これより議案第83号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第83号は可決されました。

休憩します。

（休憩＝午前10時15分）

（上里　樹君、着席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時15分）

次に、日程第４、議案第84号、宮古島市役所の位置を定める条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第84号を採決します。

なお、地方自治法第４条第３項の規定により、地方公共団体の事務所の位置の決定または変更するための条例の制定、改廃に関する議決については、出席議員の３分の２以上の者の同意を必要とします。この場合、特別の議決を必要とするため、その採決に当たっては議長も議員として議決に加わることができることとなっておりますので、ご留意願います。

なお、ただいまの出席議員は22名であり、その３分の２は15名であります。

お諮りします。本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第84号は可決されました。

次に、日程第５、議案第85号、宮古島市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第85号を採決します。

本件に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第85号は可決されました。

次に、日程第６、議案第86号、宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

◎上里　樹君

議案第86号､宮古島市こども医療費助成に関する条例の一部改正についてに反対の立場から討論します。

８割を超える国民が紙の保険証を残せと声を上げているのに、聞く耳を持たず、マイナ保険証の利用率が低迷している状況で、国は12月２日、強引に現行保険証の新規発行を停止し、マイナ保険証への一本化

を推し進めた結果、全国で混乱が起きています。

一旦登録すると不本意でも解除することができなかったマイナ保険証のひもづけ。その解除申請の受付が、10月28日から始まりました。そのことは、マイナ保険証が任意であることを国が認めたことになります。ならばこれまでの紙の保険証の発行をすべきであり、発行が停止されている保険証の発行の復活を求める立場から、本条例に反対します。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに討論はありませんか。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第86号を挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手多数であります。

よって、議案第86号は可決されました。

次に、日程第７、議案第87号、宮古島市一般廃棄物処理施設設置及び管理に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第87号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第87号は可決されました。

次に、日程第８、議案第88号、宮古島市伊良部屋外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第88号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第88号は可決されました。

次に、日程第９、議案第74号、令和６年度宮古島市一般会計補正予算（第７号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第74号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第74号は可決されました。

次に、日程第10、議案第75号、令和６年度宮古島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第75号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第75号は可決されました。

次に、日程第11、議案第76号、令和６年度宮古島市港湾事業特別会計補正予算（第３号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第76号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第76号は可決されました。

次に、日程第12、議案第77号、令和６年度宮古島市介護保険特別会計補正予算（第２号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第77号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第77号は可決されました。

次に、日程第13、議案第78号、令和６年度宮古島市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第78号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第78号は可決されました。

次に、日程第14、議案第79号、令和６年度宮古島市水道事業会計補正予算（第２号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第79号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第79号は可決されました。

次に、日程第15、議案第80号、令和６年度宮古島市下水道事業会計補正予算（第３号）に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第80号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第80号は可決されました。

次に、日程第16、議案第89号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（総合整備計画）の変更についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第89号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第89号は可決されました。

次に、日程第17、議案第90号、宮古島市過疎地域持続的発展計画の変更についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第90号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第90号は可決されました。

次に、日程第18、議案第91号、公共施設等運営権の設定についてに対する討論の発言を許します。

◎上里　樹君

ただいまの議案第91号、公共施設等運営権の設定について、意見を述べて退席させていただきます。

公共性の観点から、利益追求はそぐわないと考えます。民間事業者と行政の関係は、単純なパートナーではなく、厳しい利害対立を有する存在です。変化の激しい時代に、20年間という長期の運営権の固定化はふさわしくないと考えます。採決に加わらず、退席いたします。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時27分）

（上里　樹君、退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時27分）

ほかに討論はありませんか。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第91号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第91号は可決されました。

休憩します。

（休憩＝午前10時27分）

（上里　樹君、着席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時27分）

次に、日程第19、議案第92号、字の区域の変更についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第92号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第92号は可決されました。

次に、日程第20、議案第93号、宮古島市エコアイランドＰＲ館指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第93号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第93号は可決されました。

次に、日程第21、議案第94号、宮古島市池間島離島振興総合センター指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第94号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第94号は可決されました。

次に、日程第22、議案第95号、平一放課後児童クラブ指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第95号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第95号は可決されました。

次に、日程第23、議案第96号、鏡原放課後児童クラブ指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第96号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第96号は可決されました。

次に、日程第24、議案第97号、久松放課後児童クラブ指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第97号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第97号は可決されました。

次に、日程第25、議案第98号、腰原コミュニティ供用施設指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第98号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第98号は可決されました。

次に、日程第26、議案第99号、保良泉プール指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第99号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第99号は可決されました。

次に、日程第27、議案第100号、吉野海岸利便施設指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第100号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第100号は可決されました。

次に、日程第28、議案第101号、宮古島市ふれあいの前浜海浜広場指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第101号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第101号は可決されました。

次に、日程第29、議案第102号、宮古島市サシバリンクス伊良部指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第102号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第102号は可決されました。

次に、日程第30、議案第103号、伊良部大橋観光拠点施設（海の駅）指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第103号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第103号は可決されました。

次に、日程第31、議案第104号、宮古島市立スポーツ施設指定管理者の指定についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより議案第104号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第104号は可決されました。

次に、日程第32、議案第105号、議決内容の一部変更についてに対する討論の発言を許します。

◎上里　樹君

ただいまの議案第105号、議決内容の一部変更について、想定外の大きな石が出てきたということですけども、設計段階できちんとボーリング調査、聞けば12か所ボーリングしたというんですけども、周辺部に集中し、内部については建物本体が建つ１か所のみだったという説明を受けました。きちんとそのボーリングを実施していれば、このようなことにはならなかったと考えます。さらに、擁壁を石積みにして一体感を持たせるといいます。これも設計段階で決めることであり、現場で気分や感情で変更することは理解できません。採決に加わらず、退席させていただきます。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時36分）

（上里　樹君、退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時37分）

これより議案第105号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第105号は可決されました。

休憩します。

（休憩＝午前10時37分）

（上里　樹君、着席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時37分）

次に、日程第33、議案第106号、議決内容の一部変更についてに対する討論の発言を許します。

◎狩俣勝成君

私は、議案第106号、議決内容の一部変更についてには、採決に加わらず、退席したいと思います。

◎上里　樹君

ただいまの議案第106号、議決内容の一部変更についてですけども、入札段階でどういう機械を入れるのか、現場を見て判断できることだと考えます。内訳書の提出は見積り能力のない業者を排除するためであり、それが現場と合わないというのはそもそもが問われます。私は、契約段階から審査以前の問題を指摘し、退席してきた経緯から、採決に加わらず、退席させていただきます。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時38分）

（狩俣勝成君、上里　樹君、退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時39分）

これより議案第106号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第106号は可決されました。

休憩します。

（休憩＝午前10時39分）

（狩俣勝成君、上里　樹君、着席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前10時39分）

次に、日程第34、陳情書第７号、下地与那覇地区前浜ビーチ浸食に関する海浜保全の陳情に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第７号を採決します。

本件に対する委員長報告は採択であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、陳情書第７号は採択されました。

次に、日程第35、陳情書第８号、次世代型コロナワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知等を求める陳情書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第８号を採決します。

本件に対する委員長報告は不採択でありますので、会議規則第69条の賛成者先諮の原則に基づき、本件は挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

陳情書第８号は採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手少数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手少数であります。

よって、陳情書第８号は不採択されました。

次に、日程第36、陳情書第９号、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第９号を採決します。

本件に対する委員長報告は採択であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、陳情書第９号は採択されました。

次に、日程第37、陳情書第10号、物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第10号を採決します。

本件に対する委員長報告は採択であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、陳情書第10号は採択されました。

次に、日程第38、陳情書第11号、若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第11号を採決します。

本件に対する委員長報告は採択であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、陳情書第11号は採択されました。

次に、日程第39、陳情書第12号、臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより陳情書第12号を採決します。

本件に対する委員長報告は不採択でありますので、会議規則第69条の賛成者先諮の原則に基づき、本件は挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

陳情書第12号は採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手少数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手少数であります。

よって、陳情書第12号は不採択されました。

次に、日程第40、請願書第３号、「命の水」地下水・水道水農薬複合汚染対策を求める請願書については、経済工務委員会委員長から会議規則第110条の規定により、申出書のとおり閉会中の継続審査の申出がなされております。

お諮りします。日程第40、請願書第３号については、経済工務委員会委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査に付することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、請願書第３号は経済工務委員会に閉会中の継続審査に付することと決しました。

次に、日程第41、同意案第23号、農業委員会委員の罷免についてを議題とし、討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより同意案第23号を採決します。

本案は同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、同意案第23号は同意されました。

次に、日程第42、同意案第24号、農業委員会委員の任命についてを議題とし、討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより同意案第24号を採決します。

本案は同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、同意案第24号は同意されました。

（「議長」の声あり）

◎狩俣勝成君

この際、緊急質問の動議を提出します。

第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についてですが、貸付予定者として特定されております。今後、事業用定期借地権

設定契約を結ぶに当たり事業が進められていくと思いますので、緊急を要すると判断し、緊急質問を私、狩俣勝成が行いたいと思いますので、同意の上、この際日程に追加し、発言を許可されることを望みます。

（「賛成」の声複数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ただいま狩俣勝成君による第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問を許可されたいとの動議が提出され、所定の賛成者がありますので、動議は成立いたしました。

（「議長」の声あり）

◎下地信男君

私も、緊急質問の動議を提出したいと思います。

公の施設の管理運営について、これは宮古島市総合交流ターミナル、通称てぃだの郷についてでありますけども、今般施設使用料未納額が多額に及ぶと、700万円余の施設使用料の未納があるということが判明いたしました、一般質問でしたか。市の設置した公の施設がなぜこのような状況になるのか、市とこの利用している企業との間にどういったやり取りがあってこういう実態が出てきたのかということを緊急に調査する必要があると思い、提出いたします。どうぞこの際日程に追加して、発言を許可していただきますようによろしくお願いいたします。

（「賛成」の声複数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ただいま下地信男君から、公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件について緊急質問を許可されたいとの動議が提出され、所定の賛成者がありますので、動議は成立いたしました。

休憩します。

（休憩＝午前10時49分）

再開します。

（再開＝午前10時49分）

◎山下　誠君

いずれも、２件とも緊急に出てきた案件でありまして、それが緊急性があるのかないのかということ議論をさせてください。今の特に狩俣勝成議員が提案された議題については、我々も担当部局に聞き取りをしながら、これに本当に緊急性があるのかないのかを判断させていただきたく、しばらくの間休憩をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

◎議長（平良敏夫君）

何分ぐらい休憩しますか、休憩時間。

◎山下　誠君

30分下さい。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午前10時50分）

（市長、企画政策部長、総務部長、建設部長、農林水産部長以外の当局退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午前11時16分）

この際、狩俣勝成君から提出された本動議を本日の日程に追加し、追加日程第１として直ちに発言を許すかを挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

お諮りします。本動議に同意の上、本日の日程に追加し、追加日程第１として直ちに発言を許すことに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手多数であります。

よって、本動議に同意の上、本日の日程に追加し、追加日程第１として直ちに発言を許すことは可決されました。

次に、下地信男君から提出された本動議を本日の日程に追加し、追加日程第２として直ちに発言を許すかを挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

お諮りします。本動議に同意の上、本日の日程に追加し、追加日程第２として直ちに発言を許すことに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手多数であります。

よって、本動議に同意の上、本日の日程に追加し、追加日程第２として直ちに発言を許すことは可決されました。

緊急質問の取扱いに係る協議のため、議会運営委員会を開催しますので、11時40分まで休憩します。

（休憩＝午前11時18分）

再開します。

（再開＝午前11時40分）

午前の会議はこれにて休憩し、午後の会議は１時30分から再開します。

休憩します。

（休憩＝午前11時40分）

再開します。

（再開＝午後１時30分）

これより追加日程第１、第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問に入りますが、先ほどの議会運営委員

会において決したとおり、質問者は狩俣勝成君、質問の持ち時間は30分以内とし、答弁時間は含まないこととします。

また、質問場所は質問席とし、質問回数については、会議規則第63条の準用規定により、３回以内とします。

これより質問の発言を許します。

◎狩俣勝成君

まず、12月11日付の沖縄建設新聞において、宮古島市は12月９日に宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント再整備事業拠点ＩのＣエリアの公募型プロポーザルで、株式会社うみそらみどりとまち、根路銘康文代表取締役を貸付等予定者として特定をしたと載っております。それで、12月11日付ですので、一般質問でも取り上げることができず、そしてまたこの事業は今後この特定した事業者と定期借地権設定契約を締結するに当たり、準備が進められていくものと思っております。ですから、今日は緊急質問をさせていただきます。また、質問の場を設けていただきましてありがとうございます。

それでは、質問をしていきますけども、まず大きく分けて２点あると思います。１つは疑義が生じている点、もう一個は道義的問題点という形でありますけども、まず最初に当該事業の申込みに必要な書類の提出期間は令和６年９月２日月曜日から令和６年９月27日金曜日17時まで必着となっております。この選定企業はこの時点で設立されておらず、締切り期限の４日後となる令和６年10月１日が設立日となっています。当該事業の募集要項の22項に、注意点として「上記期限を過ぎて到着、持参したものについては受け付けません。郵送の場合は配達証明郵便とし、上記期限内の必着とします。消印有効でありますので、ご注意ください」との明記があります。宮古島市は、募集要項に記されている内容に反し受け取り、かつ当該企業を選定している。本来であれば、再募集、再審査の上、選定を行うべきで、この審査結果は無効であると考えられますが、当局の見解を伺います。

そして、もう一点、道義的問題点ということです。この選定企業である株式会社うみそらみどりとまちの代表取締役である根路銘康文氏は宮古島商工会議所の会頭であり、当該事業の概要に深く関わるみなとまち宮古再生プロジェクト検討委員会の委員に宮古島商工会議所の会頭として選出されております。また、選定企業の役員には宮古島商工会議所の副会頭が監査役として入っており、同氏についても同検討委員会の幹事会に入っているということです。これは自身の立場を恣意的に利用し、個の利益を追求するために立場を利用しているように思います。これについて法的な問題はないと考えますが、当該事項に深く関わる委員及び幹事が選定企業となることについては、道義的に反している行為であると思われます。それに対しての当局の見解をお伺いします。

◎建設部長（川平陽一君）

まずは、疑義が生じている点についてでございます。令和６年９月25日に応募書類を受け付けた時点では、会社の登記申請中であり、法人格がない状態であったことを確認しております。事務局において検討を行った結果、応募者が１社であること、地元企業であること、会社の登記申請中であることを考慮し、10月31日の１次審査実施までに法人格を取得することを条件に申請を受け付けております。本件につきましては、本事業の公募に係るアドバイザリー業務を委託しているパシフィックコンサルタンツ株式会社の法務担当者にも確認したところ、今回の手続が法的にも問題がないということを確認しております。

次に、道義的な問題点についてです。みなとまち宮古再生プロジェクト検討委員会はみなとまちづくりの基本方針を検討するため、平成30年度に設置したもので、宮古島島内の意見を幅広く反映するため、宮古島商工会議所、宮古島観光協会、各行政機関、民間事業者等の様々な分野の方を委員、幹事、会員、作業部会員として迎えております。今回の公募については、前年度までの議論に携わっている、いないにかかわらず、島内外から幅広く提案をいただくことを目的としておりますので、参加希望者が十分に情報を収集し、公募に向けた準備を整えることができるよう、公募資料の公表から締切りまで約６か月間という長い準備期間を設けております。

また、応募のあった会社の提案内容については、外部のＰＰＰ事業者を専門とする大学教授、准教授各１名ずつを外部有識者として選定委員会のメンバーに招いており、かつ選定委員会のメンバーは本事業の応募者となることを禁止しており、中立かつ公平な審査が行われたことと思います。

◎狩俣勝成君

建設部長今答弁してもらったように、10月31日の１次審査までに登記を完成しておいたらいいという、条件付という話がありましたけども、ここに募集要項があるんですけども、この中にそういった条件付とかただし書とかが見られないんです。それに反してやっているのか。先ほど聞いたらコンサルタントに任せたという話がありますけども、これ受付までも全部もう全て丸投げなんですかね、コンサルタント会社に。そういうふうに感じますけれども。

それと、この中に応募に関する事項というのがありまして、応募者の構成というのがあります。応募者は、提案施設を整備及び管理運営することができる企画力、資力、社会的信用度、技術的能力、運営能力等を有する単独の法人または複数の法人で構成されるグループ。この企業は多分単独の法人だと思われますけども、この会社が登記されていないのに、企画力に関しては言っていただけたら分かるかなと思いますけども、資力とか、社会的信用度とか、技術的能力、運営能力等に関しては、会社がない状態では判断できないのではないかと思っています。

そして、本来宮古島商工会議所の在り方としたら、地元の企業をサポートして、また情報を提供し、支援するのが目的だと思います。我々政治家も、私利私欲を捨ててとよく使います。まずこれと一緒で、我々もいろんな情報を仕入れて市民の皆さんに還元していく。そして、市民から相談があったら、こういった制度がありますけど、活用どうですかと提案していく、これが議員なんですね、私たちは。宮古島商工会議所も、やはり多くの会員企業を抱えています。そして、ましてや宮古島商工会議所は、多くの会員の会費でもって運営されていると思っています。だから、本来ならば、こういう事業がありますよとこの企業にアピールしていく、そういったのが大切だと私は思います。

再質問に行きますけども、先ほど言いました募集要項にないこの条件付という部分、これはどこからそういうふうに条件付を持ってきたのか。それと、コンサルタントに本当に丸投げ、受付までも全部やっているのかというのを、この２点再質問させていただきます。

◎建設部長（川平陽一君）

コンサルタントに丸投げしたかという点につきましては、こういうことはございません。これは公募をして審査、これは担当課のほうできちんと情報、そういった提案について、１次審査をしております。その中で的確に提案書は受けていることと報告受けております。

それと、資力、社会的な信用度ということで選定委員会が設置されておりますので、その中で審査行いまして、能力とかいろんな審査を行って、適当としております。

◎議長（平良敏夫君）

募集要項は。

（「休憩して、休憩」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後１時41分）

再開します。

（再開＝午後１時43分）

◎建設部長（川平陽一君）

公募をいたしまして、９月27日が締切りとなっておりました。その中で、法人の確認はできておりませんでしたけども、その後１次審査までには確認しております。その中で審査を行うに当たり、必要と認める場合は書類等の差し替え及び追加を求めることができるとなっておりますので、その辺で確認しております。

（「休憩して」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後１時44分）

再開します。

（再開＝午後１時45分）

◎建設部長（川平陽一君）

登記の確認につきましては担当課で１次審査を行っておりますので、その中で提案書を受けた内容について確認しております。その後、審査会を招集された中で、この選定委員会の中でもこの書類はちゃんと確認しておりますので、適切にできたものと思われます。

◎狩俣勝成君

建設部長、１次審査までに出してくれというのもそもそも問題かなと思っていまして。10月31日の１次審査までに登記簿を登録して提出すると、そういうのもありますけども、私が言っているのはこの受付期間のものを言っているのです。審査は、私は何も否定していません。この受付期間が何で延長したか、この辺がちょっとあやふやだなと思っております。コンサルタントがでは受付期間延長していいよと言ったの。要するに私、今この募集要項をせっかくつくったのに何でこれにのっとってやらなかったかということ。今言ったように募集変更するんであれば、再度この委員会ですか、立ち上げて、そのただし書でもいいし、これ追加しますよと、そういうふうにやってからやるべきだったかと思っています。

そういう感じでありますけども、最後になりますけども、さっきありましたように、その当時の委員長は誰なのか。そして、審査過程で本件に疑問を抱かなかったのか。誰の責任において進めたのか。市長ですか。市長に最後に答弁をいただきたいです。

◎建設部長（川平陽一君）

この選定委員会の審査委員長ですけども、前副市長でございます。この審査を行った時点では副市長は退職されておりましたので、副委員長の私が委員長の代理としまして進めております。

誰の責任で進めているのかにつきましては、これは募集要項は港湾課で策定しております。参加資格についても、事務局である港湾課の責任において、可否について判断しております。

（「答弁漏れ。疑問を抱かなかったか」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後１時48分）

再開します。

（再開＝午後１時48分）

◎建設部長（川平陽一君）

審査過程において疑問を抱かなかったかということです。これは先ほども答弁した内容のとおり、本件公募の公平性が保たれていると考えております。

◎狩俣勝成君

建設部長、今大変な答弁をしたかなと思っています、港湾課になすりつけて。誰が責任持つかといったら港湾課のことを言っていますよ。皆さんが責任持っていますか、これは誰の責任において進めていったかというのを。建設部長はそれに答えましたから。

◎議長（平良敏夫君）

狩俣勝成議員、質問３回までとなっておりますので。

◎狩俣勝成君

分かりました。では、もうこれで終わります。

（「議長、市長にも聞いていたよ。市長にも答えさせんか、市長にも。市長に責任があるさ」の声あり）

◎市長（座喜味一幸君）

ＰＰＰ事業の初めての取組であります。クルーズ船含めて、にぎわいの拠点づくり、これは長年の私の構想でもありました。ようやく動いたなという実感はいたしております。基本的には、やはり委員会７名、幹事会14名、経済団体等から12名というそれなりの地域の代表が選ばれた検討委員会をもって進められているというふうに思っております。その中にはＰＰＰに詳しいコンサルタント、学識経験者等も入っておりますから、基本的には公正、公平に宮古島市の将来のまちづくりに合致するような、資金力、収支計画、それから事業内容等々をしっかりと検討の上、進められたものというふうに思っております。

◎議長（平良敏夫君）

これで狩俣勝成君の緊急質問は終了しました。

これをもって追加日程第１、第１期宮古島市みなとまちづくり基本計画に基づくウォーターフロント整備事業に係る運営事業者の提案審査結果に対する件についての緊急質問を終了しました。

次に、追加日程第２、公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件につ

いての緊急質問に入りますが、先ほどの議会運営委員会において決したとおり、質問者は下地信男君、質問の持ち時間は30分以内とし、答弁時間は含まないこととします。

また、質問場所は質問席とし、質問回数については、会議規則第63条の準用規定により、３回以内とします。

これより質問の発言を許します。

◎下地信男君

緊急質問を認めていただいた議員の皆様方にはお礼を申し上げます。今回の一般質問で、この宮古島市総合交流ターミナル施設、通称てぃだの郷と言っていますけども、700万円余の施設使用料の未納があるという話が出ました。なぜ今回このような事態になったのかということと、もちろん支払いをしない企業には当然何らかの措置をしなければいけないと思いつつ、これ重大な問題であるとして。ただ、一方でこの市の取組というのが本当に十分なものであったかということをここではっきりして、この問題の早期解決を図りたいということで質問をさせていただきました。質問項目が多くなりますけど、農林水産部長、よろしくお願いします。

まず、１点目に、このてぃだの郷という施設はいつ設置されて、これまでどのような管理をなされてきたか。

２点目に、当該施設の直近指定管理の期間はいつからいつまでか。

それから、多分その指定管理をする前に公募をしていますよね。その公募要領の中に、今回限りで指定管理は終了する、要するに応募する方々に指定管理としては最後ですよ、この３か年ですよって分かるような文言が入っていたのかどうか。

指定管理を終えた後に、今施設使用許可申請に基づく施設の使用許可というふうになっていると思いますけども、指定管理とせずに施設の使用許可、１年単位の使用許可としたのはなぜか。

こういう長年指定管理をしてきた施設を３年間の使用許可としたときに、要するにこの応募者、相手と十分な協議はなされたか。

施設の使用許可は単年度と１年限りとしてやっていますけれども、この利用許可申請が出されて市が許可したのはいつか。これは各年度、多分令和３年度から使用許可になっていると思いますので、令和３年度、令和４年度、令和５年度、令和６年度、その年度において答弁お願いします。

滞納額があります。これは、現時点で幾らになるか。

滞納額がありますけども、市としては督促状あるいは何とか収めてほしいという行動をされたのかどうか。督促状は出されているのかどうか。

ちょっと多くなりましたけど、この辺から質問を始めていきたいと思います。よろしくお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

まず、設置はいつかということでございますが、設置は平成12年度でございます。正式には、平成13年２月26日に財産を取得しております。

管理ですけども、管理はこれは平成14年度から平成18年度までは使用許可という形で管理がなされておりました。指定管理になったのは、平成19年度から令和２年度の間となっております。

そして、当該施設の直近の指定管理期間ですけども、平成30年４月１日から令和３年３月31日までとな

っております。

公募要領に今回限りで指定管理は終了するというふうに記載があったかという、お知らせがあったかということでございますけども、令和２年２月に宮古島市公共施設等再配置計画において施設の方向性を検討しております。その結果、売却とする方針がそのとき、令和２年２月に決定したため、公募要領での告知はなされておりません。

使用許可としたのはなぜかということでございますが、本施設は建設より20年余が経過しております。老朽化に加えて、伊良部地区での民間活力によるホテル等の類似施設の建設が活発に展開されていることから、もう役割は終えたということで売却の方針が示されておりました。こうした中、この管理している方ですけども、長年にわたり本施設を管理してきておりまして、特別な配慮といたしまして強制的に退去させるのではなく、話合いによる退去を目指すということで、令和３年６月に弁護士と相談の上、使用許可ということになっております。

その際に相手方との十分な協議はなされていたかということなんですけども、担当者が約２か月から３か月に１回程度面会して話合いをしてきておりますけども、またそれに加えて文書でのやり取りもしてまいりました。

使用許可申請が出されて市が許可したのはいつかということでございます。令和３年度から使用許可になっております。令和３年８月16日に行政財産使用許可とする市の方針を通知し、11月15日に使用許可申請が提出されております。これをもちまして市は12月９日に許可証を交付しております。令和４年度につきましては使用許可を提出するように何度も協議してきましたけども、申請が出されたのは令和４年度の年度を越えた令和５年度に提出されたため、不受理としております。

滞納額についてですけども、令和３年度は１か月分納付がありましたので、その分を差し引きまして、令和３年度、令和４年度は722万8,517円の未納となっております。令和５年度、令和６年度は、もう退去するようにということで使用許可というふうなものもやっておりません。

そして、使用料の未納について督促状は出されているかということですけども、督促状は出してはおりません。これまで話合いによる退去を目指しておりまして、相手のほうに配慮して督促状を出しておりませんでした。

◎下地信男君

再質問します。

滞納額というのが、令和３年度と令和４年度で722万円余、令和５年度と令和６年度は使用許可をしていないということですね。なので、未納金額は発生しないと。なぜ令和５年度、令和６年度はそのまま何にもなしで、令和３年度、令和４年度は使用料が発生をして、これ使用許可申請を出さないから２年にわたってはそういうことになっているわけです。これなぜいろいろ話合いをして、令和３年度のように許可申請を出してくださいと、不法占拠になりますよという話をしなかったんですか。これが１点。

これ文書でやり取りというか、３か月に１回と言っていますけども、本来なら令和３年３月31日に指定管理が終わります。４月１日から指定管理終えて使用許可にいくんですよね。このがじゅまる観光は、公募のときに、公募要領の中にもう今回で終えますよというものがないので、継続していくんだろうということでお客さんの予約もたくさん取ってあった。ところが、いきなり農林水産部長がおっしゃるように、

令和２年度指定管理をして、２年目の途中に、もう終わるから片づけて出ていってくれんかと。売却の方針が出たよと職員がいきなり来て、もうあなたの財産持って出てくださいよという話をしたんです。これちょっと待ってくれと、意味が分からんと、これ何でこんなにいきなりなるんですかとがじゅまる観光は言っています。

その間、宮古島市は弁護士と相談して、令和３年７月13日にこういう市の方針を決めているんです。これが９つあります。ここで少しおかしいと思うのがあるので、施設の不具合、これは９つの条件の中の一つです。中には、期限は１年間ですよ、年間377万円払ってください、この施設の委託業務などは市がやりますという話の中で、施設の不具合、雨漏りなどがあった場合も修繕をしないで現状のまま利用すること。事故などが起きた場合も、市は一切責任を負わないと。賠償保険についても、がじゅまる観光が自分たちでやってくれと。問題はホテルです。農林水産部長がおっしゃる20年余りたっている施設が老朽化しています。雨漏りがひどい。自分たちの金で修繕しないとこれできないよと言っていても、駄目ですと市は言っています。これ市の施設を使ってもらう、あるいは指定管理をするという側に市からの立場として取るべき態度ではないんです。がじゅまる観光は、こういう一方的な、しかもとんでもない、お客さん招いて雨漏りしても修理できないと。むしろ賠償問題ですね。これだから市にもう少し考え直してくれないかというお願いをしています。要するにこれに対する不服申立てということをやっているんです。こういうやり取りで、いや、市も引かないよと、早めに自分たちの財産持って出ていきなさいということがあって、年明けの４月に、翌年の４月に……ごめんなさい。令和３年11月にやむなくこの人たちはもう市が、数名の職員が来て、脅しと言ったらおかしいですね。こちら反論できないような状況だったので、出しましたと。ただ、念のために日付は入れていないと。出しました。ところが、使用料は４月から請求していますよね。377万円の計算は４月からやっていますよね。これは不利益不遡及で大変な問題ではないですか。これを受けて市は一歩も譲らないんです。私は、この人たちもこういう状況だったら当然商売できないので、少し修理だけでも自分たちにさせてくれというお願いするんですけど、なかなかできないと、許してもらえなかったというのがあります。さっき話したようななぜ申請もないものを今放置状態で市はやっていますよね。これ私は市の不作為と言っていいと思います。市はやるべきことやっていない、市の責任は果たしていないということに私はなると思います。

再度質問しますけども、なぜこれ従来の市の手続がなされないで宙ぶらりんな状況にこれ２年間なっているのか。市はこの施設をどうするのか、２点目ですね。私はこういう二十何年も市の施設を運営して貢献した人には、円満解決を図っていただきたい。こういう双方の話も聞いて、十分に市としての対応を決めていただきたいと思います。それについて、農林水産部長と市長にもぜひこの件についてご答弁をお願いします。

◎農林水産部長（石川博幸君）

令和２年２月の方針決定を受けまして、令和２年９月24日に令和３年度で指定管理終了をするということを伝えております。そして、その間に令和３年６月までに施設退去するようにというふうにお願いしてきたところでございます。その間、宙ぶらりん、いろんな話をしてまいりました。当事者の方としては、こういうふうに施設売却するという方針があるならば、優先的に私に売却してほしいというふうに言っておりました。ただ、市有地の処分につきましては市有地の処分に関する要領が定められておりまして、個

人に優先売却というのはできないと、公募によらなければできないというふうなことも伝えております。その間いろんなやり取りを、何度も協議を重ねておりますけども、なかなか折り合いがつかなかった、理解ですか、協議が進まなかったということでございます。その間もいろいろと話をしてまいりましたけども、双方の意見が食い違っている、まとまらないということで、法的に代理人を立ててもう協議を進めていくことにしたところでございます。

ほかに何か漏れがありますでしょうか。

◎下地信男君

先ほどの市の方針、７月13日の９項目の条件をした後、市長からも市長名で、早く出ていってほしいと、退去をしなければ法的措置をやりますよ、それで２枚目のまた催告状にも訴えを提起しますよという、こういうことを先方が市役所からこういう通知を正式にもらうともう萎縮して、なかなか思うように物が言えなかったという話がありますけども、こういう威圧的な態度が私はあったと聞いているし、感じています。

これ令和５年度、令和６年度の対応を今後どうするのかということになってくると思いますけれども、市はもう話し合う余地はないということになっている、この施設に関しては。ただ、売却する方針の公の施設はほかにもいっぱいあります。上野のドイツ文化村も売却方針出ていますけど、地域住民と話し合ったら、何とかしてくれ、延ばしてくれと言うから延ばしました。サシバリンクス伊良部も、ゴルフ場問題があるとして売却方針は出てきません。佐和田の浜のいなうの郷も売却方針ですよね。何の手続もない。なぜこの施設だけがこういうふうに市はこだわりを持って早急に退去させようとしているのか。しかも、最終的に法的措置を取りながらということを再三文書で申しつけてやるのか。そして、この手続が正当な市役所らしく、市長がおっしゃるような市民ファースト、市民に寄り添っていくということをないがしろにした取組、やり方が、本当にこれでこの問題が円満解決にいくのかということを疑問に感じています。

農林水産部長には最終これからどうするのかという話をしていただいて、私は今日は議員の皆さん方も一方的に滞納があるよということだけを捉えてしまうと、私たちが判断すべき材料がないまま一方的にこの企業がけしからんという方向の中で審議がなされるというのが少しこれは大変だなと思ったから質問をしました。指定管理者の問題はたくさんあります。私は売却するにしても、例えばこの佐和田の浜周辺、下地島空港の17エンドのあの景観、私は宮古島の財産だと思います。売却の方針が出ていたら、売却でいいと思います。ただ、売却した後のどういった活用方針というのは、市がしっかり見ながらしないと、伊良部大橋が架かった後の伊良部島の東側と南側の周辺見てください。産業振興局長が言っているではないですか、ざる経済だと。本土資本は宮古島の観光をしっかり盛り上げましたけども、実際に経済はどうなったんですかということをいろんなことを情報仕入れて、頭の中で。あるいはお互い理解といろいろ今後どうするかということをやはり考えなくちゃいけないと思います。

最後に、今後私が提案しました真摯な話合いを持って円満に解決できないかということに対して今後どういった方針でいくのか、農林水産部長、お願いします。

（「休憩お願いします」の声あり）

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時14分）

再開します。

（再開＝午後２時14分）

◎農林水産部長（石川博幸君）

今後の方針ですけども、担当職員も誠意を持って対応してきたというふうに認識しております。一方的に恫喝するとか、そういうことはないというふうに思っておりますし、しっかりとやはり対応してきた。そういう中で、やはり意見の溝が埋まらないということですので、令和５年度にはもうこれ以上の歩み寄り、平行線のままだということで、双方代理人を立てて話し合うべきだという、もう当事者同士ではちょっと厳しいという認識でございますので、今後も市の代理人を立てて対応していくというふうに考えております。

◎市長（座喜味一幸君）

このてぃだの郷の問題、私就任してすぐからいろんな意見があるというようなことで、私も本人とも会ったことございます、猪子氏と。それで、入り口のほうは大規模な県有地が買収をされておりまして、このてぃだの郷がどういう形で計画されているのかというようなこと等についても、資料を見ましたが、まだ具体的にはなっておりませんでした。前任のほうも、これは売却だからというようなことで……

（「てぃだの郷」の声あり）

◎市長（座喜味一幸君）

そうそう、そうそう、てぃだの郷。猪子氏のところ。そういうことで、これまでも職員は誠心誠意話合いはしたと思いますが、なかなか折り合うことができなかったというふうに思っております。そういう意味では、今後はこのプロの代理人等も立てながら、円満解決、双方の意見ができるだけ反映できるような形で話合いを進めるべきかなというふうに思っております。いずれにしても、せっかくの施設なんで、有効に活用されるべきだと思いますんで、しっかりと対応していきたいと思っております。

◎下地信男君

終わります。

◎議長（平良敏夫君）

これで下地信男君の緊急質問は終了しました。

これをもって、追加日程第２、公の施設の管理運営（宮古島市総合交流ターミナル・通称てぃだの郷）の件についての緊急質問を終了します。

市長及び当局の皆さんは退席してください。

休憩します。

（休憩＝午後２時18分）

（当局退席）

◎議長（平良敏夫君）

再開します。

（再開＝午後２時18分）

次に、日程第43、発議第１号、宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてを議題

とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎議会運営委員会委員長（狩俣政作君）

発議第１号、宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について。みだしの議案を地方自治法第109条第６項及び宮古島市議会会議規則第14条第２項の規定により、別紙のとおり提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。議会運営委員会委員長、狩俣政作。

提案理由。第208回国会において成立した「刑法等の一部を改正する法律」（令和４年法律第67号）及び「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」（令和４年法律第68号）（以下併せて「改正法」という。）は、懲役及び禁錮を廃止し、これらに代えて拘禁刑を創設することなどを内容とするものであり、当該内容に対応する改正規定は、刑法等の一部を改正する法律の施行期日を定める政令（令和５年政令第318号）により、令和７年６月１日から施行することとされている。

条例中に「懲役」「禁錮」の字句が含まれる場合には、改正法の施行日までに、これらを「拘禁刑」に改める等の改正を行う必要があるため。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例（令和５年宮古島市条例第15号）の一部を次のように改正する。

第53条から第55条までの規定中「懲役」を「拘禁刑」に改める。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、刑法等の一部を改正する法律（令和４年法律第67号）の施行の日から施行する。

（経過措置）

２　この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。

◎議長（平良敏夫君）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております日程第43、発議第１号については委員会提出の案件でありますので、会議規則第37条第２項の規定により委員会付託を省略し、直ちに処理します。

これより討論に入ります。

日程第43、発議第１号、宮古島市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてに対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより発議第１号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、発議第１号は可決されました。

次に、日程第44、意見書案第10号、沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書を議題とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎議会運営委員会委員長（狩俣政作君）

意見書案第10号、沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書。みだしのことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので、会議規則第14条第２項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。議会運営委員会委員長、狩俣政作。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の
課税対象外とすること等に関する意見書

観光業をリーディング産業とする沖縄県は、世界から選ばれる持続可能な観光地として発展していくことを目的として、安全・安心で快適な観光の実現、観光による弊害の未然防止等、観光振興により県民、観光客、観光事業者の全てが納得する社会を達成するために要する経費に充てるための宿泊税（観光目的税）を、令和８年度からの導入を目指すとし、導入に向けた作業を進めています。

宿泊税（観光目的税）は、沖縄県が持続可能な観光地として発展していくための新たな財源として期待するところですが、課税対象が沖縄県内の宿泊施設の宿泊者となっており、沖縄県内の離島に住む者の住民生活等も勘案の上、十分に配慮することが必要だと考えます。

沖縄県内の離島に住む者の沖縄本島への移動は、仕事・医療・教育活動など日常生活の一部でもあり、沖縄本島での宿泊は生活の一環でもあります。

また、その際の移動手段は必然的に航空機・船舶であり、加えて、宿泊は宿泊施設を利用せざるを得ないことがほとんどであることから、さらに宿泊税（観光目的税）の負担による離島不利性が増すものと考えます。

よって、下記の事項について、強く求めます。

記

１．沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること。

２．沖縄県がすべての県民にとって、格差のない住みやすい県となる施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、沖縄県知事、要請書として沖縄県議会議長。

◎議長（平良敏夫君）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております日程第44､意見書案第10号については委員会提出の案件でありますので、会議規則第37条第２項の規定により委員会付託を省略し、直ちに処理します。

これより討論に入ります。

日程第44、意見書案第10号、沖縄県内の離島に住所を有する者は、宿泊税（観光目的税）の課税対象外とすること等に関する意見書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより意見書案第10号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第10号は可決されました。

次に、日程第45、意見書案第11号、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書から日程第47、意見書案第13号、若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書までの計３件を一括議題とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎文教社会委員会委員長（池城　健君）

意見書案第11号、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書。みだしのことについて､別紙のとおり議会の議決を得たいので､会議規則第14条第２項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。文教社会委員会委員長、池城健。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書

70歳以上の高齢者の半数は、加齢性難聴と推定されています。難聴になると家庭の中でも社会的にも孤立しやすく、人との会話や人と会う機会が減ってしまうことが少なくありません。加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難とするなど生活の質を落とす大きな原因になり、最近では認知症やうつ病になる傾向が強いと専門家も指摘しています。こうした中で、聞こえの悪さを補完し、音や言葉を聞き取れるようにしてくれるのが補聴器です。日本の難聴者率は、欧米諸国と大差ないといわれてい

ますが、補聴器使用率は欧米諸国と比べて極めて低く、補聴器の普及は諸外国と比べても進んでいるとは言えません。

日本補聴器工業会が行ったジャパントラック2022調査報告では、難聴の人の補聴器所有率は日本で15.2%、デンマーク55%、イギリス53%、フランス46%、ドイツ41%などと比較して日本が極端に低い補聴器所有率となっています。

この背景には、日本では補聴器の価格が片耳当たり概ね20万～50万円と高額で、保険適用がないため全額自己負担となっていることにもあります。身体障害者であるとされる高度・重度難聴者の場合は、補装具費支給制度により負担が軽減され、中等度以下の場合は購入後に医療費控除が受けられます。しかし、その対象者は僅かで、該当しない約９割の人は自費で購入しています。特に低所得の高齢者に対する配慮が求められます。欧米ではすでに確立している補聴器購入に対する公的補助制度が、日本では整備されていません。

先の通常国会では「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が全会一致で成立しました。認知症の人が個性や尊厳を保障されて、希望をもって暮らせる社会づくりへの重要な一歩です。岸田首相は「高齢者やご家族の皆様にとって切実な課題である認知症への対応については、政府を挙げて、そして国を挙げて、先送りせず、挑戦していくべき重要な課題」（2023年６月21日の記者会見）と述べています。

よって、下記の事項について、強く求めます。

記

１．加齢による難聴者の補聴器購入に対する国の補助制度を創設すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、内閣総理大臣、厚生労働大臣。

続いて、意見書案第12号、物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書。みだしのことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので、会議規則第14条第２項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。文教社会委員会委員長、池城健。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書

我が国は高齢化率が高く、高齢者の世帯の48.4%が年金だけで生活しており、更に年金だけでは生活できず、生活保護世帯の55.7%が高齢者世帯であり、老後の生活が大きな社会問題となっています。老齢基礎年金だけで生活している高齢者は、納付期間25年以上でも月平均5.2万円です。

さらに将来年金がもらえるかという不安もあり、若い人を中心に国民年金掛金を納付できない人が51.3%にも上る実態です。

これに追い打ちをかけているのが、相次ぐ年金削減と異常な物価高騰です。2024年度の公的年金の改定は６月支給分から2.7%の増額になりましたが、前年の物価変動率が3.2%増のため、実質的には0.5%の減額となりました。

昨今の物価高騰は円安や原油価格の高騰が相まって更に増加する傾向にあり、民間シンクタンクの報告

でも、2024年度の家計負担は2023年度に比べて10.6万円も増加すると指摘しています。「食事を日に２回に減らしている」「野菜が高くて買えず、安い缶詰で済ませている」「病院にも行けない」「クーラーはあるが使えない」など高齢者の悲痛な声が寄せられています。

今年度の公的年金2.7%アップでは異常な物価上昇には追い付かず、このまま年金削減が続くならば、高齢者の生活は益々悪化する一方です。そのことによって高齢者の生活保護世帯への移行が増え、地方自治体の財政も圧迫されていきます。国民の年金不安をなくし、少しでも老後の安心をつくるために、また地方自治体の財政健全化のために、地域の消費拡大のためにも、早急に物価上昇に見合う公的年金の改訂が求められます。

よって、下記の事項について、強く求めます。

記

１．若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、物価の上昇に見合う公的年金の支給額の改善を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、内閣総理大臣、厚生労働大臣。

続いて、意見書案第13号、若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書。みだしのことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので、会議規則第14条第２項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。文教社会委員会委員長、池城健。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書

我が国は高齢化率が高く、高齢者の世帯の48.4%が年金だけで生活しており、更に年金だけでは生活できず、生活保護世帯の55.7%が高齢者世帯であり、老後の生活が大きな社会問題となっています。さらに将来年金がもらえるかという不安もあり、若い人を中心に国民年金掛金を納付できない人が51.3%にも上り年金制度が危機にあると指摘されています。

「消費税の導入は社会保障の充実」と謳いながら、公的年金制度は年々削減されてきており、2013年から11年間で7.3%も削減され、物価や賃金の変動率により、そのうえ年金を低く抑える「マクロ経済スライド制」が導入され、年金削減は一層強まっており、政府の2024年度財政検証では、今後経済成長率が０%であれば30年後には基礎年金が30%近く減額されるという試算も出ています。

こうした年金制度を抜本的に改善するために、いま「最低保障年金制度」の確立が喫緊の課題であると考えます。「最低保障年金制度」は、全額国庫負担ですべての国民に最低年金を保障し、国民年金や厚生年金受給者はそれに上乗せするというものです。これにより、無年金者や男女の年金格差も一定に解消することが出来ます。

「最低保障年金制度」はいま世界の流れとなっており、名称に違いはありますが、無拠出、全額国庫負担の基準でみると、オーストラリア、デンマーク、フランス、ロシア、スペイン、スウェーデンなどで実施されています。さらに、国連の社会規約委員会は、2001年に日本政府に対して最低保障年金制度の導入

の勧告をしましたが、日本政府は財源を理由に拒否しました。これに対して同委員会は「財源問題は実施しない理由にはならない」と批判し、さらに2013年に再度導入の勧告をしていますが、日本政府は頑なにこれを拒否しています。

「最低保障年金制度」の財源確保は、国庫負担と厚生年金の保険料の事業者負担分を充て、不足分は、現在の大企業優遇、高額所得者優遇の税制を「応能負担の原則」へ転換するとともに、大企業の膨大な内部留保の流用による正規労働者の雇用増大と賃上げなどによる所得再配分機能の強化により可能であると考えます。

よって、下記の事項について、強く求めます。

記

１．若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を早急に実現すること。

２．年金を毎年引き下げる「マクロ経済スライド」を直ちに廃止すること。

３．年金の支給開始年齢の引き下げ、年金保険料の納付義務延長など更なる年金改悪を止めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、内閣総理大臣、厚生労働大臣。

◎議長（平良敏夫君）

休憩します。

（休憩＝午後２時37分）

再開します。

（再開＝午後２時39分）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております日程第45、意見書案第11号から日程第47、意見書案第13号までの計３件は、委員会提出の案件でありますので、会議規則第37条第２項の規定により委員会付託を省略し、直ちに処理します。

これより討論に入ります。

まず、日程第45、意見書案第11号、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより意見書第11号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第11号は可決されました。

次に、日程第46、意見書案第12号、物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める意見書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより意見書第12号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第12号は可決されました。

次に、日程第47、意見書案第13号、若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める意見書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより意見書第13号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第13号は可決されました。

次に、日程第48、意見書案第14号、宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書を議題とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎文教社会委員会委員長（池城　健君）

意見書案第14号、宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書。みだしのことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので、会議規則第14条第１項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。提出者議員、池城健、賛成者議員、長崎富夫、山下誠、久貝美奈子。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書

宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境に関するアンケートを実施した結果、宮古島市外から赴任する教職員の厳しい住宅事情が浮き彫りになった。

宮古島市外から赴任している教職員96人がアンケートに答え、住宅の家賃について「非常に高い」との回答が85％を占め、「やや高い」を含むと回答者の全員が家賃の高さを挙げた。さらに、物件数に関する設問では、68人（71％）が「ほとんど見つからなかった」とし、このうち赴任時までに物件を借りられなかった教職員は33人にも上った。これらの教職員は一時的にホテルやマンスリーマンション、親類宅での生活を強いられている。

住宅手当についても「まったく賄えていない」「不十分」との回答が５割近くに及んでおり、「十分に賄えている」との回答は１割にとどまった。

こういった厳しい住環境にあえぐ教職員をサポートする機関はなく、住居に関する相談先については８割が「ない」と答えるなど、宮古島市外から赴任される教職員の大半が、宮古島市における厳しい住環境のあおりをもろに受けている。

教職員の厳しい住環境については、早急に改善する必要がある。宮古島市の市立学校勤務の内示を受け、離島教育へのモチベーションを高めるべき時期に、教職員が一日中物件探しに奔走している現状は異常と言うほかない。教職員の働く環境と教育の充実は密接な関係性を有しており、教育振興の面でも早急に対応しなければならない事案である。

市立学校に勤務している教職員は、宮古島市教育委員会の管理下にあるが、いずれも県が採用している。従って県が自覚を持って対応することは必然であり、決して看過してはならない。よって本議会は、下記事項について要望する。

記

１．市立小中学校に勤務する教職員用の宿舎（住宅）の整備を早急に検討すること

２．不動産業者と連携し、教職員向けの物件情報の収集と提供を行う仕組みを確立すること

３．教育委員会に相談窓口を設置すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、沖縄県教育委員会教育長。

◎議長（平良敏夫君）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております日程第48、意見書案第14号については、会議規則第37条第３項の規定に

より委員会付託を省略し、直ちに処理したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これより討論に入ります。

日程第48、意見書案第14号、宮古島市立小中学校で働く教職員の住環境改善を求める意見書に対する討論の発言を許します。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより意見書案第14号を採決します。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第14号は可決されました。

次に、日程第49、決議案第５号、宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議を議題とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎上地廣敏君

決議案第５号、宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議。みだしのことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので、会議規則第14条第１項の規定により本案を提出します。令和６年12月17日、宮古島市議会議長、平良敏夫殿。提出者議員、上地廣敏、賛成者議員、我如古三雄、粟国恒広。

本文を読み上げて提案理由の説明に代えさせていただきます。

宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議

宮古島市総合交流ターミナル（通称：てぃだの郷）は市町村合併前の旧伊良部町において観光客の増加と地域活性化を図る目的で建設され、平成13年度から供用開始された宿泊施設である。

合併後は宮古島市が民間事業者を指定管理者として指定し、運営されてきたところであるが、令和３年３月（令和２年度末）をもって指定管理期間は終了している。

同施設は宮古島市公共施設等総合管理計画に基づく、宮古島市個別施設計画において機能判定：廃止、建物判定：売却の方針となっていることから令和３年度からは指定管理募集は行っていないが、令和３年４月以降は使用許可申請に基づき、引き続き同事業者により運営されてきたところである。

しかしながら、使用許可申請後、市に対して年間約377万円の使用料の支払いをする義務があるにも関わらず、令和３年度は１か月分に相当する約31万円のみが支払われ、残額使用料約723万円は未納となっている。

さらに、令和５年、令和６年度の２年間は市に対して使用許可申請も行わず無許可で使用し、２年間の使用料754万円も回収できない状況である。宮古島市に行政として積極的な取組を下記の通り強く求める。

記

宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の問題解決に向け、法的措置を含め、早急に取り組むこと。

以上、決議する。

令和６年（2024年）12月17日

沖縄県宮古島市議会

宛先、宮古島市長。

◎議長（平良敏夫君）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑があれば発言を許します。

◎久貝美奈子君

質疑をしたいと思います。

先ほどの緊急質問の中で、この通称てぃだの郷の件を下地信男議員が質問されていました。この件なんですが、確かに宮古島市個別施設計画において、機能判定、廃止、建物の判定が売却の方針となっています。先ほどの質問を聞いていますと、何か相手側、てぃだの郷側のいろんな役所の職員との意見の食い違いなどがあるというふうに感じました。市役所のほうも、市側もまた威圧的な態度は取っていないというような、何かお互い双方の認識のずれがあるように感じています。今これからのことを伺ったときに、法定代理人を立てて今後解決に向けて動いていくということを農林水産部長が答弁されていましたが、この決議を上げる前にこういったお互いの法定代理人を立てて今現在解決に向けて動いているというようなことは知っていてのこの決議になったのかどうか教えてください。

◎上地廣敏君

これは議会の一般質問でも当局はそのように発言をしておりますので、当然承知の上での決議であります。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて質疑を終結します。

ただいま議題となっております日程第49、決議案第５号については、会議規則第37条第３項の規定により委員会付託を省略し、直ちに処理したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これより討論に入ります。

まず、日程第49、決議案第５号、宮古島市総合交流ターミナル（通称てぃだの郷）の早期売却に取り組むよう求める要請決議に対する討論の発言を許します。

◎久貝美奈子君

度々すみません。先ほどの緊急質問を伺って少し感じたんですけれども、この意見書の要請内容については理解いたします。早期問題解決に向け、法的措置を含め早急に取り組むこと、そこは納得しているんですけれども、この意見書の中の文章の「しかしながら、使用許可申請後、市に対して年間約377万円の使用料の支払いをする義務があるにも関わらず､令和３年度は１か月分に相当する約31万円のみが支払われ、残額使用料約723万円は未納となっている」という、その次の「さらに」にも続くんですけど、先方側のことを少し強く非があるような感じの書き方に私は少し感じていまして、先ほどの緊急質問の中でお互いの言い分がまだ、法定代理人を通してこれから解決に向けて進んでいくということですので、内容は理解していますが、議会全員で議決する、要請するものかどうかというところに少し疑問を感じていますので、私は反対します。

◎議長（平良敏夫君）

ほかに討論はありませんか。

（「討論なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

これにて討論を終結します。

これより決議案第５号を挙手により採決します。

なお、挙手のない者は否とみなします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

◎議長（平良敏夫君）

挙手多数であります。

よって、決議案第５号は可決されました。

次に、日程第50、派遣第４号、議員の派遣についてを議題とします。

本件については、派遣第４号のとおり、那覇市で開催される沖縄県離島振興市町村議会議員・事務局職員研修会参加のため、令和７年２月20日の１日、全議員を派遣したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

なお、この際お諮りします。ただいま議決した事項について、諸般の事情により変更する場合は、これを議長に一任願いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これで今定例会に付議された案件の審議は全部終了しました。

お諮りします。今定例会において議決された各議案について、会議規則第43条の規定による条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、これを議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良敏夫君）

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これをもちまして令和６年第８回宮古島市議会定例会を閉会します。

（閉会＝午後２時56分）

上記のとおり会議の顛末を記載し、相違なきことを証する為ここに署名する。

令和６年12月17日

宮古島市議会

議　長　　平　良　敏　夫

議　員　　友　利　光　徳

〃　　下　地　信　広